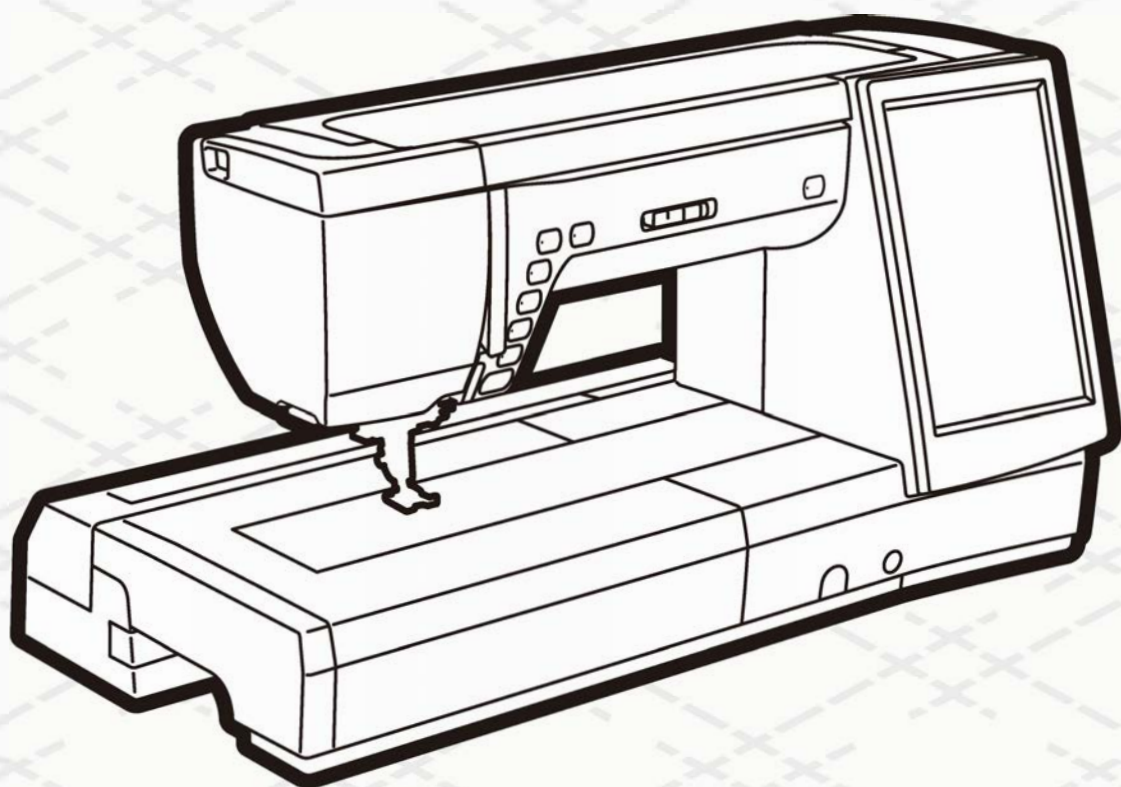


取扱説明書



JANOME




安全上のご注意







- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.








危害・損害の程度を表す表示












 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意	この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------

本文中の図記号の意味

	▲ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 警告	感電・火災の原因になります。
 禁止	ストーブ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は 5℃～ 35℃です。
 禁止	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
 必ず実行	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
 必ず実行	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
 必ず電源プラグを抜く	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 分解禁止	お客様自身での分解はしないでください。
 接触禁止	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
 禁止	ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。
 禁止	曲がった針や、先がつぶれた針はご使用にならないでください。
 禁止	フットコントローラーの上に物をのせないでください。
 禁止	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。

 警告	感電・火災・けがの原因になります。
 禁止	ミシンの通風口はふさがないでください。
 注意	直線ぬい針板が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態でははずみ車をまわすと、針が針板や押さえにあたる場合がありますので、注意してください。
 注意	お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全に注意してください。
 必ず実行	ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。
 必ず実行	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
 必ず実行	針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 必ず実行	以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき ・針、針板を交換するとき
 必ず電源プラグを抜く	ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 必ず電源プラグを抜く	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水にぬれたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目次 (1)

◎お取り扱いについてのお願い.....	3	★自動止めぬい.....	46
◎各部のなまえ.....	4 ~ 5	★直線ぬい (左針位置).....	47
◎標準付属品と収納場所.....	6 ~ 8	★三重ぬい.....	47
●標準付属品.....	6 ~ 7	★伸縮ぬい (ニットステッチ).....	47
●収納場所 (1) (天板収納部).....	8	★針板ガイドの使い方.....	48
●収納場所 (2) (補助テーブル収納部).....	8	★直線ぬい用針板の使い方.....	49
◎操作方法.....	9 ~ 25	●しつけぬい.....	50
●電源のつなぎ方.....	9	●つくろいぬい.....	51
★スタート/ストップボタンを使用する場合.....	9	●かがりぬい.....	51 ~ 53
★フットコントローラーを使用する場合.....	9	★かがりぬい1.....	51
●操作ボタン.....	10 ~ 12	★かがりぬい2.....	52
●速さの調節.....	13	★かがりぬい3.....	52
★スピードコントロールつまみ.....	13	★ニットステッチ (1).....	53
★フットコントローラー.....	13	★ニットステッチ (2).....	53
●画面 (タッチパネル).....	14 ~ 15	★ニットステッチ (3).....	53
●押さえ上げ.....	16	●ゴムひも付け.....	54
●二ーリフト.....	16	●ファゴティング.....	54
●格納式手元照明.....	17	●バック直線ぬい・バックジグザグぬい.....	54
●面板レンズ.....	17	●その他の実用ぬい.....	54
●送り調節ねじ (模様の形の調節).....	18	◎ボタンホール・特殊模様.....	55 ~ 73
●ロックキーの使い方.....	19	●ボタンホール・特殊模様の画面.....	55
●押さえの外し方、付け方.....	19	●ボタンホールの種類と用途.....	56
●押さえホルダーの外し方、付け方.....	20	●スクエアボタンホール.....	57 ~ 60
●上送り押さえのセット方法.....	20 ~ 21	★ボタンホールの調節画面.....	60
★上送り押さえの交換方法.....	21	●メモリーボタンホール (スクエアボタンホール).....	61 ~ 62
●PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方.....	22	●ラウンドボタンホール.....	63
●ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方.....	22	●キーホールボタンホール.....	63
●針板の外し方、付け方.....	23	●ニットボタンホール.....	64
●針の取りかえ方.....	24	●たまぶちボタンホール.....	65 ~ 66
●布に適した糸や針を選ぶ目安.....	25	●芯入りボタンホール.....	67
◎ぬう前の準備.....	26 ~ 33	●ボタンホール安定板の使い方.....	68
●下糸の準備.....	26 ~ 30	●つくろいぬい (ダーニング).....	69 ~ 70
★ボビンの取り出し.....	26	●かんぬき止め (1).....	71
★糸こまのセット.....	26	●かんぬき止め (2).....	72
★補助糸立て棒の使い方.....	27	●アイレット.....	73
★下糸巻き.....	27 ~ 28	◎飾りぬい.....	74 ~ 89
★ボビンのセット.....	29 ~ 30	●飾りぬいの画面.....	74 ~ 76
●上糸の準備.....	31 ~ 32	★模様選択画面.....	76
★上糸かけ.....	31	●模様組み合わせモード.....	77 ~ 86
★糸通し.....	32	★模様組み合わせぬいの例.....	78
●下糸を針板の上に引き出す場合.....	33	★反転キーの使い方.....	79 ~ 80
◎実用ぬい.....	34 ~ 54	★模様頭出しキーの使い方.....	81
●実用ぬいの画面.....	34	★プレビュー機能.....	82
●実用ぬいの調節画面.....	35 ~ 42	★編集機能.....	83 ~ 84
★ぬい目の幅調節キー.....	36	★模様全長表示機能.....	85 ~ 86
★ぬい目のあらか調節キー.....	37	●模様の長さ調節機能 (エロンゲーション).....	87
★糸調子調節キー.....	38	●つなぎもようグループの使い方.....	88
★ぬい目の幅 (針位置)、ぬい目のあらか、 糸調子のオート値の変更.....	39 ~ 40	●ユーザー作成模様.....	89
★布ガイド設定キー.....	41 ~ 42	◎文字ぬい.....	90 ~ 96
●直線 (直線状模様) ぬい.....	43 ~ 49	●文字ぬいの画面.....	90 ~ 92
★直線ぬい (中針位置).....	43 ~ 44	★模様選択画面.....	92
★上送り押さえの使い方.....	45	●文字ぬいの例.....	93 ~ 96
★自動返しぬい.....	46	★統一糸調子機能.....	96

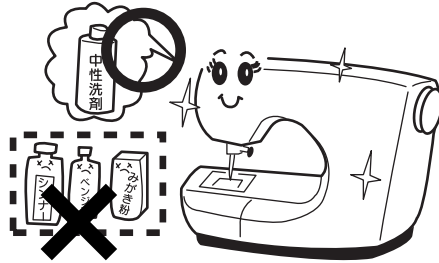
目 次 (2)

◎用途選択.....	97 ~ 135	●ぬい方.....	147 ~ 172
●用途選択の画面 (標準付属押さえ使用)...	97 ~ 99	★内蔵模様の選択方法 (模様).....	147 ~ 151
★模様選択画面.....	99	★内蔵模様の選択方法 (文字).....	152 ~ 154
●地ぬい.....	100	★刺しゅう実行画面.....	155 ~ 159
●ふちかがり.....	101	★模様ぬい.....	160
●まつりぬい.....	102 ~ 103	★フリンジ模様.....	161 ~ 162
●シェルタック.....	104	★フリンジ模様 (アップリケ).....	163 ~ 164
●三つ巻きぬい.....	105	★フリンジ模様 (フレーム模様).....	165
●ファスナー付け.....	106 ~ 108	★文字刺しゅう選択画面.....	166
●コンシールファスナー付け.....	109 ~ 110	★文字の組み合わせ.....	167 ~ 168
●ギャザー.....	111	★2-レター.....	169
●しつけ.....	112	★ボーダー 1 と文字の組み合わせ.....	170
●ボタン付け.....	112 ~ 114	★文字の削除・挿入.....	171
●かんぬき止め.....	115	★アップリケ模様.....	172
●アップリケ.....	115 ~ 116	●編集刺しゅう.....	173 ~ 184
●パッチワーク.....	117 ~ 118	●フリーアーム刺しゅう枠 (FA10) の使い方.....	185
●キルティング.....	119 ~ 127	●カウチングデザインでのぬい方.....	186 ~ 188
★直線ぬい.....	119	●フラッグデザインのぬい方.....	189
★とじぬい.....	120	◎模様データの保存・呼び出し.....	190 ~ 197
★フリーキルティング.....	121 ~ 125	●模様データの保存.....	190 ~ 194
★刺し子風ステッチ.....	126	●模様データの呼び出し.....	194 ~ 196
★手ぬい風キルトぬい.....	126	★通常ぬい.....	194 ~ 195
★バリエابل ZZ (可変ジグザグ).....	127	★刺しゅう.....	195 ~ 196
●用途選択の画面 (オプション押さえ使用).....	128	●PCリンク.....	197
●ビーズ付け.....	129	◎ミシンの設定.....	198 ~ 212
●リボン付け.....	130	◎ヘルプ動画.....	212
●パイピング.....	131	◎ミシンのお手入れ.....	213
●コード付け.....	132	●かまと送り歯、糸切り部の掃除.....	213
●ピンタック.....	133	◎メッセージ画面一覧.....	214
●フリーモーションカウチング.....	134 ~ 135	◎ミシンの調子が悪いときの直し方.....	215 ~ 217
◎2本針ぬい.....	136 ~ 137	●ミシンの調子が悪いときの直し方 (自動糸通し).....	217
◎刺しゅう.....	138 ~ 189	◎模様一覧表.....	218 ~ 231
●刺しゅうの準備.....	138 ~ 146	●【通常ぬい】.....	218 ~ 219
★刺しゅうユニットの取り付け方.....	138	●【通常ぬい文字】.....	220 ~ 221
★キャリッジアームの開放.....	139	●【刺しゅうぬい模様】.....	222 ~ 227
★刺しゅうユニットの取り外し方.....	140	●【刺しゅうぬい文字】.....	228 ~ 231
★押さえの交換.....	141		
★針の交換.....	141		
★針板の交換.....	141		
★刺しゅう糸.....	142		
★芯地.....	142		
★刺しゅう枠とテンプレート.....	143 ~ 144		
★刺しゅう枠に布を張るとき.....	145		
★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け.....	146		
★ぬい始めの糸かけ.....	146		

◎お取り扱いについてのお願い

◇ご使用前に

- ① ほこりや油などでぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

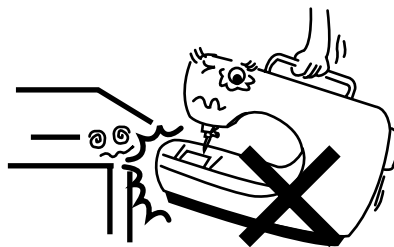


◇いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



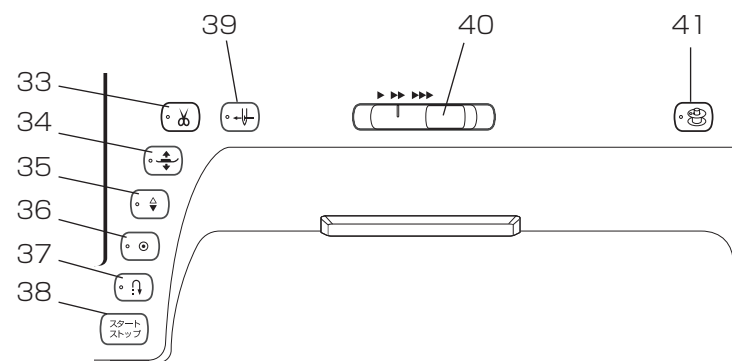
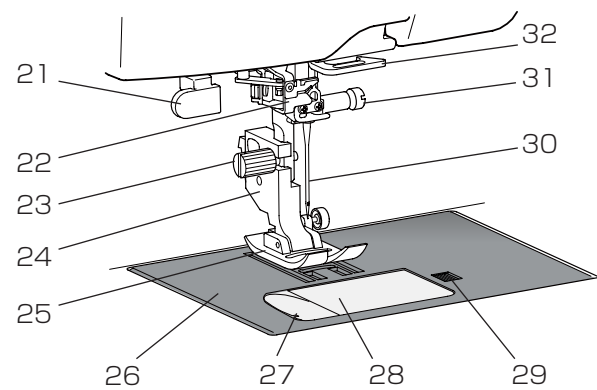
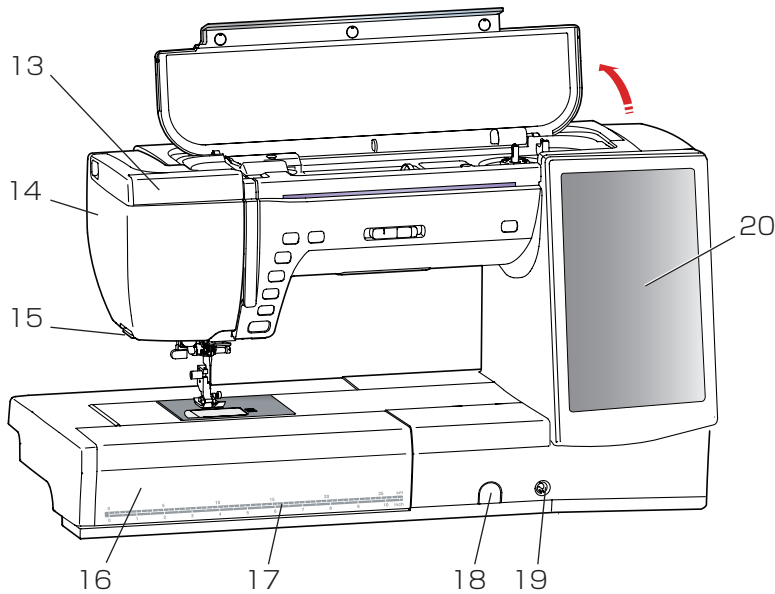
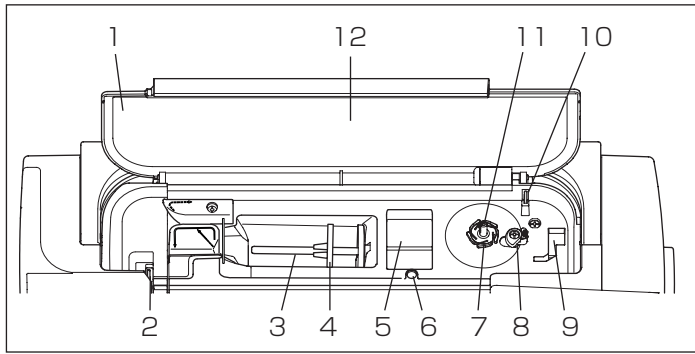
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手をミシンにそえてください。



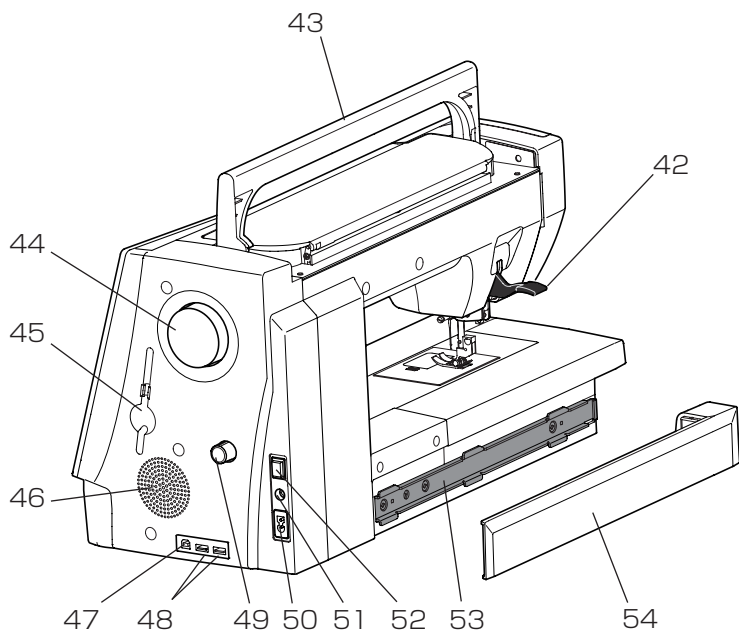
◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたときは、「◎ミシンの調子が悪いときの直し方」(215～217ページ)により、点検・調整を行ってください。

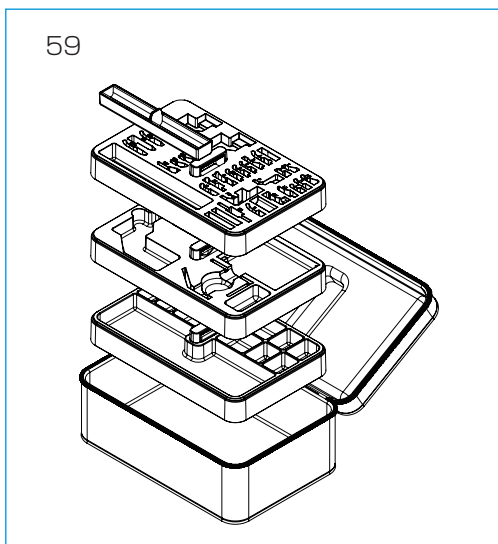
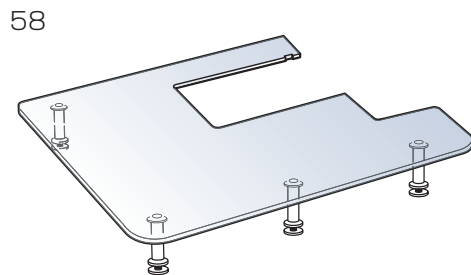
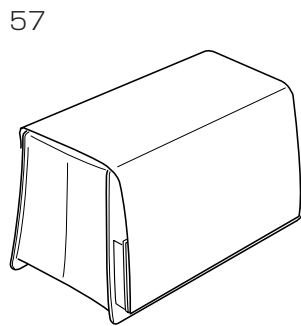
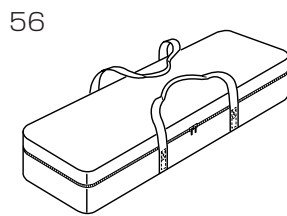
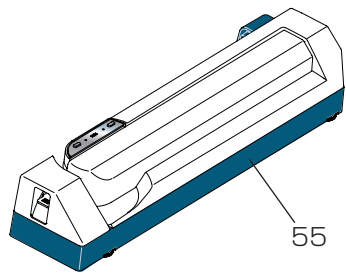
◎各部のなまえ



1. 天板
2. 天びん
3. 糸立て棒
4. 糸こま押さえ (大)
5. 小物置きスペース
6. 補助糸立て棒取り付け穴
7. 糸切りホルダー
8. ボビン押さえ
9. 押さえ入れ (P: 刺しゅう押さえ)
10. 糸切り (下糸巻き用)
11. 糸巻き軸
12. 早見板
13. 格納式手元照明
14. 面板
15. 糸切り・糸押さえ
16. 補助テーブル
17. スケール (センチメートル/インチ表示)
18. 送り調節ねじ (ふた付)
19. ニーリフト取り付け穴
20. 画面 (タッチパネル)
21. ボタンホール切りかえレバー
22. 自動糸通し
23. 押さえホルダー止めねじ
24. 押さえホルダー
25. 押さえ
26. 針板
27. カッター (下糸切り用)
28. 角板
29. 角板開放ボタン
30. 針
31. 針止めねじ
32. アーム糸案内
33. 糸切りボタン
34. 押さえ上下移動ボタン
35. 上下停針ボタン
36. 止めぬいボタン
37. 返しぬいボタン
38. スタート/ストップボタン
39. 糸通しボタン
40. スピードコントロールつまみ
41. 糸巻きボタン

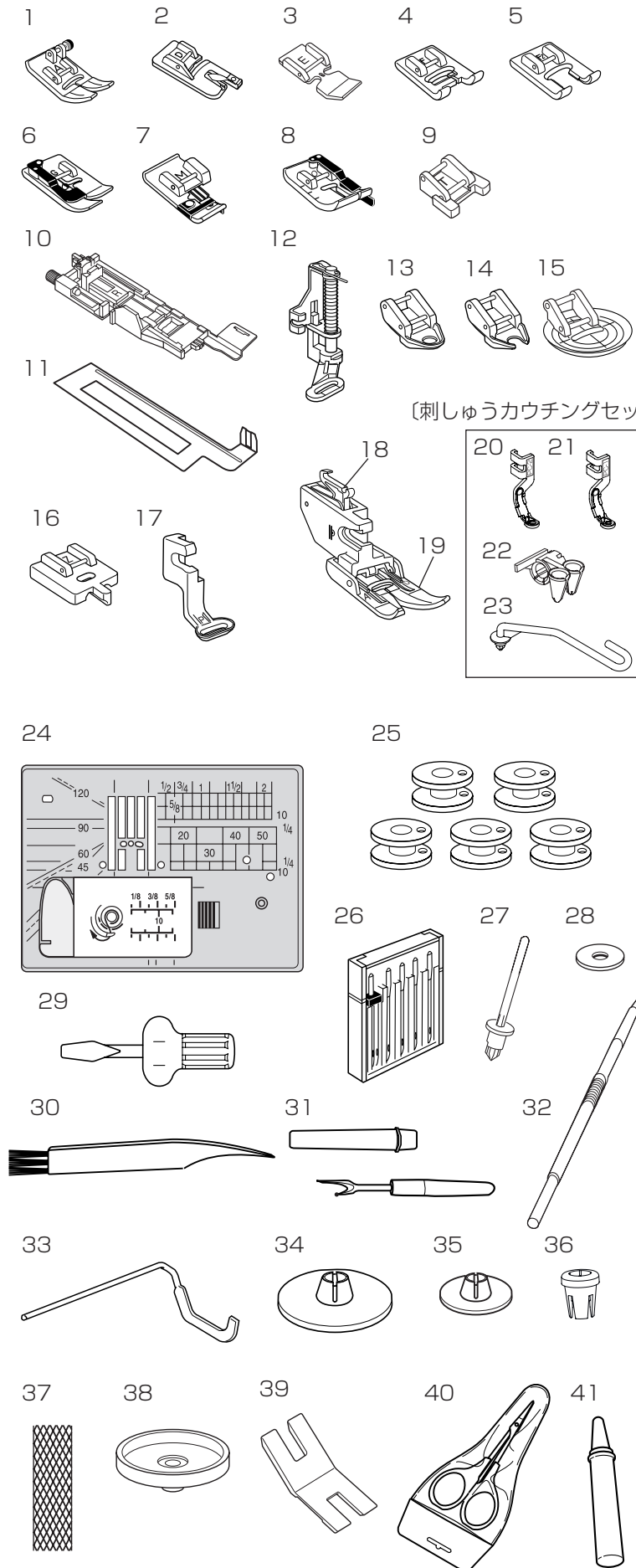


- 42. 押さえ上げ
- 43. 手さげハンドル
- 44. はずみ車
- 45. タッチペン収納場所
- 46. 通風口
- 47. USB 差し込み口 (タイプB)
- 48. USB 差し込み口 (タイプA)
- 49. 上送り調節ダイヤル
- 50. プラグ受け
- 51. フットコントローラープラグ受け
- 52. 電源スイッチ
- 53. 刺しゅうユニット取り付け部
- 54. 刺しゅうユニット取り付け部カバー
- 55. 刺しゅうユニット
- 56. 刺しゅうユニットケース
- 57. ミシンカバー
- ※ モデルによりオプションになります。
- 58. ワイドクリアテーブル
- 59. アクセサリーケース
- ※ モデルによりオプションになります。

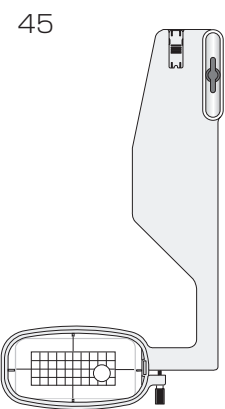
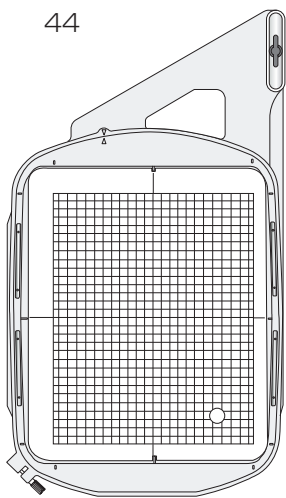
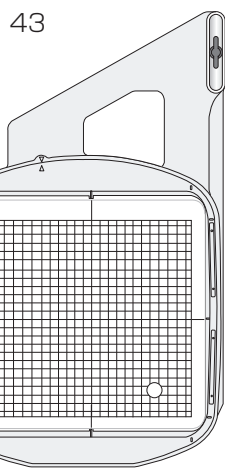
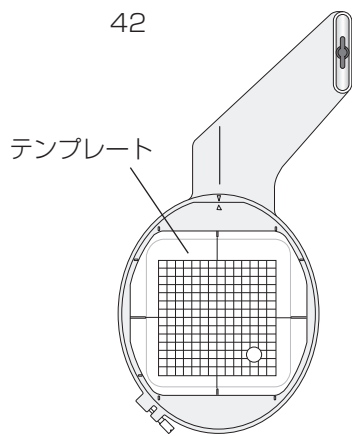


◎標準付属品と収納場所

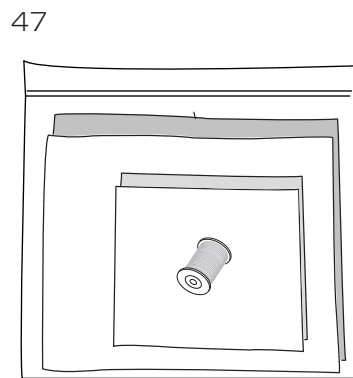
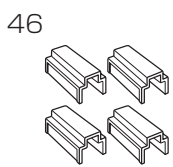
●標準付属品



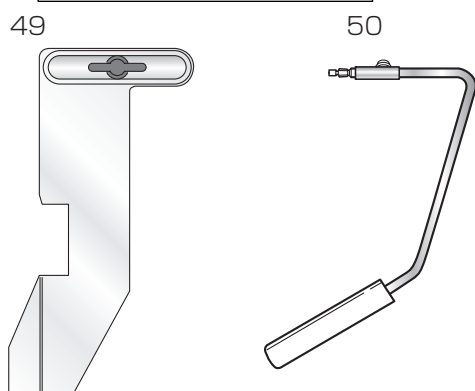
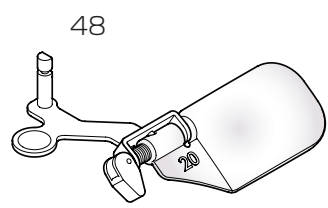
1. A : 基本押さえ
※ ミシンの押さえホルダーに付いています。
2. D : 三つ巻き押さえ
3. E : ファスナー押さえ
4. F : サテン押さえ
5. F2 : クラフトF押さえ
6. G : まつりぬい押さえ
7. M : 縁かがり押さえ
8. O : パッチワーク押さえ
9. T : ボタン付け押さえ
10. R : ボタンホール押さえ
11. ボタンホール安定板
12. PD-H : フリーキルト押さえ
13. QC : 丸穴キルト押さえ
14. QO : 前あきキルト押さえ
15. QV : 透明キルト押さえ
16. Z : コンシールファスナー押さえ
17. P : 刺しゅう押さえ
18. 上送り押さえホルダー
19. AD : 上送り押さえ
20. PC-2 : 刺しゅうカウチング押さえ (大)
21. PC-1 : 刺しゅうカウチング押さえ (小)
22. 針止めひも案内
23. 補助糸ガイド棒
24. 直線ぬい用針板
※ 補助テーブルに収納されています。
25. ボビン [5個]
※ 1個は、ミシンの内がまに入っています。
26. 針ケース
 - ・ブルー針 [11番] …2本
 - ・レッド針 [14番] …1本
 - ・パープル針 [14番] …1本
 - ・2本針 …1本
27. 補助糸立て棒
28. フェルト
29. ドライバー
30. ミシンブラシ
31. シームリッパー
32. タッチペン
33. キルティングガイド
34. 糸こま押さえ (大)
※ ミシンの糸立て棒に付いています。
35. 糸こま押さえ (小)
36. 糸こま押さえ (特殊)
37. ネット
38. 糸こま受け台
39. ボタン付けプレート
40. はさみ
41. かま用クリーナー



- 42. SQ14 標準刺しゅう枠
(テンプレート付き)
- 43. SQ23 中型刺しゅう枠
(テンプレート付き)
- 44. GR 大型刺しゅう枠
(テンプレート付き)
- 45. FA10 小型刺しゅう枠
(テンプレート付き)

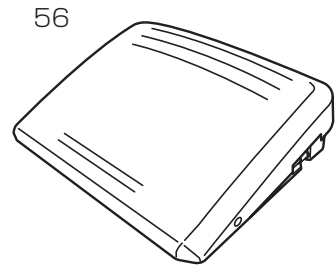
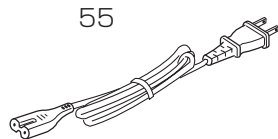
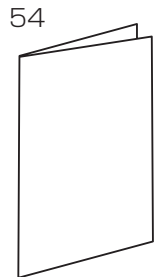
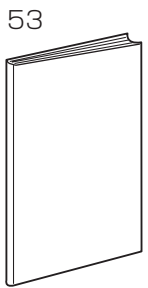
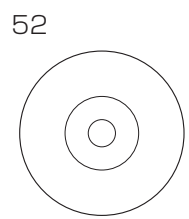
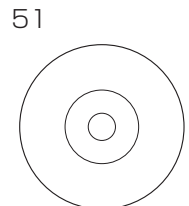


- 46. 刺しゅう布保持用マグネットクリップ
〔4個〕

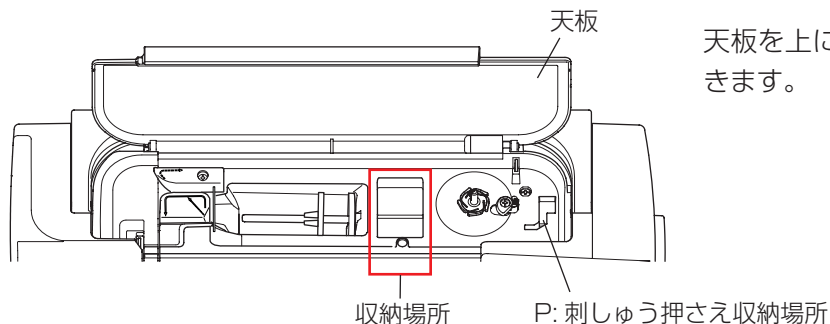


- 47. 刺しゅうお試しセット
- 48. 面板レンズ
- 49. 布ガイド
- 50. ニーリフト
- 51. 説明 DVD
- 52. アキュツールズ CD-ROM
- 53. 取扱説明書
- 54. 画面キー操作早見表
- 55. 電源コード
- 56. フットコントローラー

※ モデルによりオプションになります。

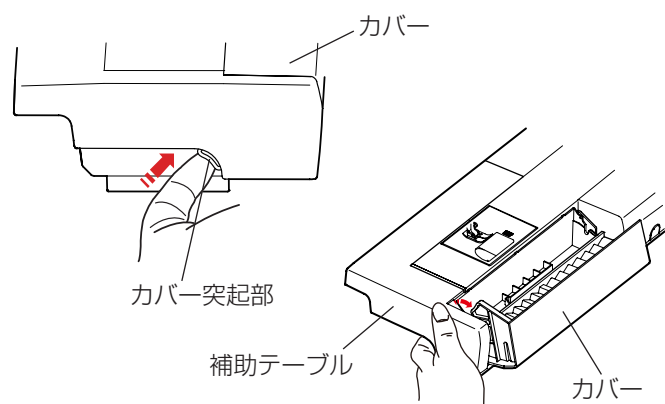


●収納場所（1）（天板収納部）



天板を上を開けると、押さえやボビン等の小物が収納できます。

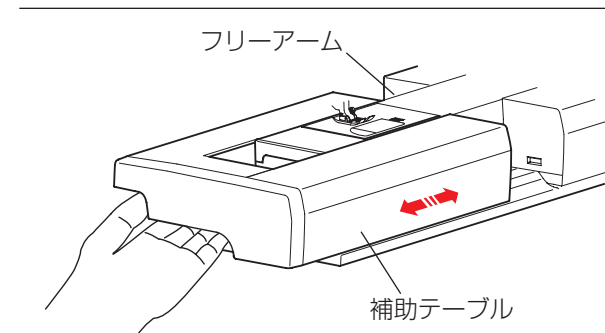
●収納場所（2）（補助テーブル収納部）



補助テーブルのカバーを開けると、押さえやボビン等、その他の小物が収納できます。

【補助テーブルのカバーの開け方】

補助テーブルの左下側のカバー突起部を指で上に押し込むとカバーが開きます。



【補助テーブルの外し方・取り付け方】

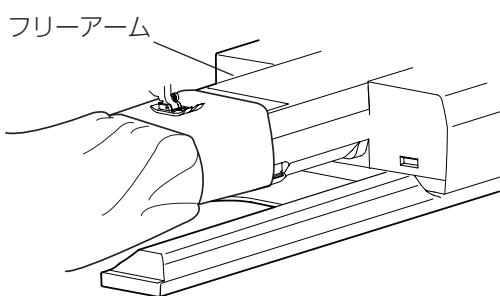
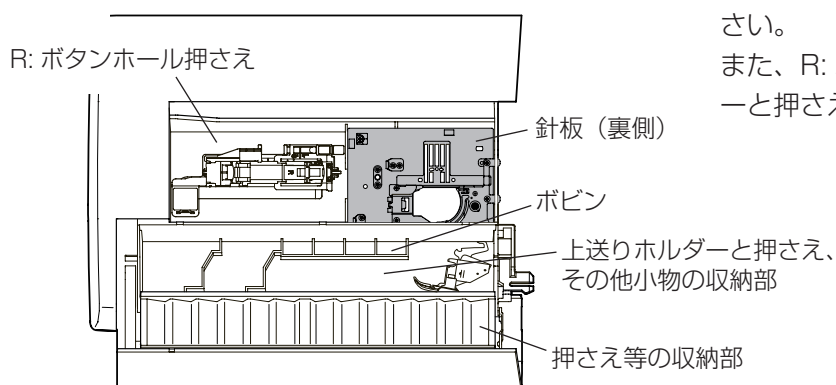
補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。

取り付けるときは、フリーアームに合わせ、突き当たるまで押し込んで取り付けます。

補助テーブルを外すと針板などが収納できます。

※ 針板は、図のように裏側が見えるように収納してください。

また、R: ボタンホール押さえ、上送り押さえホルダーと押さえも図の位置に収納してください。



フリーアームの使い方

補助テーブルを外すとフリーアームになります。

そでぐちやすそなどのぬい、および袋物のくち端の始末に利用できます。

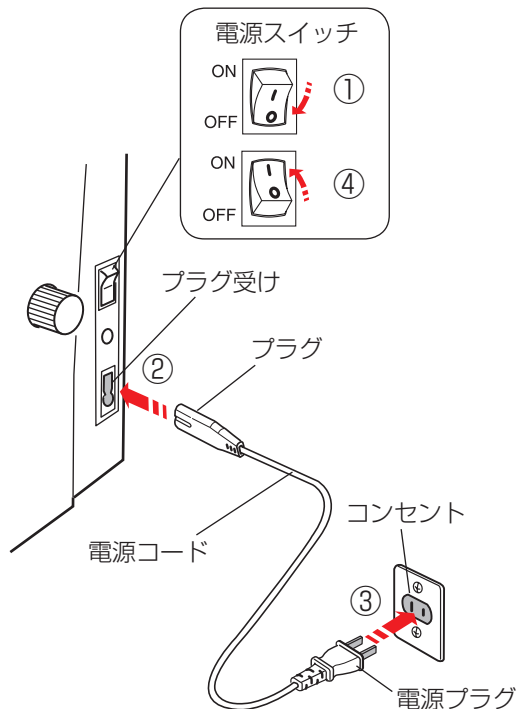
◎操作方法

●電源のつなぎ方

⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100V でご使用ください。
マシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。

★スタート/ストップボタンを使用する場合

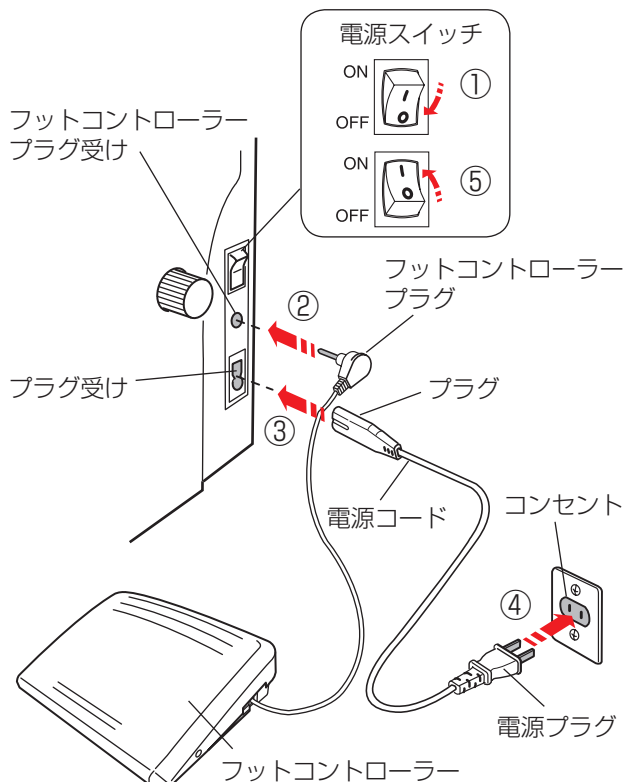


- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
- ② 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。

※ 電源スイッチを入れると、マシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。
初期設定中は針などが動きますので、マシンに触れないでください。

※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切) の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。

★フットコントローラーを使用する場合



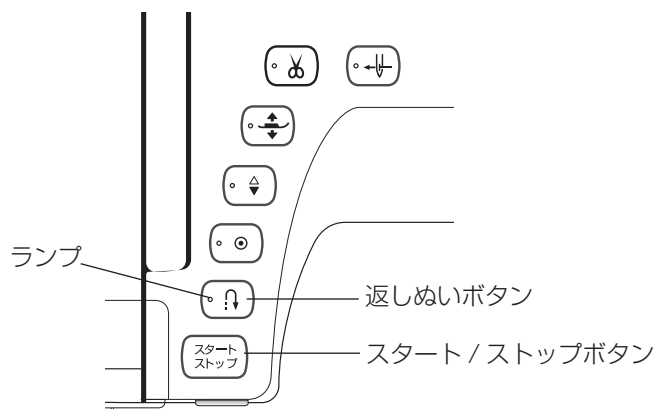
※ フットコントローラーは、モデルによりオプションになります。

- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
- ② フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。
- ③ 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ④ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ⑤ 電源スイッチを「ON」(入) にします。

※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方法は 13 ページをごらんください。

※ フットコントローラーを接続すると、スタート/ストップボタンは使用できません。

●操作ボタン



【スタート/ストップボタン】

ボタンを押すと、ミシンはゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。(スロースタート機能)

もう一度押すと停止します。(通常は針が下の位置で停止します。)

※ ボタンのランプの色がミシン停止中は緑に、運転中は赤になります。

※ ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるときに、指をはなさないで押し続けているあいだは、ミシンは低速で動きます。

※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、針を上の方に停止することもできます。
「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】③針停止位置」(203 ページ) をごらんください。

※ 動きはじめの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。
「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑧スロースタート調節」(205 ページ) をごらんください。

※ フットコントローラーを接続しているときは、スタート/ストップボタンは使用できません。

【返しぬいボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

■ 直線模様(直線針板模様含む)  の場合

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ)

ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。



《ミシン運転中》

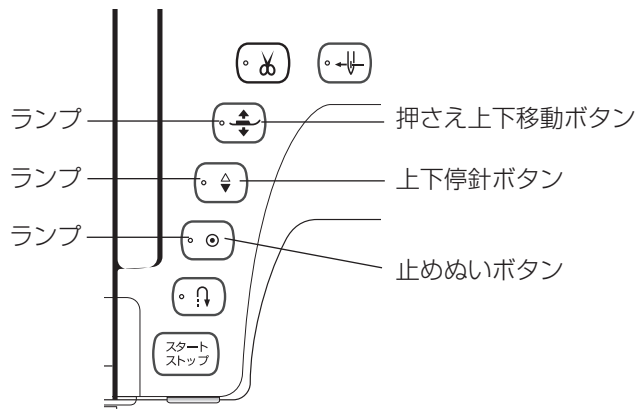
ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

■ その他の模様の場合



ぬい途中にボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 実用ぬいグループの模様  およびボタンホールグループの模様  は、特殊な使い方になります。(46、61、69、71 ページ参照)



【止めぬいボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

■ 直線模様（直線針板模様含む） およびジグザグ模様 の場合
ぬい途中でボタンが押されると、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
停止してから押した場合、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

■ その他の模様の場合

ぬい途中でボタンが押されると、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
停止してから押した場合、運転再開後、ボタンが押されたときの模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。ランプが点滅します。

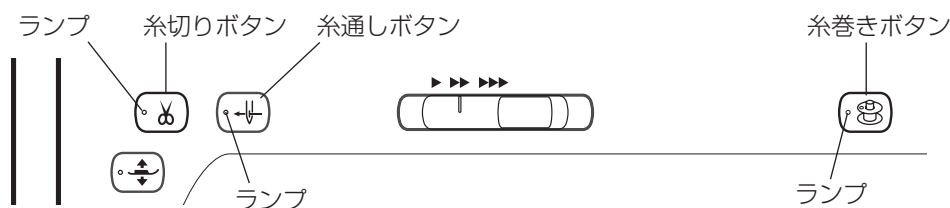
【上下停針ボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

ミシンが停止しているときにボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に、下にあるときは上に移動させることができます。

※ ミシンを停止したときの針位置の設定方法は、「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】③針停止位置」（203ページ）をごらんください。

【押さえ上下移動ボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

ミシンが停止しているときに、押さえの位置を上下に移動させることができます。



【糸切りボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。(自動糸切り)
(針が布にささった状態でも、糸切りボタンを押すと針は上の位置に移動します。)

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態であうことができます。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸切りを行うこともできます。「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】①通常ぬいオートストップ時の糸切り」(206 ページ) をごらんください。

糸切りの注意事項

- ・ 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、2 本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。
…「◎実用ぬい／●直線(直線状模様)ぬい／★直線ぬい(中針位置)／[面板の糸切りの使い方]欄」(44 ページ) 参照
- ・ 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。
- ・ 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になります。
…「◎ミシンのお手入れ／●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(213 ページ) 参照
- ・ 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、ロックキーによりミシンをロック状態にしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。
…「◎ミシンのお手入れ／●かまと送り歯、糸切り部の掃除」(213 ページ) 参照

【糸通しボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯(ロックモード中)します。

針に糸を通すときに使います。

糸通し中は、ランプが点滅します。

※ 2 本針には使用できません。

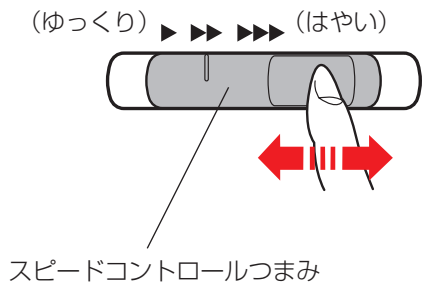
【糸巻きボタン】・・・使用出来るときは、ランプが点灯します。

下糸巻きのときに使います。

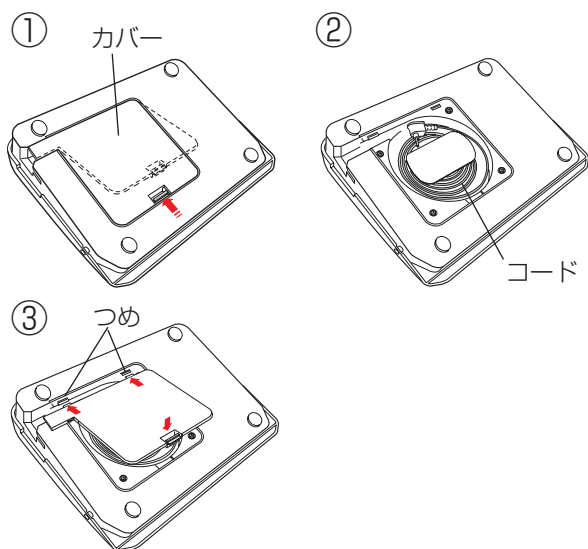
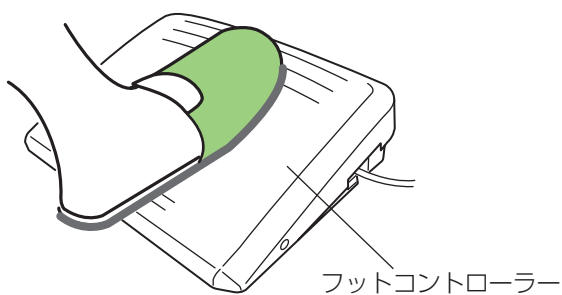
糸巻き中は、ランプが点滅します。

●速さの調節

★スピードコントロールつまみ



★フットコントローラー



ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコントローラーで調節します。

スピードコントロールつまみは、スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを調節できます。つまみの位置が右側になるほど速くなります。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱい踏み込んだときの最高速度を調節できます。

※ フットコントローラーは、モデルによりオプションになります。

フットコントローラーの踏みかげんで、ぬう速さが調節できます。

- ・深く踏む→速くなる。
- ・浅く踏む→遅くなる。

※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置（最高速）にして、踏みかげんで調節してください。

初心者の方が細かいものをぬうときなどは低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱい踏み込んでもスピードが出ないので使いやすくなります。

⚠ 注意

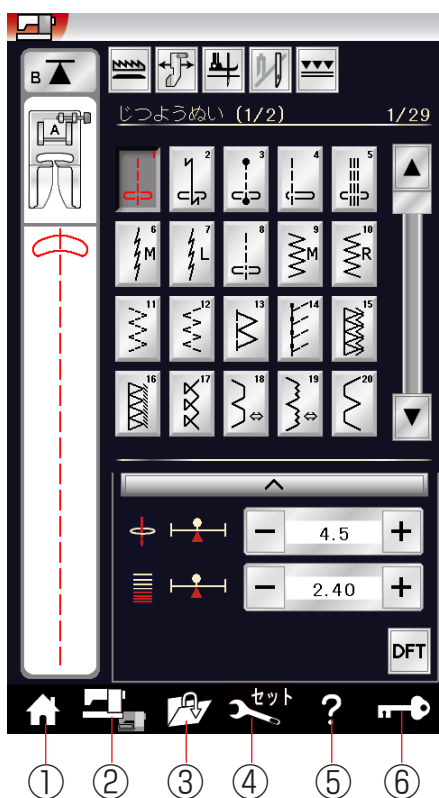
- ・フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- ・フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けが・故障の原因になります。

【コードの取り出し方と収納方法】

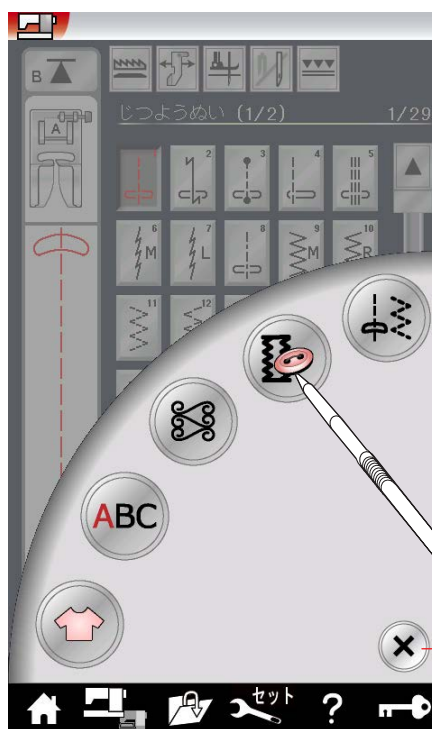
- ① フットコントローラーを使用するときは、底のカバーを外してコードを取り出します。
- ② フットコントローラーを使用しないときは、底のふたを外してコードを巻き付けて収納します。
- ③ カバーは、先に2カ所のつめを押し込んでから取り付けます。

●画面（タッチパネル）

〔電源投入時の通常ぬいモードの画面〕



〔ホーム画面〕



※ 画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。先のとがったものなどで押すと故障の原因になります。（タッチペンを使うことをおすすめします。）

タッチペン

閉じるキー

① ホームキー

目的の様子が属している模様グループを選ぶときに使います。ホーム画面が表示されます。

※ もとの画面の上に重ねて表示されるウインドウ画面が表示されます。

※ 閉じるキーを押すと前の画面にもどります。

【ホーム画面】

5つの模様グループ（じつようぬい／ボタンホール／アプリケ～ユーザー作成模様／もじぬい／用途選択）分けしたキーを押して、模様を選びます。

② 通常ぬいモード／刺しゅうモード切りかえキー

通常ぬいを行う状態と刺しゅうを行う状態に切りかえるときに使います。

③ ファイルオープンキー（194 ページ参照）

ミシンや USB メモリに保存してある模様データを呼び出すときに使います。

④ セットキー（198 ページ参照）

ミシンを初期の状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定するときに使います。

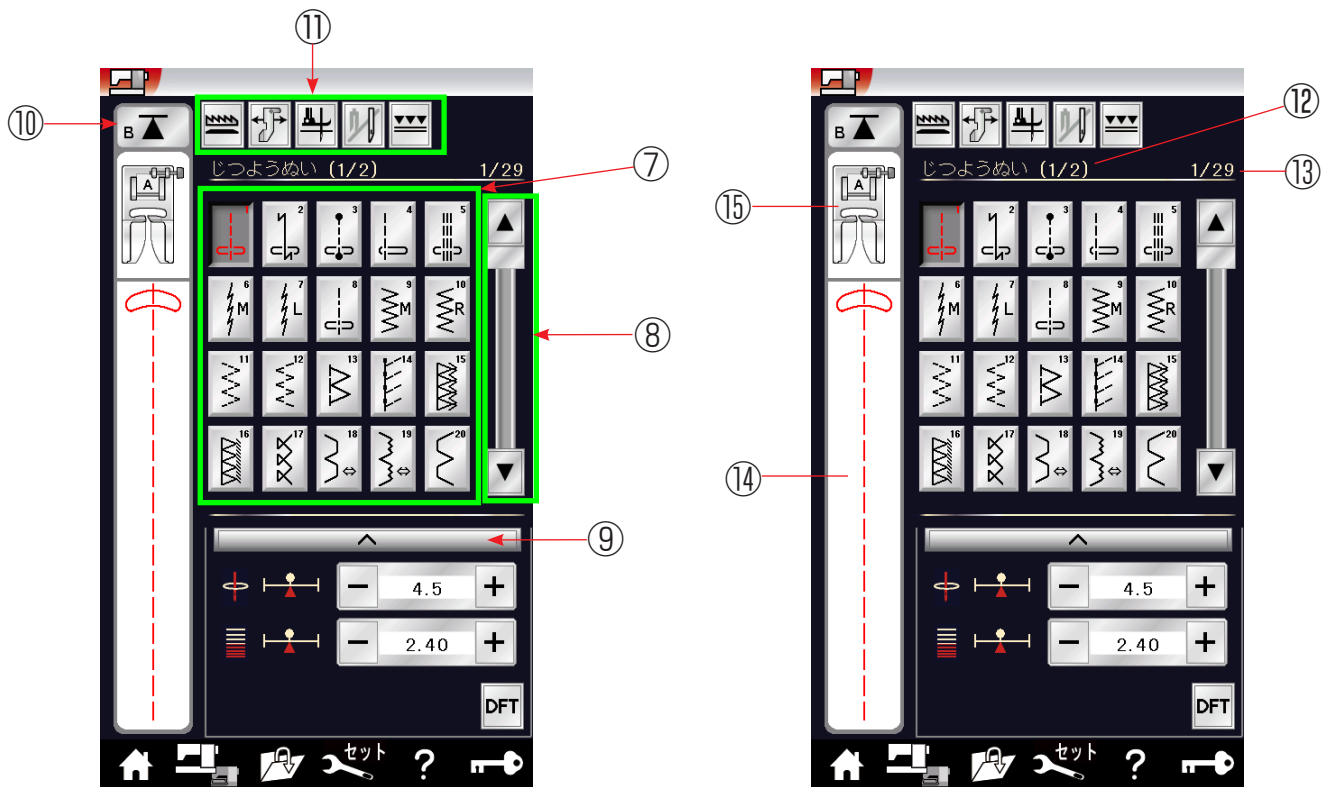
⑤ ヘルプキー（212 ページ参照）

ミシンの基本操作を動画で見ることができます。

⑥ ロックキー（19 ページ参照）

押さえや針の交換、糸のセットを行うときに使います。

すべて（押さえ上下移動ボタン／糸通しボタンは除く）のボタンやキーの操作を受け付けなくし、ミシンも動きません。ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。





⑦ 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

⑧ ページキー

現在表示されている模様選択画面や設定画面の次または前のページ（画面）を表示させるときに使用します。

 キーを押すと次のページ、 キーを押すと前のページに 1 ページごとにかわります。
キーを押し続けると連続してかわります。

また、中央の帯状のキーを押すと、押した位置の模様選択画面に切りかえることもできます。

⑨ 調節キー（35 ページ参照）

選ばれている模様のぬい目の幅、あらかさ、糸調子、押さえ圧の変更ができます。
（模様によって、調節項目は異なります。）

⑩ 模様頭出しキー（81 ページ参照）

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

⑪ 設定キー（34 ページ参照）

選ばれている模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更できます。

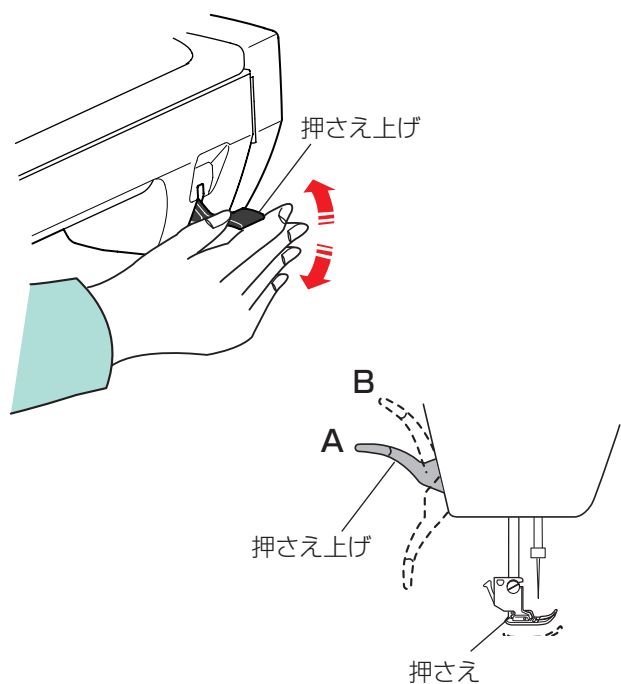
⑫ 選ばれている模様グループの名称とページが表示されます。

⑬ 模様グループのページが表示されます。

⑭ 選ばれている模様のぬいイメージが表示されます。

⑮ 選ばれている模様の代表的なぬいに適した押さえが表示されます。
（ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。）

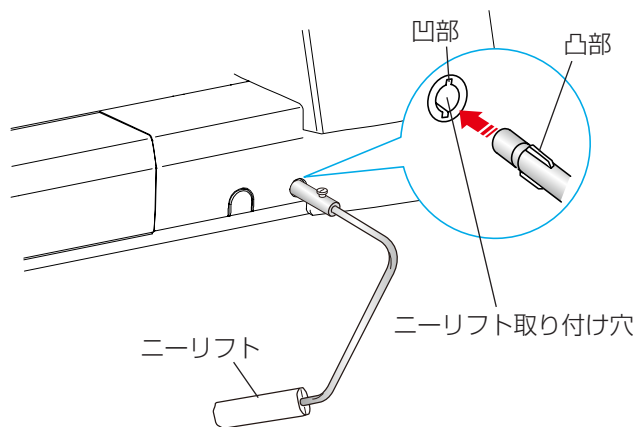
●押さえ上げ



押さえ上げは、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなど特殊な場合に使います。

- ※ 押さえ上げは、普通にあげて止まる位置（Aの位置）よりさらにあげることができ（Bの位置）、厚い布が入れやすくなります。
- ※ 通常の押さえのあげさは、押さえ上下移動ボタンを使用してください。
押さえ上げを使用すると、ミシンがスタートしなかったり、自動糸切りができない場合があります。
（押さえの上下移動ボタンは11ページをごらんください。）

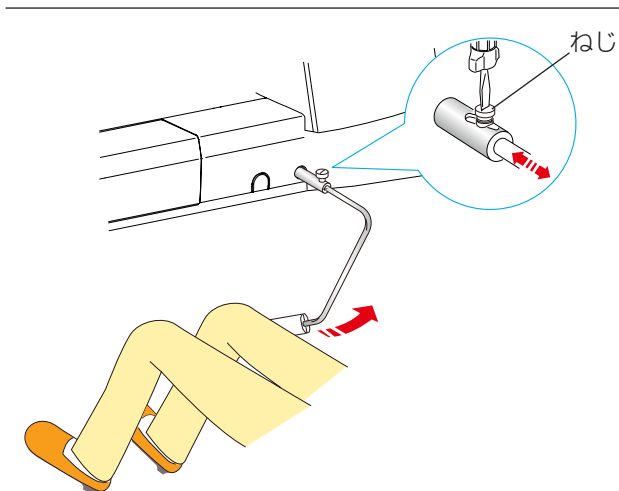
●ニーリフト



ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わずに押さえのあげさげができます。
手を使わずにひざの動作で行いますのでキルトなどをめうときに便利です。

- ※ ニーリフトを使用した横振り機能（バリアブルジグザグ）は「◎用途選択／●キルティング／★バリアブルZZ（可変ジグザグ）」（127ページ）をごらんください。

取り付けは、ニーリフトの凸部をニーリフト取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

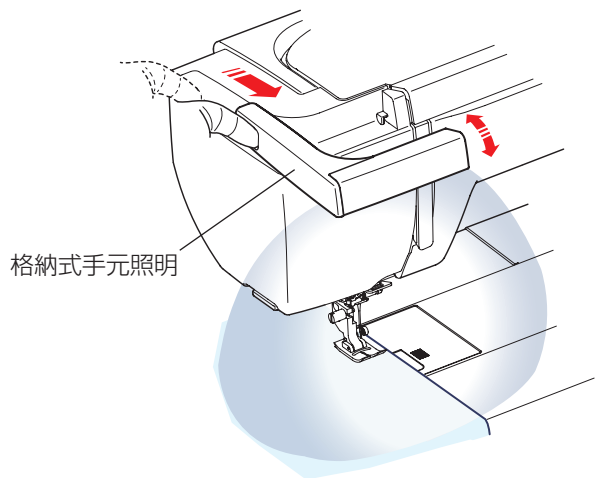


ニーリフトの角度調節は、ねじをゆるめてニーリフトを出し入れし、お好みの角度の位置でねじをしめて固定します。

ひざを使ってニーリフトを右側に押すと押さえがあがり（2段階）、もどすと押さえがさがります。

- ※ ぬい中は、ニーリフトに触れないように注意してください。

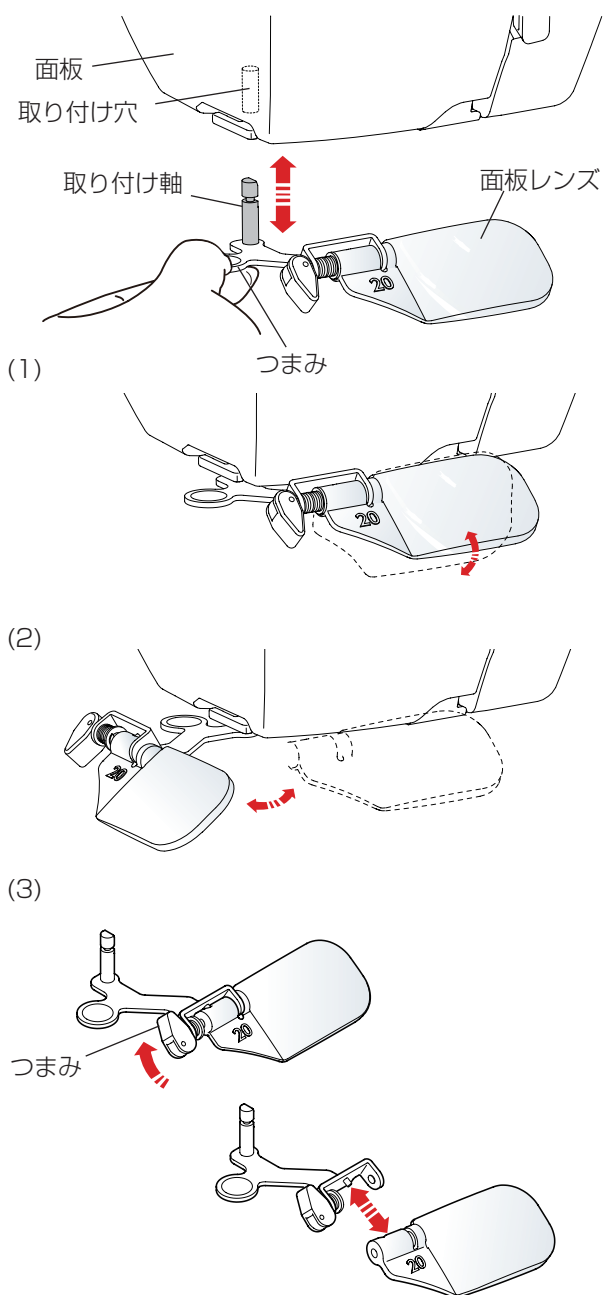
●格納式手元照明



格納式手元照明を手前に引き出すと、ミシンより突き出た位置でランプが点灯し、ミシンの作業面を明るくすることができます。(格納するとランプは消えます。)

※ 格納式手元照明は、照明角度を調節できます。お好みの位置でご利用ください。

●面板レンズ



⚠ 警告

- 面板レンズで太陽光など強い光を見ないでください。目を損傷するおそれがあります。
- 面板レンズを直射日光など強い光が当たる場所に放置しないでください。火災の原因になります。

⚠ 注意

- 面板レンズは、ぶついたり、過度な力を加えないでください。けが・破損の原因になります。

面板レンズをミシンに取り付けると針元が大きく見えるので、細かいぬい作業などに便利です。

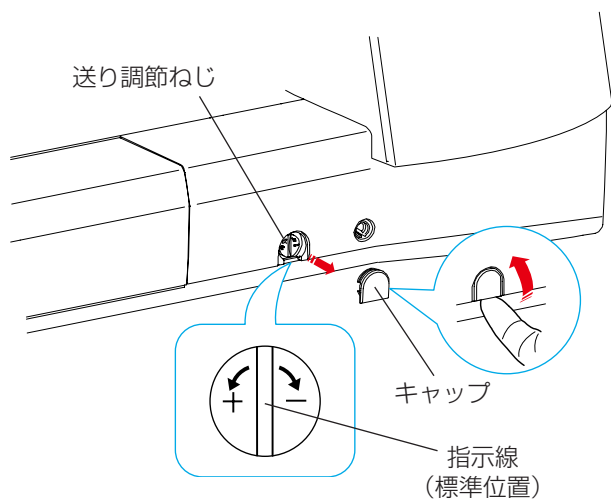
【面板レンズの取り付け方、外し方】

面板レンズのつまみを持ち、図のように面板レンズを正面に向けた位置で、面板レンズの取り付け軸をミシンの面板左側の取り付け穴に止まるまで押し込みます。

外す場合は、面板レンズを正面に向けた位置で面板レンズのつまみを下側にさげると取り外すことができます。

- (1) 面板レンズは、角度を調節できます。
- (2) 必要ない場合は、横に回転させることができます。
- (3) 面板レンズだけを取り外すこともできます。

●送り調節ねじ（模様形の調節）



通常ぬいの場合、布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては模様形がくずれて正しい形でぬえない場合があります。

実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様形がくずれている場合は送り調節ねじで調節します。

キャップを外すと調節ができます。

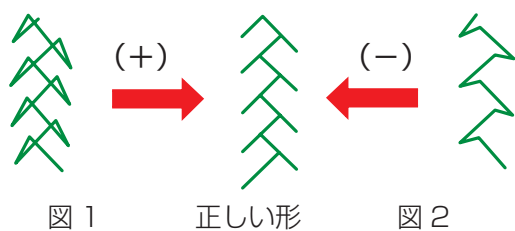
キャップは、下側を持ち上げて外します。

取り付けるときは、キャップをミシンの穴に合わせてはめ込みます。

※ 図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。

※ 送り調節ねじの位置をかえた場合は、ぬい終わったあと標準位置（指示線が垂直位置）にもどしておいてください。

《模様の場合： の例》

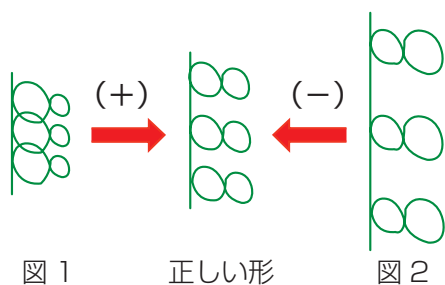


【模様形の整え方】

図1のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように模様が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。


《文字の場合：「8」の例》

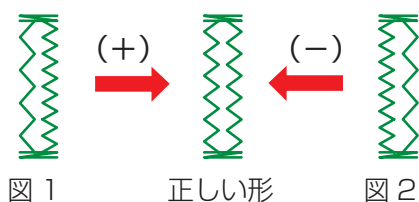




【文字の形の整え方】

図1のように文字がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように文字が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

《ニットボタンホール： の例》



【ニットボタンホール   の

左右のぬい目のあらかさの整え方】

図1のように左側があらいつきは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように右側があらいつきは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

●ロックキーの使い方



【ロックキー】

ロックキーを押すとミシンがロック状態になり、押さえ上下移動ボタンと糸通しボタンを除くすべてのボタンなどが受け付けません。ミシンも動きません。

ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うことができます。

※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うときに、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状態で行くと、押さえ上げで押さえのあげさができない場合があります。

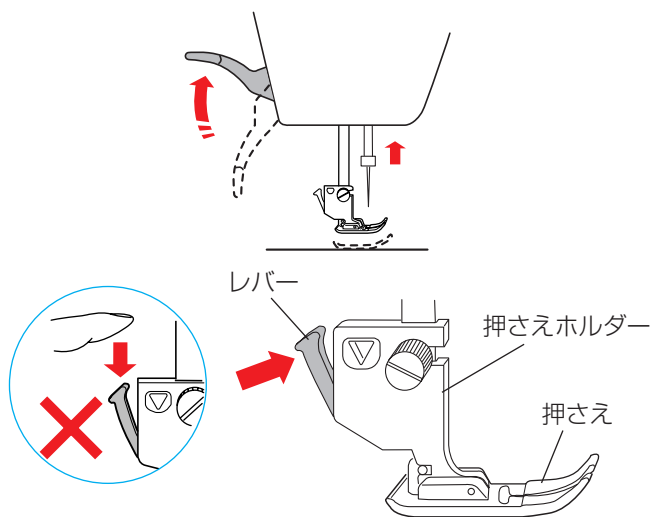
※ ロックキーを押すと、押さえがさがった状態になります。

※ ロック状態を解除する場合は、ウインドウ画面のロックキーアイコンを押してください。

●押さえの外し方、付け方

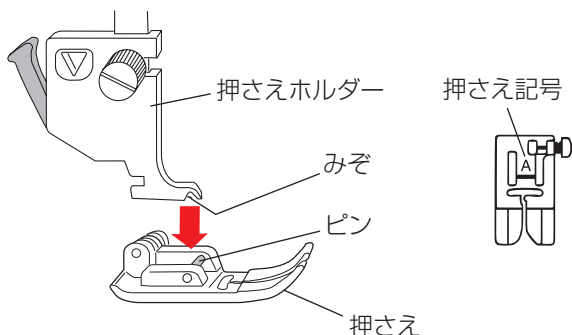
⚠ 注意

- 押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。
- 押さえは模様にあったものをご使用ください。押さえが合っていないと針が押さえにあたり、けがの原因になります。



【押さえの外し方】

- ① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げで押さえをあげます。
※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあとで押さえを付けるときに、押さえ上げで押さえをさげることができません。
- ③ 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押し、押さえを外します。
※ レバーを上から押さないでください。故障の原因になります。



【押さえの付け方】

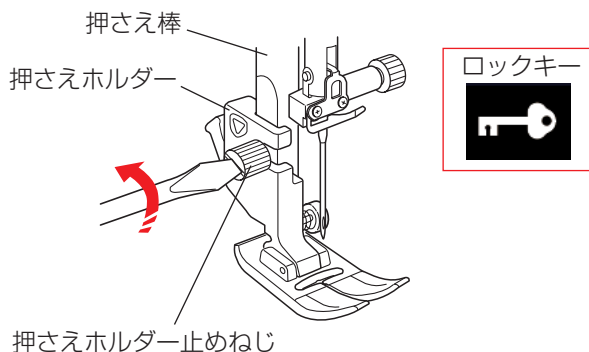
押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをゆっくりさげます。

※ 押さえは、模様にあったものを使用してください。押さえには記号が付いています。

●押さえホルダーの外し方、付け方

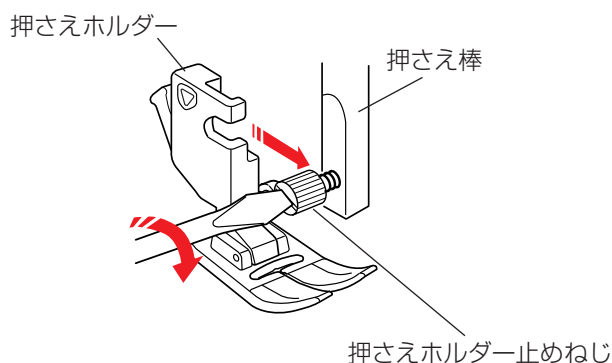
⚠ 注意

押さえホルダーの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



【押さえホルダーの外し方】

- ① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえをあげます。
- ③ ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。



【押さえホルダーの付け方】

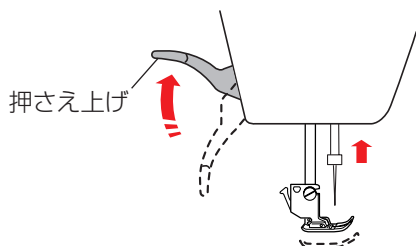
押さえ棒に押さえホルダーを取り付け、押さえホルダー止めねじを右にまわしてドライバーでしっかりしめます。

●上送り押さえのセット方法

⚠ 注意

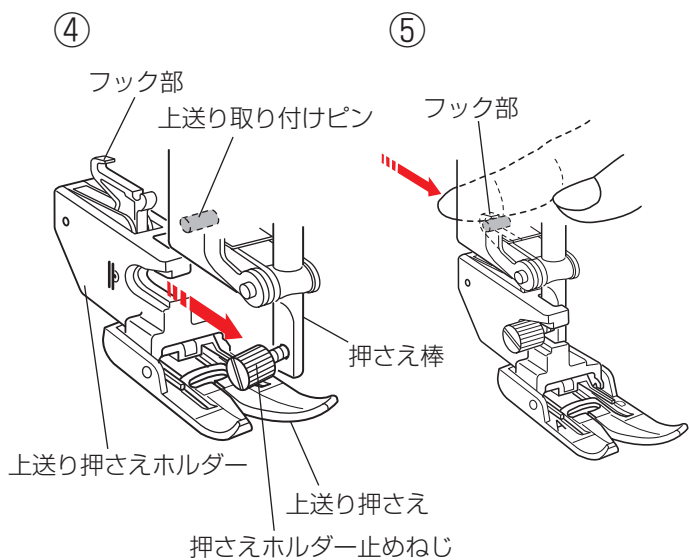
上送り押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

① ② ③



- ※ 上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。
押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

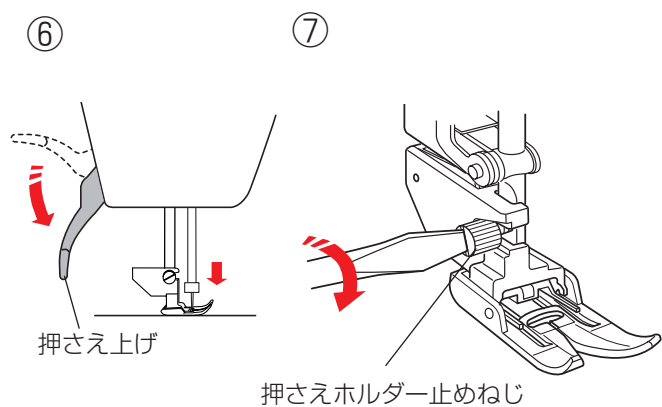
- ① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと手順⑥で押さえを下げるときに、押さえ上げで押さえを下げることができません。
- ③ ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
押さえホルダーの外し方は、上記【押さえホルダーの外し方】をごらんください。



④ 押さえ棒に上送り押さえホルダーを取り付け、押さえホルダー止めねじを上送り押さえホルダーにふれる位置まで指で右にまわし、上送り押さえホルダーを仮止めしておきます。

⑤ 上送り押さえホルダーのフック部をうしろ側から手前に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと押し付けます。

※ 上送り押さえホルダーのフック部が上送り取り付けピンにしっかりと押し付けられた状態になっていないと、上送りが正常にはたらかしません。

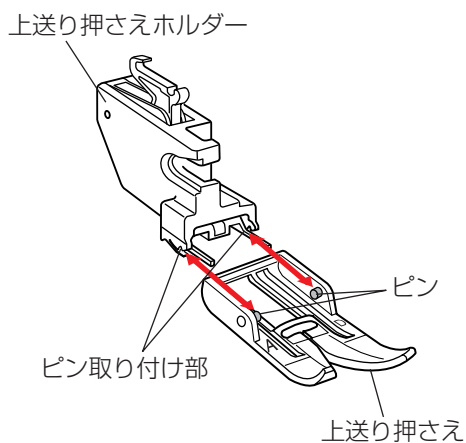


⑥ 押さえ上げをゆっくりさげてから、はずみ車を手で手前にまわして針をいちばん下までさげます。

⑦ 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりとしめます。

※ 上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法（20 ページ手順①②の方法）で針と押さえをあげ、押さえホルダー止めねじをゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ側に引いて外してください。

★上送り押さえの交換方法



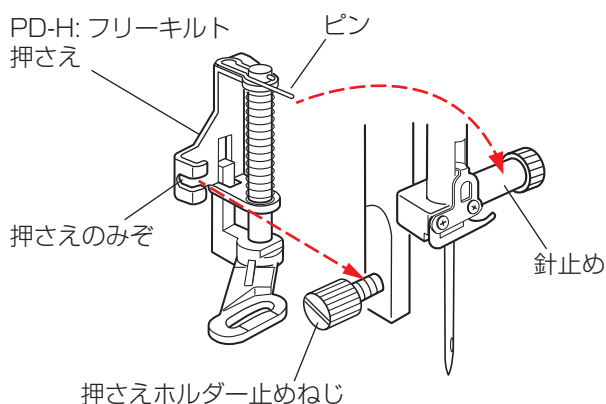
取り外す場合は、押さえのうしろ側を指で手前方向に押し込むと外れます。

取り付ける場合は、上送り押さえホルダーのピン取り付け部（両側2カ所）に押さえのピン（両側2カ所）を手前からはめ込んで、「カチッ」と音がするまで押し込みます。

● PD-H：フリーキルト押さえの取り付け方

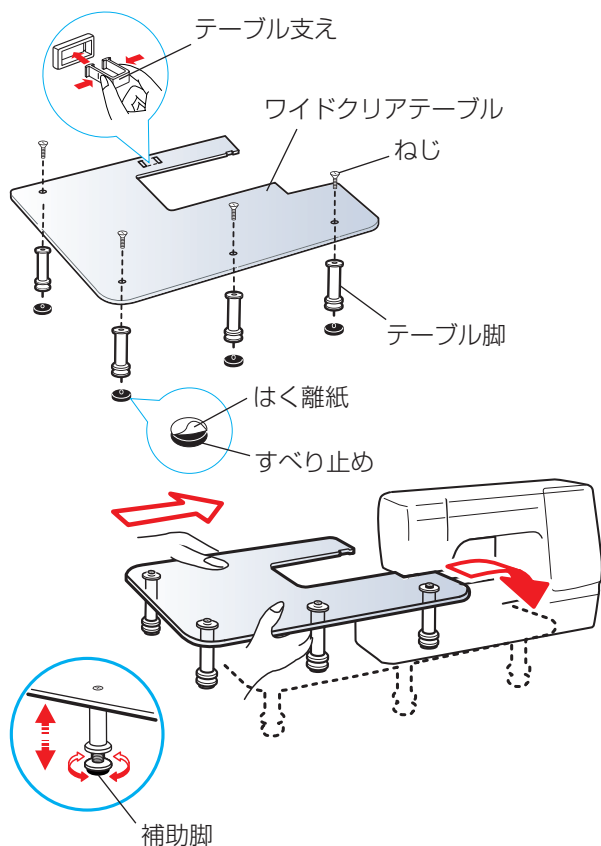
⚠ 注意

PD-H: フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



- ① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげます。
- ③ 押さえ上げをあげます。
- ④ 押さえホルダーを外します。
押さえホルダーの外し方は 20 ページをごらんください。
- ⑤ 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト押さえのピンを針止めの上ののせ、押さえのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
※ 取り付け後、押さえが傾いていない事を確認してください。針が押さえにあたり、けがの原因になります。
- ⑥ ロックキーを押して、ロック状態を解除します。
※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、フリーキルト押さえを取り外します。

● ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方



⚠ 注意

ワイドクリアテーブルをアイロン台など他の目的に使用しないでください。けがの原因になります。

ワイドクリアテーブルはカーテンやテーブルクロスなど大きな布地をぬうときに使用すると、布が安定してまっすぐぬえるので便利です。

【組み立て方】

- ① すべり止めからはく離紙をはがします。
- ② テーブル脚にすべり止めを貼り付けます。
- ③ テーブル脚をテーブルの 4 カ所の取り付け穴に合わせ、ねじでテーブル脚を取り付けます。
- ⑤ テーブル支えをワイドクリアテーブルの裏に取り付けます。

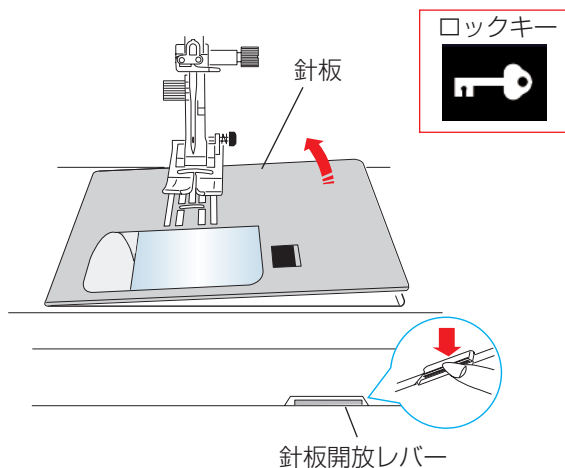
【使い方】

- ① ミシンから補助テーブルを外します。
- ② ワイドクリアテーブルを両手で持ち、ミシンのフリーアームにはめ込むように上からセットします。
- ③ ワイドクリアテーブルの高さがフリーアームの高さと同じになるように、4 カ所の補助脚をまわして高さを調節します。

●針板の外し方、付け方

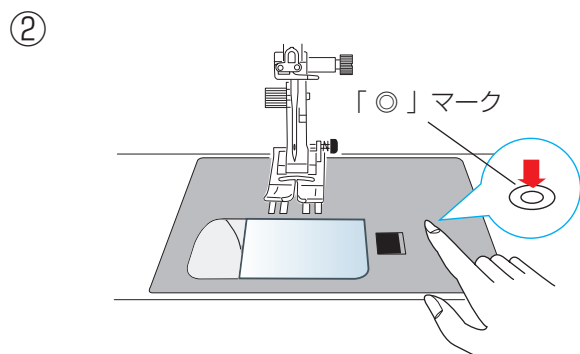
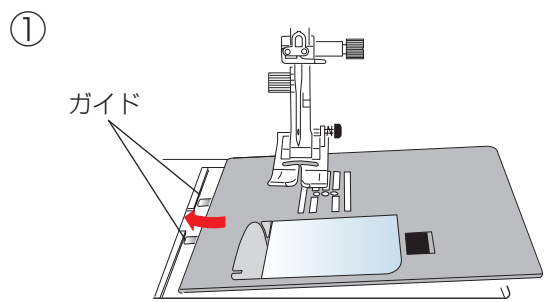
⚠ 注意

針板の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



【針板の外し方】

- ① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。
※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ② 針がさがっている場合には、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上下移動ボタンで押さえをあげます。
※ 押さえをあげるとき、押さえ上げであげるよりも押さえ上下移動ボタンであげるほうが高く上がり、針板が取り外しやすくなります。
- ③ 補助テーブルを外します。
- ④ フリーアーム中央の下にある針板開放レバーをさげると、針板を外すことができます。



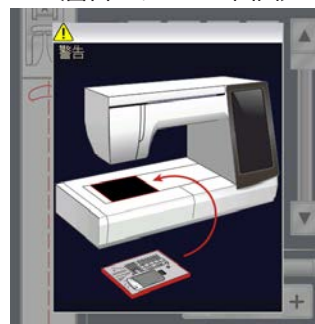
〔押さえ確認メッセージ画面〕



【針板の付け方】

- ① ミシンの針板取り付け部左側に針板の 2 つのガイドを入れます。
- ② 針板右側にある「○」マークが付いている場所を「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針板を固定します。
※ 針板を取り付け後、押さえ確認メッセージが表示されます。押さえを確認したあと、閉じるキーを押します。また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が針板にあたらないことを確認してください。
- ※ 押さえ確認メッセージが消えたら、ロックキーアイコンを押して、ロックを解除します。
- ※ ミシンの電源スイッチが入っている場合は、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メッセージ画面が表示されています。針板を取り付けたとき、このメッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合は、もう一度取り付け直してください。

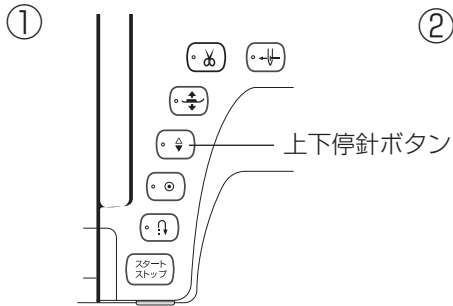
〔警告メッセージ画面〕



●針の取りかえ方

⚠ 注意

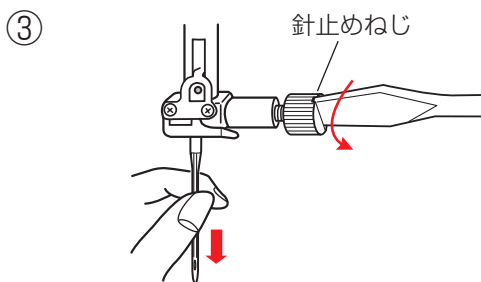
針の交換は、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。



① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

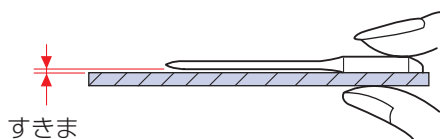
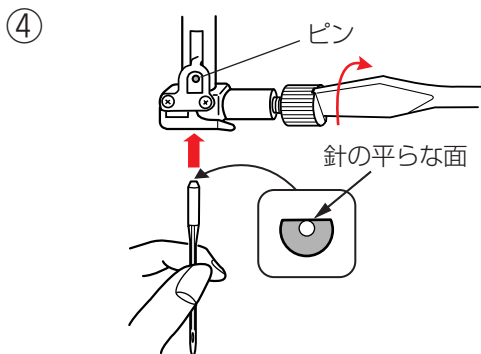
② ロックキーを押してミシンをロック状態にします。
※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
※ 押さえは、さがった状態のままにしておきます。

③ 針止めねじを手前に 1 ～ 2 回まわしてゆるめ、針を外します。



④ 取り付けは、針の平らな面を向こう側に向けてピンにあたるまで差し込み、針止めねじをドライバーでしっかりしめます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。



【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

【通常ぬいの場合】

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90番	9番～11番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー ウール地	絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル, ナイロン 50番～90番	11番～14番 または ブルー針, レッド針, パープル針
		綿糸 50番	14番またはレッド針, パープル針
厚い布	デニム ツイード コート地	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 ポリエステル 40番～50番	14番～16番 または レッド針, パープル針
		ポリエステル 30番 綿糸 30番	16番

※ ブルー針〔11番〕・レッド針〔14番〕・パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。

※ 一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをして確かめてください。

※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分が紫色の針）は、目とびの防止効果があります。（市販SP針も同様の効果があります。）

【刺しゅうの場合】

布の種類	糸	針
うすい布	ミシン刺しゅう糸	11番 または ブルー針
普通の布、ニット地		14番 または レッド針
厚い布		

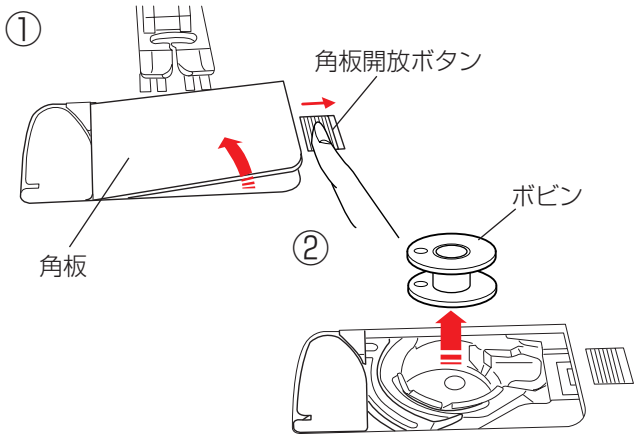
※ 刺しゅうの下糸は、刺しゅう専用下糸を使用してください。

※ レッド針を使用して目とびしやすい場合は、パープル（紫）針を使用すると目とび防止効果があります。

◎ぬう前の準備

●下糸の準備

★ボビンの取り出し



※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸に使用しないでください。

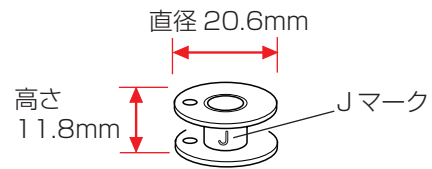
① 押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

② ボビンを取り出します。

お願い

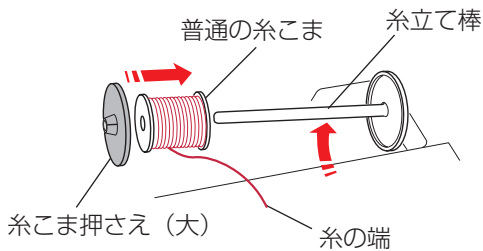
ボビンは当社専用のJマーク付きのプラスチックボビンをおすすめします。

(お買い上げの販売店へご相談ください。)



★糸こまのセット

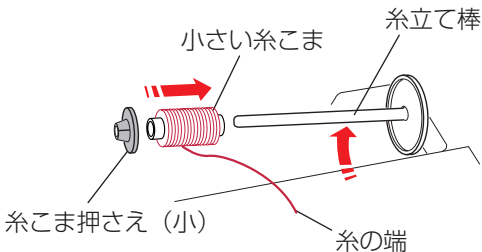
《普通の糸こまの場合》



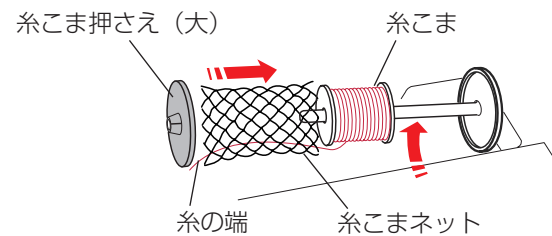
糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前に出るように糸こまを向けて糸立て棒に入れ、糸こま押さえを押しつけて糸こまを押さえます。

※ 普通の糸こまには糸こま押さえ (大) を、小さい糸こまには糸こま押さえ (小) を使います。

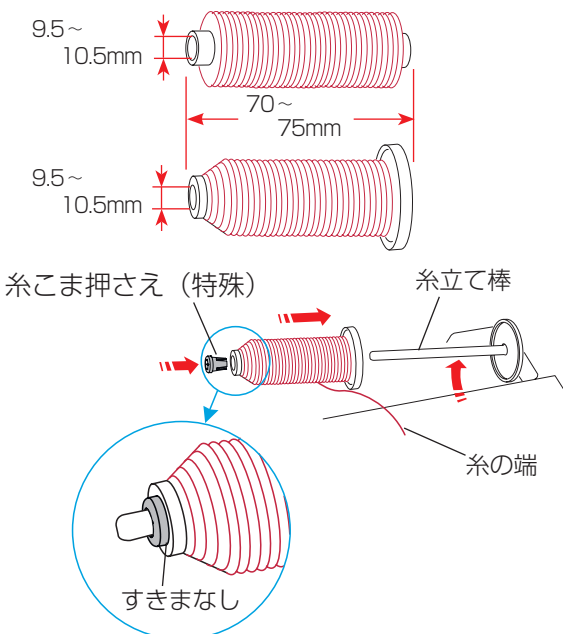
《小さい糸こまの場合》



※ レジロンなど伸縮性の糸を使用する場合には、付属の糸こまネット使用をおすすめします。糸外れや糸のよじれ防止効果があります。糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げるか、切って使用してください



《特殊糸こまの場合》

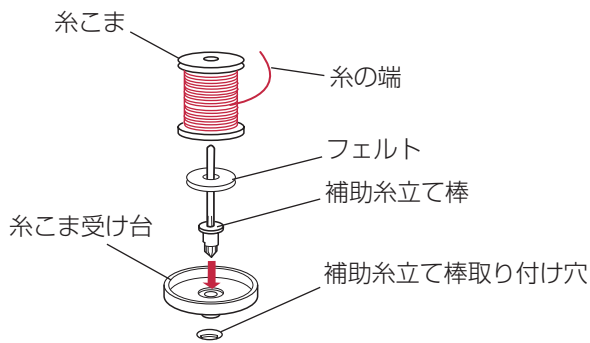


図のような長さの糸こまを使用するときには、糸こま押さえ (特殊) を使用することで、糸こまを固定することができます。

糸こま押さえ (特殊) は、図のように、糸こまを糸立て棒にセットしたあと、糸こまの穴に入れてください。

※ 糸こまと糸こま押さえ (特殊) のあいだにはすきまがないようにしてください。

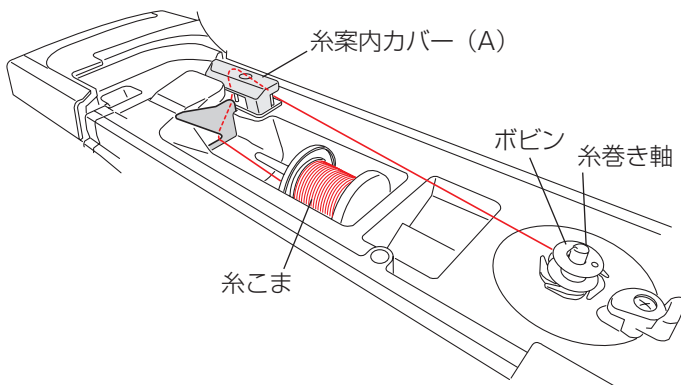
★補助糸立て棒の使い方



付属の補助糸立て棒は、ミシンに付いている糸立て棒に糸こまをセットした状態のまま別の糸こまで糸巻きをするときや、2本針ぬいめいするときなどに使います。

補助糸立て棒を補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。糸こまの糸の端は、手前から向こう側へできるようにします。

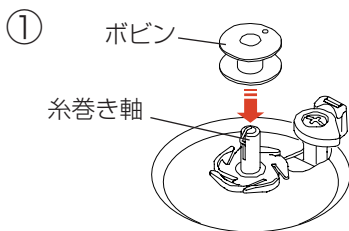
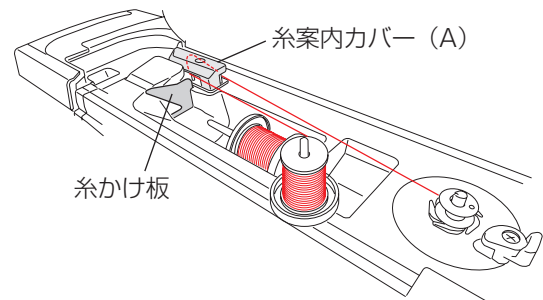
★下糸巻き



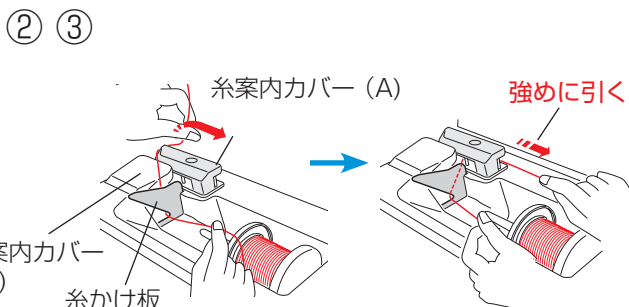
※ 下糸巻き速度の調節は「◎ミシンの設定 / 【共通設定】 ⑫下糸巻き速度」(202 ページ) をごらんください。

補助糸立て棒使用時の下糸巻き

補助糸立て棒を使用するときには、糸かけ板にかけずに糸案内カバー (A) にかけます。



① 糸巻き軸にボビンを差し込みます。

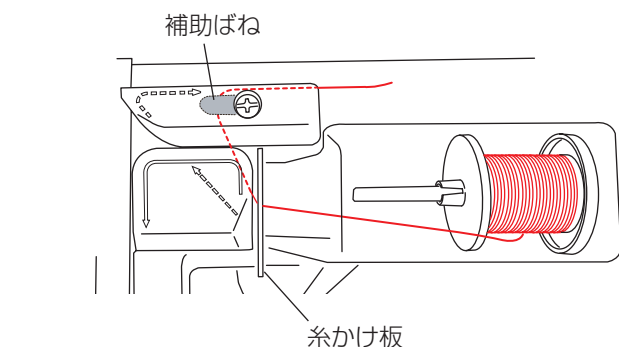


② 糸を両手で持ち、糸かけ板にかけます。

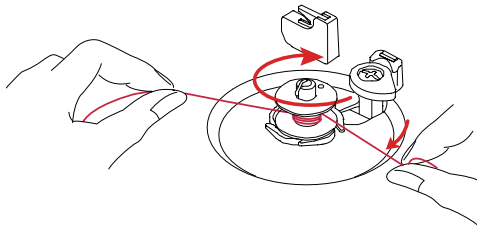
③ 糸案内カバー (B) の上から糸案内カバー (A) の左からうしろにまわして、必ず強めに右に引いて、糸を引き出します。

※ 糸を補助ばねの下に確実に通すために、糸こま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてください。

補助ばねの下を通していないと、糸巻き不良の原因になります。

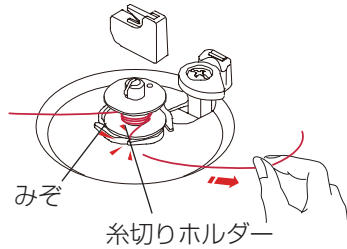


④



④ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボビンに右まわり（時計方向）に4～5回巻きます。

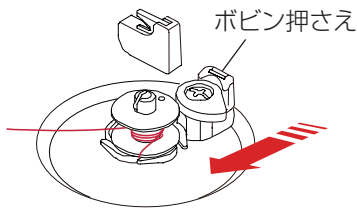
⑤



⑤ ボビンに4～5回巻いた糸を、ボビンの下にある糸切りホルダーのみぞに入れ、みぞにそって引いて糸を切ります。

※ みぞは5カ所あり、中にカッターが内蔵されています。

⑥



⑥ ボビン押さえをボビンの方に押しつけます。

⑦



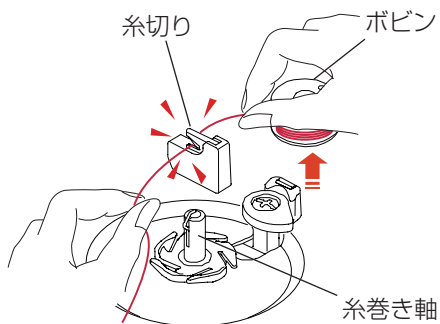
〔糸巻き表示画面〕



⑦ 糸巻きボタンを押します。
画面が左の「糸巻き中」の表示になります。
巻き終わるとボビン押さえが自動的にもどってボビンの回転が止まります。

※ 糸巻き中はランプが点滅します。

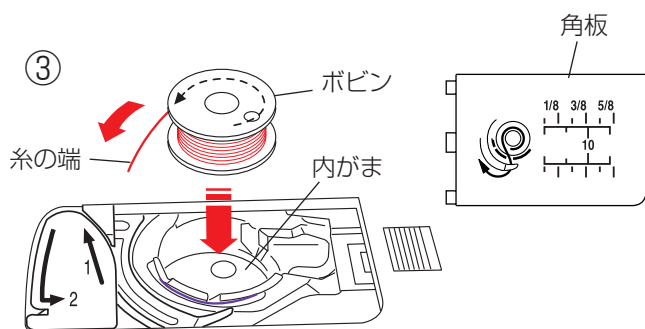
⑧



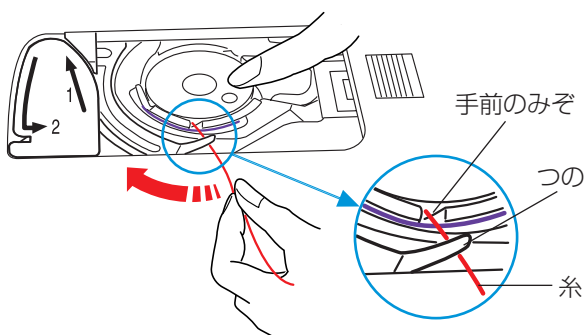
⑧ 糸巻き軸からボビンを外し、糸切りで糸を切ります。

★ボビンのセット

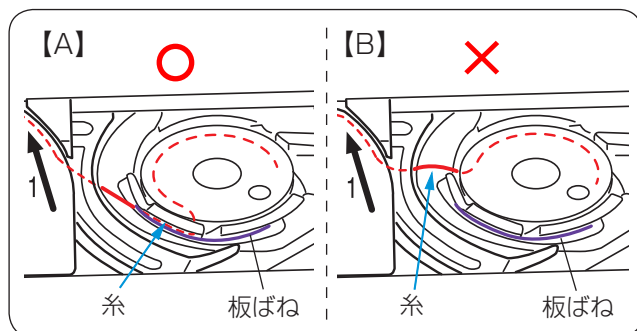
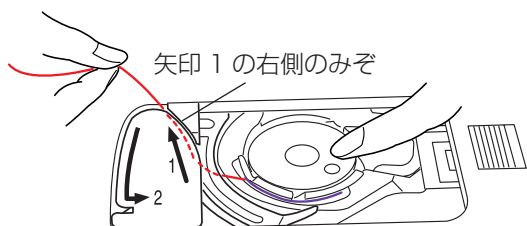
① ②



④



⑤



⚠ 注意

ボビンを内がまにセットするときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

① 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にします。

※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。

② 針がさがっている場合は、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえをさげるときに、押さえ上げで押さえをさげることができません。

③ 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように向けて（糸が左巻き）、ボビンを内がまに入れます。

※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。

④ ボビンが回転しないように、右手でボビンを軽く押さえます。

左手で糸の端を持ち、内がまの手前のみぞにかけ、さらに手前のつもの下をくぐらせます。

※ 糸を各部に確実にかけるために、手順④が終了するまで、右手でボビンを押さえた状態で行ってください。

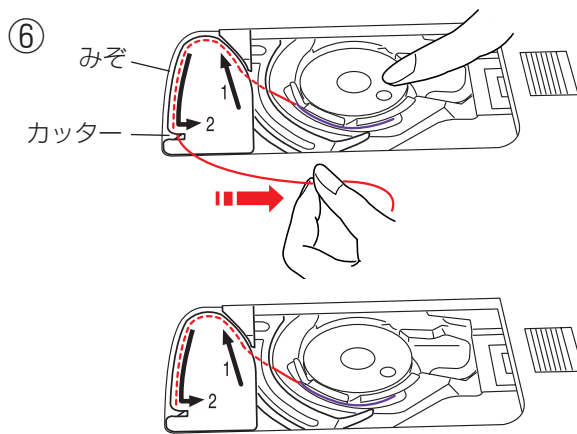
⑤ つもの下をくぐらせた糸を矢印 1 の方向に引きあげて矢印 1 の右側のみぞに入れます。

※ 手順②で、内がまの手前のみぞに糸がかかっていないと、内がまの板ばねのあいだに糸が入らず、ボビンから直接矢印 1 の右側のみぞに通ってしまいます。

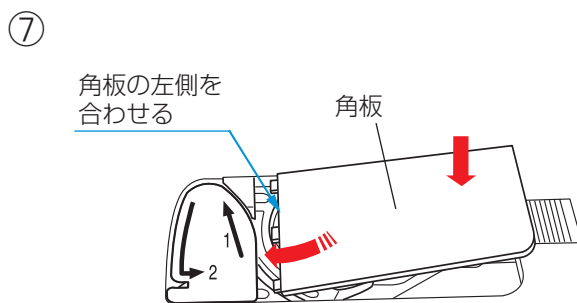
(左図、【B】参照)

その場合は手順④からかけ直してください。

正しくかけられていないと、ぬい不良の原因になります。



⑥ そのままみぞにそって矢印 2 の方向に糸を通し、下側のカッターにかけてから右に水平に引いて糸を切ります。



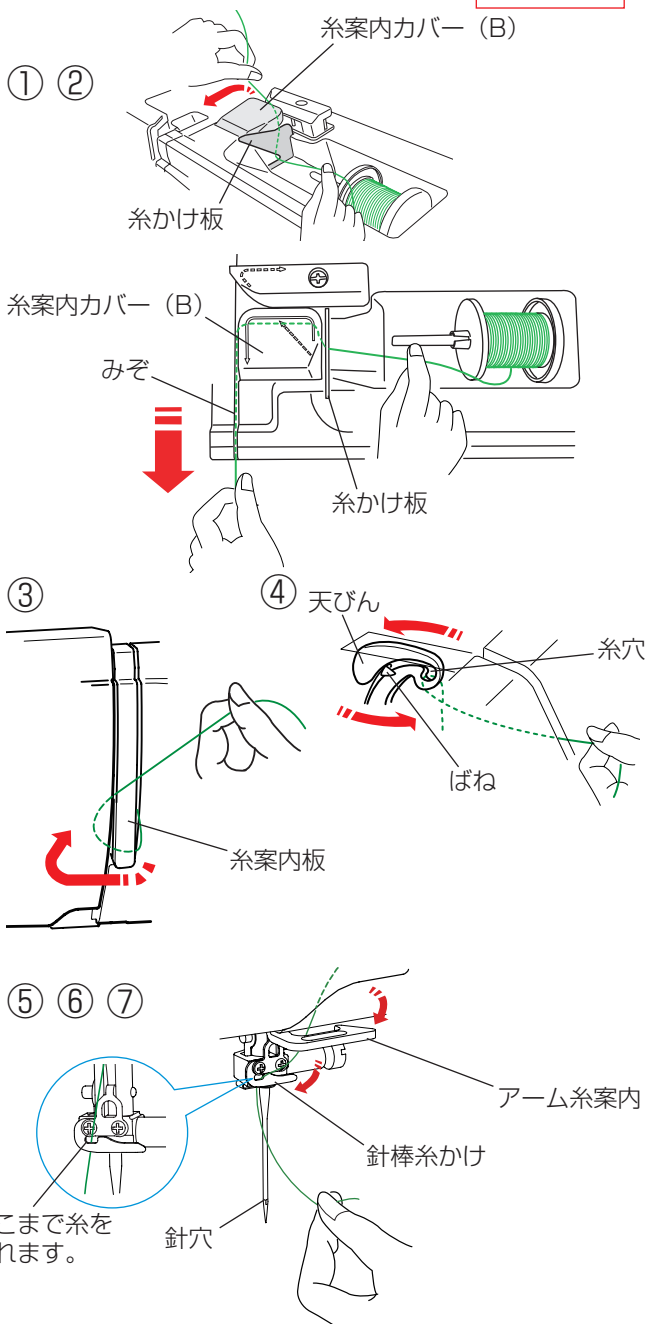
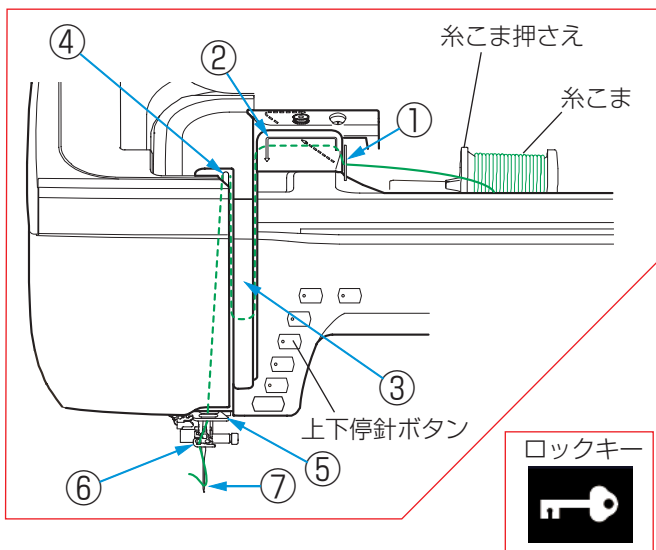
⑦ 角板を左側から合わせて取り付けます。

※ 通常は、下糸はこの状態のままぬい始めることができます。

ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要があるときは、「●下糸を針板の上に引き出す場合」(33 ページ)をご覧ください。

●上糸の準備

★上糸かけ



⚠ 注意

上糸をかけるときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

- ※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。
- ※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

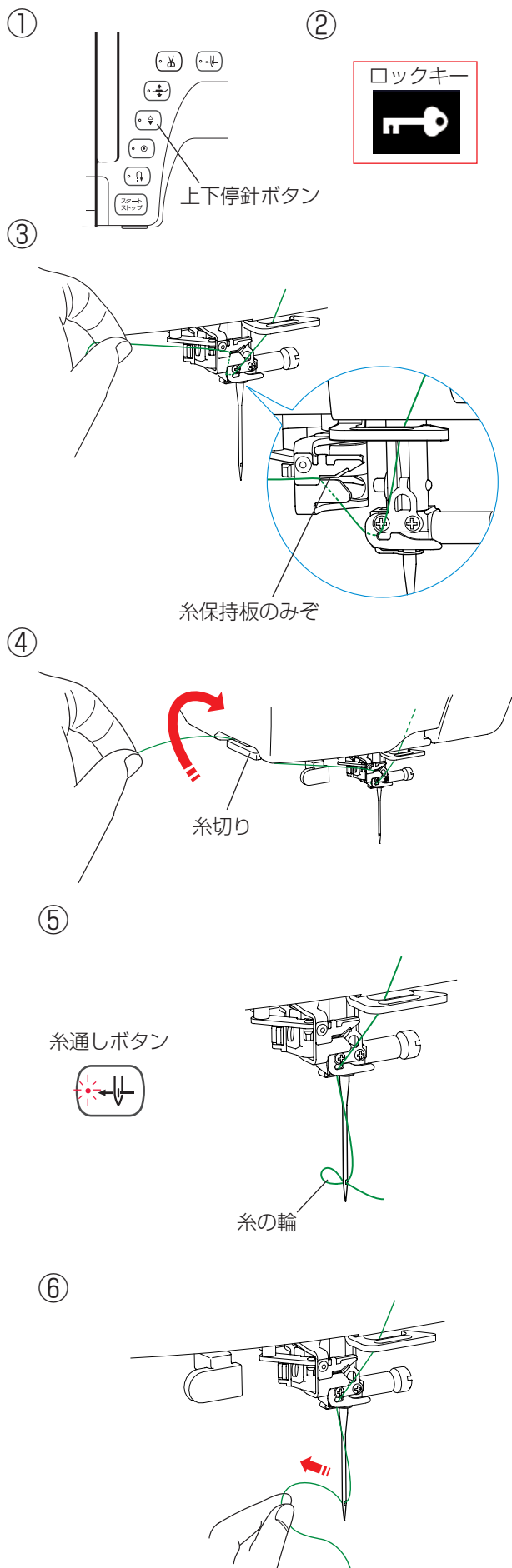
【準備】

- (1) 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンで針と天びんを上にあげます。
 - (2) ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。(押さえはさげた状態になります。)
- ※ ミシンがロック状態になっていないと、糸が正しくかけられず、ぬい不良の原因になります。
 - ※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。

【上糸かけ】

- ① 糸を両手で持ち、糸かけ板にかけます。
- ② 右手で糸こま側の糸を押さえ、糸案内カバー (B) にかけて、みぞにそって手前に引き出します。
- ③ 糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。
- ④ 天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。
- ⑤ アーム糸案内に右からかけます。
- ⑥ 針棒糸かけに右からかけます。
- ⑦ 糸通しを使って針穴に糸を通します。糸通しの使い方は 32 ページをごらんください。

★糸通し



⚠ 注意

糸通しを使うときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

※ 針は 11 番～ 16 番、糸は 50 ～ 90 番が使用できます。

※ 2 本針のときは、糸通しは使えません。

① 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンで針と天びんを上にあげます。

② ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。(押さえはさげた状態になります。)

③ 糸保持板のみぞに入れます。

④ 糸切りに糸を向こう側から手前にかけて、切ります。

⑤ 糸通しボタンを押します。

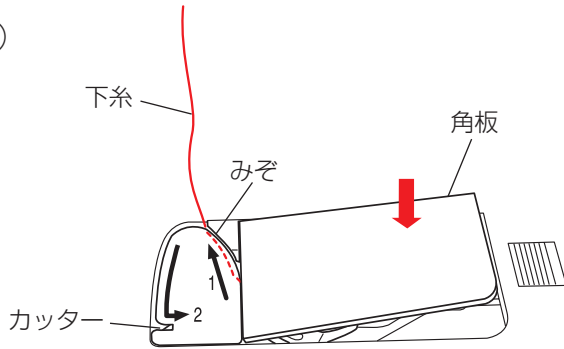
※ 自動的に糸が針穴に通る糸の輪が出ます。

※ 糸通し中はランプが点滅します。

⑥ 糸の輪を向こう側に引いて針穴から糸の端を引き出します。

●下糸を針板の上に引き出す場合

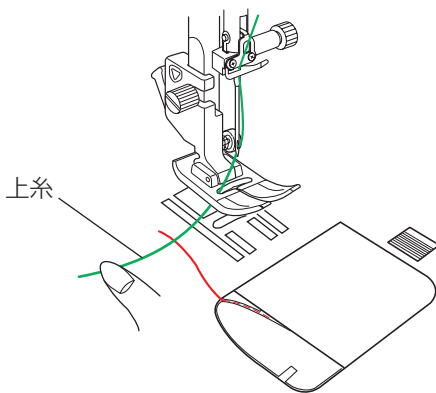
①



ギャザーやスマッキングなどをぬう場合のように、ぬい始めの下糸を長くする必要のあるときだけ、下記手順①～④の方法で下糸を針板の上に引き出してください。

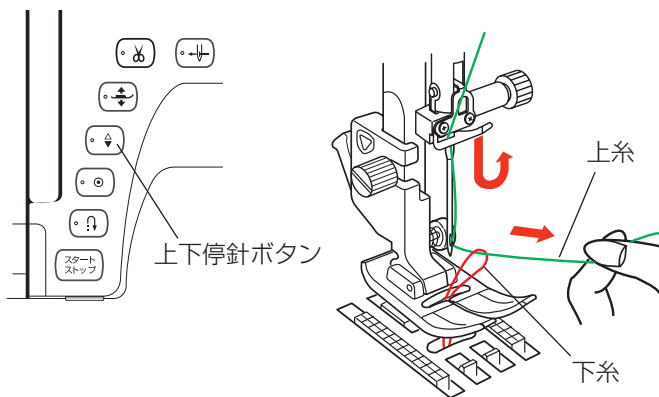
① 「●下糸の準備／★ボビンのセット」手順③～⑤（29ページ）と同じ方法で下糸を矢印1の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま10cmほど向こう側に引き出しておき、角板を取り付けます。（糸は、下側にあるカッターで切らないでください。）

②



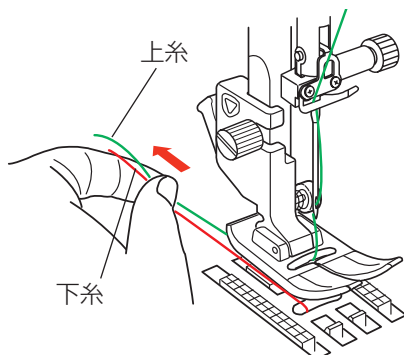
② 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえておきます。

③



③ 電源スイッチを入れ（ロック状態の場合はロック状態を解除し）、上下停針ボタンを押して針をさげ、もう一度押して針をあげます。上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。

④

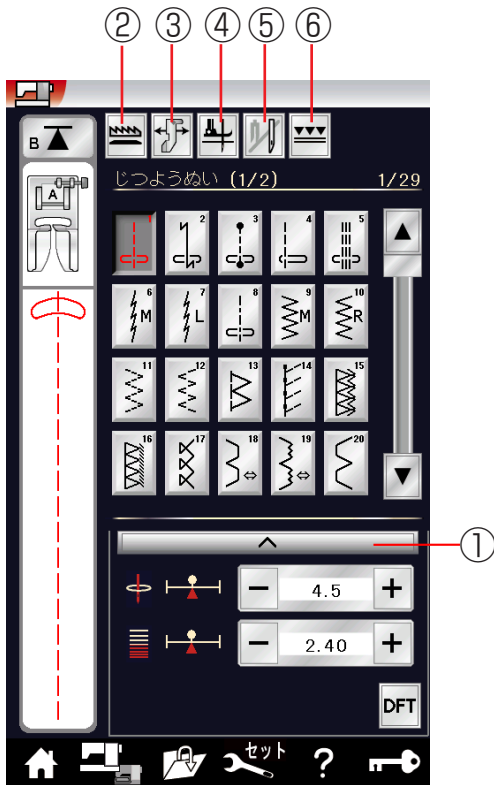


④ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

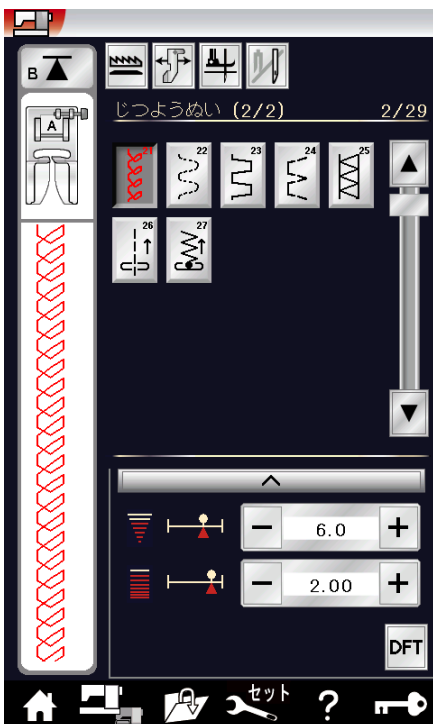
◎実用ぬい

●実用ぬいの画面

〔模様選択画面〕(1/2 ページ)



〔模様選択画面〕(2/2 ページ)



模様頭出し
キー



電源投入時はじつようぬいグループの模様選択画になります。

じつようぬいグループは、27 個の模様（模様番号 1～27）があり、2 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・設定キー・先頭キーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」(14 ページ) をごらんください。

【設定キー】

その模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

選ばれている模様によっては、グレー表示になっていて使用できない設定キーがあります。

① 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示されます。調節画面ではぬい目の幅（直線状模様の場合は針位置）、ぬい目のあかさ、糸調子の設定値を変更したり、押さえ圧の設定などを行うことができます。（35～40 ページ参照）

② 送り歯切りかえキー

特殊なぬいなどで布を送る必要がないときに、キーを押して送り歯を常時さげた状態に設定します。

③ 布ガイド設定キー

付属の布ガイドを利用するときに設定します。布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確にぬうことができます。（41 ページ参照）

④ ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。ピボットぬいを設定すると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれずにきれいにぬうことができます。

⑤ 2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、キーを押して2本針ぬいに設定します。使い方は、「◎2本針ぬい」(136 ページ) をごらんください。

⑥ 上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用して上送りぬいを行うときに、キーを押して上送りぬいに設定します。（45 ページ参照）

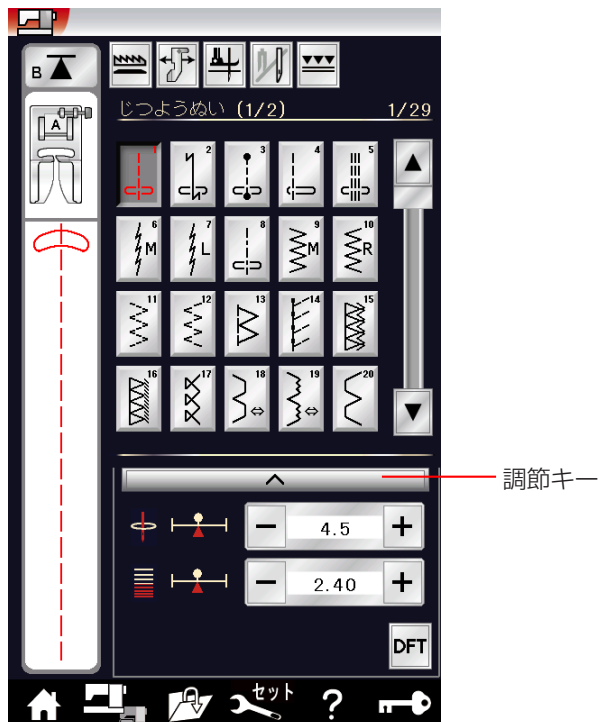
【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

使い方は、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／★模様頭出しキーの使い方」(81 ページ) をごらんください。

●実用ぬいの調節画面

〔模様選択画面〕



模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が全体表示されます。

【例】直線ぬい

① ぬい目の幅調節キー

ぬい目の幅（直線状模様の場合は針位置）をかえることができます。（36 ページ参照）

② ぬい目のあらか調節キー

ぬい目のあらかをかえることができます。（37 ページ参照）

③ 糸調子調節キー

上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。（38 ページ参照）

④ 押さえ圧調節キー

模様を選ぶと、画面にその模様の代表的なぬいに適した押さえ圧「オート」が表示されます。

布送りがスムーズでないときや、特殊なぬい方や布地の厚さによっては、数値を調節してください。

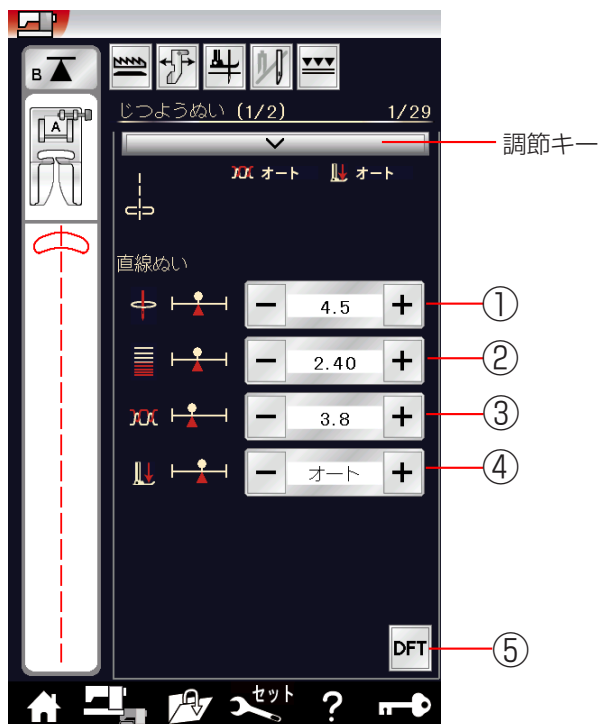
※ 一般的な押さえ圧が「オート」と表示されている場合は、普通地、厚物地は「オート+ 1 ~ + 4」薄物地や伸縮性の布地は「オート- 1 ~ - 4」の範囲で調節してください。

⑤ 初期化キー（DFT キー）

ぬい目の幅、ぬい目のあらか、糸調子、押さえ圧を変更した場合、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

※ もとの画面にもどるときは、調節キーを押してください。

〔調節画面〕

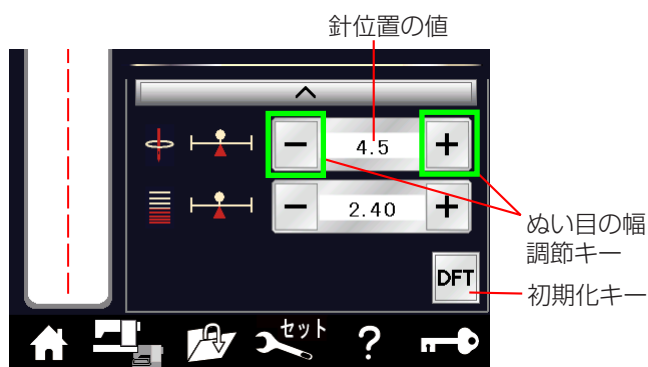


★ぬい目の幅調節キー

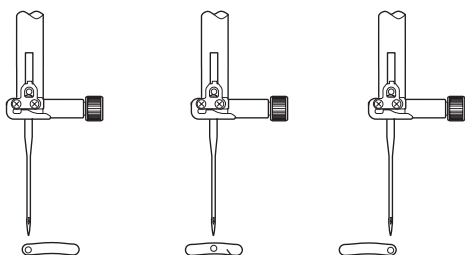
〔調節画面：模様



〕 (直線模様) の例]



針位置の値
針位置の値
針位置の値
「0.0」 「4.5」 「9.0」



針板の穴

ぬい目の幅調節キーでぬい目の幅（直線状模様の場合は、針位置）をかえることができます。

「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目の幅が広がります。

直線状模様の場合は、針が右へ移動します。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目の幅がせまくなります。

直線状模様の場合は、針が左へ移動します。

初期化キーを押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメートルで表示しています。

画面の数値は、直線状模様の場合は、左針位置からの距離の目安をミリメートルで表示しています。

左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。

〔調節画面：模様

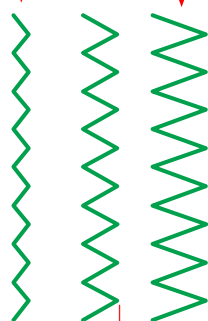


〕 (M) の例]



ぬい目の幅の値

ぬい目の幅調節キー



ぬい目の幅

ぬい目の幅の基準位置

ミシンの天板の早見板や模様選択キーに表示されている模様 などのように、ぬい目のイラストの右に書かれている「L」「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置を示します。

- 「L」が表示されている模様は、ぬい目の幅をかえたとき、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。
- 「M」が表示されている模様は、ぬい目の幅をかえたとき、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。
- 「R」が表示されている模様は、ぬい目の幅をかえたとき、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

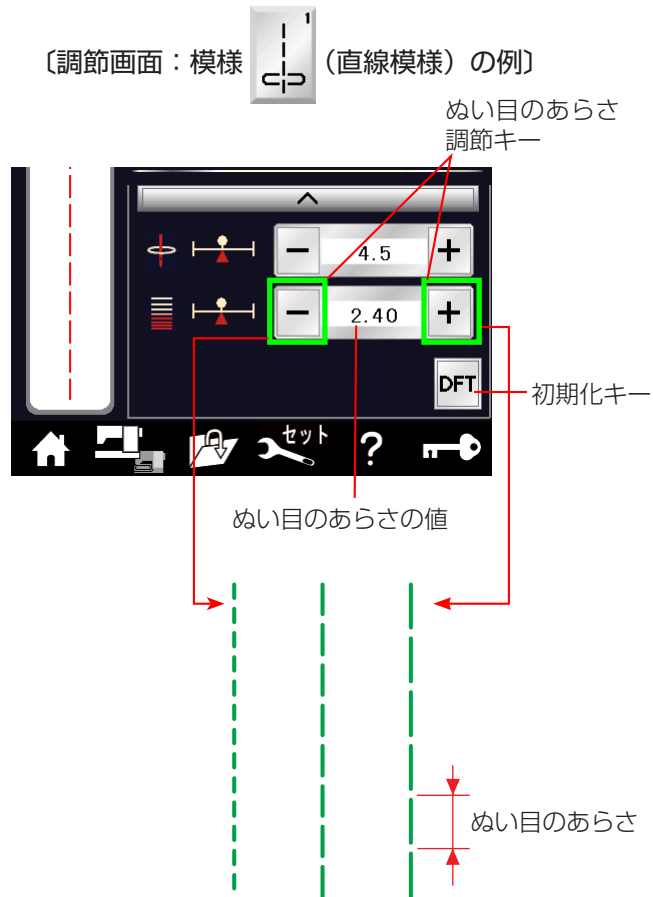
模様 の例
(中針位置基準)



模様 の例
(右針位置基準)



★ぬい目のあらか調節キー



ぬい目のあらか調節キーでぬい目のあらかをかえることができます。

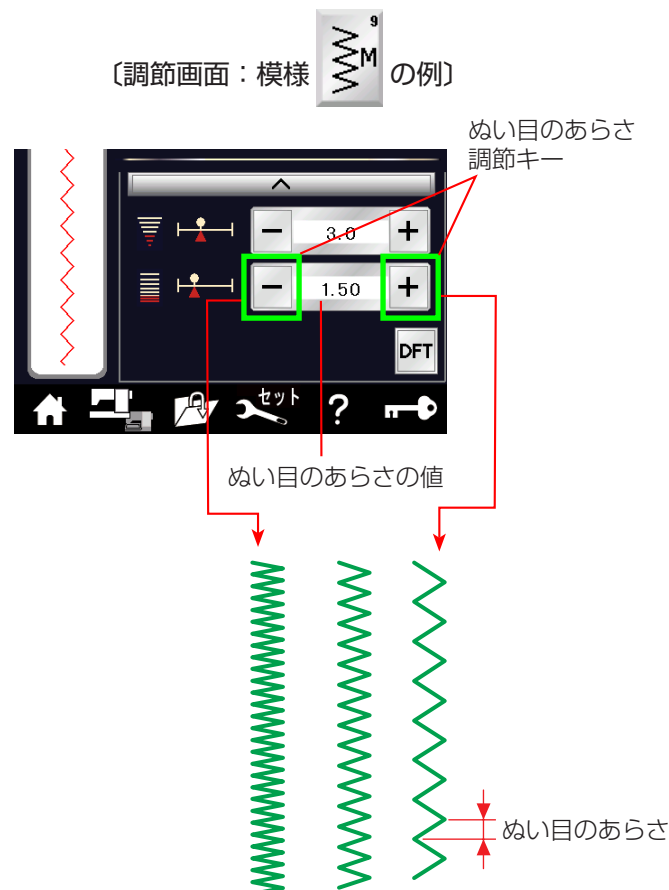
「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、ぬい目のあらかがあらくなります。

「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、ぬい目のあらかが細かくなります。

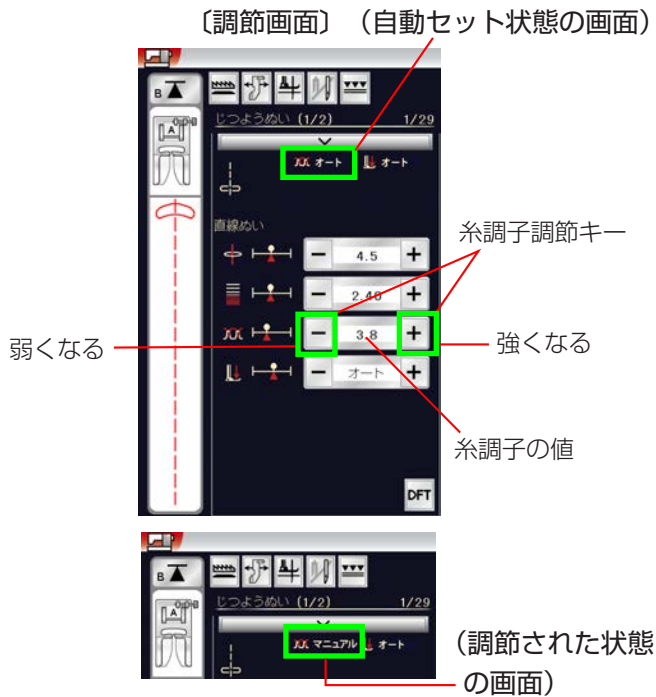
初期化キーを押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

※ ぬい目のあらかは、布や糸によりかわりますので、画面表示の数値は目安としてミリメートルで表示しています。

また、返しぬいのぬい目のあらかは、表示数値より小さくなります。



★糸調子調節キー



模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされ、上糸と下糸がバランスよくぬえます。糸や布の種類、ぬい方などによって自動セットのままでは糸調子のバランスがとれない場合は、糸調子調節キーで調節します。

※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

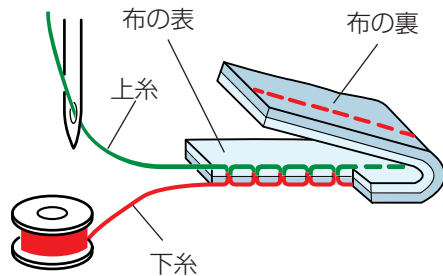
※ 画面には、糸調子が自動セット状態の場合は「オート」、糸調子調節キーで調節されている場合は「マニュアル」と表示されます。

※ 模様ごとに自動セットされる糸調子（オート値）を、すべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くしたりすることができます。

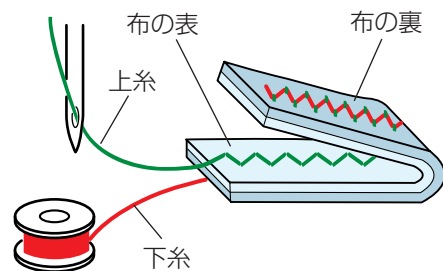
「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】①糸調子」（203ページ）をごらんください。

【バランスのとれた糸調子】

《直線ぬいの例》



《ジグザグぬいの例》

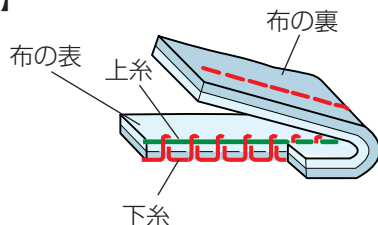


【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

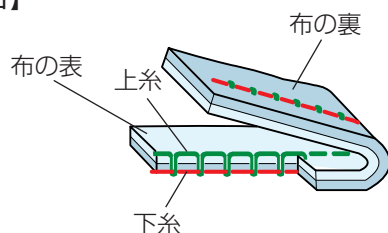
【上糸が強すぎる場合】



【上糸が強すぎる場合の調節】

上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。糸調子調節キーの「-」を押して数値を小さくします。

【上糸が弱すぎる場合】



【上糸が弱すぎる場合の調節】

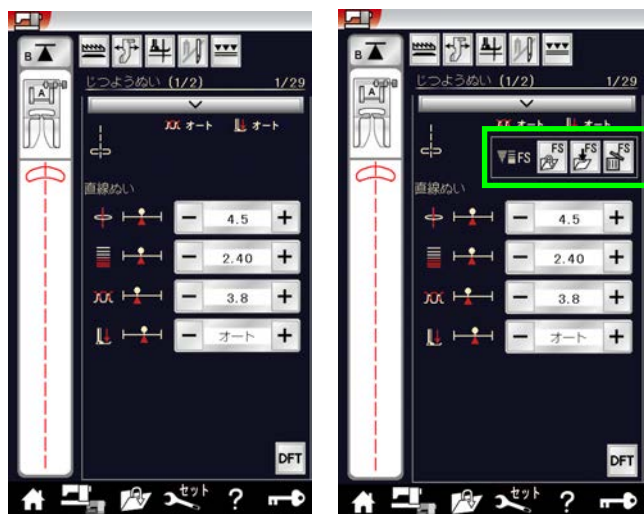
上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。上糸が布の表でたるんだり、輪になる場合もあります。糸調子調節キーの「+」を押して数値を大きくします。

★ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあかさ、糸調子のオート値の変更

①

〔調節画面〕

「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「OFF」に設定されている場合
「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」に設定されている場合



セットキーにより、通常ぬい設定の「ステッチの調整値を保存 (FS)」を「ON」に設定しておく、ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあかさ、糸調子のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）押さえ圧をお好みの値に変更して保存することができます。

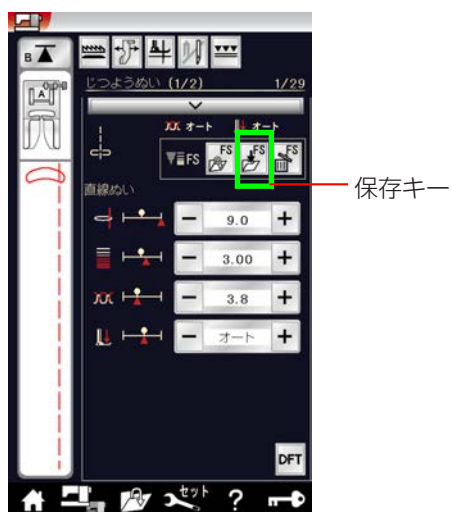
オート値をお好みの値に変更して保存しておく、その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

※ セットキーによる「ステッチの調整値を保存 (FS)」を「ON」に設定する方法は、「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑩ステッチの調整値を保存 (FS)」（206 ページ）をごらんください。

【変更したオート値の保存方法】

② ③

FS キー



① セットキーにより、「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」に設定されていると、FS キー（オート値設定キー）が表示されます。

※ 初期の状態（購入時の設定状態）は、「OFF」に設定されています。

② 調節画面の調節キーにより、設定したい項目の数値を変更します。
左図の例では、針位置を「4.5」から「9.0」、ぬい目のあかさを「2.40」から「3.00」に変更しています。

③ FS キーの保存キーを押します。

④ ウィンドウ画面の保存場所を FS1 キー、または FS2 キーを選んで押します。

※ 手順⑤の調節画面になります。

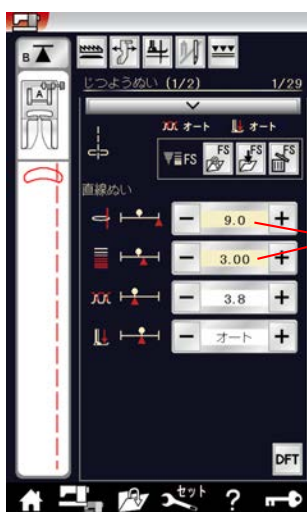
※ すでに FS1 と FS2 に保存されている場合には、FS1 キーまたは FS2 キーの押した方に上書き保存されます。

④

FS1 キー FS2 キー



⑤



⑤ 調節画面の数値を囲む枠が黄色に塗られて、針位置のオート値が「9.0」、ぬい目のあかさのオート値が「3.00」に設定されたことを示します。

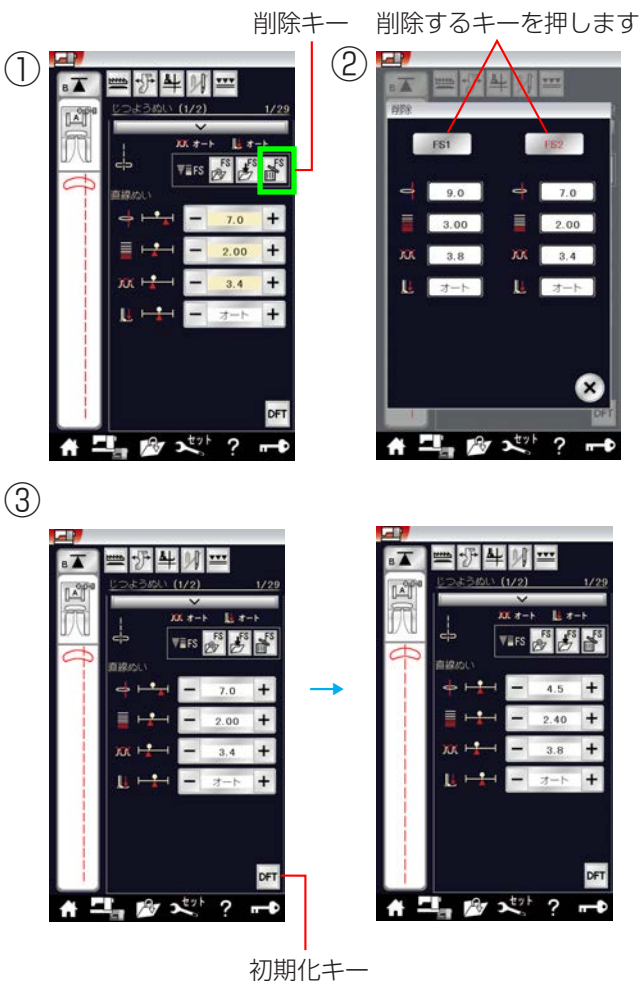
黄色に塗られて、オート値が初期の状態から変更されていることを示します。



【変更したオート値の読み込み方法】

1つの模様で2つ変更した値を保存している場合などに、FSキーの読み込みキーを押して読み込みます。

- ① 読み込みキーを押します。
- ② ウィンドウ画面の読み込みで、赤文字表示が現在表示している値なので、黒文字のFS2キーを押して読み込みます。
- ③ FS2に保存した値が表示されます。



【変更したオート値の削除方法】

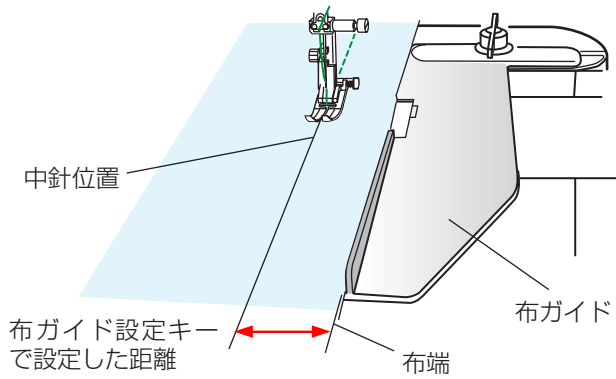
保存した調整値を削除する場合は、次の要領で行います。

- ① FSキーの削除キーを押します。
 - ② ウィンドウ画面の削除で削除する調整値FS2キーを押します。
 - ③ 調節画面に切りかわり、FS2の数値を囲む黄色枠が消えます。
- ※ 調整値をオート値のもどす場合は、初期化キー（DFTキー）を押します。

【変更したオート値の一括削除方法】

※ 変更した全模様のオート値を一括して初期の状態（購入時の設定状態）にもどす方法は、【◎ミシンの設定 / 【通常ぬい設定】⑩ステッチの調整値を保存 (FS)】(206ページ) をご覧ください。

★布ガイド設定キー



布ガイドを利用するときに設定します。

布ガイドを利用すると布端からお好みの位置に正確にぬうことができます。

※ 布ガイドを設定すると、ミシンに取り付けた刺しゅうユニットのキャリッジがミシンの左外側に移動して突き出ます。(最大約 22cm)

まわりにぶつかる物がないように注意してください。

【布ガイドの取り付け方】

ミシンの電源スイッチを切り、ミシンに刺しゅうユニットを取り付けます。

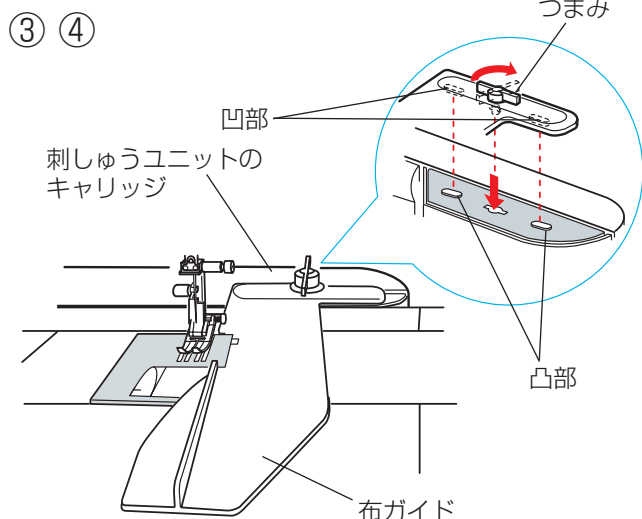
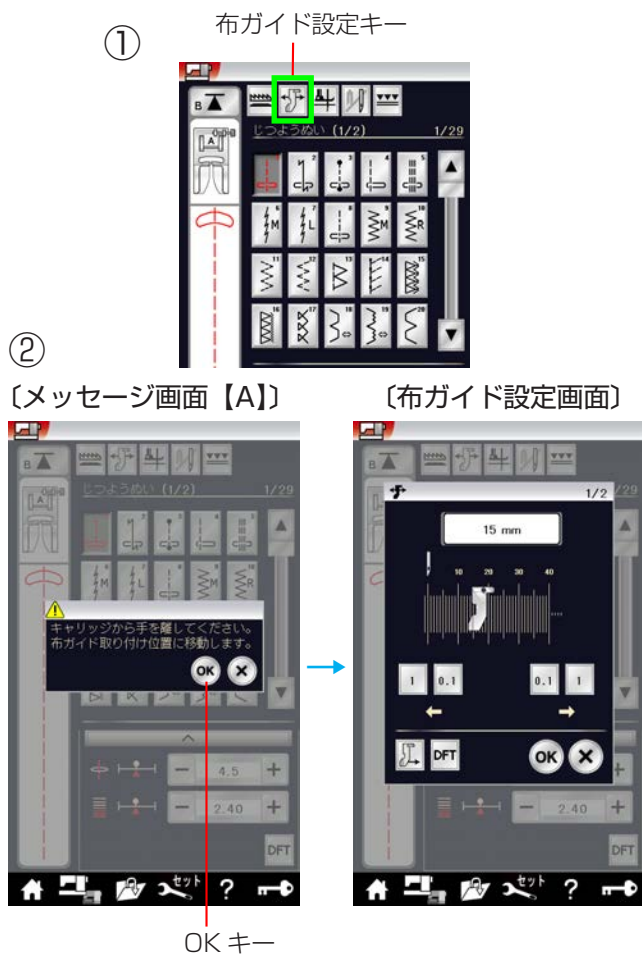
※ 刺しゅうユニットの取り付け方は、「◎刺しゅう／●刺しゅうの準備／★刺しゅうユニットの取り付け方」(138 ページ) をご覧ください。

① ミシンの電源スイッチを入れ、布ガイド設定キーを押します。

メッセージ画面【A】が表示されます。

② メッセージ画面【A】の OK キーを押します。

キャリッジが左に移動し、布ガイド設定画面が表示されます。



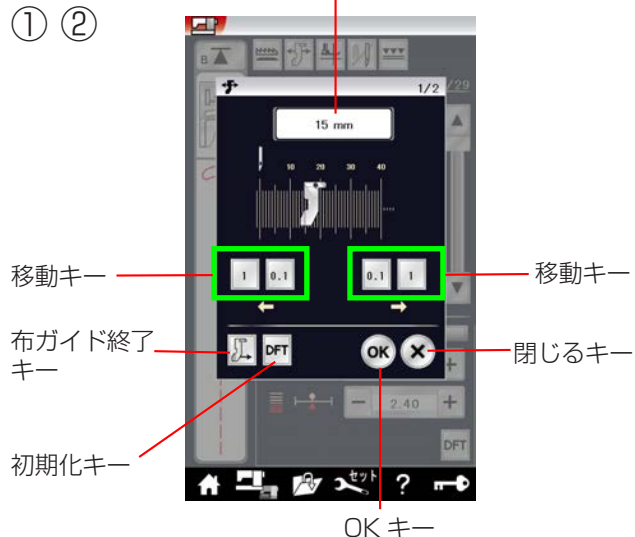
③ 布ガイドのつまみを横に向け、布ガイドの凹部をキャリッジの凸部に合わせて差し込みます。

④ つまみを右方向にまわして縦に向け、布ガイドを固定します。

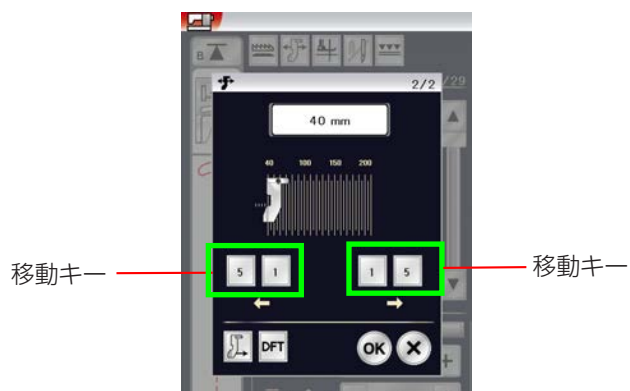
〔布ガイド設定画面〕

布ガイドの位置（中針位置からの距離）

① ②



〔40mm 以上の設定画面例〕



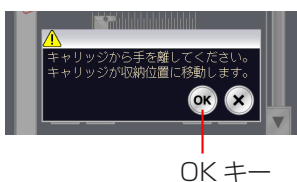
〔布ガイド設定画面〕

①



②

〔メッセージ画面〕



【布ガイドの設定方法】

※ 布ガイド位置のオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）は、15mmに設定されています。

① 移動キーで布ガイドの位置（中針位置からの距離）を変更します。

※ 移動キーは、40mmの位置までは0.1mmと1mm単位、40mm以上は1mmと5mm単位で変更できます。

※ 閉じるキーを押すと、布ガイドの位置が変更されないで模様選択画面にもどります。

② OKキーを押します。

変更した値が確定されて模様選択画面にもどり、設定した布ガイドの位置でぬうことができます。

※ 設定値をオート値にもどす場合は、布ガイド設定画面の初期化キーを押してOKキーを押します。

※ 布ガイドの位置を示す数値に対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する（少しずらす）ことができます。

また、【布ガイドの取り付け方】手順③でOKキーを押したときに移動する位置をオート値（15mm）ではなく、前回最後に使用した位置にすることができます。

「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】⑨布ガイドの初期位置調整、⑩布ガイドの位置記憶」（205ページ）をごらんください。

【布ガイドの終了方法】

① 布ガイド設定画面の布ガイド収納キーを押します。メッセージ画面が表示されます。


② メッセージ画面のOKキーを押します。キャリアッジが右に移動し、刺しゅうユニット着脱位置にもどります。


③ 電源スイッチを切り、刺しゅうユニットから布ガイドを取り外し、ミシンから刺しゅうユニットを取り外します。

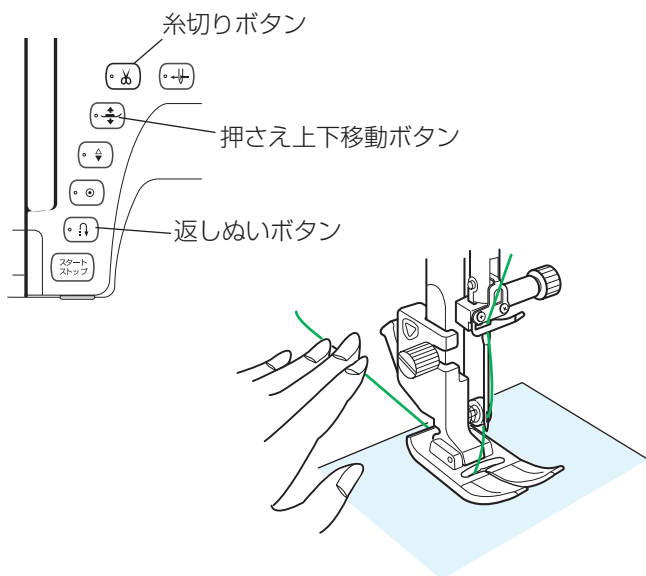
※ 刺しゅうユニットの取り外し方は、「◎刺しゅう／●刺しゅうの準備／★刺しゅうユニットの取り外し方」（140ページ）をごらんください。

●直線（直線状模様）ぬい

★直線ぬい（中針位置）

① 模様..... (1) 

② 押さえ.....A：基本押さえ 



【ぬい始め】

- ① 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。
- ② 押さえ上下移動ボタンで押さをさげ、ミシンをスタートし、ぬいます。

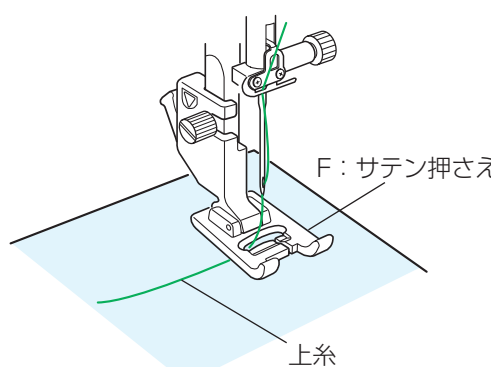
※ 下糸（ボビン）をセットした直後および糸切りボタンを使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸は針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

ぬい始めの糸の引き出し方

通常は、ぬい始めの上糸は押さえの向こう側に引き出して、押さえで押さえます。

ただし、F：サテン押さえ、F2：クラフトF押さえやR：ボタンホール押さえなどのように、押さえの向こう側（うしろ側）の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえは、ぬい始めの糸は横方向に引き出して押さえてください。

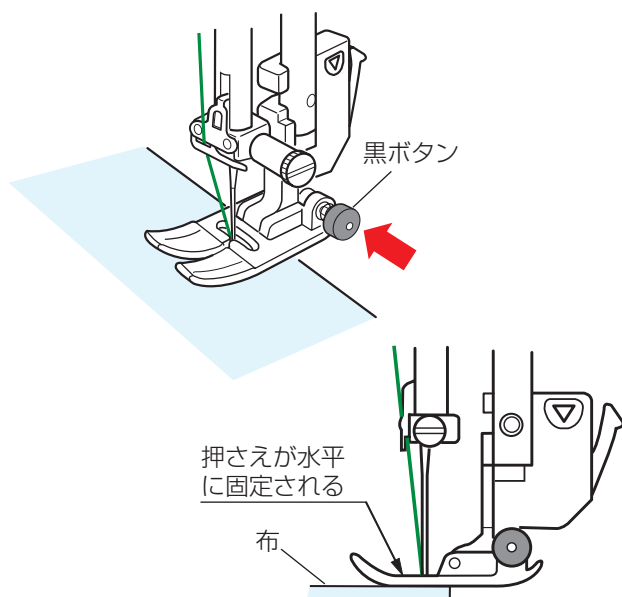


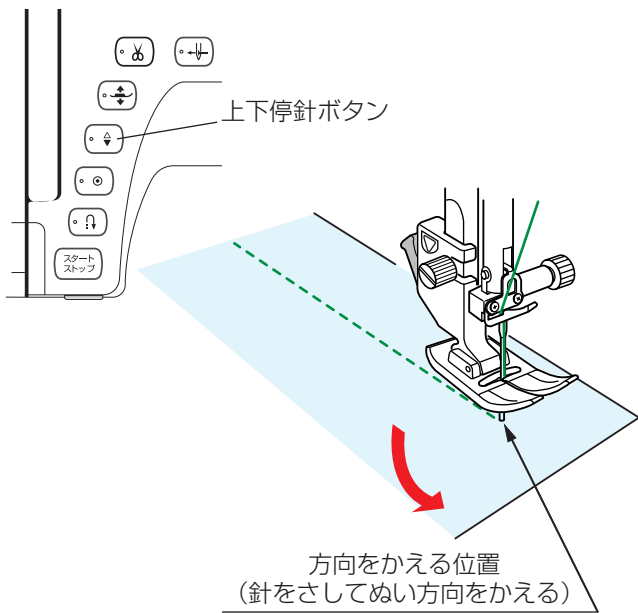
【厚手の布端のぬい始め】

- ① 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえの黒ボタンを押し込みます。
- ② 黒ボタンを押したまま押さえ上下移動ボタンを押して押さをさげます。
- ③ 黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

※ 黒ボタンを押した状態で押さをさげると押さえが水平に固定され、段部をスムーズにぬい始めることができます。

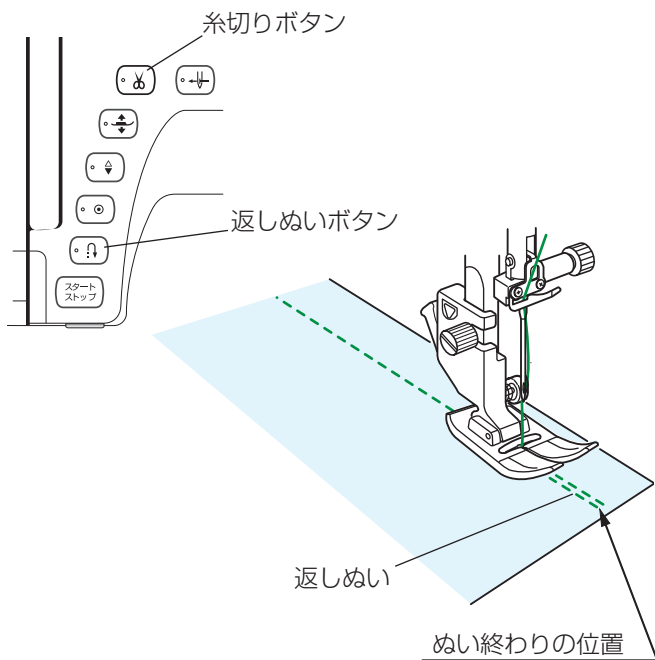
ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。







【ぬい方向の変更】

- ① 布の方向をかえる位置まできたらミシンを停止します。
- ② 布に針がささっていない場合は、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上下移動ボタンで押さえをあげます。
- ※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。
- ③ 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動ボタンで押さえをさげてぬい始めます。
- ※ ぬい位置がずれずにきれいにぬうことができます。
- ※ ミシンを停止したとき、常に自動的に針が布にささり、押さえがあがった状態になるピボットぬいを設定することができます。ピボットぬいは「●実用ぬいの画面 / 【設定キー】 / ④ピボットぬい設定キー」(34 ページ) をごらんください。



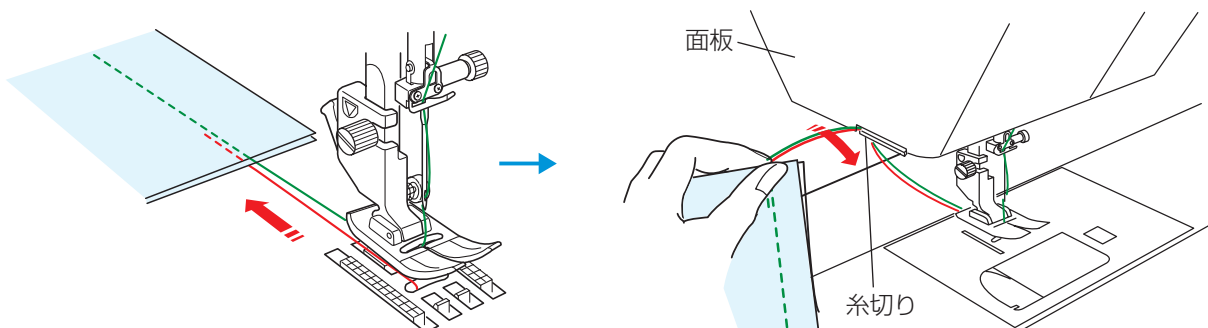
【ぬい終わり】

- ① ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。
- ② 糸切りボタンを押して糸を切ります。
- ※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタンを押すと針と押さえは上の位置に移動します。
- ③ 布を向こう側に引き出します。
- ※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う自動返しぬい模様  と自動止めぬい模様  があります。
- 「★自動返しぬい」「★自動止めぬい」(46 ページ) をごらんください。

面板の糸切りの使い方

30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。

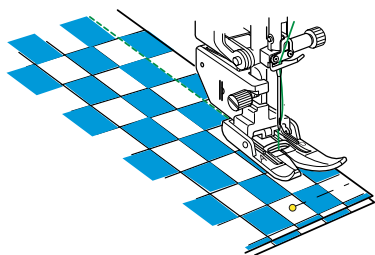
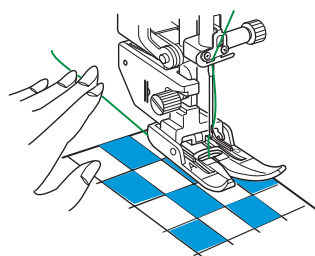
針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。



★上送り押さえの使い方



閉じるキー






上布と下布ですれやすい布地や皮など送りにくい布地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうことができます。

上送り押さえが使用できる模様は、早見板に表示されている赤い表示の模様です。

【準備】

- ① 上送りぬい切りかえキーを押します。
※ メッセージ画面が表示されますので、閉じるキーを押して、上送り押さえホルダーと AD: 上送り基本押さえを取り付けてください。
- ② 上送り押さえホルダーを取り付けます。
※ 上送り押さえホルダーの取り付け方は、「◎操作方法 / ●上送り押さへのセット方法」(20～21 ページ)をごらんください。

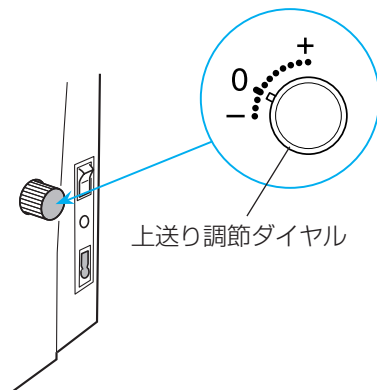
※ 上送りぬいに設定されているあいだ、模様 、、キルトグループ模様  以外の模様は選ぶことができません。

※ 上送りぬいを解除する場合は、上送りぬい切りかえキーを押してください。

【ぬい方】

上糸を押さえの下に通して向こう側に引き出し、ぬい始めます。

※ しま地や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の端と最初のしまをぬい目のはじめのところで注意深くそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。



上送り調節ダイヤル

上布と下布がずれる場合

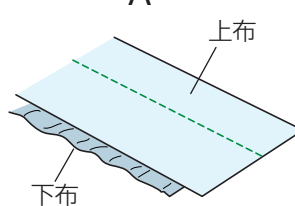
上布と下布ですれる場合は、上送り調節ダイヤルをまわして調節します。

A 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「+」方向にまわします。

B 図のようにずれる場合は、上送り調節ダイヤルを「-」方向にまわします。

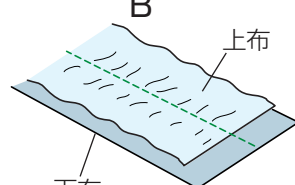
※ 上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルの位置を「0」の位置にもどしてください。

A



上布
下布

B

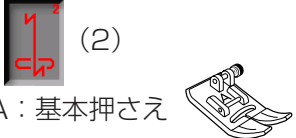
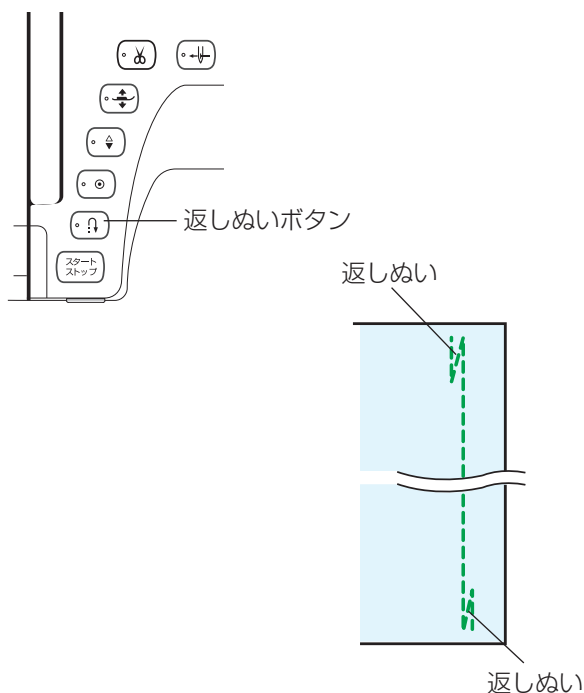


上布
下布

★自動返しぬい

① 模様..... (2)

② 押さえ.....A：基本押さえ

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め（返しぬい）を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

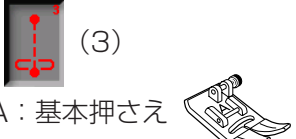
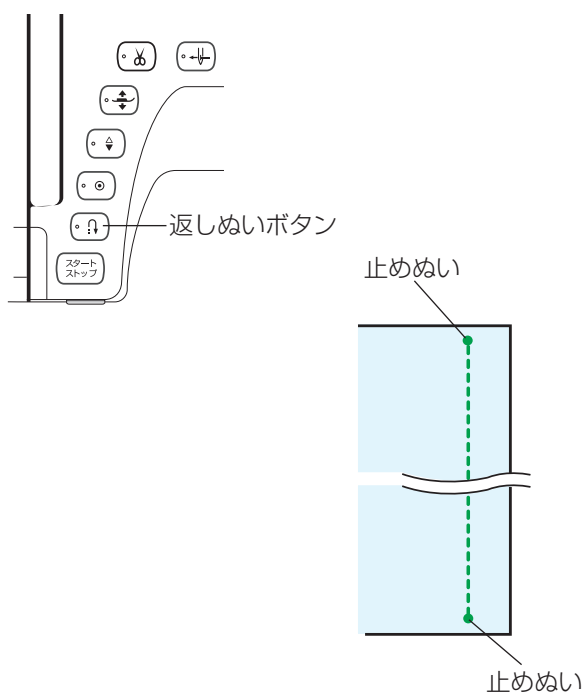
【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーを踏むと、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。運転したままボタンを押した場合は、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

★自動止めぬい

① 模様..... (3)

② 押さえ.....A：基本押さえ

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（止めぬい）を自動的に行うときに使います。

【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。


【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

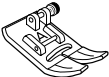
ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

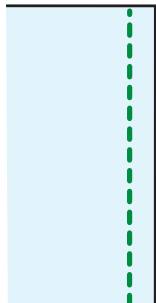
【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーを踏むと、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。運転したままボタンを押した場合は、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

★直線ぬい（左針位置）


① 模様.....  (4)

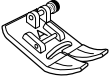
② 押さえ.....A：基本押さえ 

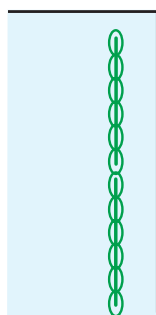


端ぬいや、薄物ぬいに使います。

★三重ぬい


① 模様.....  (5)

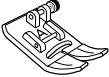
② 押さえ.....A：基本押さえ 

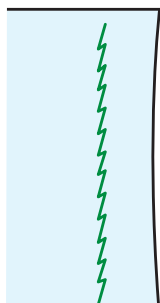


丈夫なぬい目で、厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場所に使います。

★伸縮ぬい（ニットステッチ）

① 模様.....  (7)



② 押さえ.....A：基本押さえ 





布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、ニット地のぬい合わせなどに使います。

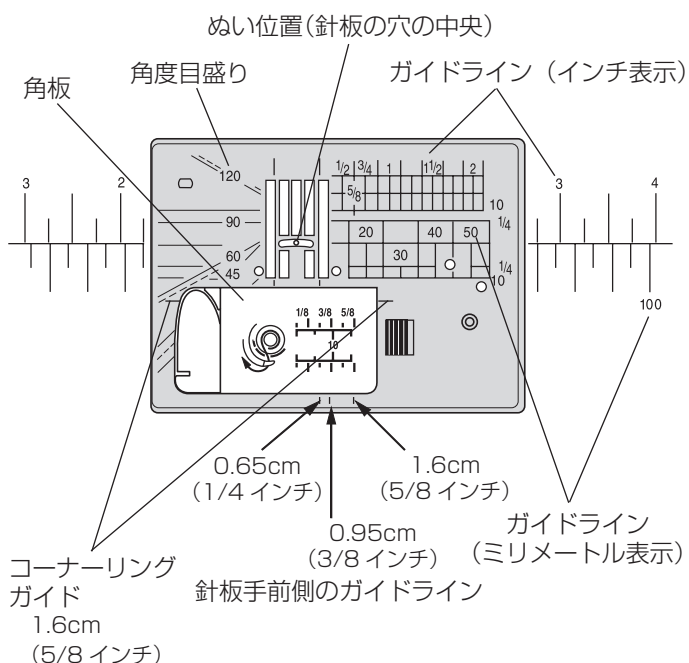
※ 通常は、模様  を使用してください。

模様  は、厚い布に使用できます。

※ 模様   の場合、調節画面のぬい目の幅調節キーでの調節は、他の直線状模様と異なり、ぬい位置（針位置）ではなく、ぬい目の幅の調節になります。

※ 模様   のぬい目のイラストの右に書かれている「M」「L」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。ぬい目の幅の基準位置は、「●実用ぬいの調節画面／★ぬい目の幅調節キー／〔ぬい目の幅の基準位置〕欄」（36 ページ）をごらんください。

★針板ガイドの使い方



針板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドがいろいろ表示されています。

【ガイドライン】

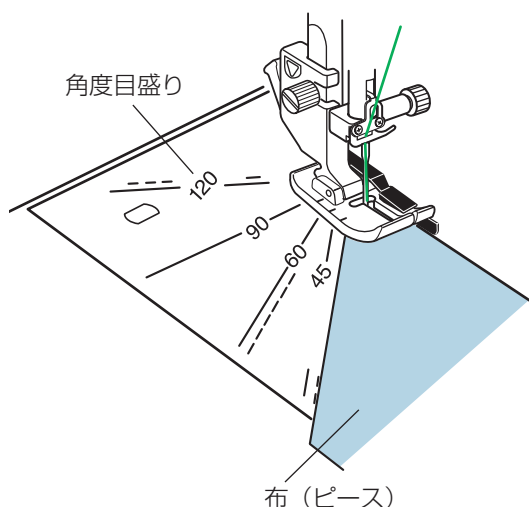
布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から正確な位置にぬうことができます。ガイドラインの数字は、ぬい位置（針板の穴の中央）からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

※ ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表示されています。

【角度目盛り】

角度目盛りは、パッチワークのピース作りに使うと便利です。パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいしろ 0.65cm（1/4インチ）のぬい始めの位置を決めることができます。

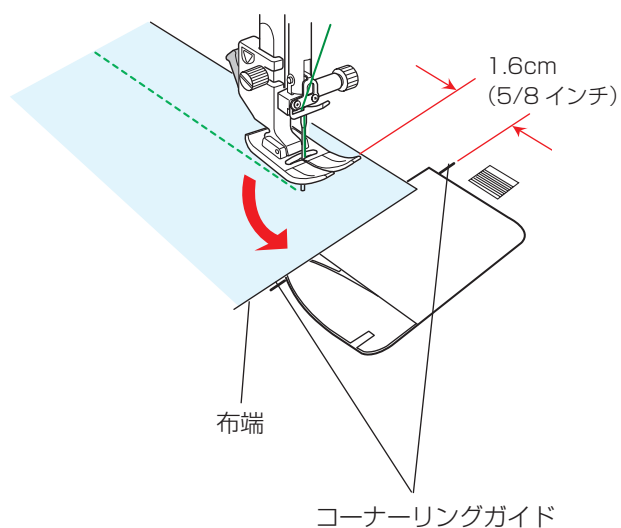
※ 使い方は、「◎用途選択／●パッチワーク／〔針板角度目盛りの使い方〕欄」（118ページ）をごらんください。



【コーナーリングガイド】

布端から 1.6cm（5/8インチ）のところまで直角にぬい方向をかえるときに利用します。ぬい方向をかえたあと布端から 1.6cm（5/8インチ）の位置にぬうことができます。

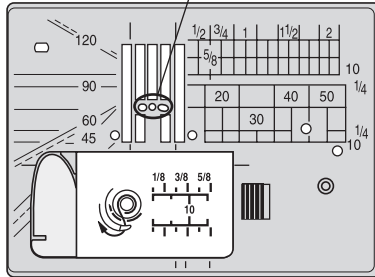
- ① 布端がコーナーリングガイドのところきたらミシンを停止します。
- ② 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタンで押さえをあげ、布を直角に回転させます。布端が針板右側のガイドライン 1.6cm（5/8インチ）の位置に合います。
- ③ 押さえ上下移動ボタンで押さえを下げ、ミシンをスタートさせます。



★直線ぬい用針板の使い方

〔直線ぬい用針板〕

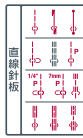
直線ぬい用針板は、針の入る場所が3個の丸穴になっています。



針板の穴の小さい「直線ぬい用針板」を使用すると、針が布にささるときのばたつきがおさえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

直線ぬいの場合、模様  を選び、直線ぬい用針板でぬうことをおすすめします。

※ 針板の交換方法は、「◎操作方法／●針板の外し方、付け方」(23 ページ) をごらんください。

※ ミシンの早見板の模様  は、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。

〔メッセージ画面〕

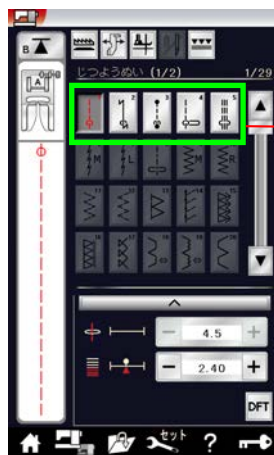


閉じるキー

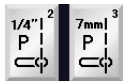
ロックキーを使用してロック状態で直線ぬい用針板に交換すると、メッセージ画面が表示されます。正しい押さえが取り付けられているか確認してください。メッセージ画面の閉じるキーを押し、ロックキーを押してロック状態を解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。

※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループ、キルトグループおよび用途選択グループの一部の模様しか選択できません。選択できない模様は、模様選択キーの色がグレーになっています。用途選択グループは、「◎用途選択」(97 ページ) をごらんください。

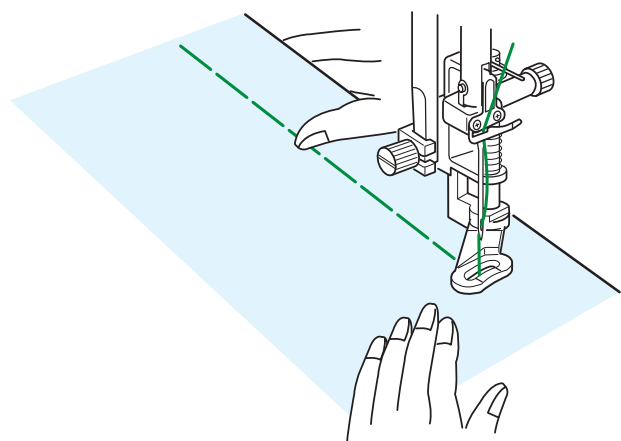
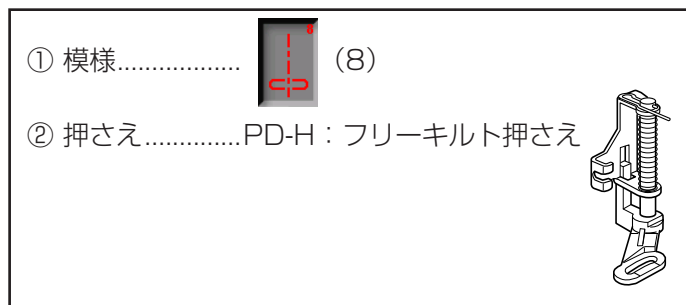
〔模様選択画面〕



直線ぬい用針板でぬうことができる模様

※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだ、キルトグループの  以外は調節画面のぬい目の幅調節キーで針位置を変更することはできません。

●しつけぬい



しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送られずに、1針ぬって停止します。(フットコントローラーの場合も、踏み続けていても1針ぬって停止します。)

ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

お好みの間かくを、1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

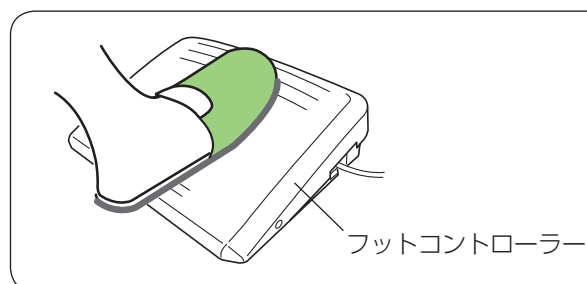
押さえホルダーを外し、PD-H: フリーキルト押さえを取り付けます。

※ 押さえホルダーの外し方は、「◎操作方法／●押さえホルダーの外し方、付け方」(20 ページ)、● PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方」(22 ページ)を ご覧ください。

【ぬい方】

押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。

1針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。






フットコントローラーの利用

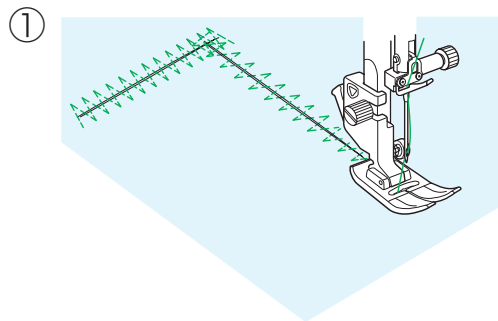
しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手が使えて便利です。

※ フットコントローラーは、モデルによりオプションになります。

●つくろいぬい

① 模様.....  (11) または  (12)

② 押さえ.....A：基本押さえ 

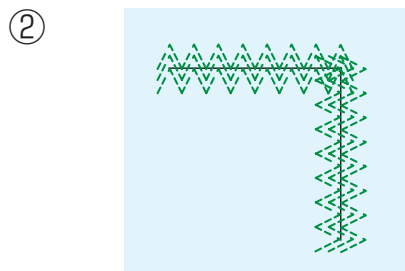


ほつれている部分のぬい合わせをします。

① ほつれた部分の布端をつき合わせてぬいます。


② はじめにぬったぬい目の両側をぬいます。


※ ほつれ具合によって、裏側から別布をあててぬいます。

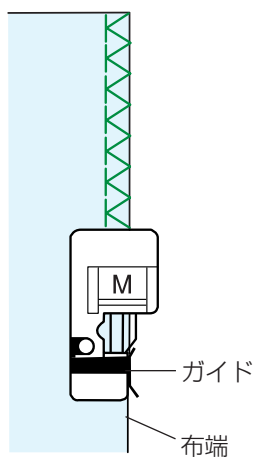


●かがりぬい

★かがりぬい 1

① 模様.....  (13)

② 押さえ.....M：縁かがり押さえ 



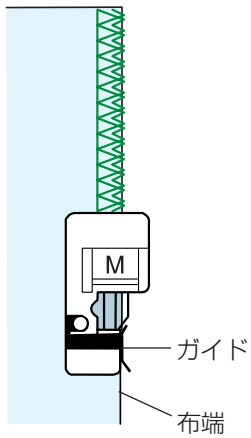
普通地、平織り 2 枚に適しています。

地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

★かがりぬい2

- ① 模様..... (15)
- ② 押さえ.....M：縁かがり押さえ

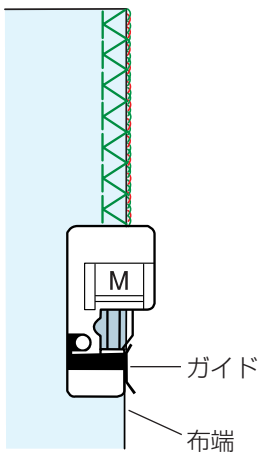


普通の布や厚い布およびほつれやすい布の布端をかがる
ときに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

★かがりぬい3


- ① 模様..... (16)
- ② 押さえ.....M：縁かがり押さえ


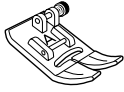


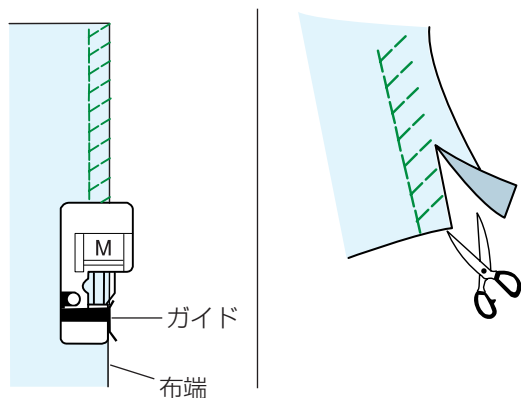
オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやす
い布地のかがりぬいに使います。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

★ニットステッチ (1)

① 模様.....  (14)

② 押さえ..... M: 縁かがり押さえ  A: 基本押さえ 



伸縮性布地（ニット地など）のかがりぬいに使います。

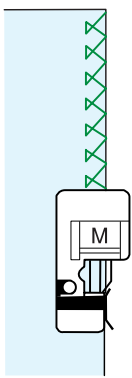
縁かがり押さえを使用する場合は、布端を押さえのガイドにあててぬいます。

基本押さえを使用する場合は、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

★ニットステッチ (2)

① 模様.....  (17)

② 押さえ..... M: 縁かがり押さえ 

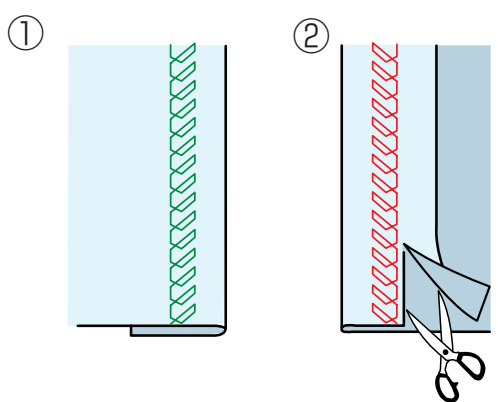


ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに使います。

★ニットステッチ (3)

① 模様.....  (21)


② 押さえ..... A: 基本押さえ 

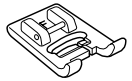


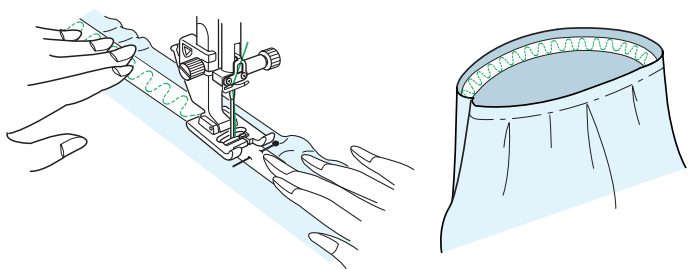
① ふちを折り曲げ、布の折り目にそってぬいます。

② 布の裏側の余分なところを、ぬい目近くで切り落とします。

●ゴムひも付け

① 模様.....  (22)



② 押さえ..... F：サテン押さえ 




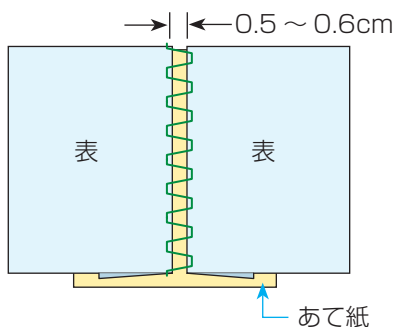
布の裏側にまち針でゴムひもを等間かくに数カ所止めます。(ゴムひもは、伸ばした状態で等間かくに止めます。)

ゴムひもを布と同じ長さに両手で伸ばしながら、ゴムひもの上をぬいます。

●ファゴティング

① 模様.....  (23) または  (25)

② 押さえ..... A：基本押さえ 





① 布端と布端の間かくを 0.5 ~ 0.6cm あけて、下にあて紙を置きます。

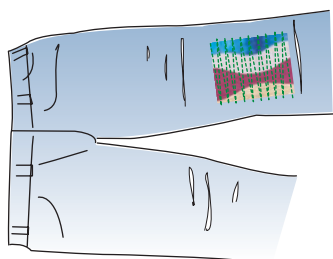
② 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。

③ あて紙を取ります。

●バック直線ぬい・バックジグザグぬい





① 模様.....  (26) または  (27)

② 押さえ..... A：基本押さえ 







直線ぬいやジグザグぬいを通常の布の進む方向と逆方向にぬう(バックぬい)模様です。

布を回転しにくいときの繰り返しの往復ぬいに便利です。また、返しぬいボタンを押す必要がないため、両手を使って布を案内することができます。

模様  または  で必要なところまでぬい、模様  または  を選んで、もどる方向をぬいます。

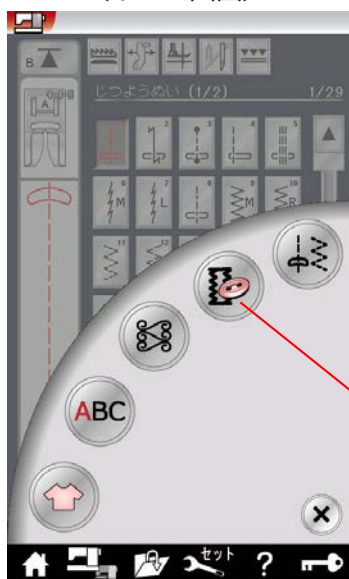
●その他の実用ぬい

模様   (まつりぬい) および模様   (シェルタック) のぬい方は、「◎用途選択」(102、104 ページ) をごらんください。

◎ボタンホール・特殊模様

●ボタンホール・特殊模様の画面

〔ホーム画面〕

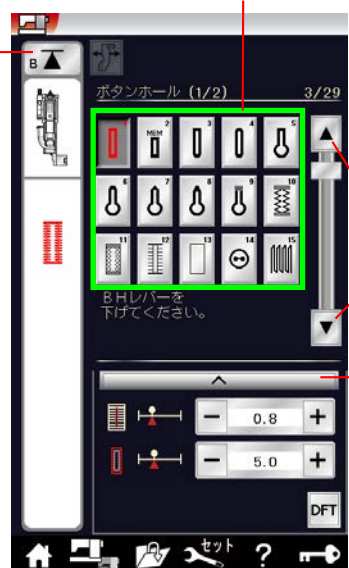


ボタンホール
キー

〔模様選択画面〕 (1/2 ページ)

模様選択キー

模様頭出し
キー



ページキー

調節キー

〔模様選択画面〕 (2/2 ページ)



ホーム画面のボタンホールキーを押すと、ボタンホールおよび特殊模様グループの模様選択画面になります。ボタンホールおよび特殊模様グループは、25 個の模様（模様番号 1～25）があり、2 つの画面（ページ）に分かれていて、ページキーで選択できます。


ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選択キーや調節キーなどのキーの他に、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」(14～15 ページ)をごらんください。














※ 調節キーを押すと、調節画面になります。調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(35 ページ)をごらんください。特殊な使い方については、このあとのそれぞれの模様の項の説明をごらんください。


※ ボタンホール、特殊模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 模様頭出しキーの使い方は、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／★模様頭出しキーの使い方」(81 ページ)をごらんください。

※ 模様  のぬい方は、「◎用途選択／●ボタン付け」(112～114 ページ)をごらんください。

●ボタンホールの種類と用途

	スクエアボタンホール	普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボタンホールです。
	メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)	自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。 2.5cm 以上の長いボタンホールをぬうことができます。
	片ラウンドボタンホール	薄い布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。
	両ラウンドボタンホール	薄い布に使います。薄手のブラウスでよく使われます。
	キーホールボタンホール	普通の布から厚い布に使われる一般的なボタンホールです。 大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。
	ラウンドキーホール ボタンホール	
	キーホールボタンホール (テラーメイド)	
	キーホールボタンホール	模様 5～6 と同じキーホールボタンホールですが、片方の口を補強したボタンホールです。
	キーホールボタンホール	
	ニットボタンホール	
	ニットボタンホール	伸縮性のある布に適したボタンホールです。 そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使われます。 ※ 模様 12 は薄い布用です。
	ニットボタンホール	
	たまぶちボタンホール	

模様  (メモリーボタンホール) を除くボタンホールは、R：ボタンホール押さえにボタンをセットするだけで自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえのボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)


※ ボタンの直径が 1.0～2.5cm までのボタンホールができます。

※ ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

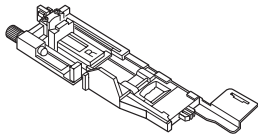
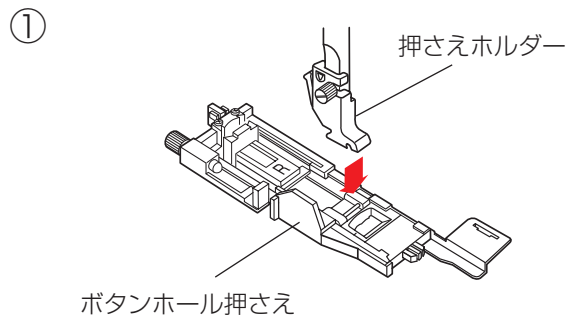
ボタンホールの注意事項

- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- 厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。
- 使用する布のはぎれなどで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク（しるし）を付けてください。

●スクエアボタンホール

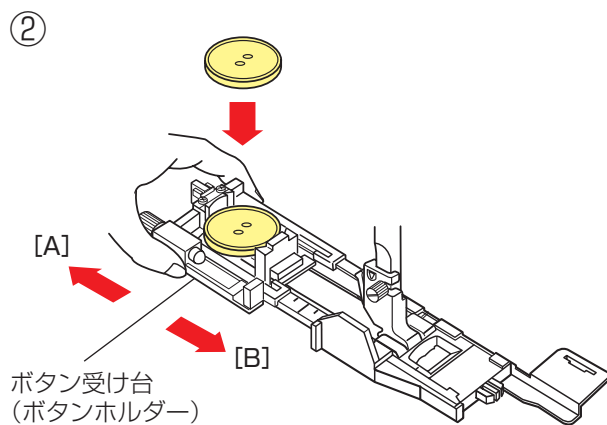
① 模様.....  (1)

② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ

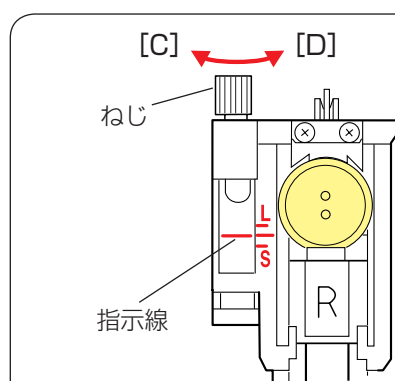



① ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。

※ 押さえの取り付け方は、「◎操作方法／●押さえの外し方、付け方」(19 ページ) をごらんください。



② ボタンホール押さえのボタン受け台(ボタンホルダー)を [A] 方向へ引き、ボタンをのせて [B] 方向にもどしてはさみ込みます。

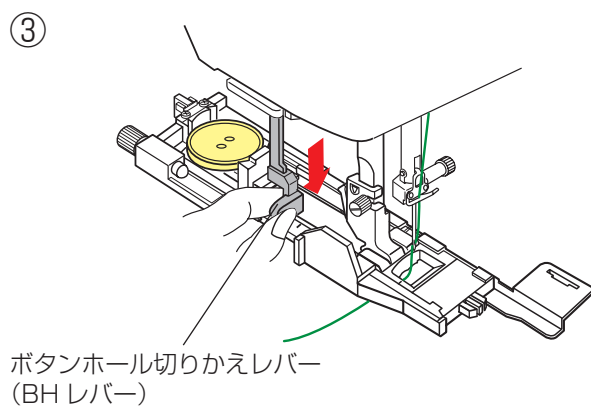


ボタンホール長さの微調節方法

ボタンホールを少し長めにぬいたいときは、ねじを [C] 方向にまわして指示線を「L」側にします。

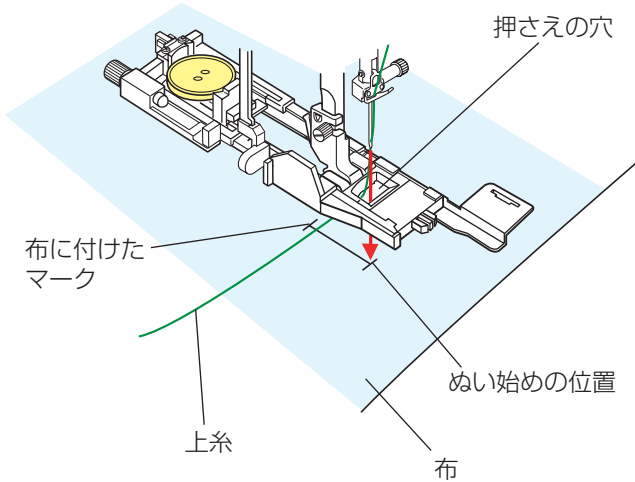
ボタンホールを少し短かめにぬいたいときは、ねじを [D] 方向にまわして指示線を「S」側にします。

※ ぬい終わったあとはねじをもとの位置(指示線を目盛りの中央の位置)にもどしてください。



③ ボタンホール切りかえレバー (BHレバー) を止まるまでいっぱい引き上げます。

④

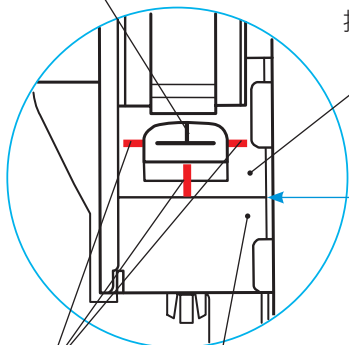


④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出します。

上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえを下げます。

※ 押さえを下げるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態で下げ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがないように注意してください。（下記「ぬい始める前の確認」欄参照）

布に付けたマーク



押さえスライダー

すきまがないこと

スタートマーク

ストッパー

※ スタートマークは、ぬい位置を合わせるための目安のマークです。

布に付けたマーク

位置ずれ

ぬい始めの位置

ぬい始める前の確認

ぬい始める前に押さえスライダーとストッパーのあいだにすきまがないことを確認してください。

すきまがあると、ぬい終わったときにぬい位置がずれる場合があります。

〔片ラウンドボタンホールの場合〕

布に付けたマーク

位置ずれ

ぬい始めの位置

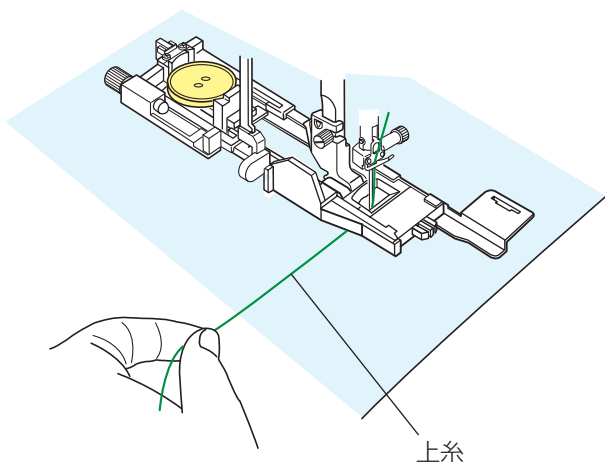
〔キーホールボタンホールの場合〕

布に付けたマーク

位置ずれ

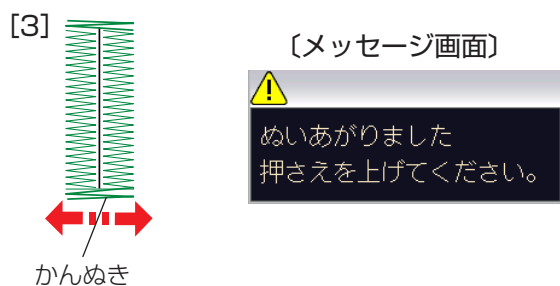
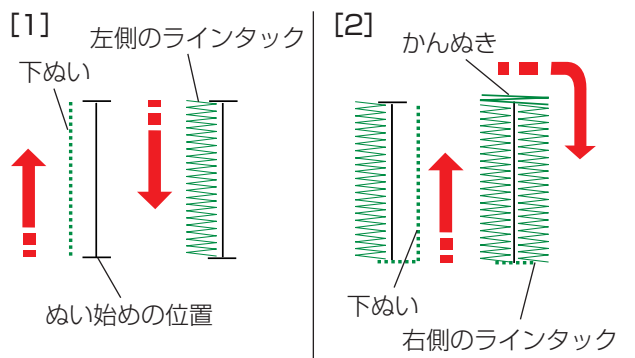
ぬい始めの位置

⑤



⑤ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。（ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。）

ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って、自動的にミシンが停止します。



【ぬい順序】

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。
ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。

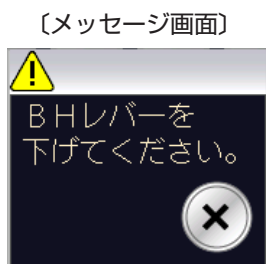
※ ボタンホールの重ねぬいをする場合には、そのままスタート/ストップボタンを押してぬいます。
重ねぬいをしない場合には、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをあげます。

ボタンホールの重ねぬい

ボタンホールをぬい終わったところで押さえ上げをあげずにもう一度ミシンをスタートさせると、ボリューム感のあるボタンホールの「重ねぬい」ができます。

「重ねぬい」は、必ず押さえ上げをあげずにそのままの状態でもシンを再スタートさせてください。

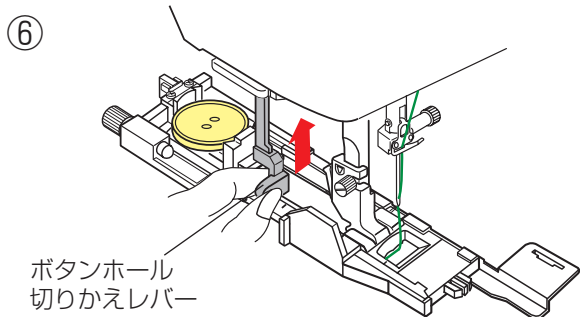
※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあらかさを大きくしてぬってください。



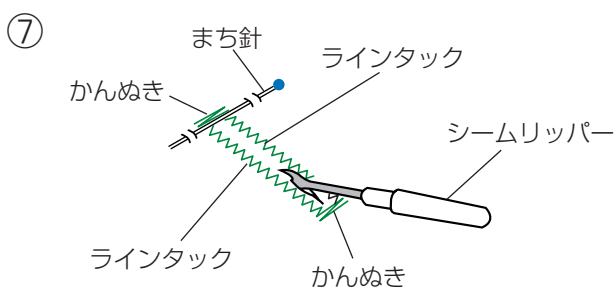
ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

ボタンホール切りかえレバー (BH レバー) をさげないでミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンは停止します。このときメッセージ画面が表示されます。

ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを再スタートさせてください。



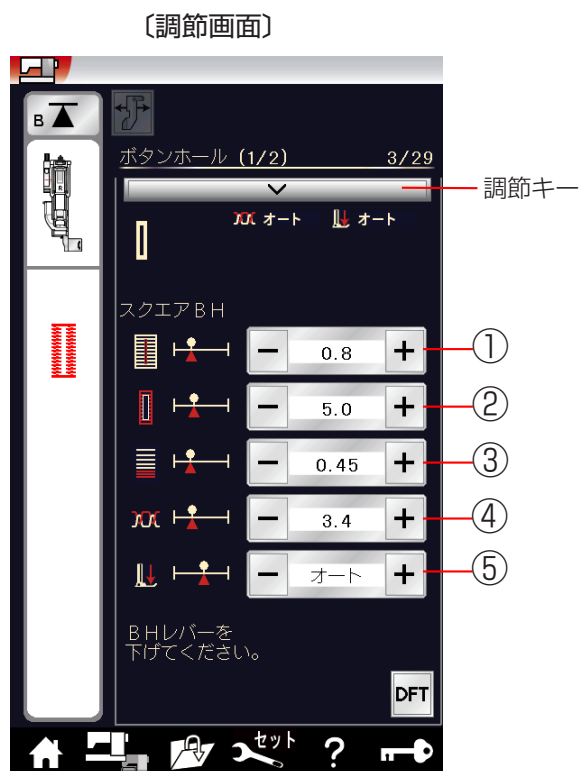
- ⑥ ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっぱい押しあげてもどします。



- ⑦ かんぬきの内側にまちな針をわたして、シームリッパーで左右のラインタックの糸を切らないようにボタン穴を切り開きます。

★ボタンホールの調節画面

模様選択画面の調節キーを押すと、調節画面が全体表示されます。



① ボタン穴の幅調節キー

ボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）をかえることができます。

② めい目の幅調節キー

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

③ めい目のあらか調節キー

めい目のあらかをかえることができます。

④ 糸調子調節キー

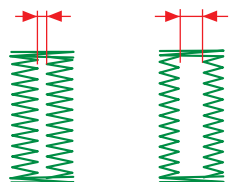
上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

⑤ 押さえ圧調節キー

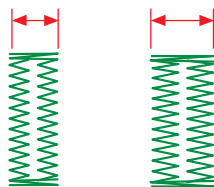
押さえ圧をかえることができます。

※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」（35 ページ）をごらんください。

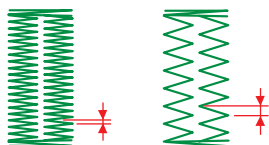
① 《ボタン穴の幅の調節》




② 《めい目の幅の調節》

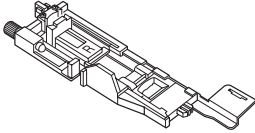
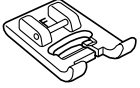


③ 《めい目のあらかの調節》

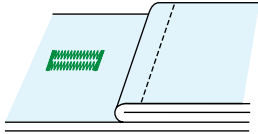


●メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

① 模様.....  (2)

② 押さえ..... R：ボタンホール押さえ  F：サテン押さえ 

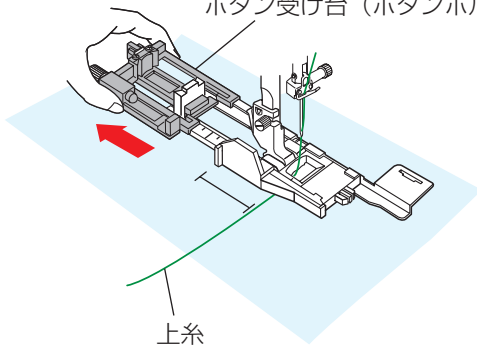
〔段部の近くの場合〕



① ② 〔ぬい始める前の画面のメッセージ〕



ボタン受け台（ボタンホルダー）



上糸

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

※ ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。

※ 2.5cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い布の段部の近くをぬうときなど R：ボタンホール押さえを使用できない場合は、F：サテン押さえを使用してください。

※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／★ボタンホールの調節画面」（60 ページ）をごらんください。

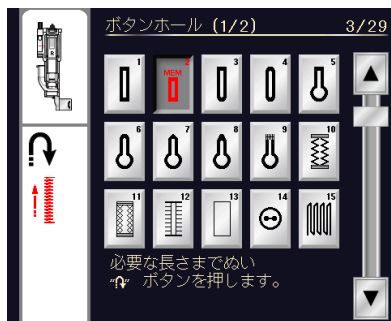
【ぬい方（R：ボタンホール押さえの例）】

① ボタン受け台（ボタンホルダー）を向こう側にいっぱい引き出します。

② ミシンにボタンホール押さえを取り付けます。上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。

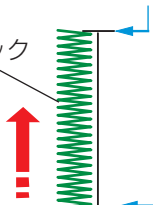
※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「●スクエアボタンホール」の手順①④⑤（57～58 ページ）をごらんください。（ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。）

③ 〔ぬい中の画面のメッセージ〕

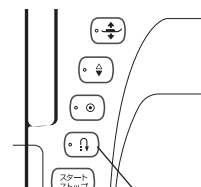


必要な長さの位置

左側の
ラインタック



ぬい始めの位置

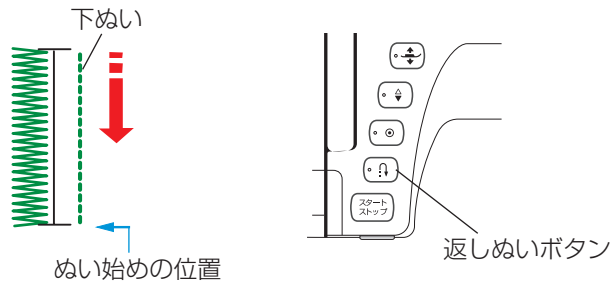
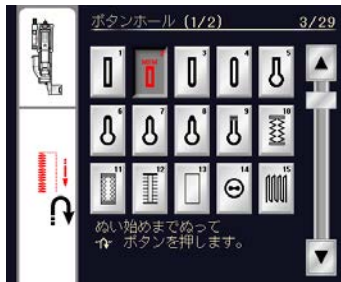


返しぬいボタン

③ 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。（ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください）

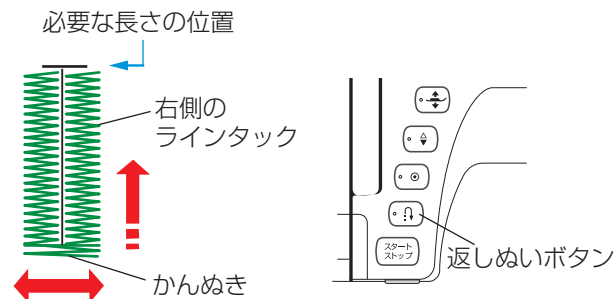
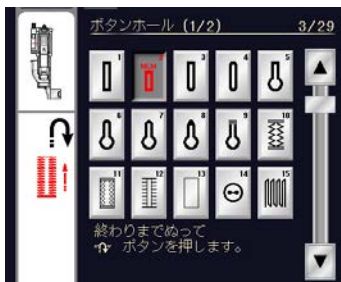
左側のラインタックを必要な長さまでぬったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

④ 【ぬい中の画面のメッセージ】



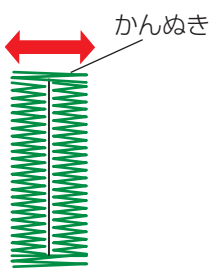
- ④ ミシンをスタートさせると、下ぬいを行います。
ぬい始めの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

⑤ 【ぬい中の画面のメッセージ】



- ⑤ ミシンをスタートさせると、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
必要な長さの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

⑥ 【ぬい中の画面のメッセージ】



- ⑥ ミシンをスタートさせると、かんぬきと止めぬいを行い、ミシンが自動的に停止します。

⑦ 【ぬい完了後のメッセージ画面】





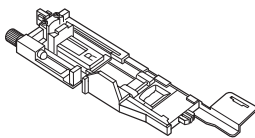
閉じるキー

- ⑦ ぬい終わるとメッセージ画面が表示されます。
ミシンは、手順③～⑥でぬったボタンホールの長さを記憶しています。

- 別の場所と同じ長さのボタンホールをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。
返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのボタンホールを自動的にぬってミシンは停止します。
- 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

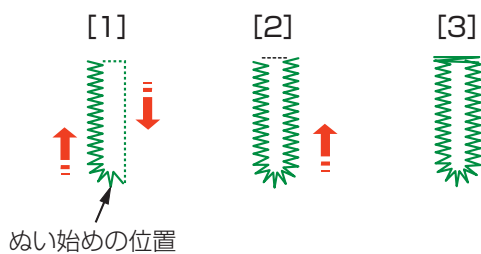
●ラウンドボタンホール

① 模様.....  (3) または  (4)

② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ 

【ぬい順序】（模様 の例）






※ 模様  も同じ順序です。

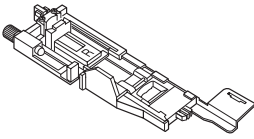


※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
57～59ページをごらんください。

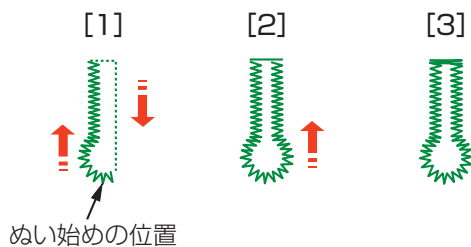
※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／
★ボタンホールの調節画面」（60ページ）をごらん
ください。

●キーホールボタンホール

① 模様.....  (5) または     (6)～(9)

② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ 

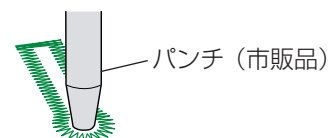
【ぬい順序】






※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
57～59ページをごらんください。

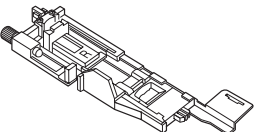
※ 幅とあらさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／
★ボタンホールの調節画面」（60ページ）をごらん
ください。

※ キーホールボタンホールの穴は、パンチ（市販品）で
丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてくだ
さい。

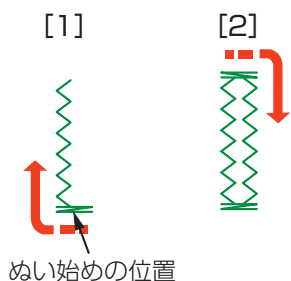


●ニットボタンホール

① 模様.....  (10)  (11)  (12)
 ※模様 12 は薄い布用です。

② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ 

【ぬい順序】(模様)

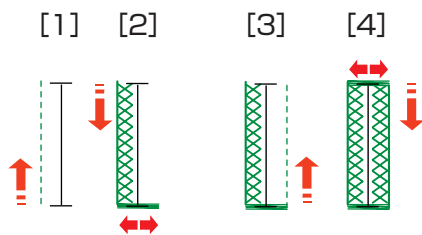


※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
57～59ページをごらんください。

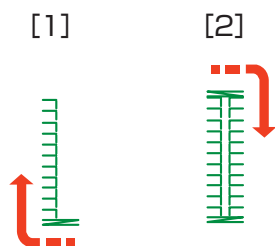
※ 幅とあらかさのかえ方は、「●スクエアボタンホール／
★ボタンホールの調節画面」(60ページ)をごらん
ください。

※ 左右のぬい目のあらかさがそろわないときは、「◎操作
方法／●送り調節ねじ(模様の形の調節)」(18ペー
ジ)をごらんください。

【ぬい順序】(模様)



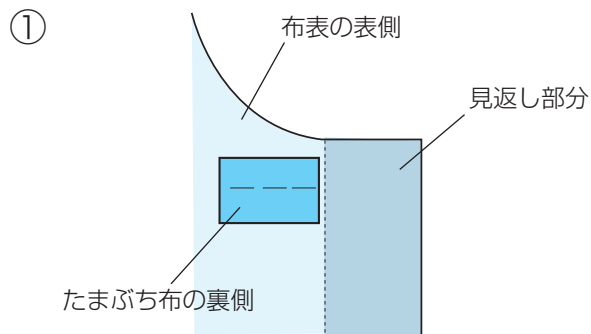
【ぬい順序】(模様)



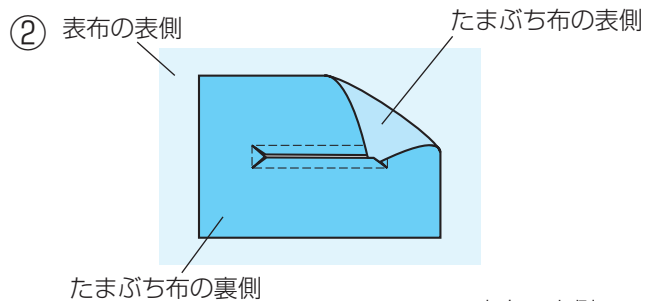
●たまぶちボタンホール

① 模様.....  (13)

② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ 

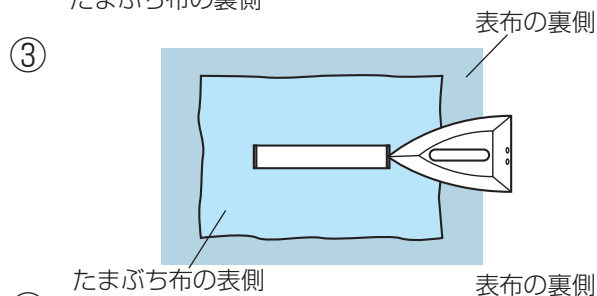


① バイヤス地のたまぶち布と表布をしつけぬいで止めます。

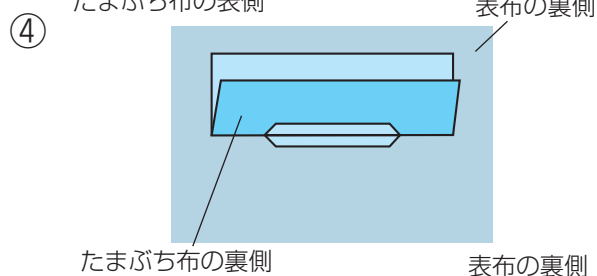


② ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ、ボタンホール切りかえレバーをさげてぬいます。ぬい終わったらY字型に切り込みを入れ、たまぶち布を裏側に出します。

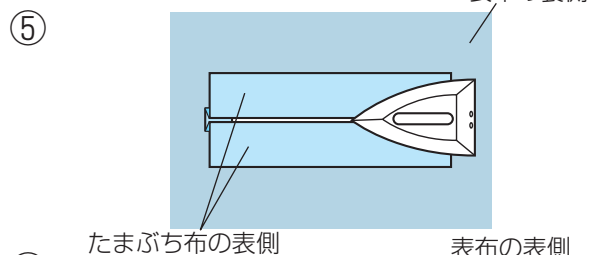
※ ぬい方は、「★スクエアボタンホール」(57～59ページ)をごらんください。



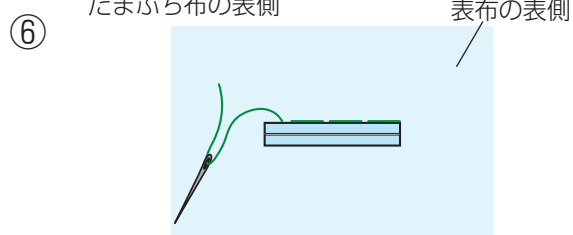
③ 表布の裏側にたまぶち布の表側全体が見えるまでたまぶち布を引き出し、アイロンの先で角を整えます。



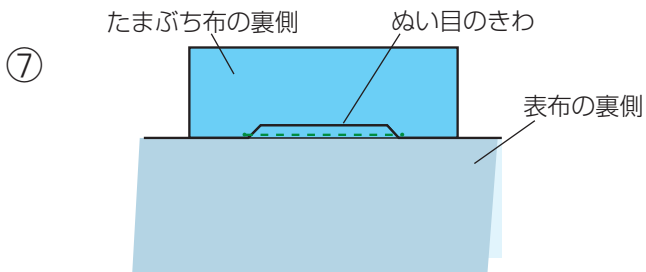
④ ぬいしろを正しく割ります。



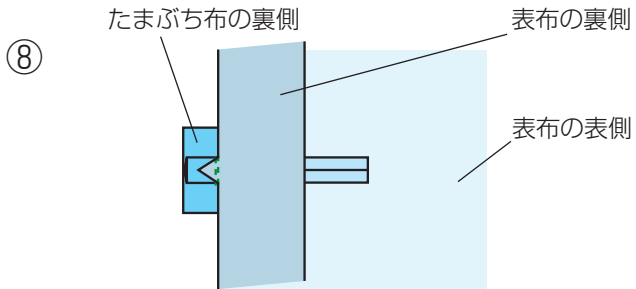
⑤ アイロンで幅を整えます。



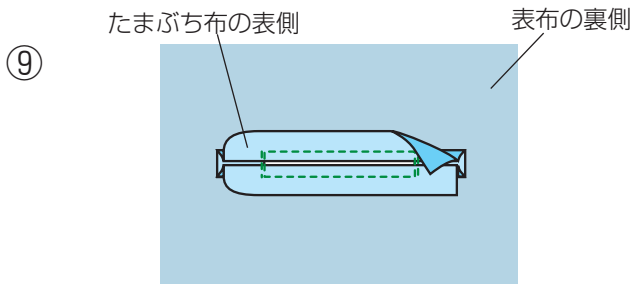
⑥ ぬい目にしつけをします。



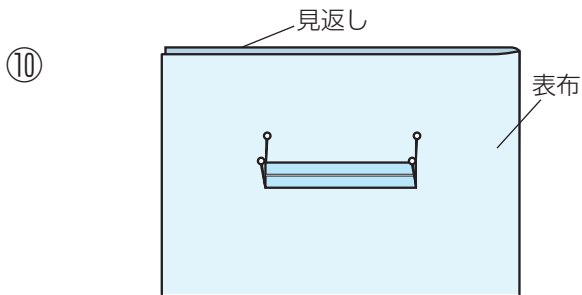
⑦ ぬい合わせたぬい目のきわをぬいます。



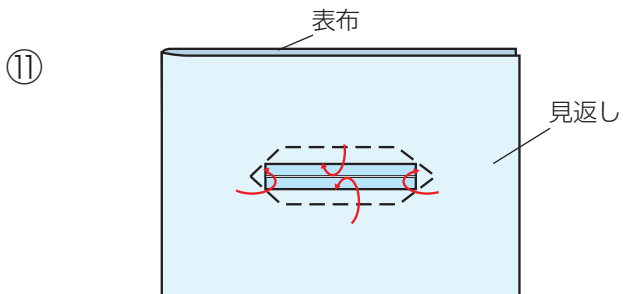
⑧ 三角の布に三重にぬいます。



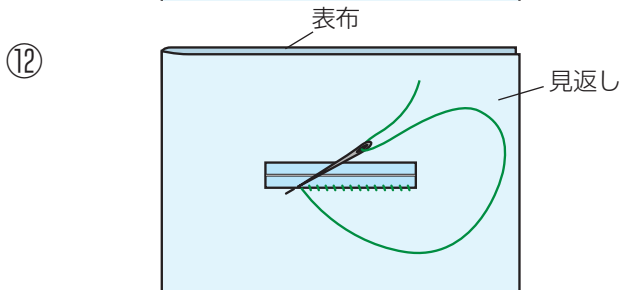
⑨ たまぶち布を穴から 1.0～1.5cm にたちおとします。角は丸くたちおとします。



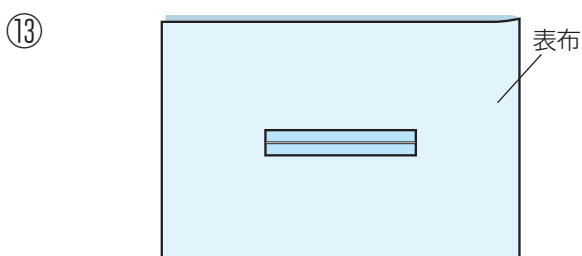
⑩ 見返しに、たまぶち穴の形のしるしを付けます。



⑪ 見返しの表から手順②のように Y 字型に切り込みを入れて、できあがりの幅に折り、切り込まれた布を見返しとたまぶち布のあいだに折り込みます。



⑫ 細かくまつります。

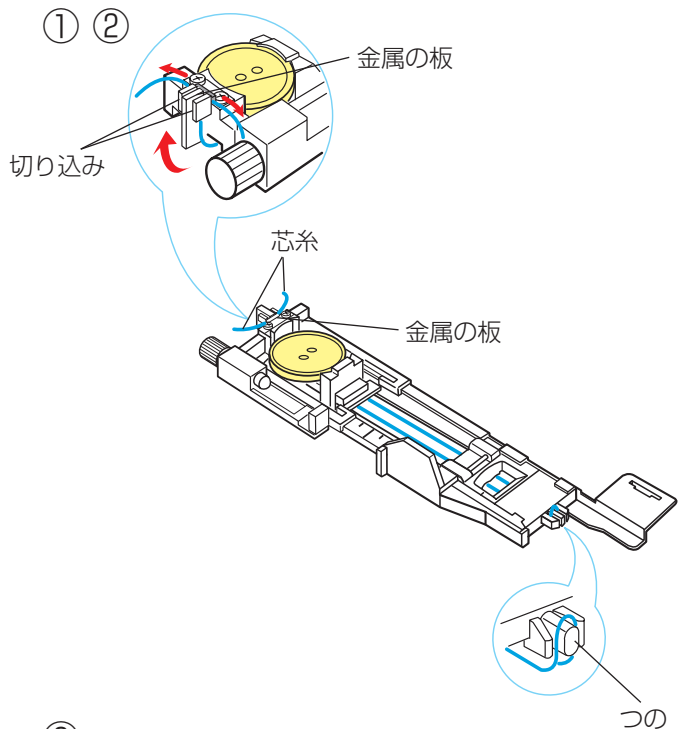


⑬ 完成です。

●芯入りボタンホール

① 模様.....  (10)

② 押さえ.....R：ボタンホール押さえ

※ ぬい方は、「●スクエアボタンホール」と同じです。
57～59ページをごらんください。

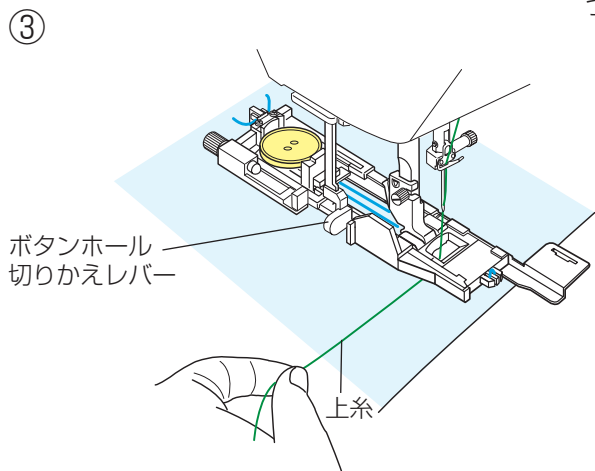
※ 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅（ボタンホールの全体の幅）およびボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）を調節してください。

① ボタンホール押さえのボタン受け台にボタンをはさみ込んでから、芯糸の一方の端をボタンホール押さえ後部の左側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。

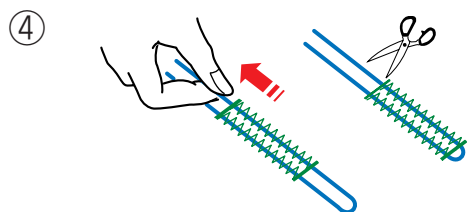
芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前部のつのにかけます。

② つのにかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。

※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってください。

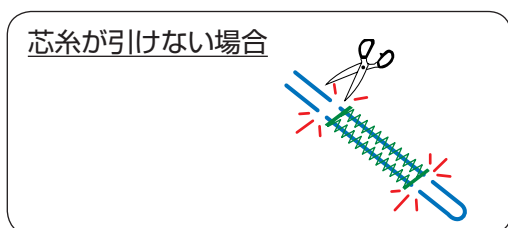


③ スクエアボタンホールの手順①～⑦（57～59ページ）と同じようにぬいます。



④ ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

左右どちらの芯糸も引けない場合は、芯糸の両側を切ります。

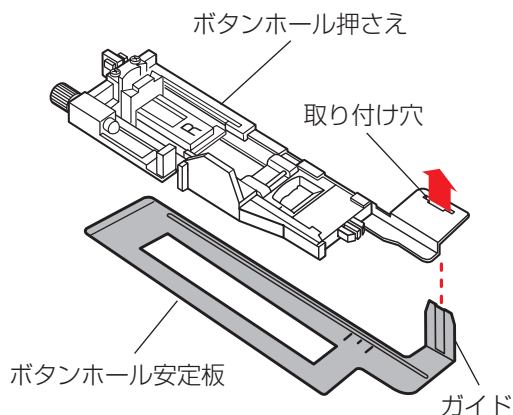


●ボタンホール安定板の使い方

厚物の段部や安定して布送りできない布などをぬうときにボタンホール安定板を使用すると、布送りをスムーズにしてぬうことができます。

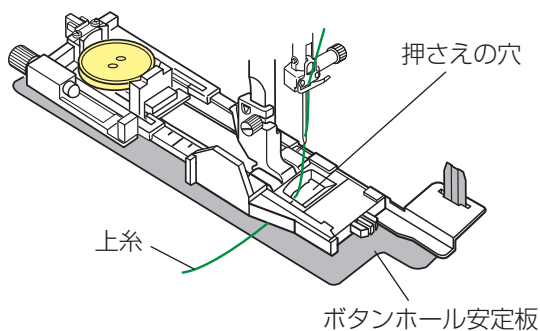
【使い方】

①



① ボタンホール押さえの取り付け穴に、ボタンホール安定板のガイド部分を差し込みます。

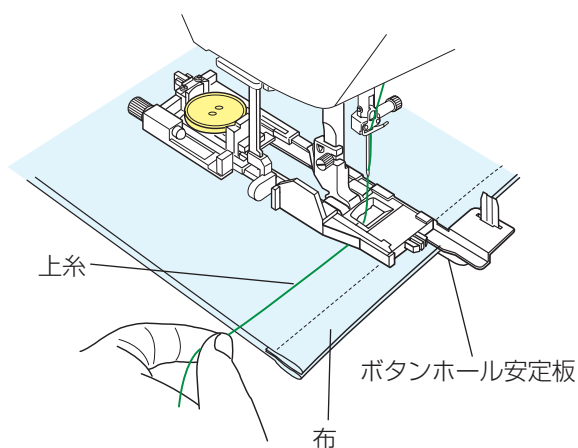
② ③



② ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえをミシンに取り付けます。

③ 押さえをあげ、上糸を押さえの穴から下に通し、ボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

④



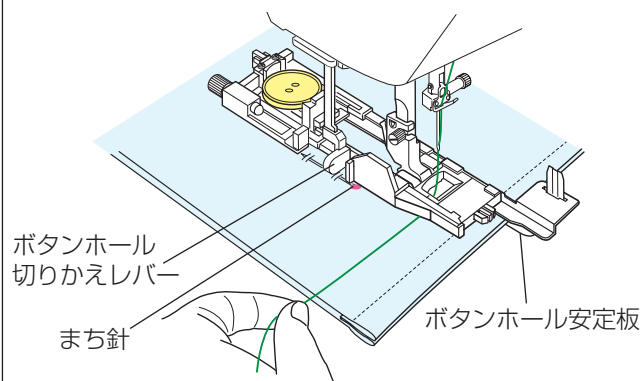
④ 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえとボタンホール安定板のあいだに布を入れます。

※ ぬい方は、「★スクエアボタンホール」と同じです。
57～59ページをごらんください。

布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬえない場合

弾力性のある厚い布（フリースなど）をぬう場合、布を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえレバーに触れて誤操作を起こし、正しい形にぬえないことがあります。

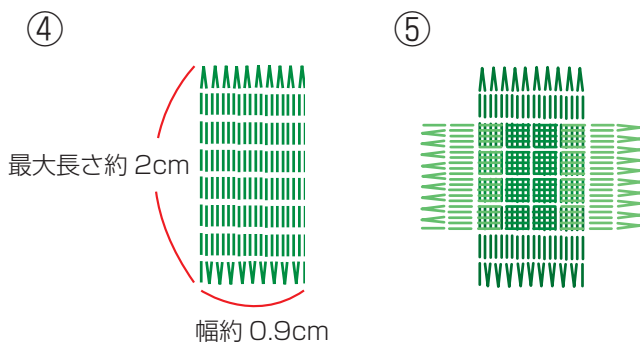
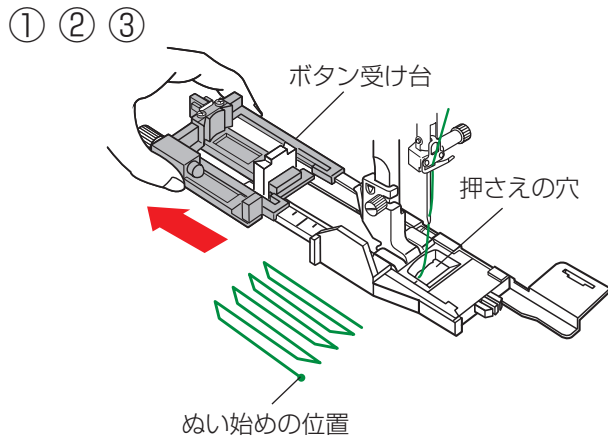
このような場合は、布を送るときに布が浮きあがらないようにまち針で固定し、ボタンホール安定板を使用してぬってください。




●つくろいぬい (ダーニング)

① 模様.....  (15)

② 押さえ.....R: ボタンホール押さえ

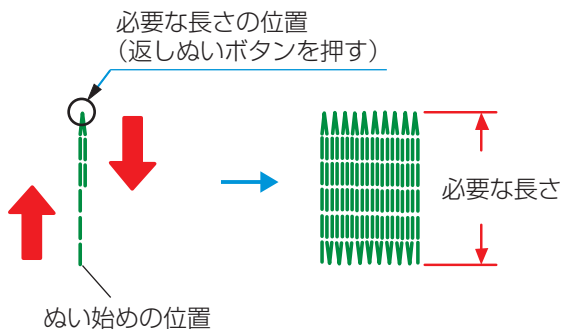



※ 模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

- ① ボタン受け台をいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出します。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをさげます。
- ④ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいませ。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2cm の長さをぬうことができます。(幅は約 0.9cm)
2cm より短い長さでぬう場合は、下記【2cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。

- ⑤ 布の向きをかえてぬいます。



【2cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さを記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
- 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

【ぬい完了後のメッセージ画面】

同じサイズ → 再スタート
ちがうサイズ
閉じるキー

返しぬいボタン

【形の整え方】

つくろいぬい（ダーニング）のぬい始め（左側）とぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、調節画面の高さ調節キーで調節します。

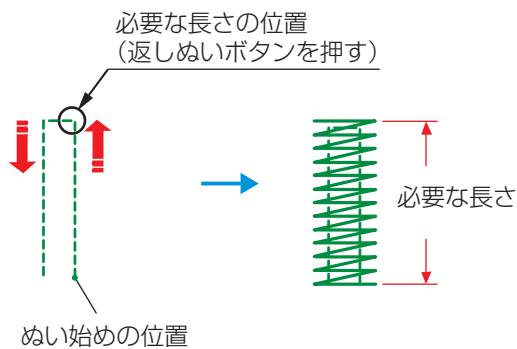
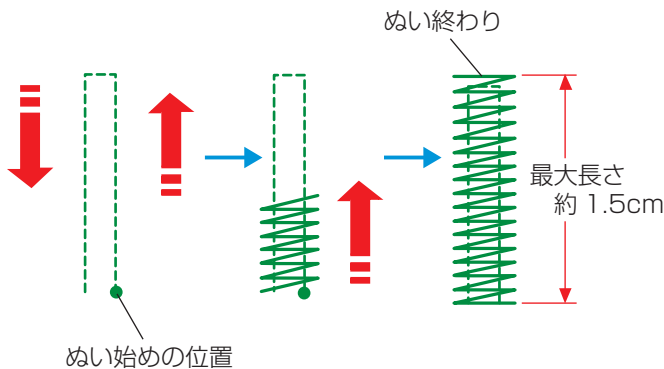
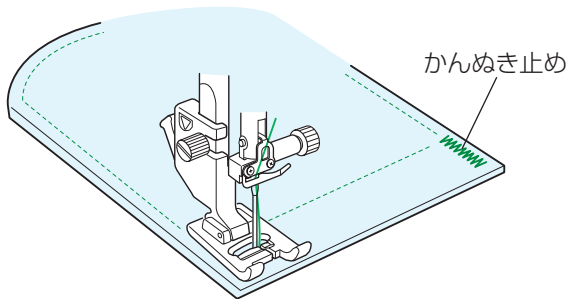
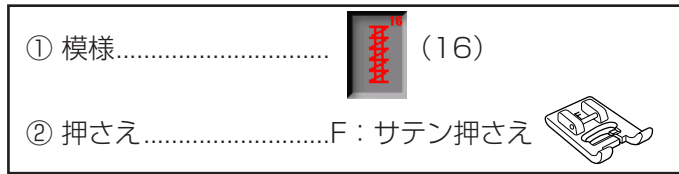
「1.0」～「9.0」の範囲で調節できます。

（「5.0」はオート値）

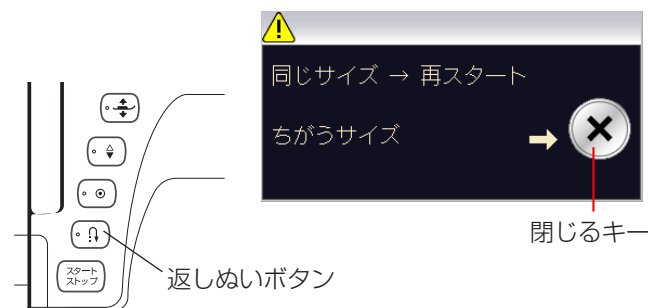
- 左側が低い場合は、「-」を押します。
…「1.0」～「4.0」
- 右側が低い場合は、「+」を押します。
…「6.0」～「9.0」




●かんぬき止め (1)



【ぬい完了後のメッセージ画面】



ポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。

※ 模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

① ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。

② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをさげます。

③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 1.5cm の長さのかんぬき止めをぬうことができます。1.5cm より短い長さでぬう場合は、下記【1.5cm より短い長さでぬう場合】をごらんください。

※ ぬい目の幅やあさは、調節画面のぬい目の幅調節キーとぬい目のあさ調節キーでかえることができます。(ぬい目のあさをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5cm」もかわります。)

【1.5cm より短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さを記憶しています。





- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合は、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。

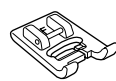
返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。

- 同じ長さのものをぬう必要がない場合は、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

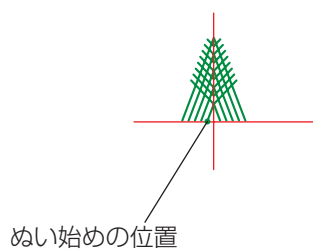
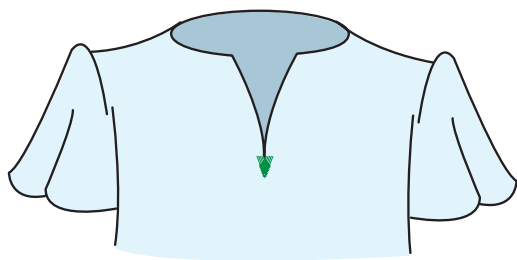
※ かんぬき止めの長さが 0.7cm、1cm、1.2cm の固定値の場合は、用途選択の模様から選ぶと、返しぬいボタンを押さなくても自動的にぬうことができます。「◎用途選択 / ●かんぬき止め」(115 ページ)をごらんください。

●かんぬき止め (2)

① 模様.....  (20) または  (17)  (18)  (19)

② 押さえ.....F: サテン押さえ 






【ぬい】 (模様  の例)

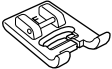


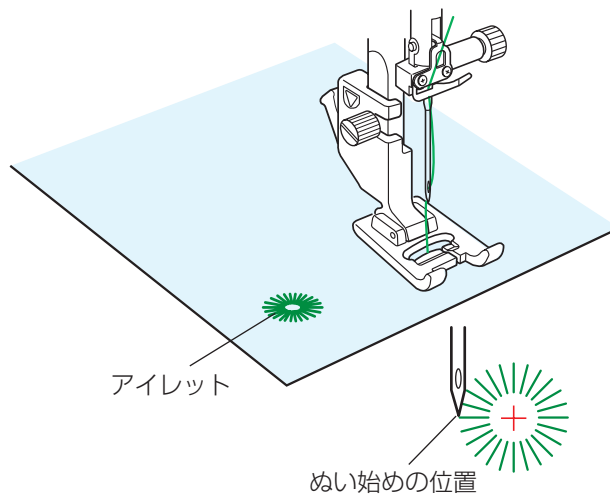
あき止まりや、ポケット口の飾りをかねた補強ぬいに使います。

自動的に止まるまでぬいます。

●アイレット

① 模様.....  (21) または  (22)  (23)  (24)  (25)

② 押さえ..... F：サテン押さえ 

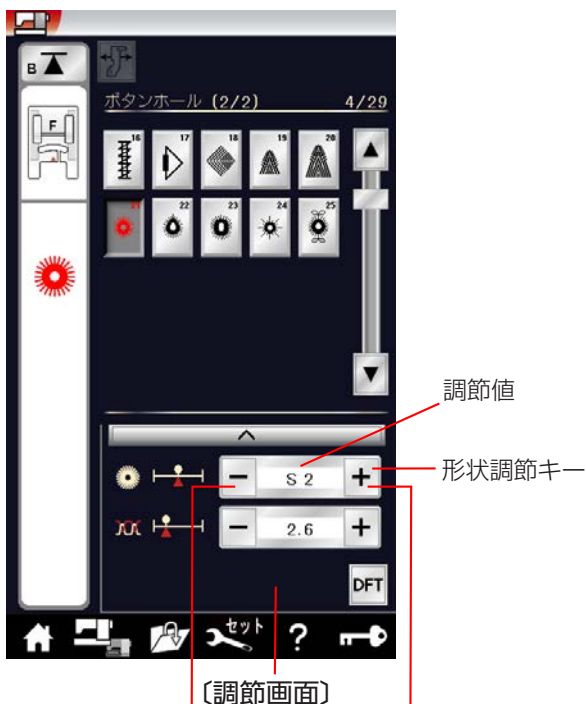


※ アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

- ① ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。
- ② ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをさげます。
- ③ ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ ぬい目の内側は、パンチ（市販品）などで穴を開けます。パンチの穴の大きさは、直径 0.25cm 以下のものをご使用ください。

〔模様選択画面〕



【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合は、調節画面の形状調節キーで調節します。

「S1」と「S3」で調節できます。（「S2」はオート値）

- ぬい目にすきまがある場合は、「-」を押して「S1」にします。
- ぬい目が重なる場合は、「+」を押して「S3」にします。

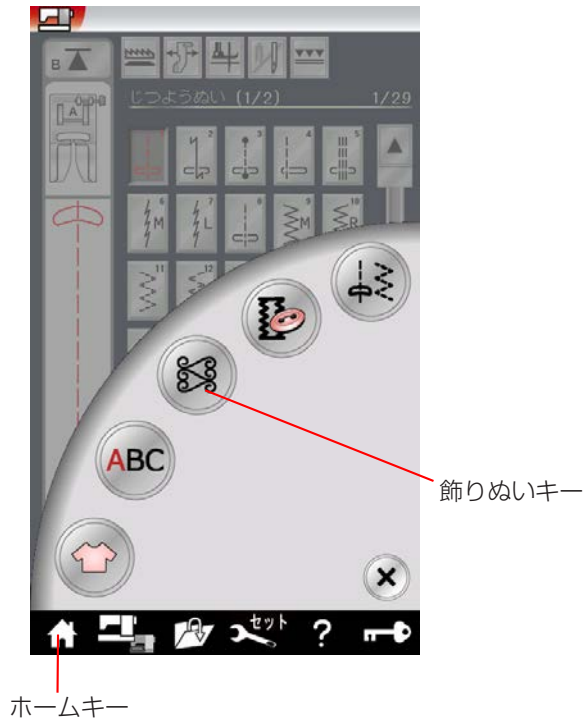
(「S1」) ← (「S3」)
 <すきまがある場合> <正しい形> <重なる場合>



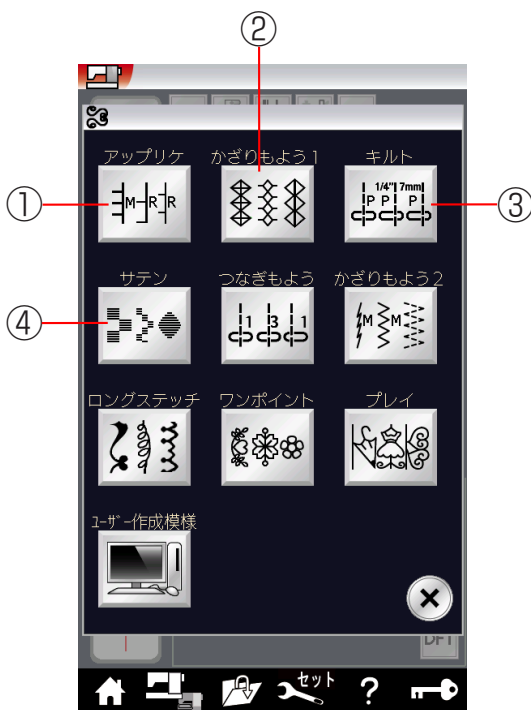
◎飾りぬい

●飾りぬいの画面

〔ホーム画面〕



〔模様グループ選択画面〕



- ①アププリケキー
- ②かざりもよう 1 キー
- ③キルトキー
- ④サテンキー

ホームキーを押して、ホーム画面の飾りぬいキーを押すと、飾りぬいの模様グループを選ぶ選択画面になります。

飾りぬいの模様グループは、10 個のグループがあり、各グループの選択キーで選択できます。

①アププリケグループ

アププリケキーを押すと、アププリケなどに使用する模様グループの模様選択画面になります。アププリケグループは、18 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

アププリケのぬい方は、「◎用途選択／●アププリケ」(115 ページ) をご覧ください。

②かざりもよう 1 グループ

かざりもよう 1 キーを押すと、伝統的な飾り模様グループの模様選択画面になります。

かざりもよう 1 グループは、48 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、3 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

③キルトグループ

キルトキーを押すと、キルトなどに使用する模様グループの模様選択画面になります。

キルトグループは、67 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、5 つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

キルトのぬい方は、「◎用途選択／●パッチワーク、●キルティング」(117～119 ページ) をご覧ください。

④サテングループ

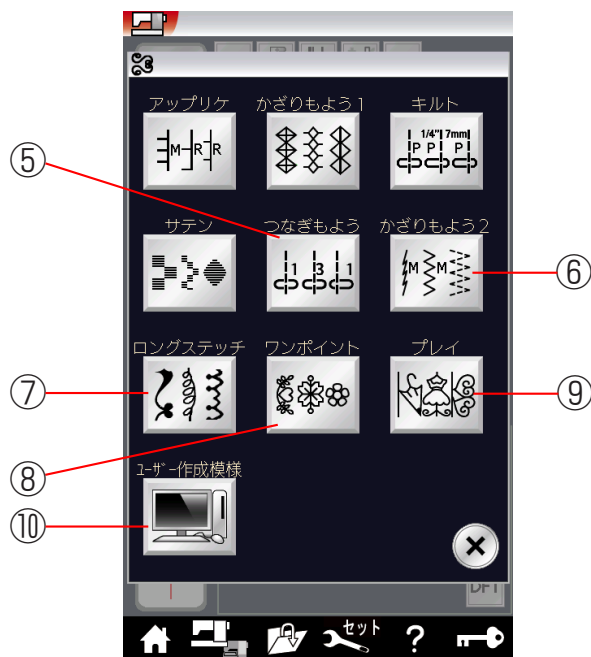
サテンキーを押すと、サテン (ぬい目を密着させた模様) グループの模様選択画面になります。

サテングループは、29 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

サテングループの模様は他の飾りぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあらさをかえずに模様の長さを 2～5 倍にかえることができる模様長さ調節機能があります。

模様の長さ調節機能の使い方は、87 ページをご覧ください。

〔模様グループ選択画面〕



- ⑤つなぎもようキー
- ⑥かざりもよう2キー
- ⑦ロングステッチキー
- ⑧ワンポイントキー
- ⑨プレイキー
- ⑩ユーザー作成模様キー

⑤ つなぎもようグループ

つなぎもようキーを押すと、模様と模様の間かくをあけるためのつなぎもようグループの模様選択画面になります。

つなぎもようグループは、7個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

つなぎ模様の使い方は、88ページをごらんください。

⑥ かざりもよう2グループ

かざりもよう2キーを押すと、装飾的なかざりもよう2グループの模様選択画面になります。

かざりもよう2グループは、108個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、7つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑦ ロングステッチグループ

ロングステッチキーを押すと、ロングステッチグループ(1つの模様の長さが長い装飾模様)の模様選択画面になります。

ロングステッチグループは、18個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

⑧ ワンポイントグループ

ワンポイントキーを押すと、具象的な飾り模様(形がはっきりした模様)グループの模様選択画面になります。

ワンポイントグループは、42個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があり、3つのページ(画面)に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑨ プレイグループ

プレイキーを押すと、遊び心が入った飾り模様グループの模様選択画面になります。

プレイグループは、11個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

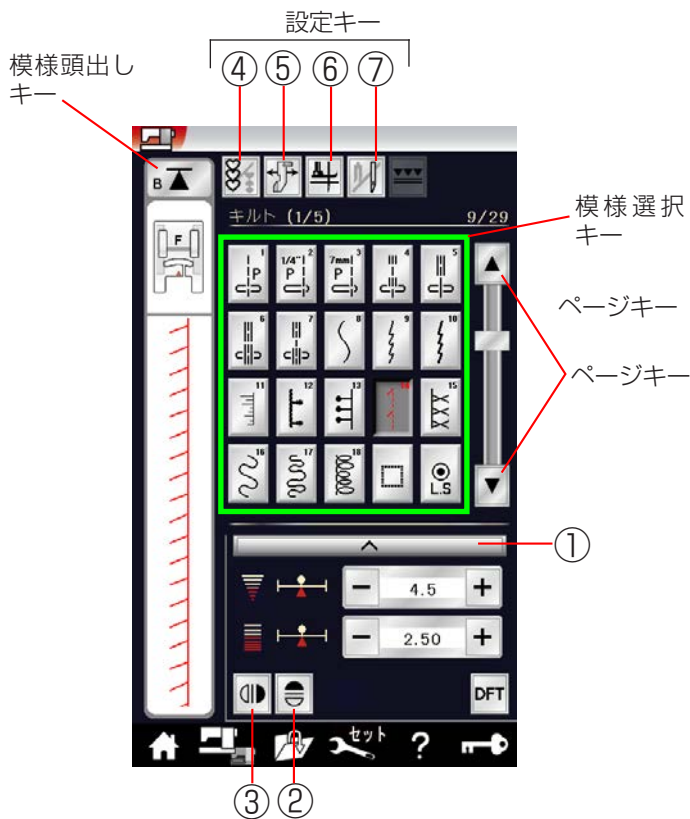
⑩ ユーザー作成模様グループ

ユーザー作成模様キーを押すと付属のアクュツールズのステッチコンポーザーで作成した模様データの模様選択画面になります。

ステッチコンポーザーの使い方は、ステッチコンポーザーの画面にあるヘルプをごらんください。

★模様選択画面

〔模様選択画面〕
キルトグループ 1/5 ページの例



模様グループ選択キーを押すと、その模様グループの模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ（画面）に分かれている場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」(14～15ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示になります。調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(35ページ)をごらんください。

② 上下反転キー

選んだ模様を上下反転した形でぬうことができます。(79ページ参照)

③ 左右反転キー

選んだ模様を左右反転した形でぬうことができます。(79ページ参照)

④ 模様組み合わせキー

模様を組み合わせでぬうときに、キーを押して模様組み合わせモードに設定します。(78ページ参照)

⑤ 布ガイド設定キー

付属の布ガイドを利用するときに設定します。(41ページ参照)

⑥ ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行うときに設定します。(34ページ参照)

⑦ 2本針ぬい切りかえキー

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うときに、キーを押して2本針ぬいに設定します。使い方は、「◎2本針ぬい」(136ページ)をごらんください。

【模様頭出しキー】

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。(81ページ参照)

●模様組み合わせモード

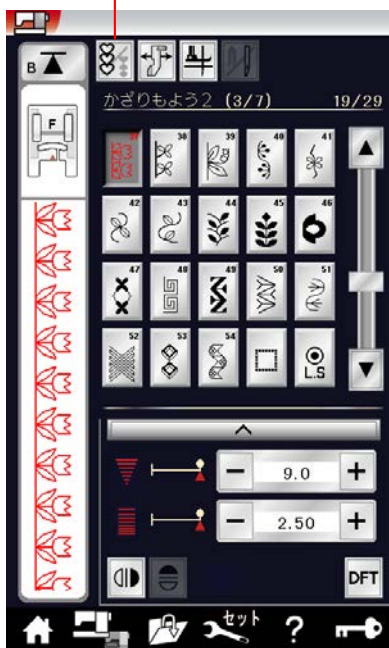
〔模様選択画面／通常モード〕

かざりもよう2 (3/7) ページの例

模様組み合わせキーの状態：



模様組み合わせキー

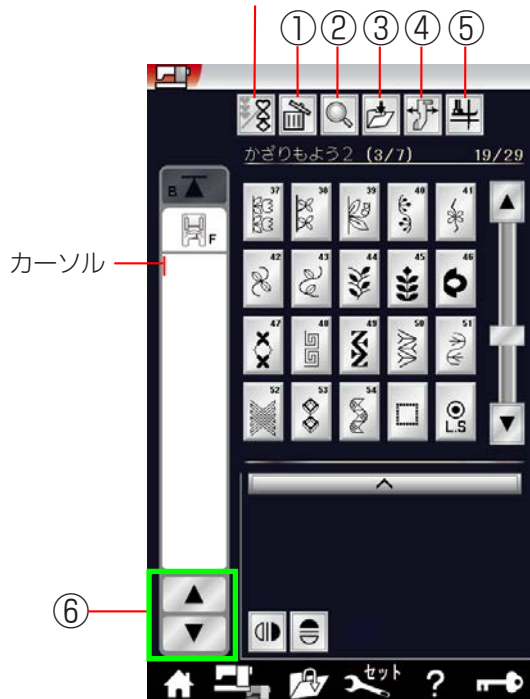


〔模様選択画面／模様組み合わせモード〕

模様組み合わせキーの状態：



模様組み合わせキー



設定キーの模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

■ 通常モードでは選んだ模様を1つだけ繰り返し連続してぬいますが、模様組み合わせモードではお好みの模様を組み合わせでぬうことができます。

- ・ 模様は、最大100個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
- ・ 組み合わせができる模様は、飾りぬいの模様グループと文字ぬいの模様グループです。
- ※ 文字ぬいの模様グループは、「◎文字ぬい」(90ページ)をごらんください。

■ 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(83ページ参照)

■ 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USBメモリに保存することができます。

【模様組み合わせモードの画面】

通常モードから模様組み合わせモードに切りかえると、2本針ぬい切りかえキーがなくなり、削除キー、プレビューキー、保存キーおよび組み合わせた模様を確認したり選択するためのカーソル移動キーが画面上に追加されます。

※ 模様組み合わせモードは、2本針ぬいができません。

① 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下側にある場合は、最後の模様を削除することができます。(83ページ参照)

② プレビューキー

組み合わせた模様のすべてを一覧表で確認できます。(82ページ参照)

③ 保存キー

組み合わせた模様をミシンに保存したり、USBメモリに保存するときに使います。

使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」(190ページ)をごらんください。

④ 布ガイド設定キー

付属の布ガイドを利用するときに設定します。(41ページ参照)

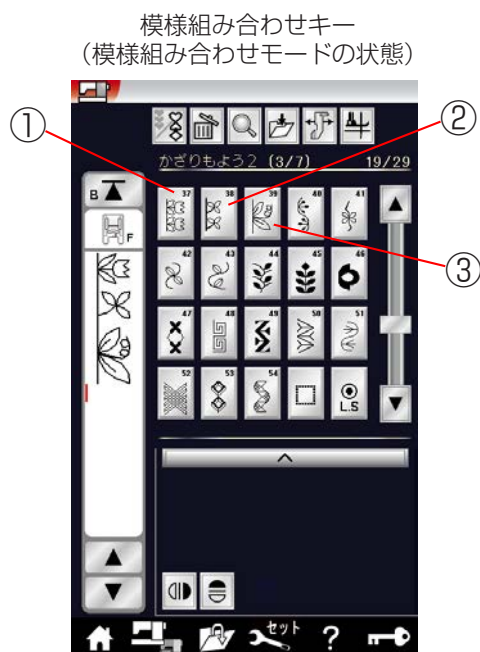
⑤ ピボットぬい設定キー


ピボットぬいを行うときに設定します。(34ページ参照)

⑥ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様(場所)を選ぶことができます。(83ページ参照)

★模様組み合わせぬいの例



① 模様組み合わせモードの状態、かざりもよう2グループの模様  を選びます。

② 模様  を選びます。

③ 模様  を選びます。



④ ミシンをスタートさせると、3つの模様を繰り返しぬいます。

ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 止めぬいボタンの使い方は、「◎操作方法／●操作ボタン／【止めぬいボタン】」(11ページ)をごらんください。

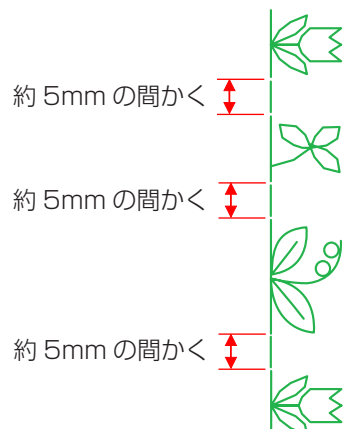
かざりぬいもようグループの模様 および模様 の使い方

■ 画面右下の模様選択キー  は、スペース模様です。

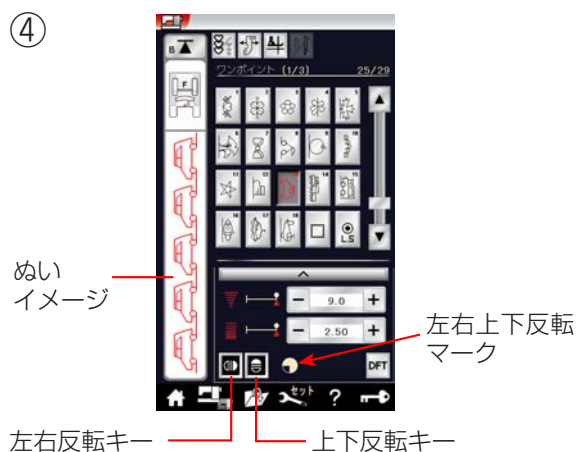
1個につき約5mmの間かくをあけることができます。
間かくの値は、調節画面のぬい目のあかさ調節キーで小さくできます。
右図は、各模様のあいだにスペース模様を1個組み合わせた例です。

■ 画面右下の模様選択キー  は、自動止めぬい模様です。

模様を1つだけまたは複数組み合わせた最後に自動止めぬい模様を組み合わせると、模様を1つだけまたは組み合わせた模様の数だけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。



★反転キーの使い方



左右反転キーまたは上下反転キーを使うと、選んだ模様の形を左右または上下反転した形でぬうことができます。

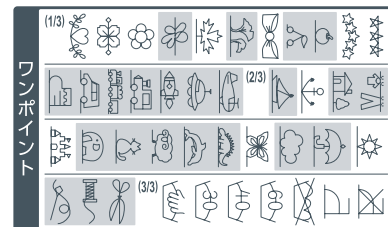
左右反転と上下反転を組み合わせることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。

※ 上下反転できる模様は、ミシンの早見板に表示されている模様を四角に塗って表示しています。


また、通常モードの場合は、上下反転できない模様が選ばれているとき、上下反転キーは使用できません。

〔早見板／ワンポイントグループの例〕




模様の四角色付きが
上下反転できる模様

【左右反転、上下反転のぬい方】(通常モードの例)

- ① 模様を選びます。
(ワンポイントグループの模様  の例)
- ② 模様を左右反転した形でぬう場合は、左右反転キーを押します。
画面に左右反転マークが表示され、左右反転した形でぬうことができます。
※ 左右反転キーをもう一度押すと左右反転マークが消え、もとの通常の形にもどります。
- ③ 模様を上下反転した形でぬう場合は、上下反転キーを押します。
画面に上下反転マークが表示され、上下反転した形でぬうことができます。
※ 上下反転キーをもう一度押すと上下反転マークが消え、もとの通常の形にもどります。
- ④ 模様を左右反転と上下反転を組み合わせた形でぬう場合は、左右反転キーと上下反転キーを押します。
画面に左右反転マークと上下反転マークが組み合わされて表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。

①



【例】サテングループの模様  を、通常の形と左右反転の形で交互にぬう (模様組み合わせモードの例)

① 模様組み合わせモードの状態、模様  を選びます。

② 左右反転キーを押します。

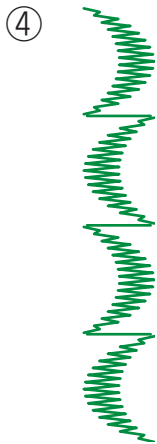
② ③



③ 模様  を選びます。


④ ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反転させた模様を交互にくり返しぬいます。



※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。止めぬいボタンの使い方は、「◎操作方法／●操作ボタン／【止めぬいボタン】」(11 ページ) をご覧ください。

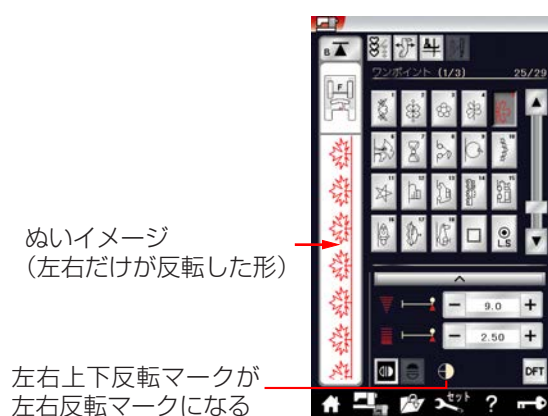


反転機能のご注意

通常モードで左右および上下反転キーで反転マークを表示させると、反転キーをもう一度押して反転マークを取り消すまで反転機能の設定は継続します。(次の模様を選んでも反転した形になります。) ただし、上下反転機能の場合、上下反転に設定された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能の設定が取り消されますのでご注意ください。

左右および上下反転が設定された状態で、模様  が選ばれた状態

上下反転できない模様  を選ぶと、上下反転機能だけが取り消され、模様  は左右だけが反転した形になる。




★模様頭出しキーの使い方





模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。




模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。

【例】 模様組み合わせモードで、かざりもよう2グループの模様  を組み合わせせてぬっている場合

【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】

- ① 組み合わせた模様のぬいイメージ。
- ② ミシンを停止した位置。
- ③ 模様頭出しキーを押します。
※ 模様頭出しキーを押すと、表示が  にかわります。
- ④ ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様（3番目の模様）の最初からぬいます。
※ 模様頭出しキーの表示が  のとき、ぬい途中の模様の最初からぬいます。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

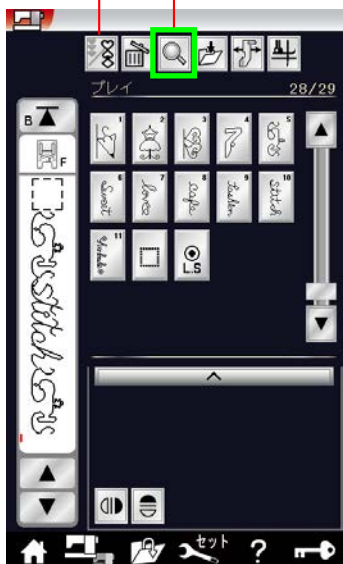
- ④ 上記、【ぬいかけた模様の最初からぬう場合】の手順③で模様頭出しキーを押すと、表示が  にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。
※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと、表示が  にかわります。
- ⑤ ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初（1番目の模様）からぬいます。
※ 模様頭出しキーの表示が  のとき、組み合わせた模様の最初からぬいます。

★プレビュー機能

① ②

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

プレビューキー



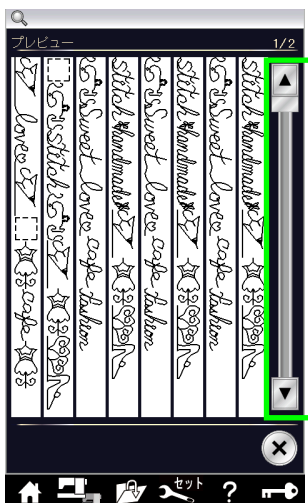
③ ④

〔プレビュー画面例〕



閉じるキー

〔プレビュー画面の2画面表示例〕



ページキー

プレビューキーを押すと、ぬいイメージを表示する場所で表示しきれないすべての組み合わせ模様を一覧表で確認（プレビュー）できます。

【プレビュー機能の使い方】

① 模様組み合わせモードの状態、プレイグループの模様を選んだ直後の画面。

② プレビューキーを押します。

③ プレビュー画面にかわり、組み合わせた模様のすべてが確認できます。

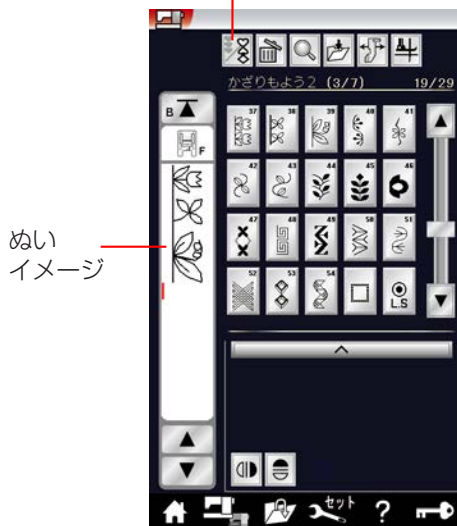
※ すべての模様が1ページ（1画面）で表示されない場合は、ページキーを押して次のページ（画面）に切りかえます。

④ 確認が終わったら、閉じるキーを押して模様選択画面にもどします。

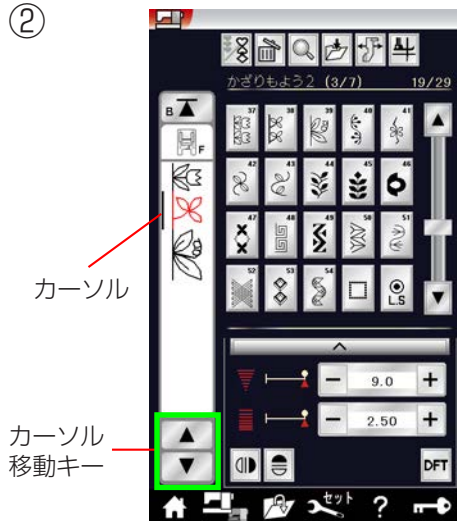
★編集機能

①

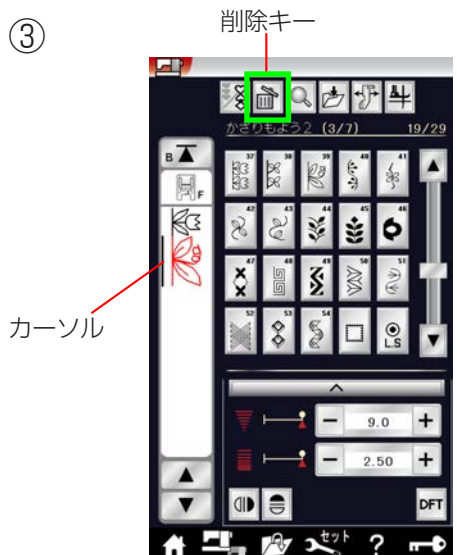
模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



②





③







模様組み合わせモード設定中は、編集機能を利用すると、模様を組み合わせたあとでも、ぬったあとでも、組み合わせた模様の一部を削除したり、別の模様を追加したり、模様の形を反転させたり、模様のぬい目の幅やあかさなどの設定値を変更したりすることができます。

【編集機能の使用例】

① 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう2グループの模様    を組み合わせた直後の画面。

② カーソル移動キー  を2回押して、画面のぬいイメージの模様  にカーソルを合わせます。
カーソルの付いた模様が赤色にかかります。

※ カーソルを模様先の先頭側に移動する場合は  キー、模様の上しる側に移動する場合は  キーを押します。




③ 削除キーを押します。
カーソルの付いている模様  が削除され、カーソルは次の模様  に移動します。

④

模様  が追加される



④ 模様  を選びます。

模様  と模様  のあいだに模様  が追加されます。

※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付いている模様（赤色の模様）に対してできます。また、カーソルの付いている模様（赤色の模様）の前に新しく選んだ模様が追加されます。

⑤

カーソル

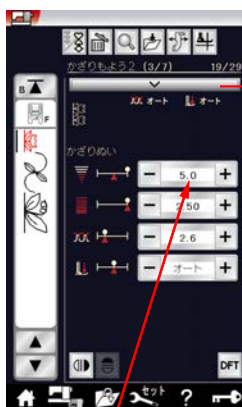


⑤ カーソル移動キーを2回押して、画面のぬいイメージの模様  にカーソルを合わせます。

にカーソルを合わせます。

⑥

〔調節画面〕



調節キー

⑥ 調節キーを押して調節画面にし、ぬい目の幅の設定値を「9.0」から「5.0」に変更します。

※ 調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」（35 ページ）をごらんください。

ぬい目の幅の設定値を「9.0」から「5.0」に変更する

⑦

模様  のぬい目の幅が変更される



⑦ 模様  のぬい目の幅が変更できました。

★模様全長表示機能

模様組み合わせモード設定中は、模様を1つだけぬったときまたは組み合わせた模様をぬったときの全長（目安）を知ることができます。





模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、および模様の種類などのぬい条件で異なります。

同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補正しておく、次回確認するとき実際のぬい長さにより近い表示になります。

※ 一度補正すると、その補正値は、他の模様や他の組み合わせ模様（文字ぬいを含む）にも適用されます。また、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されています。

補正後に、ぬい条件の大きく異なるぬいで模様の全長を知りたい場合は、再度、同じような条件で試しぬいをして表示されている数値を補正し直してください。

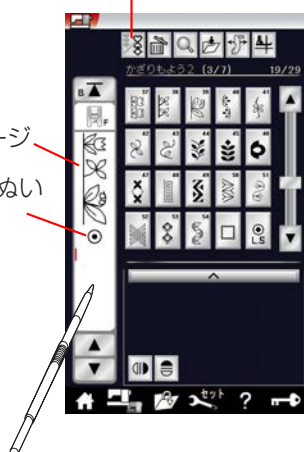
【模様全長表示機能の使用例】

- ① 模様組み合わせモードの状態、かざりもよう2グループの模様     を組み合わせた直後の画面。
- ② 模様のぬいイメージが表示されてる場所を押します。
- ③ 模様全長表示画面が表示されます。
この画面で自動止めぬい模様を含めて4つの模様の全長の目安（例では39mm）を知ることができます。

① ②

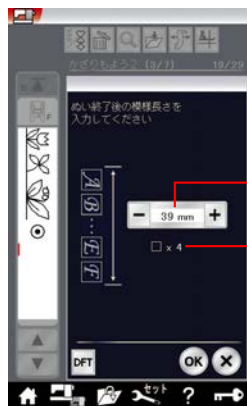
模様組み合わせキー
（模様組み合わせモードの状態）

ぬい
イメージ
自動止めぬい
模様



③

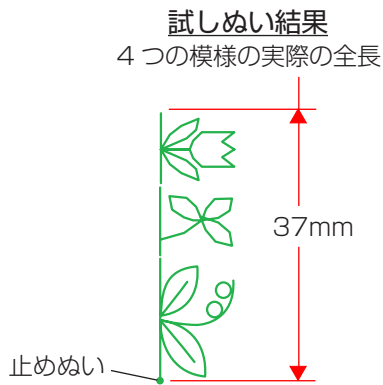
〔模様の全長表示画面〕（補正前）



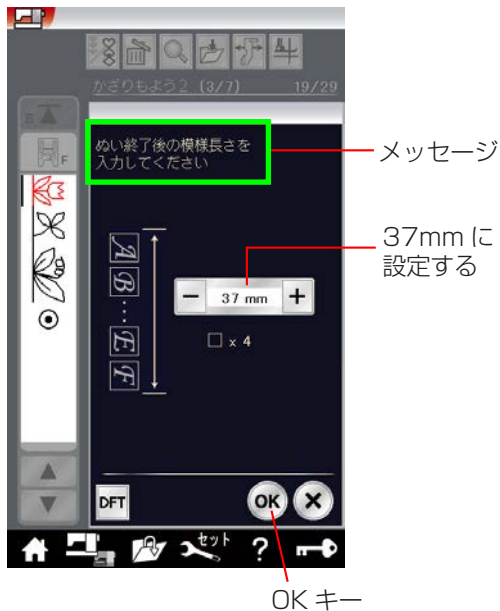
選んだ模様の全長
（目安）

選んだ模様の数

④

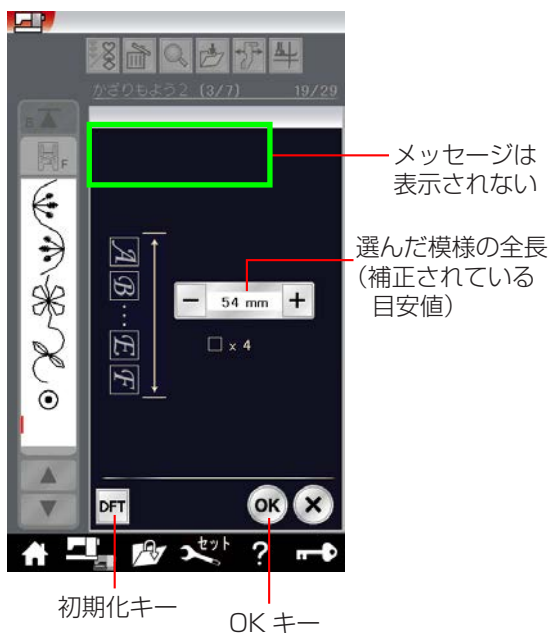


④ 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬいをし、止めぬいを含む4つの模様の実際の全長（例では37mm）を「+」または「-」キーで入力し、OKキーを押して確定します。



⑤

〔模様の実長表示画面〕（補正後）

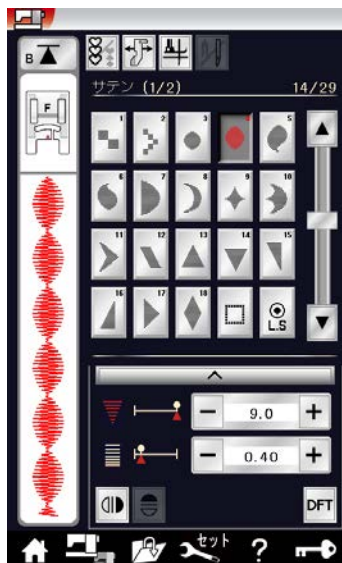


⑤ 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の実長表示画面を表示させると、実際の実長により近い全長（目安）が表示されます。このとき実長表示画面は、補正されていることを示すためにメッセージの表示がありません。（左の画面例は、別の組み合わせ模様で実長表示画面を表示させた場合）

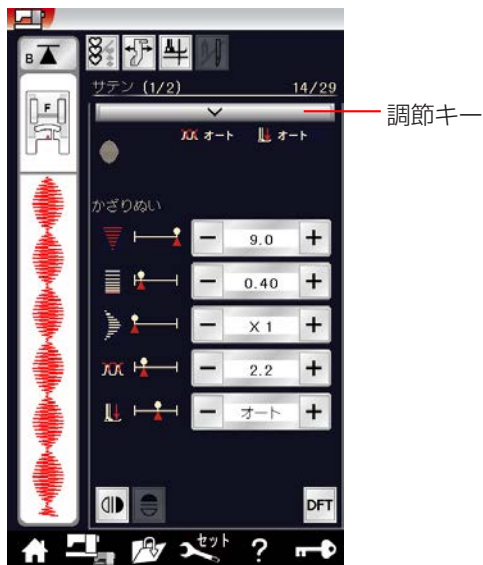
※ 補正前の初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合は、初期化キーを押して OK キーを押してください。

●模様の長さ調節機能（エロンゲーション）

① 〔模様選択画面／サテングループ〕



② 〔調節画面〕



③




サテングループの模様は、他の飾りぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあらかさをかえずに模様の長さを2～5倍にかえることができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでもできます。

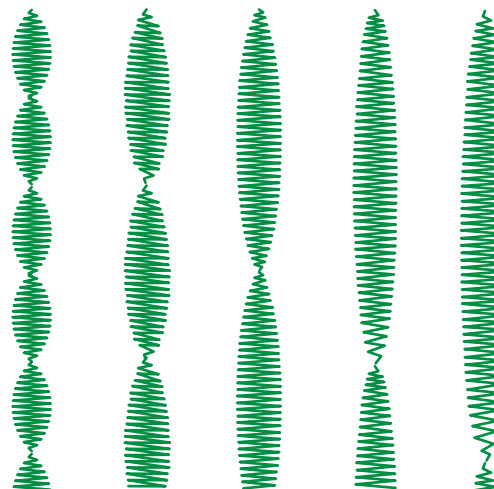
※ サテングループの模様はぬい目の細かい飾り模様（密着模様）です。布が縮む場合は、裏に芯地を貼ってください。

【模様の長さの調節例】

- ① サテングループの模様  を選びます。
- ② 調節キーを押して、調節画面を全体表示させます。
- ③ 模様の長さ調節キーを押して模様の長さをかえます。設定した倍率でぬうことができます。

倍率と模様の長さ

〔×1〕 〔×2〕 〔×3〕 〔×4〕 〔×5〕
(1倍) (2倍) (3倍) (4倍) (5倍)



●つなぎもようグループの使い方

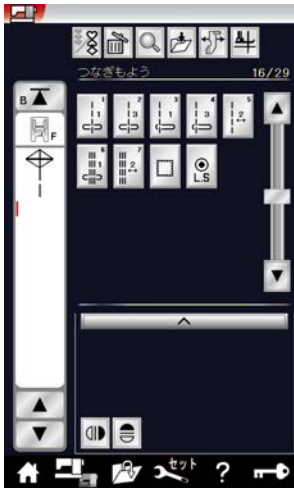
〔模様選択画面／つなぎもようグループ〕



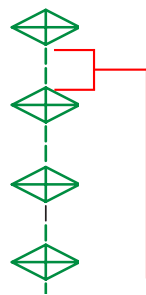
模様右側の数字

① 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

②



③



つなぎもよう $\begin{matrix} 5 \\ | \\ 2 \end{matrix}$ のぬい

※ 中針位置の直線のぬい目が2つ入っている。

つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあけるとときに使います。

模様選択キーに表示されている模様の右側の数字「1」「2」「3」は、つなぎ模様を1つ組み合わせたときのつなぎ模様（直線ぬい）のぬい目の数を示します。

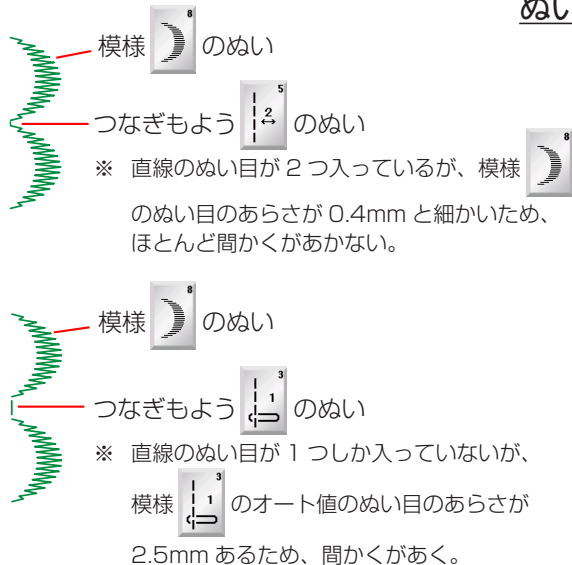
模様 $\begin{matrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 6 \\ | & | & | & | & | \\ \hline 1 & 1 & 1 & 1 & 1 \end{matrix}$ は、針位置やぬい目のあらかのオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）が設定されていて、そのオート値はぬい目の幅調節キーとぬい目のあらか調節キーでかえることができます。

模様 $\begin{matrix} 5 & 7 \\ | & | \\ \hline 2 & 2 \end{matrix}$ は、針位置やぬい目のあらかのオート値が設定されていないで、その値はつなぎ模様の1つ前に記憶されている模様と同じ値になり、ぬい目の幅調節キーとぬい目のあらか調節キーでかえることはできません。（針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。）

【例】 模様組み合わせモードで、かざりもよう1グループの模様 $\begin{matrix} 1 \\ | \\ \hline \end{matrix}$ のあいだに模様 $\begin{matrix} 5 \\ | \\ 2 \end{matrix}$ を組み合わせて、間かくをあける

- ① 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう1グループの模様 $\begin{matrix} 1 \\ | \\ \hline \end{matrix}$ を選びます。
 - ② つなぎもようグループの模様 $\begin{matrix} 5 \\ | \\ 2 \end{matrix}$ を選びます。
 - ③ ミシンをスタートさせると、模様 $\begin{matrix} 1 \\ | \\ \hline \end{matrix}$ の間かくがあいた状態でくり返しぬいます。
- ※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2つ入っています。

ぬい目のあらかが細かい模様につなぎ模様を使う場合



例えば、サテングループの模様 $\begin{matrix} 8 \\ | \\ \hline \end{matrix}$ のように、ぬい目のあらかが細かい模様の次につなぎもよう $\begin{matrix} 5 & 7 \\ | & | \\ \hline 2 & 2 \end{matrix}$ 使うと、つなぎ模様のぬい目のあらかは1つ前の模様のぬい目のあらかと同じになるため、つなぎ模様のぬい目のあらかも細くなって、次の模様とほとんど間かくがあきません。

ぬい目のあらかが細かい模様のあとにつなぎもようで間かくをあけたい場合は、つなぎもよう $\begin{matrix} 1 & 2 & 3 \\ | & | & | \\ \hline 1 & 1 & 1 \end{matrix}$ を使用してください。

●ユーザー作成模様



〔模様選択画面／ユーザー作成模様〕




アキュツールのステッチコンポーザーで作成した模様データを USB メモリに保存し、ミシン本体に模様を取り込みます。




① 模様を保存した、USB メモリをミシンに差し込みます。
(例 .USB 差し込み 2 のとき)

② 取り込みキーを押します。

「Ordf」フォルダキーを押して、模様を選びます。

※ 「Ordf」フォルダに模様データを入れなかった場合

には  キーを押して、USB メモリのデータを
確認できます。

※  (名称変更キー)、 (削除キー)、 (新規フォルダキー) の使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」(190 ページ) を
ごらんください。

③ アキュツールズで作成した STX データの入ったフォルダキーを押します。

④ 模様データキーを押します。

⑤ 模様選択画面が表示されます。
模様を選択して、ぬいます。

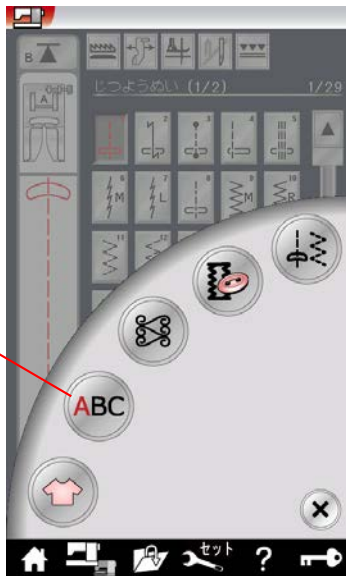
※ 模様は 30 個まで保存できます。

※ 2 本針ぬいはできません。

◎文字ぬい

●文字ぬいの画面

〔ホーム画面〕



もじぬいキー

〔模様選択画面〕



書体切りかえキー

ページキー

ページキー

〔書体選択画面〕



①

②

③

④

ホーム画面のもじぬいキーを押すと、文字ぬいの模様選択画面になります。

模様選択画面の書体切りかえキーを押すと、書体を選ぶ選択画面になります。書体は7個にグループ分けしてあります。

① 明朝体 (9mm) グループ

「明朝体 (9mm)」キーを押すと、明朝体 (ひらがな・カタカナ、およびスペース模様2個) の模様選択画面になります。

明朝体 (9mm) グループは、3つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ (高さ) は、最大9mmあります。

② まるもじ (9mm) グループ

「まるもじ (9mm)」キーを押すと、まるもじ (ひらがな・カタカナ、およびスペース模様2個) の模様選択画面になります。

まるもじ (9mm) グループは、3つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ (高さ) は、最大9mmあります。

③ ブロック体グループ

「ブロック」キーを押すと、ブロック体 (英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。

ブロック体グループは、5つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ (枠) が最大9mmで、個々の文字サイズ (高さ) は9mmより小さくなります。



④ スクリプト体グループ

「スクリプト」キーを押すと、スクリプト体 (英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様3個) の模様選択画面になります。

スクリプト体グループは、5つのページ (画面) に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ (枠) が9mmで、個々の文字高さは9mmより小さくなります。(上記ブロック体グループと同じです。)

〔書体選択画面〕



⑤ ブロードウェイ体グループ

「ブロードウェイ」キーを押すと、ブロードウェイ体（英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個）の模様選択画面になります。ブロードウェイ体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ（枠）が 9mm で、個々の文字高さは 9mm より小さくなります。（90 ページブロック体グループと同じです。）

⑥ ブロック体（9mm）グループ

「ブロック（9mm）」キーを押すと、ブロック体（英字の大文字・数字・記号、およびスペース模様 3 個）の模様選択画面になります。

ブロック体（9mm）グループは、3 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ（高さ）は、9mm あります。

⑦ ワンポイントグループ

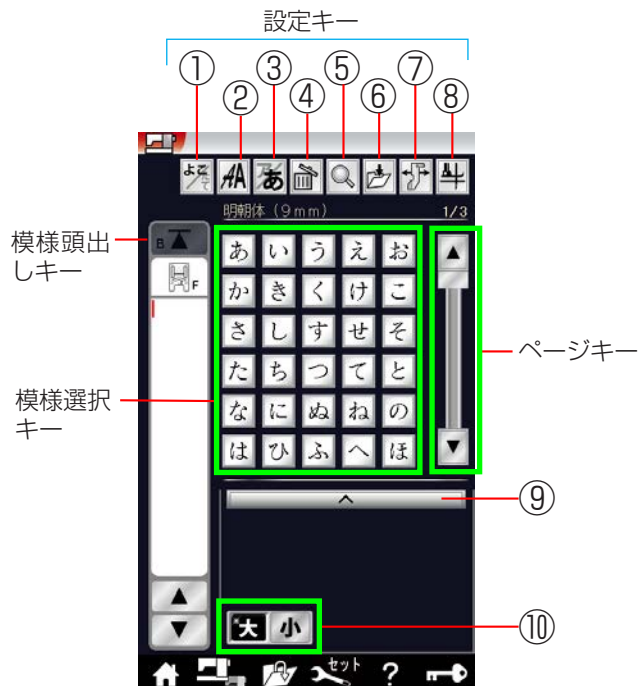
「ワンポイント」キーを押すと、「ワンポイントの模様選択画面」になります。

ワンポイントは、26 個あります。

★模様選択画面

〔模様選択画面〕

明朝体グループ 1/3 ページの例



〔模様選択画面〕

ブロック体グループ 1/5 ページの例



書体切りかえキーで書体を選ぶと、模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ（画面）に分かれている場合は、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様や飾りぬい模様の画面と同様、模様選択キー・設定キー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、「◎操作方法／●画面（タッチパネル）」(14～15ページ)をごらんください。

【設定キー】

その模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえることができます。

(93 ページ参照)

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

② 書体切りかえキー

書体グループを選ぶ選択画面になります。

③ ひらがな・カタカナ切りかえキー

ひらがなとカタカナを切りかえることができます。

模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

(94 ページ参照)

⑨ 調節キー

調節キーを押すと調節画面が全体表示されます。

調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(35 ページ)をごらんください。

⑩ 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく（低く）することができます。

⑪ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえることができます。

模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

※ 設定キーの中の④「削除キー」、⑤「プレビューキー」⑥「保存キー」、⑦「布ガイド設定キー」、⑧「ピボットキー」および模様頭出しキーの使い方は、飾りぬいと同じです。

組み合わせた文字内容を確認できるプレビュー機能および編集機能、模様全長表示機能も飾りぬいと同じです。「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード」(77 ページ)をごらんください。

●文字ぬいの例

- 文字ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせることでぬうことができます。
 - ・ 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。(組み合わせる模様で異なります。)
 - ・ 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループと飾りぬいの模様グループです。
- ※ 飾りぬいの模様グループは、「◎飾りぬい」(74 ページ) をごらんください。
- 文字を 1 つだけまたは複数の文字を組み合わせる場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
- ※ 文字と飾りぬい模様を組み合わせる場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合は、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合は、組み合わせた模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。
- ※ 編集機能は、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／★編集機能」(83 ページ) をごらんください。
- 組み合わせた模様をミシンに保存したり、USB メモリに保存することができます。

文字ぬいの注意事項

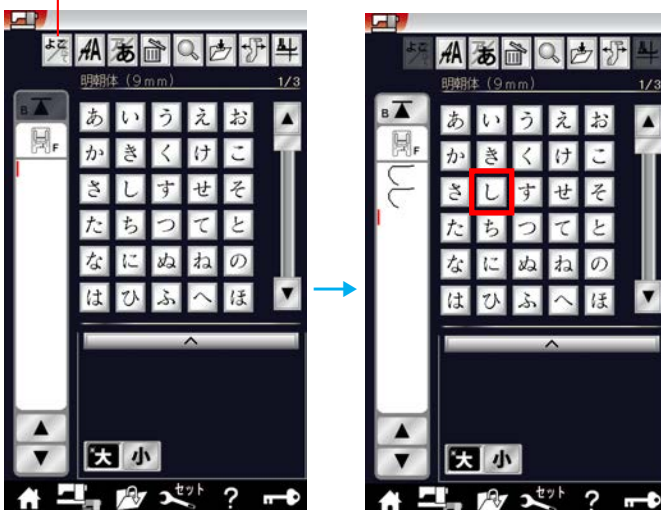
- ・ 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- ・ 針は付属のブルー針(柄の部分が青色の針)、押さえは F: サテン押さえを使用してください。
- ・ 伸びる布地、薄手の布地などをぬう場合は、布の裏に市販品の芯地を貼るかまたはトレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。
- ・ 文字や記号を組み合わせる場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなる場合があります。気になる場合はスペース模様で調節してください。(95 ページ [スペース模様] 欄参照)

①


〔模様選択画面〕


明朝体グループ 1/3 ページ

横書き・縦書き切りかえキー



【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

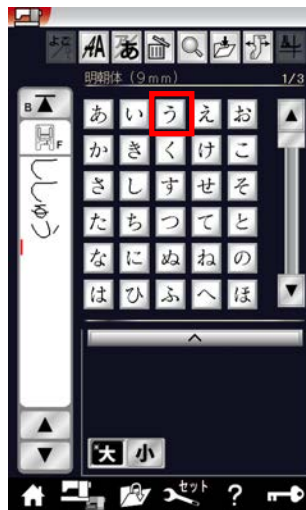
- ① 「明朝体 (9mm)」キーを押して明朝体の模様選択画面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキーが横書きの状態 () で、文字「し」を 2 度選びます。

※ 縦書きの場合は、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書き切りかえキーを押して、キーの表示を  にします。

② 2/3 ページ



③ 1/3 ページ



② ページキーで 2/3 ページを表示させ、文字「ゆ」を選びます。

③ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「う」を選びます。



④ 2/3 ページ

ひらがな・カタカナ切りかえキー



⑤ 1/3 ページ



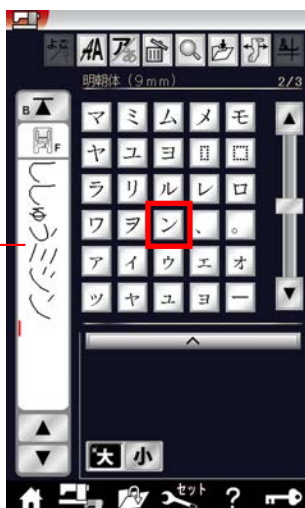
④ ページキーで 2/3 ページを表示させ、ひらがな・カタカナ切りかえキーを押して、キーの表示を  から  にかえ、文字「シ」を選びます。

※ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押すと、画面の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。

⑤ ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「シ」を選びます。

⑥ 2/3 ページ

ぬい
イメージ



⑥ ページキーで 2/3 ページを表示させ、文字「ン」を選びます。

⑦ ミシンをスタートさせると、「ししゅうマシン」をぬったあと自動的にマシンは停止します。






明朝体 2/3 ページの例



ブロック体 1/5 ページの例






スペース模様

明朝体と丸文字の模様選択画面 2/3 ページにある 、、ブロック体、スク립ト体、ブロードウェイ体の模様選択画面 1/5 ページおよびブロック体 (9mm) の模様選択画面 1/3 ページにある    は、スペース模様です。

文字と文字の間かくをあけてぬうときに使います。

文字と文字のあいだに組み合わせて記憶してください。

 は約 2.5mm、 は約 3.5mm (明朝体と丸文字はなし)、 は約 5mm の間かくがあきます。

※ 上記間かくの長さは、ぬい目のあらかさがオート値 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値) のときの値です。

調節画面のぬい目のあらかさ調節キーで設定値を変更すると、間かくがかわります。

★統一糸調子機能

①



すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）と異なる別の統一した値に設定したいとき、飾りぬいの場合、調節画面の糸調子調節キーで模様ごとに設定する必要があります。

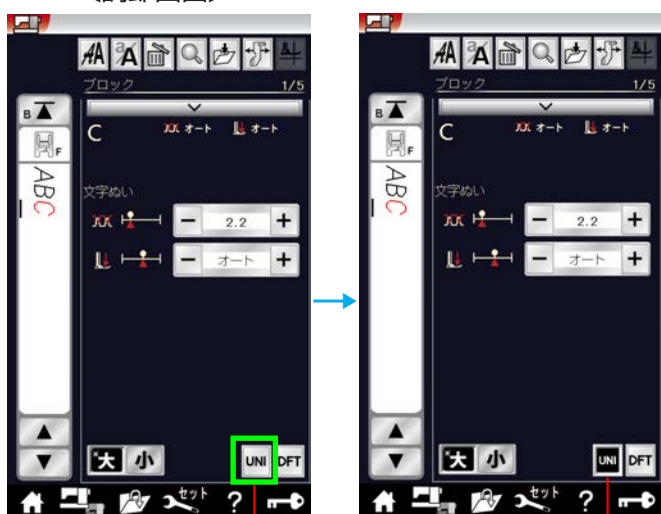
文字ぬいの場合、統一糸調子機能により、組み合わせ模様（文字）ごとに設定しないで、一括して統一した糸調子を設定することができます。

【設定例】

① 文字を選びます。（ブロック体「ABC」の例）

②

（調節画面）



統一糸調子キー

統一糸調子キーの色反転

② 文字にカーソルを合わせると、調節画面に **UNI** **DFT**

キーが表示されます。統一糸調子キー **UNI** を押します。

③ ④



糸調子設定状態の画面の表示

糸調子調節キー（設定例は「3.0」）

初期化キー

③ 糸調子調節キーで設定したい値に変更します。（設定例は「3.0」）

④ 組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」でぬうことができます。

画面の糸調子の設定状態を示す表示が、「オート」から「マニュアル」にかわっています。

※ 統一糸調子を解除する場合は、調節画面で統一糸調子キーを押して、初期化キーを押します。

※ 組み合わせた文字を削除キーですべて削除した場合、および文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだ場合も統一糸調子機能は解除されます。

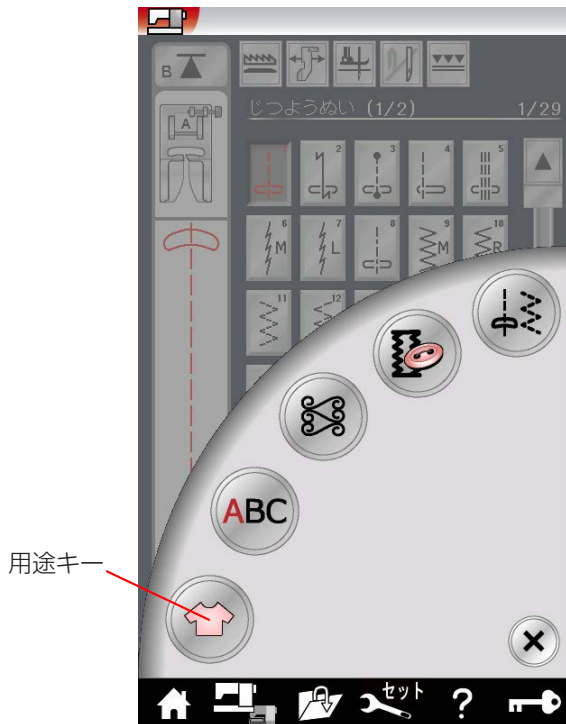
◎用途選択

●用途選択の画面

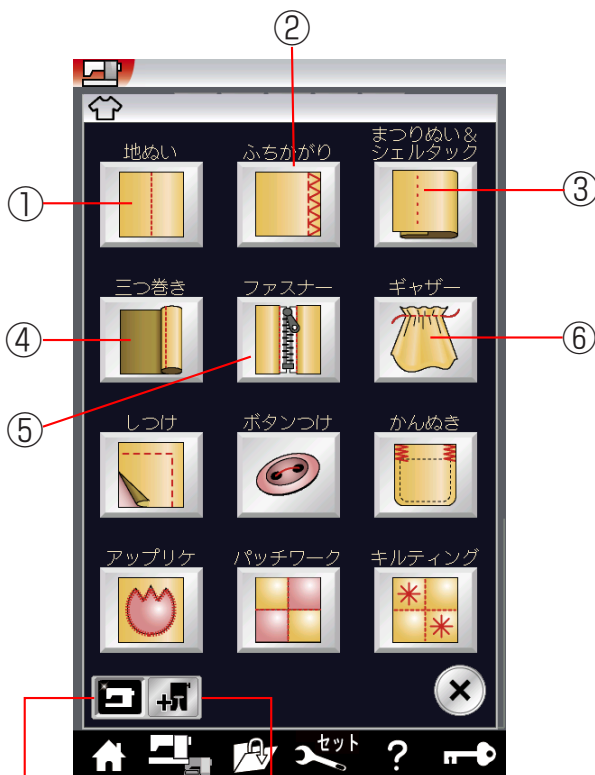
(標準付属押さえ使用)



〔ホーム画面〕



〔用途選択画面〕



標準付属押さえ
使用キー

オプション押さえ
使用キー

ホーム画面の用途キーを押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べる用途選択画面になります。

用途選択画面は2画面あり、標準付属押さえ使用キーとオプション押さえ使用キーで選択できます。

標準押さえ使用の用途選択画面は、12個の用途選択キーがあります。

オプション押さえ使用の用途選択画面は、6個の用途選択キーがあります。(128ページ参照)

※用途選択により選んだ模様を設定されている「ぬい目の幅・ぬい目のあかさ・糸調子」などの値は、ぬいの用途に適した値になっています。

①地ぬい

「地ぬい」キーを押すと、4種類の地ぬいの用途選択画面になります。4種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した地ぬいの模様選択画面になります。地ぬいは、12種類の模様があります。(100ページ参照)

②ふちかがり

「ふちかがり」キーを押すと、縁かがりの模様選択画面になります。縁かがりは4種類の模様があります。(101ページ参照)

③まつりぬい・シェルタック

「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面になります。

目的のキーを押すと、まつりぬいまたはシェルタックの模様選択画面になります。

まつりぬいは2種類、シェルタックは3種類の模様があります。(102、104ページ参照)

④三つ巻き

「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きの模様選択画面になります。三つ巻きは、3種類の模様があります。(105ページ参照)

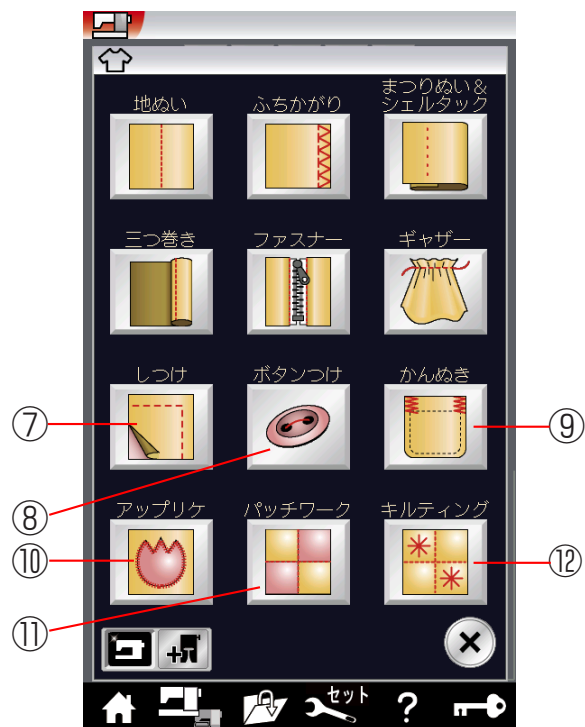
⑤ファスナー付け

「ファスナー」キーを押すと、2種類のファスナー付けの用途選択画面になります。2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したファスナー付けの模様選択画面になります。ファスナー付けは、10種類の模様があります。(106ページ参照)

⑥ギャザー

「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの模様選択画面になります。ギャザーは、2種類の模様があります。(111ページ参照)

〔用途選択画面〕



⑦ しつけぬい

「しつけ」キーを押すと、しつけぬいの模様選択画面になります。しつけぬいは、2種類の模様があります。(112 ページ参照)

⑧ ボタン付け

「ボタンつけ」キーを押すと、ボタン付けの模様選択画面になります。ボタン付けは、2種類の模様があります。(112 ページ参照)

⑨ かんぬき止め

「かんぬき」キーを押すと、かんぬき止めの模様選択画面になります。かんぬき止めは、4種類の模様があります。(115 ページ参照)

⑩ アップリケ

「アップリケ」キーを押すと、アップリケの模様選択画面になります。アップリケは、6種類の模様があります。(115 ページ参照)

⑪ パッチワーク

「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様選択画面になります。パッチワークは、3種類の模様があります。(117 ページ参照)

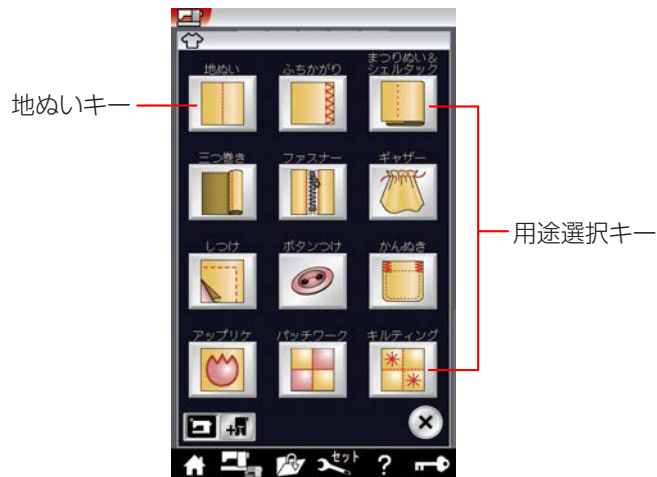
⑫ キルティング

「キルティング」キーを押すと、6種類のキルティングの用途選択画面になります。6種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したキルティングの模様選択画面になります。キルティングは、22種類の模様があります。(119 ページ参照)

★模様選択画面

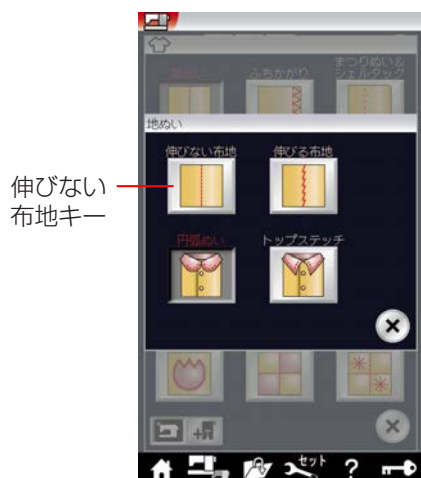
地ぬい…伸びない布地用の模様を選ぶ例

〔用途選択画面〕（1/2 ページ）



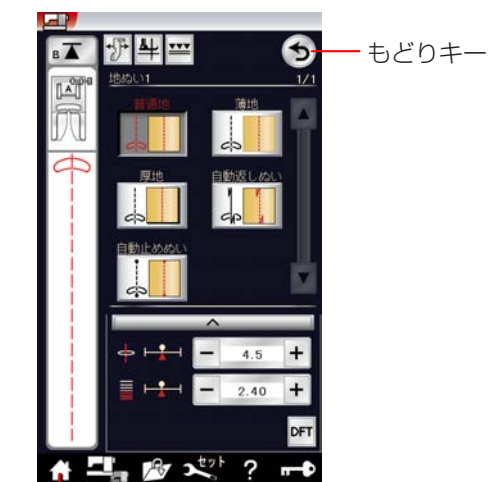
① 上の画面で地ぬいキーを押す

〔用途選択画面／地ぬいの 2 段階目〕



② 上の画面で伸びない布地キーを押す

〔模様選択画面／伸びない布地〕



ホームキー

用途選択画面の用途選択キーを押すと、その用途に使用する模様選択画面になります。

「地ぬい」「まつりぬい・シェルタック」「ファスナー付け」「キルティング」は 2 段階の用途選択画面で構成されていますので、用途選択キーを 2 回押すと模様選択画面になります。

※ 模様選択画面のもどりキーを押すと、1 つ前の用途選択画面にもどります。

用途選択のぬいが終わって、他の模様グループを選ぶ場合は、ホームキーで目的の模様グループを選んでください。

●地ぬい

〔用途選択画面／地ぬい〕



用途選択画面の「地ぬい」キーを押すと、4種類の地ぬいの用途選択画面になります。

4種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適した地ぬいの模様選択画面になります。

地ぬいに適した12種類の模様が選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい」（43ページ）をごらんください。

【伸びない布地】

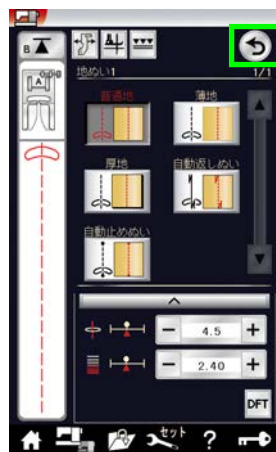
デニム、ブロード、シーチング、ローンなどに適した5種類の模様が選択できます。

- ① もどりキー
もどりキーを押すと1つ前の画面にもどります。

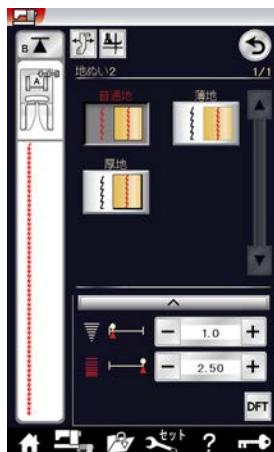
【伸びる布地】

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮性布地に適した3種類の模様が選択できます。

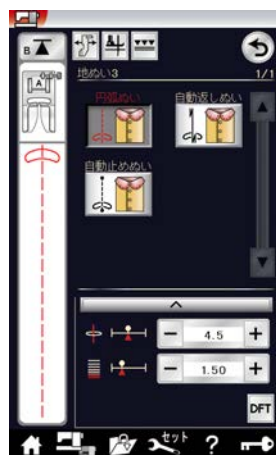
伸びない布地



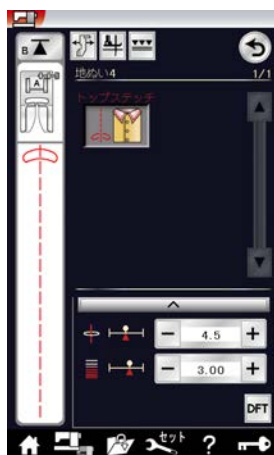
伸びる布地



円弧ぬい



トップステッチ



【円弧ぬい】

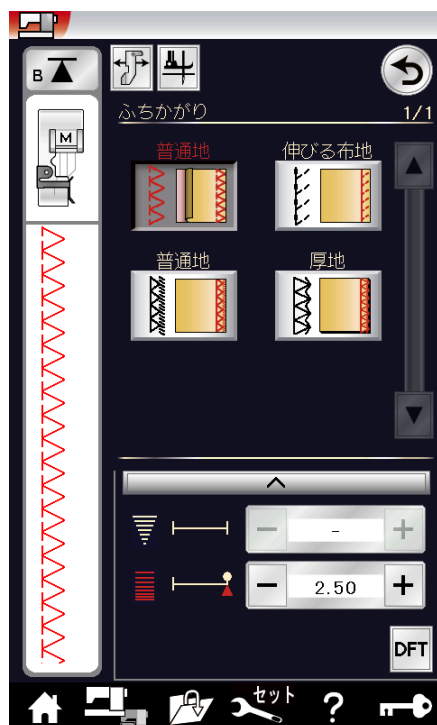
円弧ぬいに適した3種類の模様が選択できます。

【トップステッチ】

トップステッチに適した模様が選択できます。

●ふちかがり

〔模様選択画面／ふちかがり〕



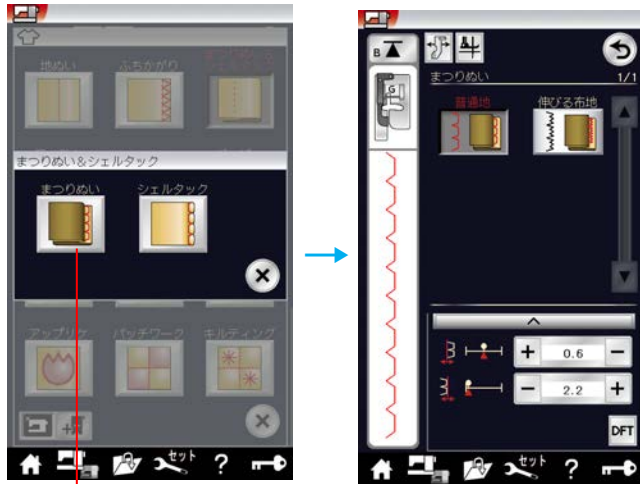
用途選択画面の「ふちかがり」キーを押すと、ふちかがりの模様選択画面になります。

ふちかがりに適した4種類の模様が選択できます。

※ めい方は、「◎実用めい／●かがりめい」(51ページ)をごらんください。

●まつりぬい

〔用途選択画面〕 〔模様選択画面／まつりぬい〕
まつりぬい&シェルタック

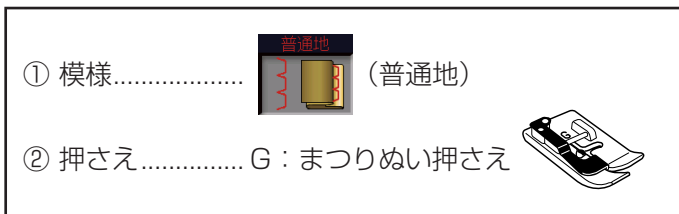


まつりぬいキー

用途選択画面の「まつりぬい&シェルタック」キーを押すと、まつりぬいとシェルタックのどちらかを選ぶ用途選択画面になります。

「まつりぬい」キーを押すと、まつりぬいの模様選択画面になります。

まつりぬいに適した2種類の模様が選択できます。

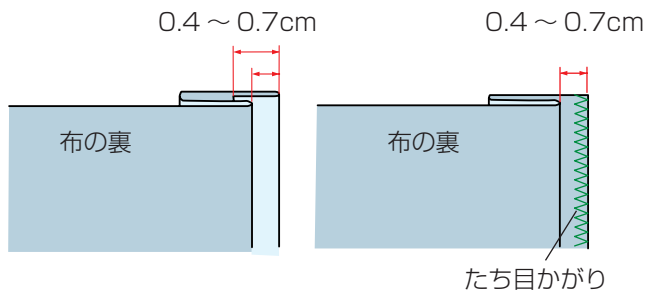


【ぬい方】(模様  の例)

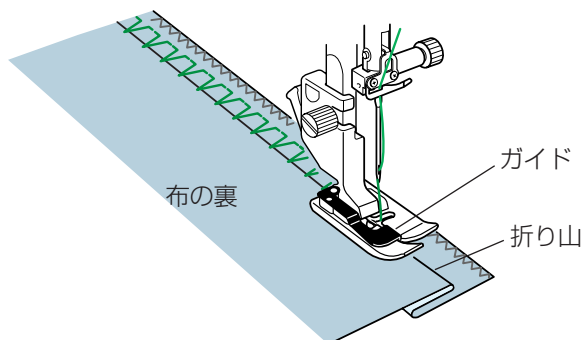
①

〈薄い布、普通の布の場合〉

〈厚い布の場合〉



②



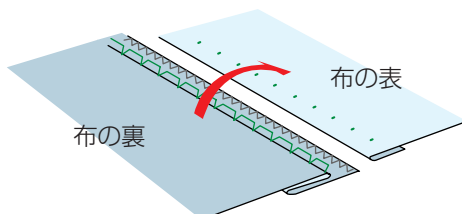
① 布を折ります。

② 折り山をガイドに合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れないように、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、左針位置調節キーまたはぬい目の幅調節キーで左針位置（折り山側の針位置）を調節してください。

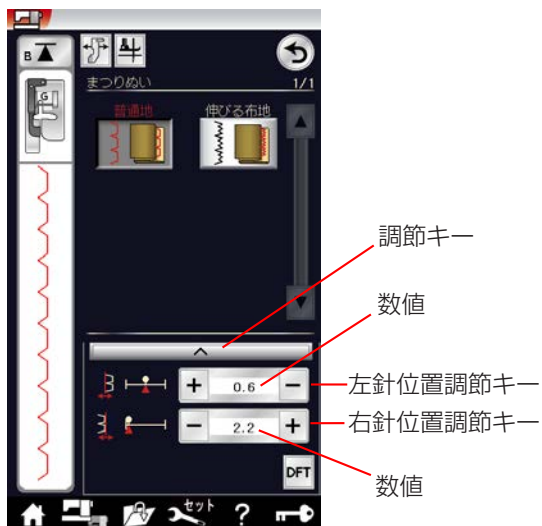
（次ページ【針位置の調節方法】参照）

③



③ ぬい終わったら布を広げます。

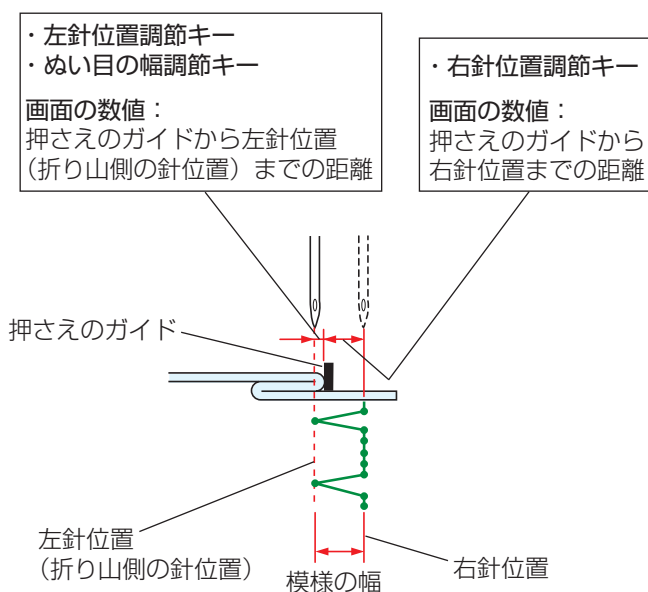
〔模様選択画面／まつりぬい〕



〔調節画面〕



画面の数値と針位置の関係



【針位置の調節方法】

※ 下記、左針位置調節キーおよび右針位置調節キーは、調節キーを押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(35 ページ) をご覧ください。

《左針位置調節キー》

左側の針位置（折り山側の針位置）をかえることができます。右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離の目安をミリメートルで表示しています。

- ・ 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、左針位置が左へ移動します。
- ・ 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、左針位置が右へ移動します。

《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

画面の数値は、押さえのガイドから右針位置までの距離の目安をミリメートルで表示しています。

- ・ 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、右針位置が右へ移動します。
- ・ 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、右針位置が左へ移動します。

《ぬい目の幅調節キー（針位置調節キー）》

模様の幅をかえずに左側の針位置（折り山側の針位置）をかえることができます。

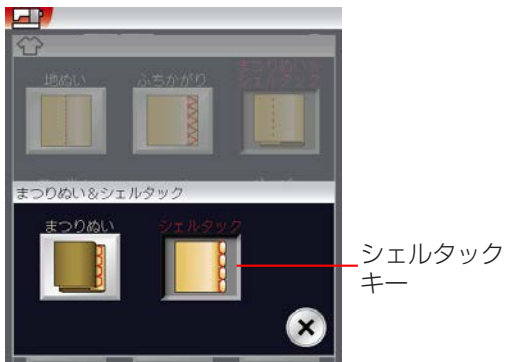
画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離の目安をミリメートルで表示しています。

- ・ 「+」を押すと表示されている数値が大きくなり、左針位置が左へ移動します。（模様全体が左に移動します。）
- ・ 「-」を押すと表示されている数値が小さくなり、左針位置が右へ移動します。（模様全体が右に移動します。）

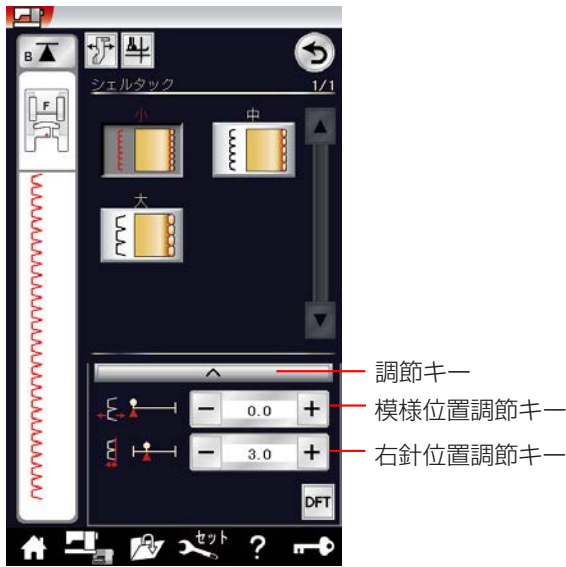
※ 変更した値をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）にもどす場合は、調節画面の初期化キーを押してください。

●シエルタック

〔用途選択画面〕
まつりぬい&シエルタック



〔模様選択画面/シエルタック〕



〔調節画面〕



- ① 模様..... (小)  (小)
- ② 押さえ..... F: サテン押さえ 

【ぬい方】(模様 の例)

- ① 布をバイヤスに2つ折りにします。
- ② 右の針位置が布の折り山のきわ(布の外側)におりるようにしてぬいます。

【針位置の調節方法】

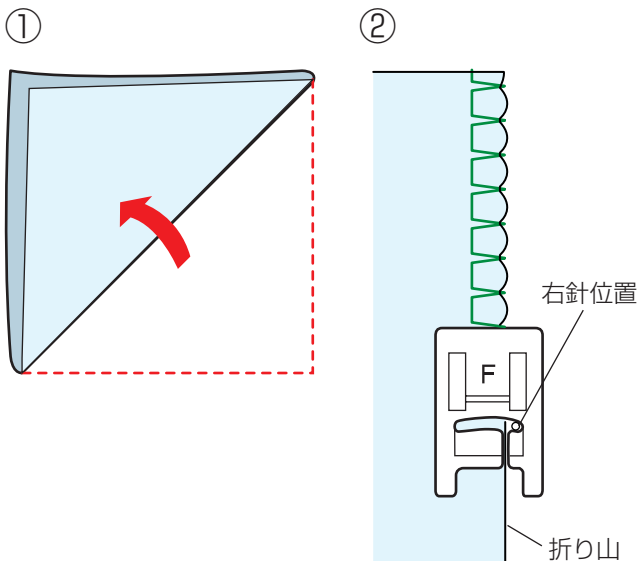
※ 下記、模様位置調節キーおよび右針位置調節キーは、調節キーを押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。調節画面の基本的な使い方は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面」(35 ページ)をごらんください。

《模様位置調節キー》

模様の幅をかえずに、模様のぬい位置を左右に移動させることができます。

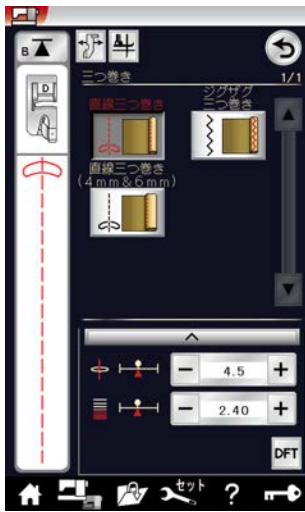
《右針位置調節キー》

右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。



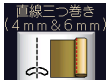
●三つ巻きぬい

〔模様選択画面／三つ巻きぬい〕



用途選択画面の「三つ巻き」キーを押すと、三つ巻きぬいの模様選択画面になります。

三つ巻きぬいに適した3種類の模様が選択できます。

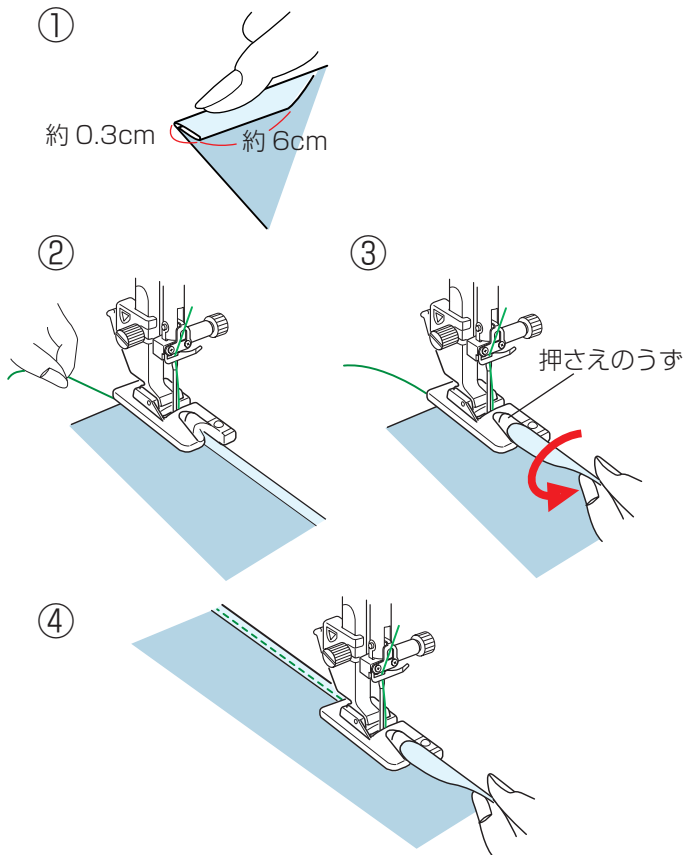
※ 模様  は、オプションの「D1：三つ巻き押さえ」

または「D2：三つ巻き押さえ」を使用して、標準の三つ巻き幅より広い幅をぬう場合に使います。

① 模様.....  (直線三つ巻き)

② 押さえ..... D：三つ巻き押さえ 

【ぬい方】(模様  の例)



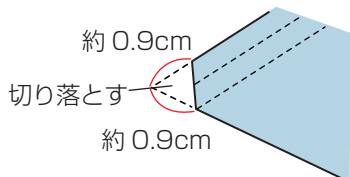
① 布端約6cmの長さを、約0.3cmの幅で三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつけるとぬいやすくなります。

② 最初のぬい位置に針をさして押さえをさげ、上糸を向こう側に引きながら1～2cmぬってミシンを停止します。

③ 針を布にさした状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうずの中に巻き込みます。

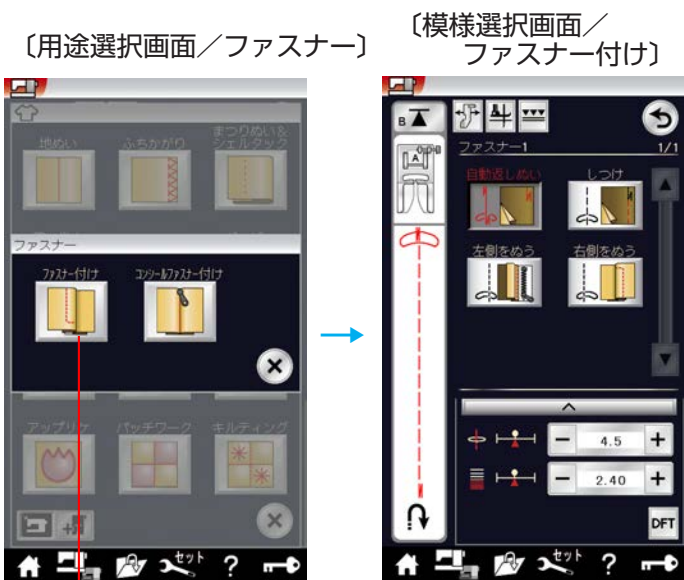
④ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。



布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくするために布端を切り落として折り合わせます。

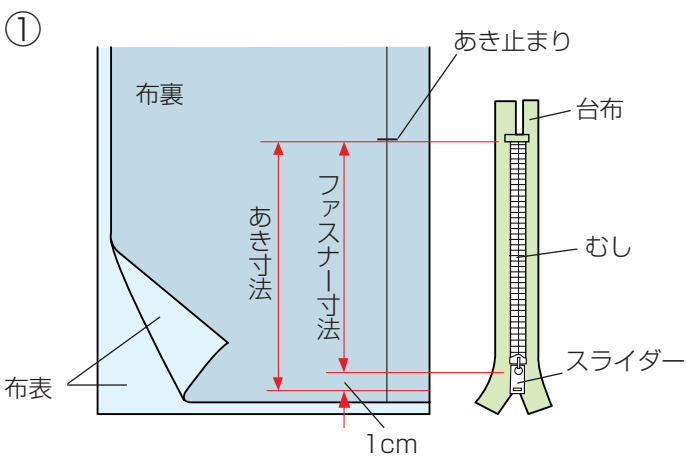
●ファスナー付け



ファスナー付けキー

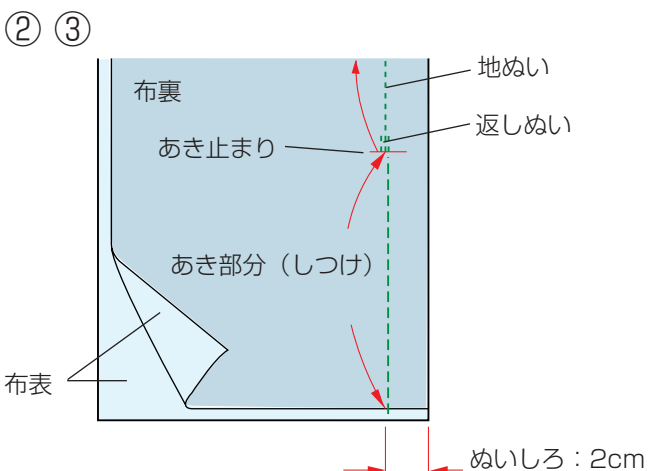
用途選択画面の「ファスナー」キーを押すと、2種類のファスナー付けの用途選択画面になります。2種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したファスナー付けの模様選択画面になります。ファスナー付けに適した10種類の模様が選択できます。

① 模様.....				
	(自動返しぬい)	(しつけ)	(左側をぬう)	(右側をぬう)
② 押さえ.....	A：基本押さえ		E：ファスナー押さえ	



【ぬい方】(左脇あきのぬい方例)

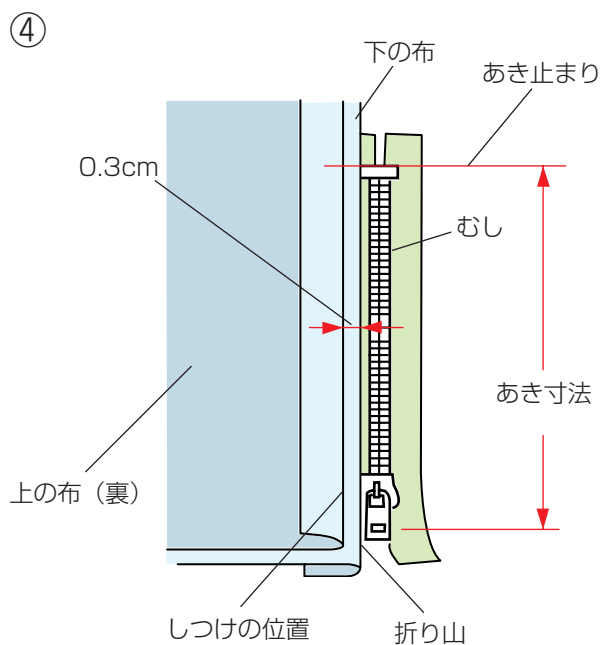
① ファスナーのあき寸法を確認めます。あき寸法は、ファスナー寸法に1cm プラスした寸法です。



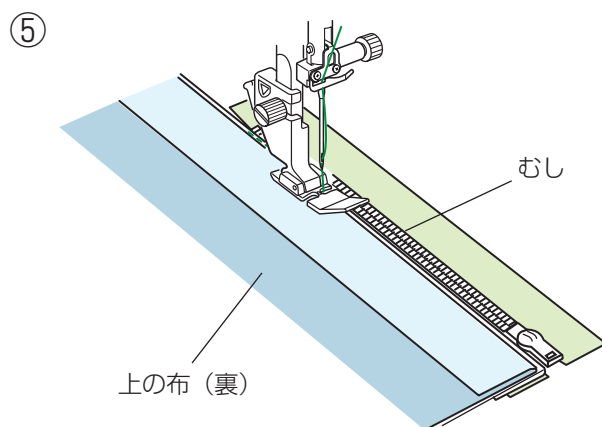
② 模様 を選び、A：基本押さえで、布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。


※ 模様 は自動返しぬいです。自動返しぬいのぬい方は、「◎実用ぬい／●直線(直線状模様)ぬい／★自動返しぬい」(46 ページ)をごらんください。

③ 模様 を選び、あき部分のしつけをします。

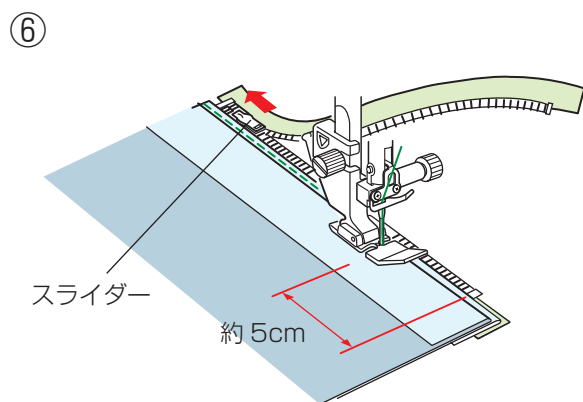


④ めいしろを割り、下の布のめいしろを 0.3cm 出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。



⑤ 模様  を選び、E：ファスナー押さえに付けかえ、むしのきわを押さえの右側面にあて、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

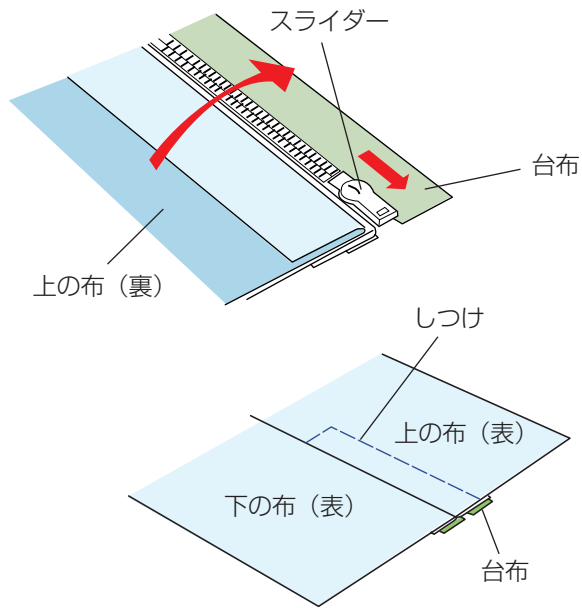
※ めい始めのほつれ止めは数針返しぬいをします。




⑥ ファスナーの端から約 5cm ほど手前でミシンを停止し、針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

※ めい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

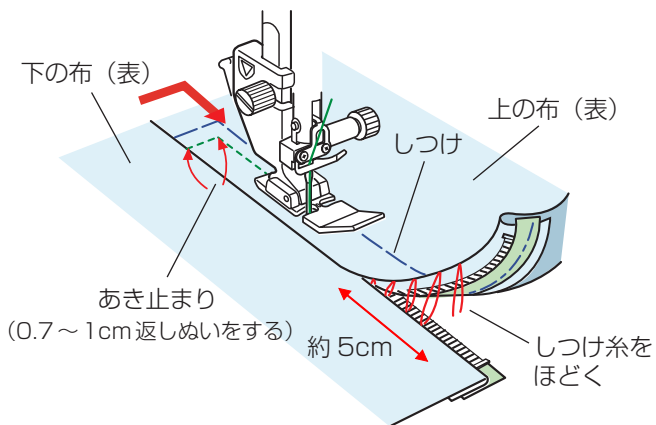
⑦




⑦ ファスナーを閉じ、スライダーを上になおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。

模様  を選び、A：基本押さえに付けかえ、かぶせた布と台布をしつけで止めます。

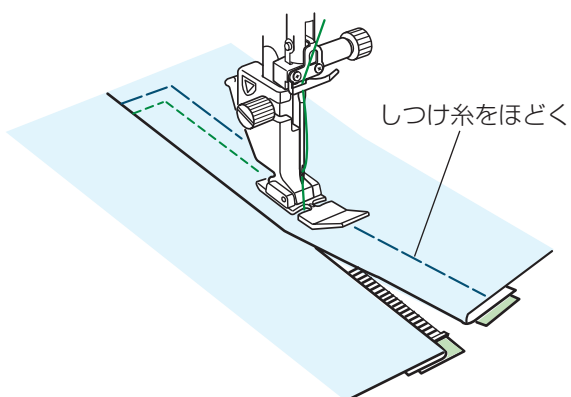
⑧ ⑨



⑧ 模様  を選び、E：ファスナー押さえに付けかえ、上の布のあき止まりを0.7～1cmほど返しぬいしてから、むしのきわを押さえの左側面にあて、ファスナーの右側をぬいます。

⑨ ファスナーの上側を5cmほど残したところでミシンを停止し、針を布にさした状態で押さえをあげ、手順③でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを押さえの向こう側にずらします。

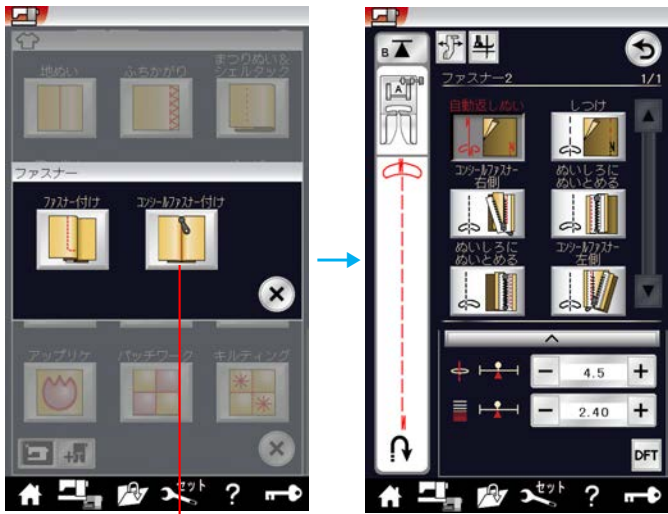
⑩



⑩ 押さえをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順⑦でぬったしつけ糸をほどきます。

●コンシールファスナー付け

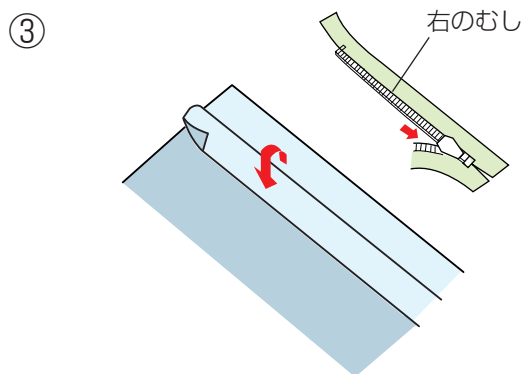
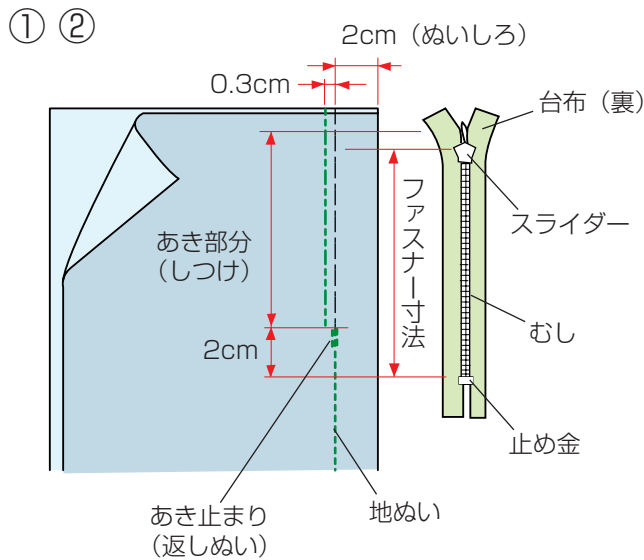
〔用途選択画面／ファスナー〕 〔模様選択画面／コンシールファスナー付け〕



コンシールファスナー付けキー

コンシールファスナー付けキーを押すと、コンシールファスナー付けに必要な模様選択画面になります。模様選択画面は6個の模様選択キーがあります。

① 模様.....						
	(自動返しぬい)	(しつけ)	(ぬいしろにぬいとめる)	(ぬいしろにぬいとめる)	(コンシールファスナー 右側)	(コンシールファスナー 左側)
② 押さえ.....	A: 基本押さえ		E: ファスナー押さえ		Z: コンシールファスナー押さえ	



【ぬい方】

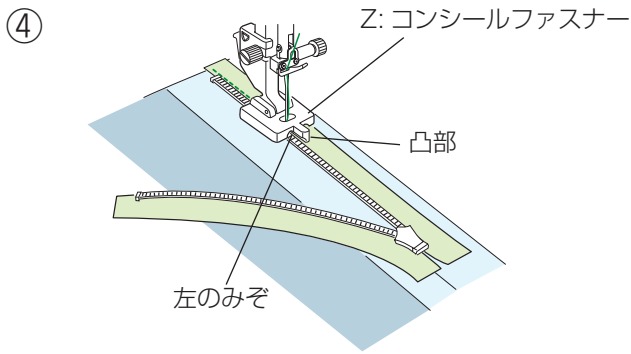
※ コンシールファスナーは、あき寸法より2cmくらい長いものを準備します。


① 模様 を選び、A: 基本押さえで、布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。

※ 模様 は自動返しぬいです。自動返しぬいのぬい方は、「◎実用ぬい／●直線 (直線状模様) ぬい／★自動返しぬい」(46 ページ) をごらんください。

② 模様 を選び、あき部分は地ぬい線より内側に0.3cmの位置をしつけをします。

③ ぬいしろの上側の布を身頃側へ折り返します。ファスナーを裏返しにセットし、ファスナーを開いて右のむしを折り山にあてておきます。

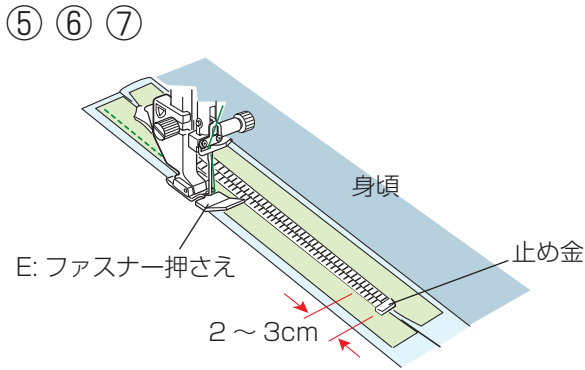



④ 模様  を選び、Z: コンシールファスナー押さえに付けかえます。

右側のむしを立てて、押さえの左のみぞに入れ、むしの部分を押さえの凸部にあてながら、あき止まりまでぬっていきます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

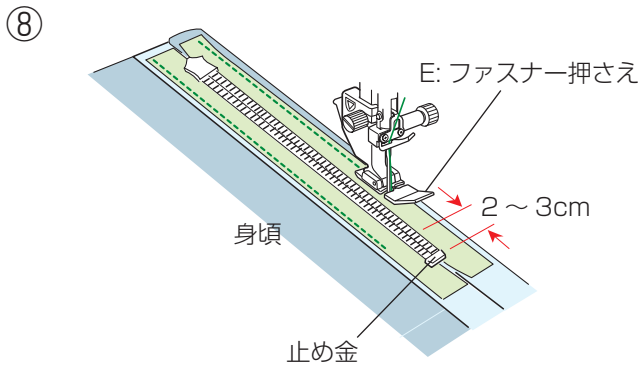
⑤ 押さえをあげ、ファスナーを閉じます。




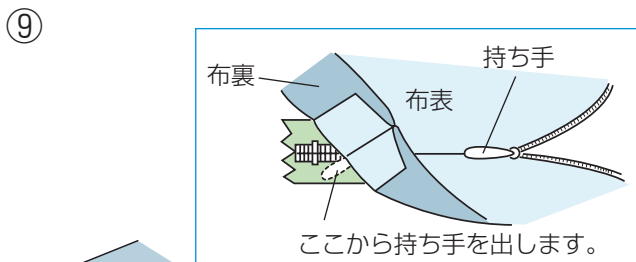
⑥ 模様  を選び、Z: コンシールファスナー押さえを外し、E: ファスナー押さえをセットします。


⑦ 身頃を右側に折り返して、ぬいしろに左側の台布の端を止め金から2～3cmのところまでぬい付けます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。



⑧ 模様  を選び、身頃を左側に折り返して、ぬいしろに右側の台布の端を止め金から2～3cmのところまでぬい付けます。
ぬい終わりに返しぬいをします。



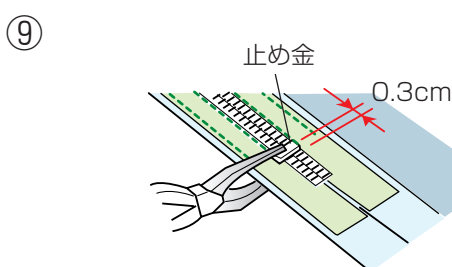
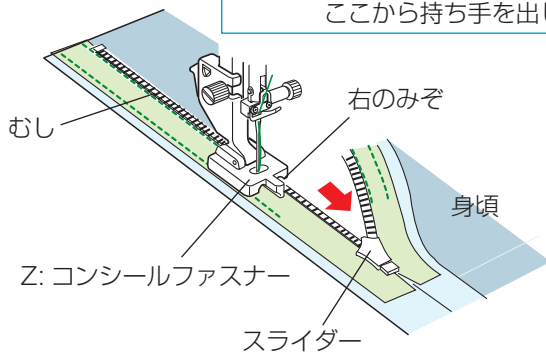
⑨ 模様  を選び、Z: コンシールファスナー押さえに付けかえます。

①でぬったしつけ糸をほどき、スライダを止め金までおろします。

表から持ち手を布とファスナーの間に入れるとスライダは止め金までさがります。

身頃を右側に折り返します。

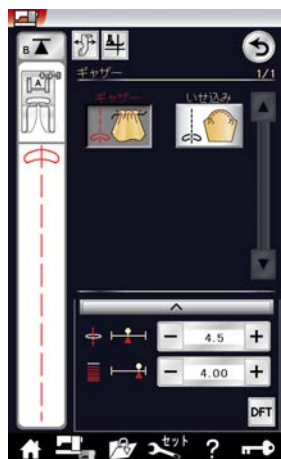
左のむしを立てて押さえの右のみぞに入れ、④と同じ方法でぬっていきます。



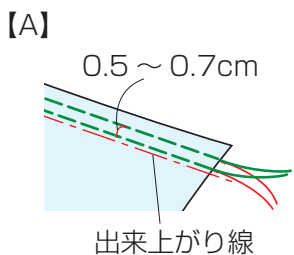
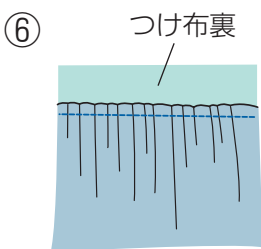
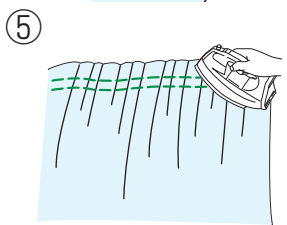
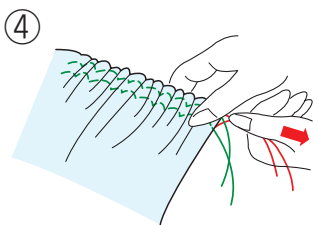
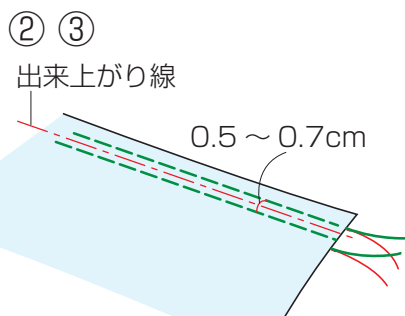
⑨ 止め金をファスナーのあき止まりの位置より0.3cmくらい上でペンチで固定します。

●ギャザー

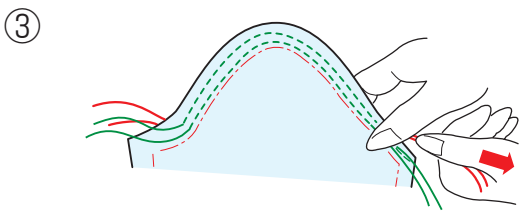
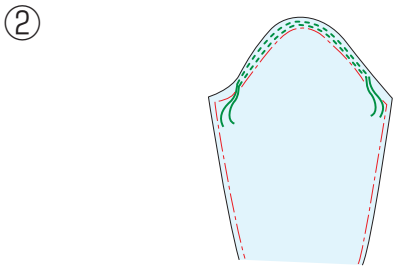
〔模様選択画面／ギャザー〕



- ① 模様.....  (ギャザー)
- ② 押さえ... A: 基本押さえ 



- ① 模様.....  (いせだみ)
- ② 押さえ..... A: 基本押さえ 



用途選択画面の「ギャザー」キーを押すと、ギャザーの模様選択画面になります。
ギャザーに適した2種類の模様が選択できます。

【ぬい方】ギャザー (模様 の例)

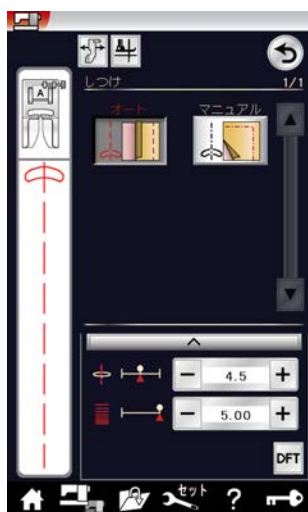
- ① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、「◎ぬう前の準備 / ●下糸を針板の上に引き出す場合」(33ページ)をごらんください。
- ② 図のように、出来上がり線を挟んで、2本平行にしつけをぬいます。
- ③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を5cmくらい残して切ります。
(糸切りボタンで切らないでください。)
- ④ ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を2本一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。
- ⑤ ギャザーを整え、アイロンがけします。
- ⑥ 通常ぬいの直線模様を選び、出来上がり線をぬって、しつけを取ります。
※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、出来上がり線の上側に2本しつけをして、ギャザーを寄せます。左図【A】参照

【ぬい方】いせだみ (模様 の例)

- ① 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、「◎ぬう前の準備 / ●下糸を針板の上に引き出す場合」(33ページ)をごらんください。
- ② ぬいしろの部分に0.5~0.7cmの間かくで2本平行にぬいます。
- ③ 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。
※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。


●しつけ

〔模様選択画面／しつけ〕




用途選択画面の「しつけ」キーを押すと、しつけの模様選択画面になります。

しつけに適した2種類の模様が選択できます。

模様  は、ぬい目のあらかさが最大値（約0.5cm）の直線ぬいを自動的にぬうことができます。

あとで糸をほどこきやすいように、糸調子が弱く設定されています。

模様  は、お好みの間かくを1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

ぬい方は、「◎実用ぬい／●しつけぬい」（50ページ）をごらんください。

●ボタン付け

〔模様選択画面／ボタン付け〕



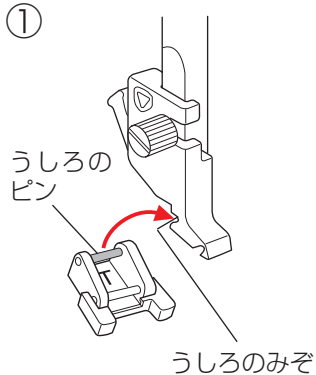
用途選択画面の「ボタン付け」キーを押すと、ボタン付けの模様選択画面になります。

ボタン付けに適した2種類の模様が選択できます。

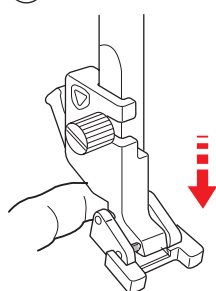
⚠ 注意

必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してください。ボタンに針があたると針が折れ、けがの原因になります。

①




②





ボタン付け押さえの取り付け方


押さえを交換する場合の基本操作は、「◎操作方法／●押さえの外し方、付け方」（19ページ）をごらんください。

- ① 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。
- ② 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。

① 模様..... (普通のボタンつけ) 

② 押さえ.....T: ボタン付け押さえ 

【普通のボタン付けのぬい方】(模様  の例)

※ 模様  は、ぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

①



① ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調節キーで、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。(最大 7.0mm まで調節できます。)

※ 間かく調節キーは、調節キーを押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。

③ ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。

④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンにあたらないうで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)

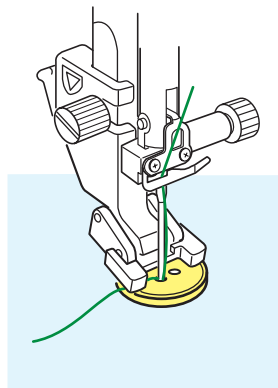
⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。

⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らないでください。)

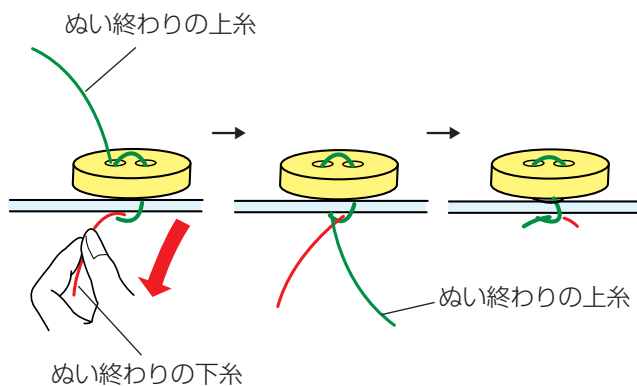
⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。

② ③ ④ ⑤



⑥ ⑦






【根巻きボタン付けのぬい方】(模様 の例)

① 模様..... (根巻きボタンつけ)



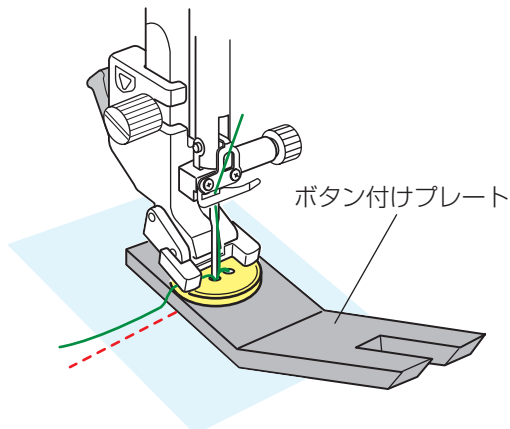
② 押さえ..... T: ボタン付け押さえ



※ 模様  は、ぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

① ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調節キーで、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。(最大 7.0mm まで調節できます。)
(模様選択画面は 112 ページ参照)

② ③ ④ ⑤



② ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。

③ ボタンの下にボタン付けプレートを差し込み、ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。

※ ボタン付けプレートは、みぞの部分がボタン穴の下になるように差し込んでください。

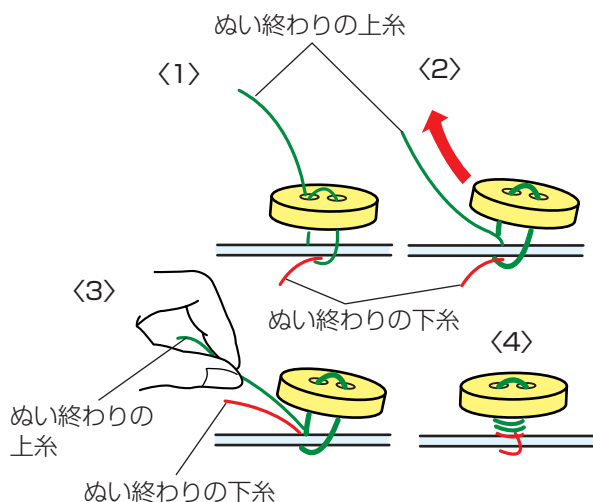
※ ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5mm、うすい方が 3mm になっています。根巻きの用途に合わせてお選びください。

④ はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンおよびボタン付けプレートにあたらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。

※ 針がボタンにあたる場合は、間かく調節キーで調節してください。(左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。)

⑤ ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。

⑥ ⑦



⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 ~ 20cm 残して切ります。(糸切りボタンで切らないでください。)

⑦ ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、上糸をボタンと布のあいだに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと布のあいだに引き出します。

上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回巻き付けて結びます。

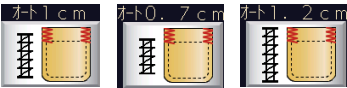
●かんぬき止め


〔模様選択画面／かんぬき止め〕



用途選択画面の「かんぬき」キーを押すと、かんぬき止めの模様選択画面になります。

かんぬき止めに適した4種類の模様が選択できます。

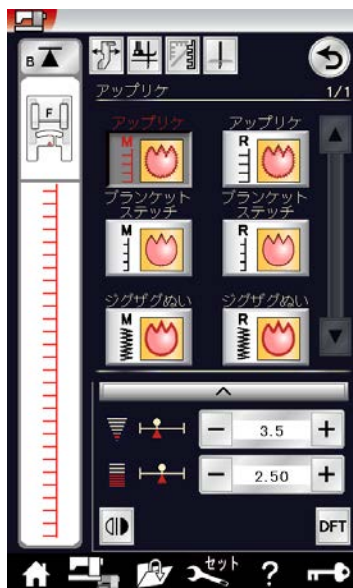
模様  は、かんぬき止めの長さがそれぞれ1cm、0.7cm、1.2cmの固定値になっています。

模様  は、お好みの長さ(最大2.5cm)がぬえます。

ぬい方は、「◎ボタンホール／●かんぬき止め」(71ページ)をごらんください。

●アップリケ

〔模様選択画面／アップリケ〕



用途選択画面の「アップリケ」キーを押すと、アップリケの模様選択画面になります。

アップリケに適した6種類の模様が選択できます。

画面の模様選択キーに表示されている「M」「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

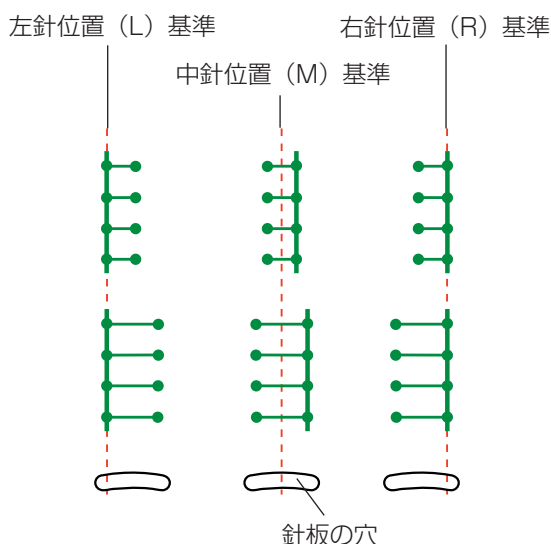
模様  の「M」は、ぬい目の幅をかえたときに、中針位置(中央)を基準(固定)に左右に幅が変化します。

模様  の「R」は、ぬい目の幅をかえたときに、右針位置を基準(固定)に左に幅が変化します。

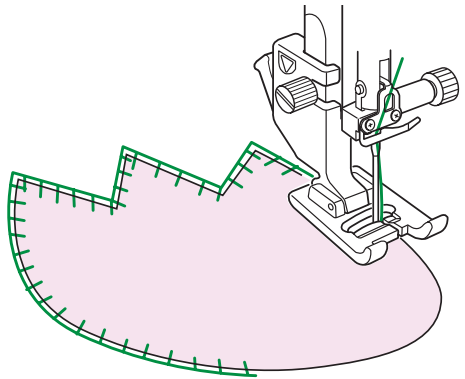
※ アップリケに使用できる模様は、飾りぬい模様グループのアップリケグループにもあります。

アップリケグループの模様選択キーに表示されている「L」は、上記同様、ぬい目の幅をかえたときに、左針位置を基準(固定)に右に幅が変化します。

飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(74ページ)をごらんください。



- ① 模様.....  (アップリケ)
- ② 押さえ..... F：サテン押さえ 



【ぬい方】(模様  の例)

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
 模様の針位置が右のときに、アップリケ布の縁の外側に
 ささるようにぬいます。

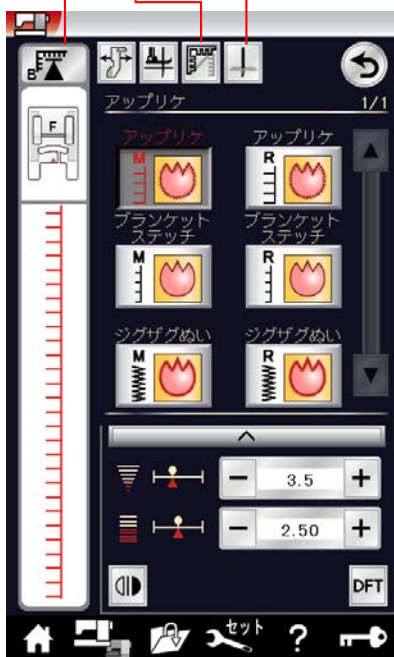
カーブのところや方向転換するところでは、アップリケ
 布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさ
 したまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上が
 ります。

※ ピボットぬい設定キーを使用すると便利です。

「◎実用ぬい／●実用ぬいの画面」(34 ページ) をご
 らんください。

〔模様選択画面〕

- 模様頭出しキー (角ぬい状態)
 角ぬいキー (角ぬい状態)
 針停止位置切りかえキー



針停止位置切りかえキーの使い方

セットキーによるミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置
 停止」に設定されていても、用途選択の6種類のアップリケ模様
 を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置になります。
 ミシンを停止したときの針位置を上にした場合は、模様選択画
 面の針停止位置切りかえキーを押して上位置停止状態にしてくだ
 さい。



：下位置停止状態



：上位置停止状態

※ セットキーによる、針停止位置の設定は、「◎ミシンの設定／
 【通常ぬい設定】③針停止位置」(203 ページ) をごらんください。

角ぬいキーの使い方

模様選択画面の角ぬいキーを利用すると、角の部分で方向転換し
 てから模様頭出しキーにより模様を最初からぬっても、模様のぬ
 い始めにほつれ止めの止めぬいが入らないので、模様をきれいに
 ぬうことができます。

※ 模様頭出しキーは、「◎飾りぬい／●模様組み合わせモード／
 ★模様頭出しキーの使い方」(81 ページ) をごらんください。

- ① 角ぬいキーを押してキーの表示を角ぬいの状態にします。(角
 ぬいの状態にセットすると、模様頭出しキーの表示も角ぬい状
 態の表示にかわります。)



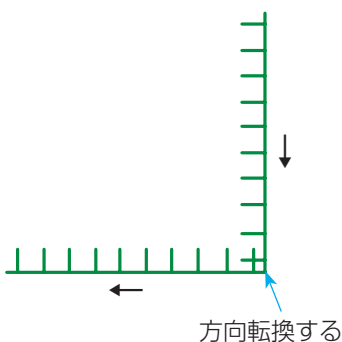
：通常の状態



：角ぬいの状態

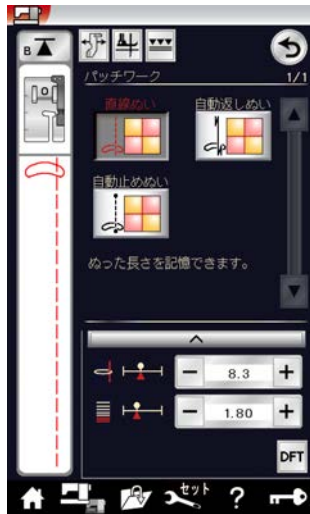
- ② 方向転換するところのアップリケ布の外側に針がささった位置
 でミシンを停止します。

- ③ 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様頭出しキ
 ーを押してからミシンをスタートさせます。



●パッチワーク

〔模様選択画面／パッチワーク〕




〔模様選択画面／パッチワーク (上送り)〕

上送りぬい切りかえキー

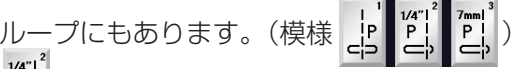



用途選択画面の「パッチワーク」キーを押すと、パッチワークの模様選択画面になります。
パッチワーク（ピーシング）に適した3種類の模様が選択できます。


※ 3種類の模様は、0：パッチワーク押さえを利用してぬうと、0.65cm（1/4インチ）のぬいしろを正確にぬうことができます。

※ 模様  は、自動返しぬいおよび自動止めぬいです。

自動返しぬいおよび自動止めぬいのぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい／★自動返しぬい、★自動止めぬい」（46ページ）をごらんください。

※ ピーシング用の模様は、飾りぬい模様グループのキルトグループにもあります。（模様 ）

模様  は、上記、パッチワークの3種類の模様と同様、パッチワーク押さえを利用してぬうと、1/4インチのぬいしろを正確にぬうことができます。

模様  は、パッチワーク押さえを利用してぬうと、0.7cmのぬいしろを正確にぬうことができます。
飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」（74ページ）をごらんください。

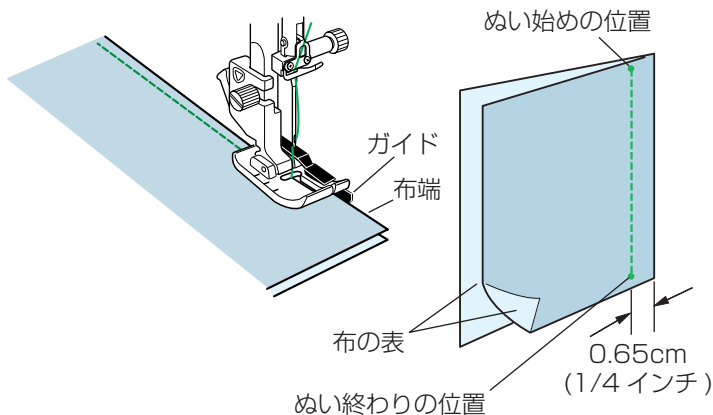
※ 上送りぬい切りかえキーを押すと、使用する押さえ表示がOD：パッチワーク用上送り押さえになりますが、標準付属品には含まれていませんので、ご了承願います。

なお、OD：パッチワーク用上送り押さえは、オプション品にて対応予定です。

① 模様.....  (自動止めぬい)

② 押さえ..... 0：パッチワーク押さえ 

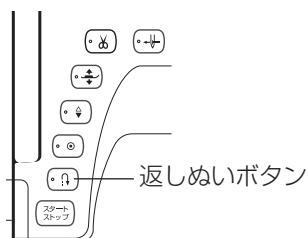
①



【ぬい方】（模様  の例）

① 布を中表に合わせ、ぬい始めの位置からミシンをスタートさせ、ぬい終わりの位置でミシンを停止します。

②



② 返しぬいボタンを一度押します。

その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

③

〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



③ ミシンが停止するとメッセージ画面が表示されます。


- 引き続き同じ長さをぬう場合は、OK キーを押します。ぬい長さが記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
- 異なる長さをぬう場合は、閉じるキーを押します。

※ ぬい目のあらかの調節は、模様選択画面上でできます。調節キーを押して表示される調節画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

針板角度目盛りの使い方


パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 0.65cm（1/4 インチ）のぬい始めの位置を決めることができます。

【例】レモンスター

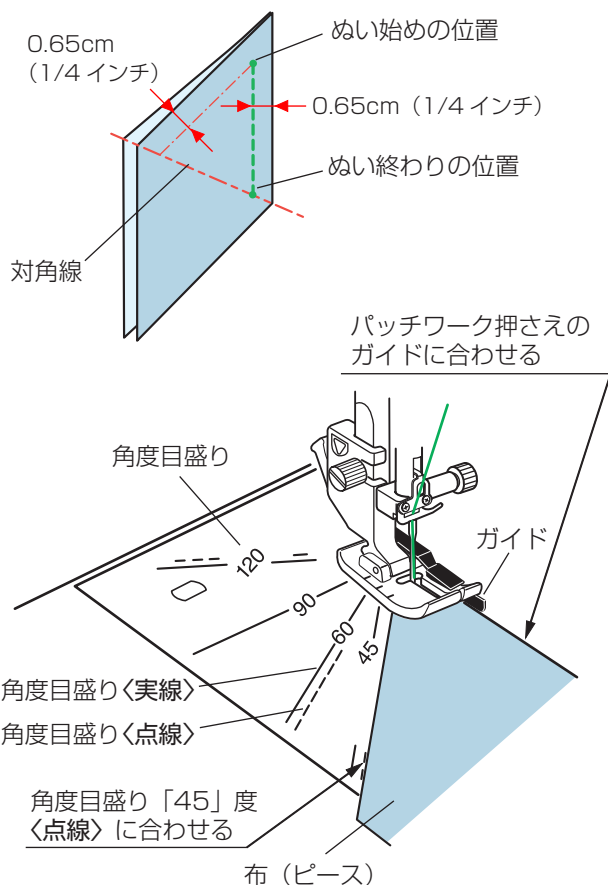
① パッチワーク押さえをセットし、用途選択のパッチワーク 3 種類の模様、または飾りぬい模様グループのキルトグループ、模様  を選びます。

② ピースの対角線に折り目を付けます。

③ ぬい始めは、布端をパッチワーク押さえのガイドおよび角度目盛り「45」度〈点線〉に合わせて布を置きます。

※ パッチワーク押さえを使わず基本押さえなどを使用する場合は、飾りぬい模様グループのキルトグループ、模様 （中針位置の直線）を選び、布端を針板のガイドライン 1/4 インチおよび角度目盛り「45」度〈実線〉に合わせて布を置きます。

④ ぬい終わりは対角線までぬいます。



●キルティング

〔用途選択画面／キルティング〕

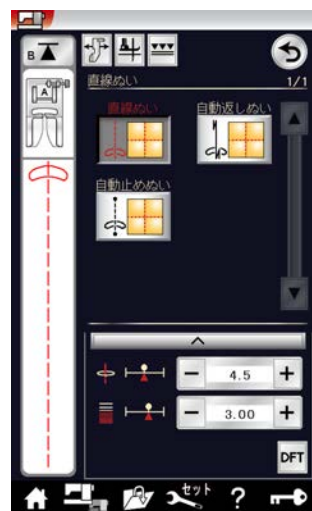


用途選択画面の「キルティング」キーを押すと、6種類のキルティングの用途選択画面になります。

6種類の中から目的のキーを押すと、それぞれの用途に適したキルティングの様式選択画面になります。

★直線ぬい

〔模様選択画面／直線ぬい〕



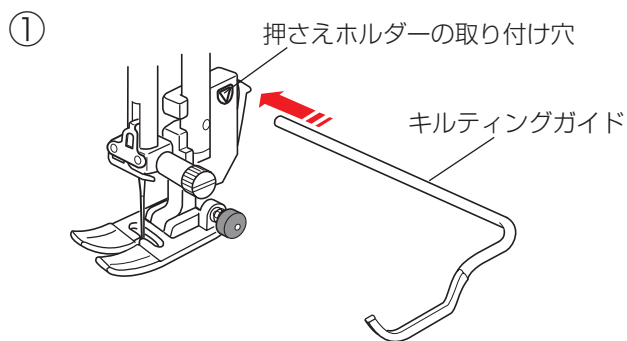
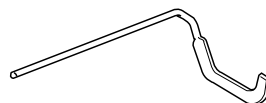
キルティングの用途選択画面の「直線ぬい」キーを押すと、3種類の直線ぬいの模様を選択できます。

※ ぬい方は、「◎実用ぬい／●直線（直線状模様）ぬい」（43ページ）をごらんください。

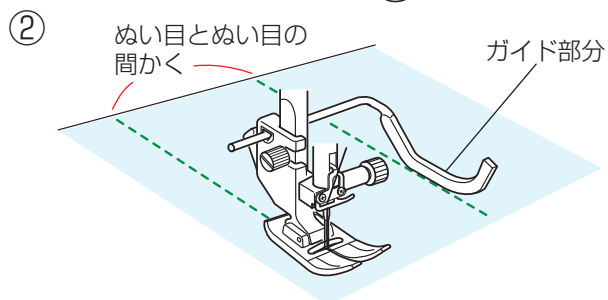
【キルティングガイドの使い方】

キルティングガイドを利用すると、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

〔キルティングガイド〕

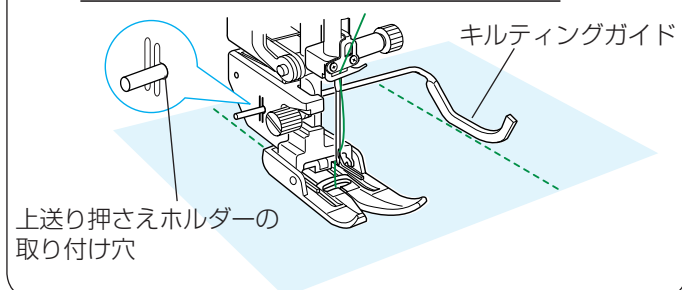


① 押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティングガイドを差し込みます。（針位置とキルティングガイドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。）



② キルティングガイドのガイド部分に隣のぬい目を合わせながらぬいます。

上送り押さえの場合の取り付け方



★とじぬい

〔模様選択画面／とじぬい〕



キルティングの用途選択画面（119 ページ参照）の「とじぬい」キーを押すと、4 種類のとじぬいの模様が選択できます。

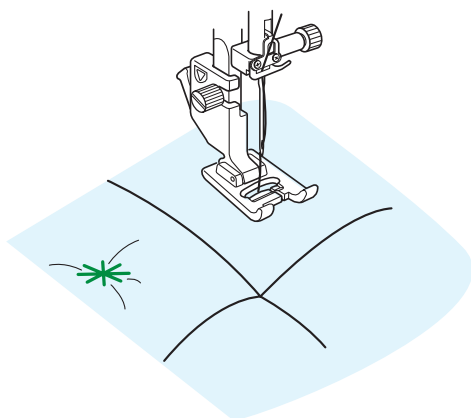
厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

※ とじぬい模様は 1 つの模様が完成すると、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

① 模様.....  (とじぬい1)

② 押さえ.....F：サテン押さえ 

【ぬい方】（模様  の例）



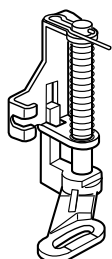
ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

★フリーキルティング

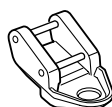
〔模様選択画面／フリーキルティング〕



キルティングの用途選択画面（119 ページ参照）の「フリーキルト」キーを押すと、4 種類のフリーキルティングの模様が選択できます。



《PD-H：フリーキルト押さえ》



《QC：丸穴キルト押さえ》



《QO：前あきキルト押さえ》



《QV：透明キルト押さえ》

【各種フリーキルト押さえの特長】

《PD-H：フリーキルト押さえ》

直線模様、ジグザグ模様を使用します。
普通地や厚手のキルトに使用する基本的な押さえです。

《QC：丸穴キルト押さえ／ QO：前あきキルト押さえ》

直線模様を使用します。
フリーキルトの基本的な押さえです。
押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。
前あきの押さえは、手元が見えやすいので細かな作業に適しています。

《QV：透明キルト押さえ》

ジグザグ模様を使用します。
押さえ高さの調整が出来、一定の高さでぬう押さえです。
手元で見やすく、安定して布を押さえるので、段差のある作品にも適しています。
また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

① 模様.....  (直線ぬい1)

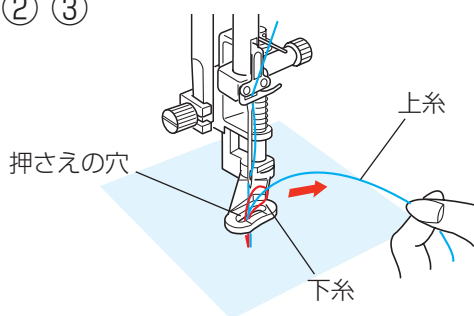
② 押さえ..... PD-H：フリーキルト押さえ 

【ぬい方】(模様  の例)

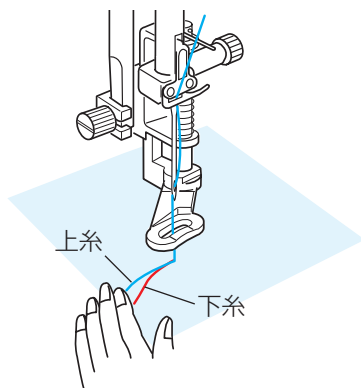
※ PD-H：フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎操作方法／●PD-H：フリーキルト押さえの取り付け方」(22 ページ) をご覧ください。

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm 以上布を動かさないでください。

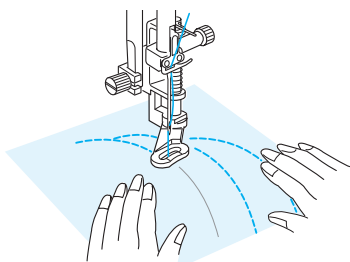
① ② ③



④



⑤



① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)

② ミシンをスタートさせます。
ミシンは 1 針ぬって停止します。

③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。

④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

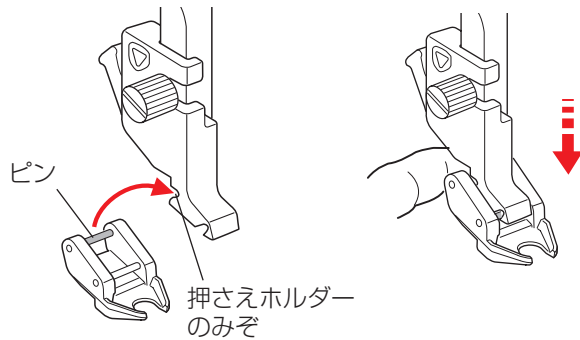
⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって両手で布を案内しながらキルティングします。

※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

⚠ 注意


キルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

QO：前あきキルト押さえの例



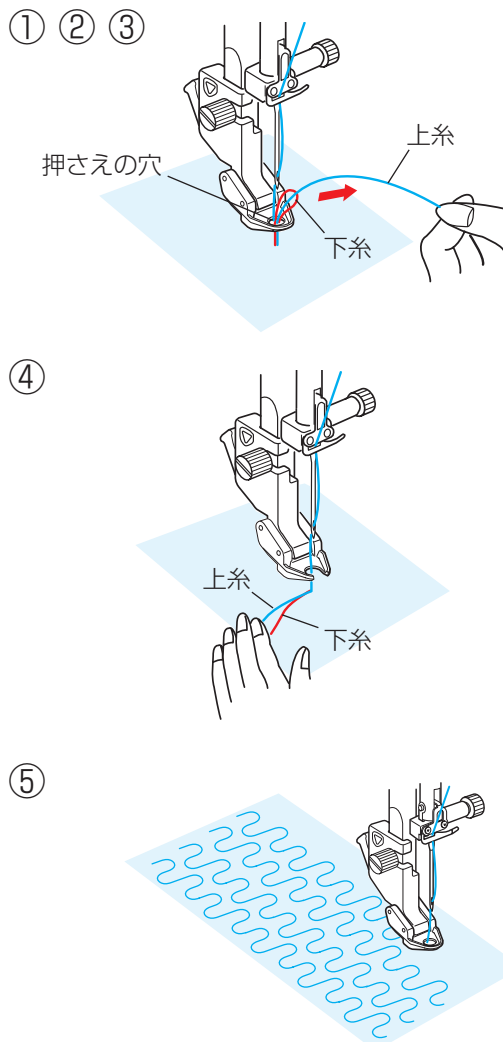
【QC：丸穴キルト押さえ／QO：前あきキルト押さえ／QV：透明キルト押さえの取り付け方】

- ① 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
- ② ロックキーを押して、ミシンをロック状態にします。
※ ロックキーの使い方は 19 ページをごらんください。
- ③ 使用しない押さえを外します。
- ④ 押さえのうしろのピンを押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。
- ⑤ 押さえのうしろを軽く押さえながら押さえ上げをさげます。
※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロック状態にし、押さえホルダーのレバーを押して、押さえを外します。

- ① 模様.....  (直線ぬい2)
- ② 押さえ..... QC：丸穴キルト押さえ
QO：前あきキルト押さえ

【QC：丸穴キルト押さえ／QO：前あきキルト押さえのぬい方】


(模様  の例)



両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。1針あたり3mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さの調節をしてください。(125ページをごらんください。)

- ① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)
- ② ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。
- ③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。
- ④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。
※ QO：前あきキルト押さえは押さえの穴がないので、引き出した上糸と下糸を横にして、押さえておきます。
- ⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案にそって両手で布を案内しながらキルティングをぬいます。
※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

- ① 模様.....  (ジグザグぬい2)
 ② 押さえ..... QV：透明キルト押さえ

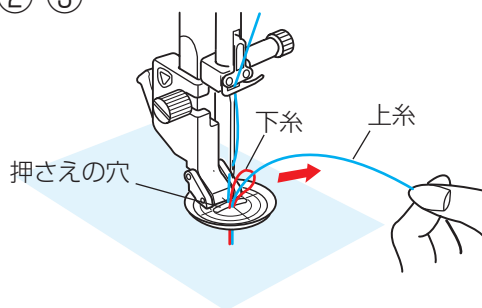
【QV：透明キルト押さえのぬい方】

(模様  の例)

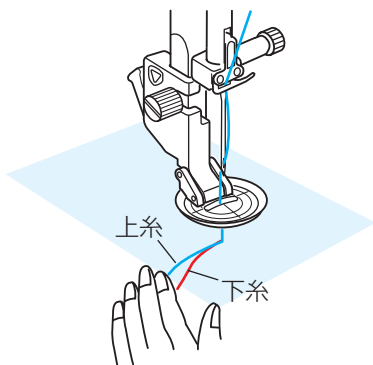
両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
 1 針あたり 3 mm以上布を動かさないでください。

布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さの調節をしてください。(125 ページをごらんください。)

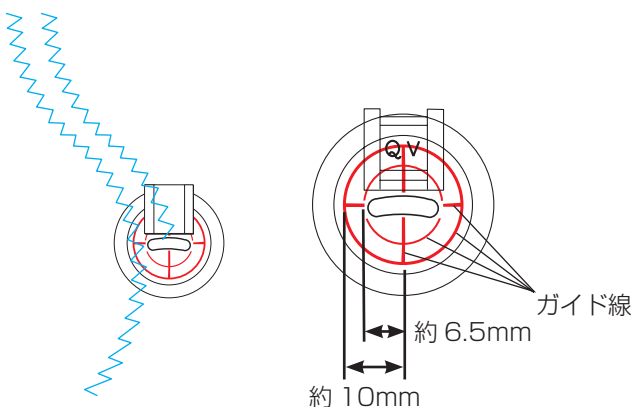
① ② ③



④



⑤



① 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。(上糸は押さえの穴に入れないでください。)

② ミシンをスタートさせます。
 ミシンは 1 針ぬって停止します。

③ 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。

※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。

④ 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下に通し、布の上のぬい込まない位置に手で押さえます。

⑤ もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
 図案にそって両手で布を案内しながらガイド線に合わせ、等間隔にキルティングすることができます。

※ キルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因になります。

〔模様選択画面〕

押さえ高さ調節キー



〔押さえ高さ調節画面〕



押さえ高さ調節

PD-H：フリーキルト押さえは、ぬい中最適な押さえ高さ（押さえの下面が布に軽く触れる位置）に自動セットされますが、QC：丸穴キルト押さえ、QO：前あきキルト押さえ、QV：透明キルト押さえの場合、布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりする場合があります。その場合は押さえ高さの調節をしてください。






- ① 押さえ高さ調節キーを押します。（模様直線ぬい2の例）
- ② 押さえ高さ調節画面が表示されます。
※ 高さのオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）は、1.5mmです。
- ③ 押さえ高さを高くするときは、「+」キーを押します。押さえ高さを低くするときは、「-」キーを押します。
- ④ OK キーを押します。変更した値が確定されて、前の画面にもどります。
※ 閉じるキーを押すと押さえ高さを変更されなくて、前の画面にもどります。
※ 変更した値をオート値にもどす場合は、初期化キーを押して、OK キーを押します。

〔模様選択画面〕

1 針停止キー

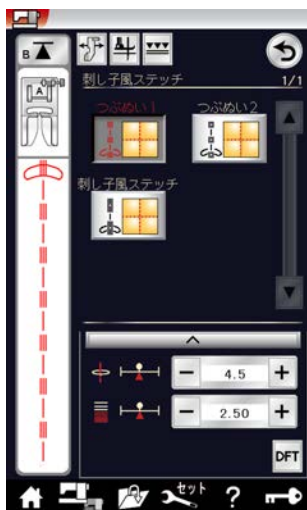


1 針停止キーの使い方

- フリーキルティング模様を選んだ直後、模様選択画面の1針停止キーの表示は  になっています。この状態でミシンをスタートさせるとミシンは自動的に1針ぬって停止し、キーの表示が  にかわります。
この表示の状態でミシンを再スタートさせると連続してぬえます。
- 最初から連続してぬいたい場合は、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。
※  キーは、押すごとに2つの表示が切りかわります。
- フリーキルト模様をぬったあと、そのまま同じ模様を別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自動的に1針ぬって停止したいときは、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。

★刺し子風ステッチ

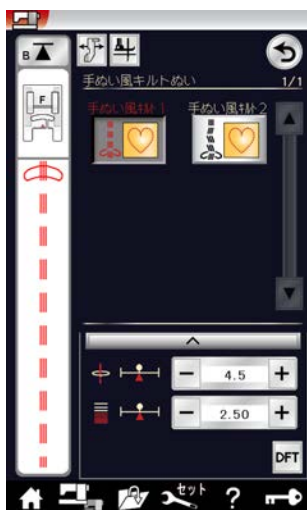
〔模様選択画面／刺し子風ステッチ〕



キルティングの用途選択画面の「刺し子風ステッチ」キーを押すと、3種類の刺し子風ステッチの模様が選択できます。

★手ぬい風キルトぬい

〔模様選択画面／手ぬい風キルトぬい〕



キルティングの用途選択画面の「手ぬい風キルトぬい」キーを押すと、2種類の手ぬい風キルトぬいの模様が選択できます。

※ 手ぬい風キルトぬいの模様は、飾りぬい模様グループのキルトグループの5/5ページにもあります。
飾りぬい模様グループは、「◎飾りぬい」(74ページ)をごらんください。

① 模様.....  (手ぬい風キルト 1)

② 押さえ.....F：サテン押さえ 

【ぬい方】(模様  の例)

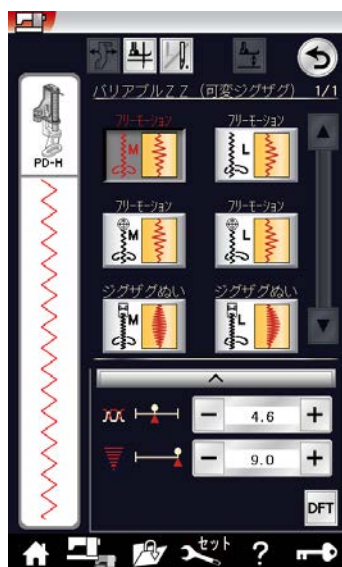


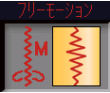
手ぬい風キルトぬいの模様は、下糸が上に引きあげられるので、ステッチが手ぬい風に見えます。

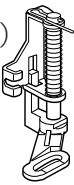
上糸はナイロン糸、下糸は普通の糸を使用してぬいます。
針は14～16番を使用します。

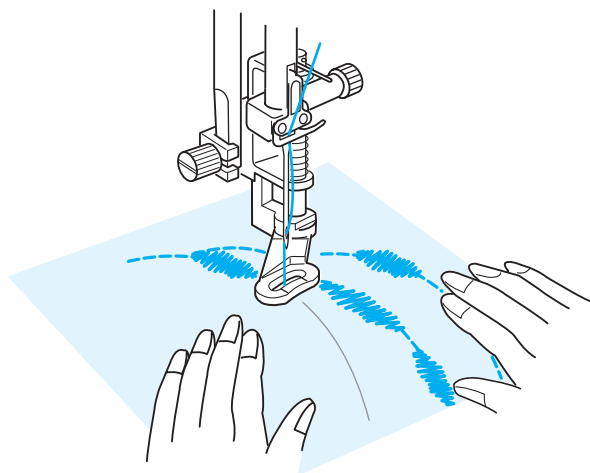
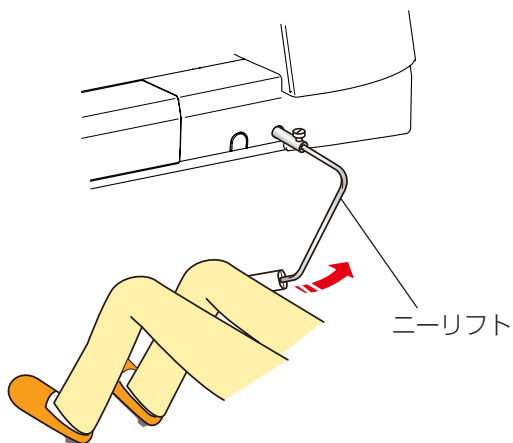
★バリエブル ZZ (可変ジグザグ)

〔模様選択画面／バリエブル ZZ ステッチ〕



① 模様.....  (フリーモーション)



② 押さえ..... PD-H: フリーキルト押さえ 



キルティングの用途選択画面の「バリエブル ZZ ステッチ」キーを押すと、6 種類の変ジグザグぬいの模様を選択できます。

【ぬい方】(模様 の例)

これらの模様はフリーキルティングを行うとき、ニーリフトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえることができるので両手が使えて便利です。(ぬっているとき、ニーリフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなります。)

模様    は、ぬい目の幅が中央を基準に左右に変化します。

模様    は、ぬい目の幅が左側を基準に右に変化します。

※ ミシンが停止しているときにニーリフトを操作すると、通常の使用方法と同様、押さえのあげ下げができます。ニーリフトの取り付け方および通常の操作方法は、「◎操作方法／●ニーリフト」(16 ページ) をごらんください。

※ 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。正しい押さえを使用してください。
PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方は、「◎操作方法／●PD-H: フリーキルト押さえの取り付け方」(22 ページ) をごらんください。
QV: 透明キルト押さえの取り付け方は、(123 ページ) をごらんください。

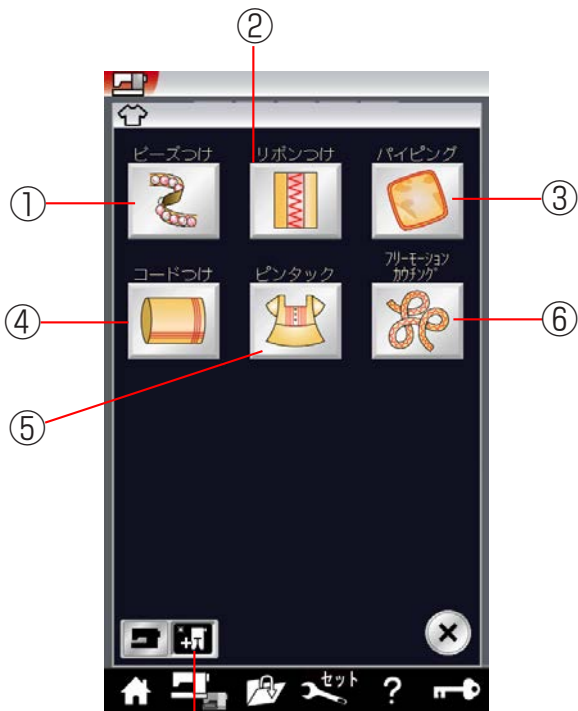
※ ぬい方や 1 針停止キーの使い方は、「★フリーキルティング」(122 ~ 125 ページ) と同じです。

※ ニーリフトの移動量に対する針の振る量(ぬい目の幅)をかえることができます。「◎ミシンの設定／【通常ぬい設定】／⑦バリエブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整」(204 ページ) をごらんください。

●用途選択の画面 (オプション押さえ使用)



オプション押さえ使用キーを押すと、6種類のオプション押さえで利用できる、模様選択画面になります。



オプション押さえ使用キー

① ビーズ付け

「ビーズつけ」キーを押すと、ビーズ付けの模様選択画面になります。ビーズ付けは、2種類の模様があります。(129 ページ参照)

② リボン付け

「リボンつけ」キーを押すと、リボン付けの模様選択画面になります。リボン付けは、6種類の模様があります。(130 ページ参照)

③ パイピング

「パイピング」キーを押すと、パイピングの模様選択画面になります。パイピングは、2種類の模様があります。(131 ページ参照)

④ コード付け

「コードつけ」キーを押すと、コード付けの模様選択画面になります。コード付けは、4種類の模様があります。(132 ページ参照)

⑤ ピンタック

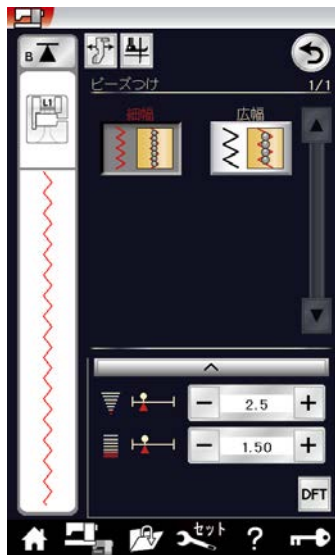
「ピンタック」キーを押すと、ピンタックの模様選択画面になります。ピンタックは、2種類の模様があります。(133 ページ参照)

⑥ フリーモーションカウチング

「フリーモーションカウチング」キーを押すと、フリーモーションカウチングの模様選択画面になります。フリーモーションカウチングは、2種類の模様があります。(134 ページ参照)

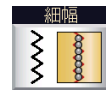
●ビーズ付け

〔用途選択画面／ビーズ付け〕



用途選択画面の「ビーズ付け」キーを押すと、2種類のビーズ付けの様子が選択できます。

ビーズ付けは、ブライダルウェアやドレス、カジュアルウェア、クラフト小物に使用します。

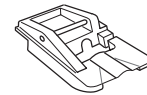



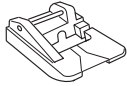
細幅用は、ビーズ、パールの大きさは2mm以下のものをご使用ください。

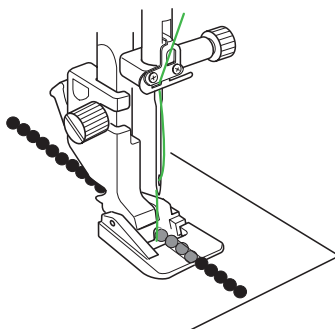


広幅用は、ビーズ、パールの大きさは2.5～4mmのものをご使用ください。

※ 広幅用押さえは、L2：ビーズ押さえを使用します。



① 模様.....	 (細幅)	
② 押さえ.....	L1：ビーズ押さえ (細幅用)	



【ぬい方】(模様 の例)

ビーズまたはパールを押さえの溝の下に入れます。
ぬい目の幅とあさをビーズまたはパールの大きさに合わせます。
布をガイドして、ビーズ、パールの上をぬいます。

●リボン付け

〔用途選択画面／リボン付け〕

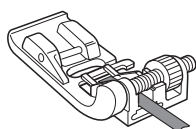
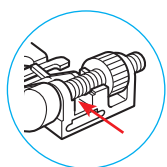


用途選択画面の「リボン付け」キーを押すと、4種類のリボン幅に合ったジグザグぬい模様選択と直線ぬい、かざりもようの模様選択ができます。

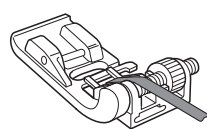
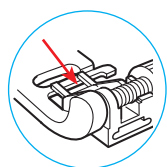
※ リボン付け押さえは、10mmまでのリボン幅をガイドしながらぬうことができます。

【リボンの通し方】 リボン幅に合わせて、下図のようにリボンを通します。

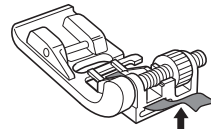
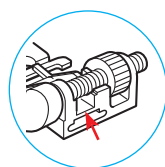
〔4mm以下〕



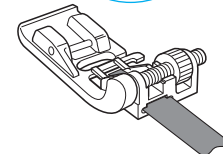
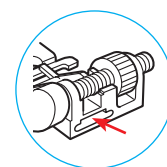
〔5～6mm〕



〔7mm〕

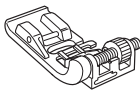


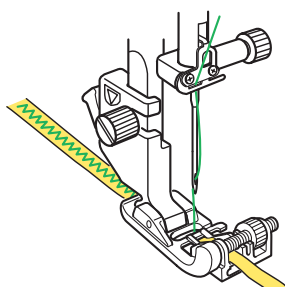
〔8～10mm〕



(軽くリボンを引きあげる。)

① 模様.....  (4mm以下)

② 押さえ.....RS：リボン付け押さえ (細幅用) 



【ぬい方】 (模様  の例)

① リボンをガイドバーの下を通して、押さえの下からうしろへ2～3cm引き出します。

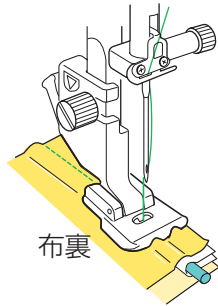
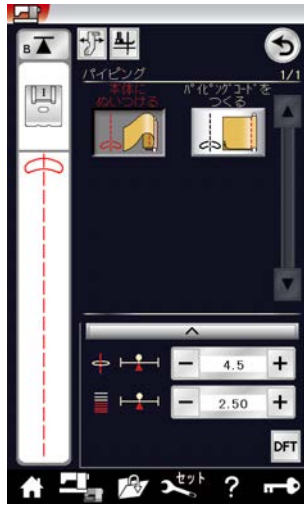
② ぬい始めのところに針をさしてぬい始めます。

※ ぬい始めとぬい終わりは、止めぬいをします。

※ 〔7mm〕のリボンの通し方は、ガイド穴部の前で軽くリボンを引きあげてください。

●パイピング

〔用途選択画面／パイピング〕



用途選択画面の「パイピング」キーを押すと、パイピングコードを本体にぬいつける模様とパイピングコードを作る模様が選択できます。

※ お好みの布でオリジナルのパイピングコードを作ったり、既製品やオリジナルのパイピングコードをぬいつけることができます。

バックやクッションのふちにアクセントをつけることができます。

【パイピングコードの本体へのぬいつけ方】

① 中表に合わせた 2 枚の布のあいだにパイピングコードを置いた状態で、押さえの下に持っていきます。布とコードの端を合わせます。

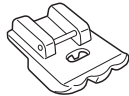
② 押さえの左側のみぞにコードを合わせます。

③ 図のように左側のみぞにコードを案内して、その上からぬいます。針はひもの右側に落ちます。

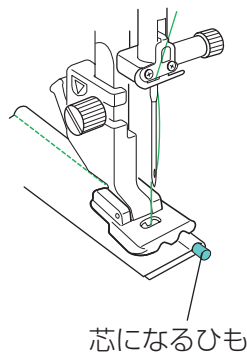
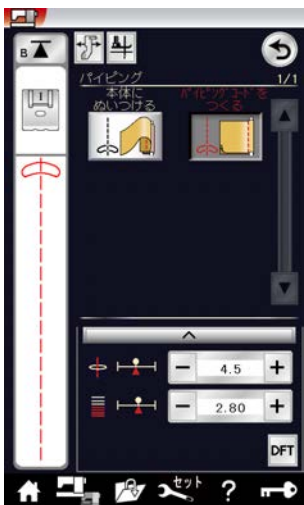
① 模様..... (本体にぬいつける)



② 押さえ..... | : パイピング押さえ



〔用途選択画面／パイピングコードを作る〕



【パイピングコードの作り方】

① バイアス方向にカットしたテープを 2 つ折りし、芯になるひもをはさみます。

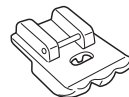
② 図のように押さえの右側のみぞに、布ではさんだひもを合わせます。

③ 右側のみぞに案内させてぬいます。針はひもの左側に落ちます。

① 模様..... (パイピングコードをつくる)

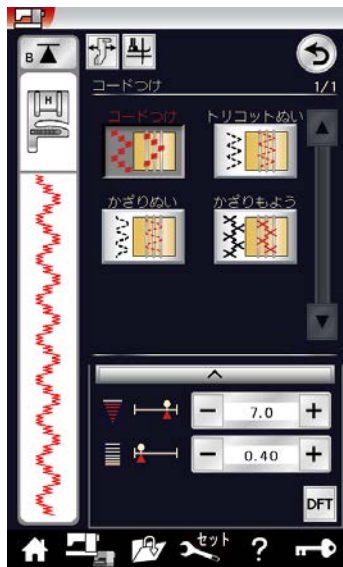


② 押さえ..... | : パイピング押さえ



●コード付け

〔用途選択画面／コードつけ〕



用途選択画面の「コードつけ」キーを押すと、4種類のコード付けに合った模様選択ができます。

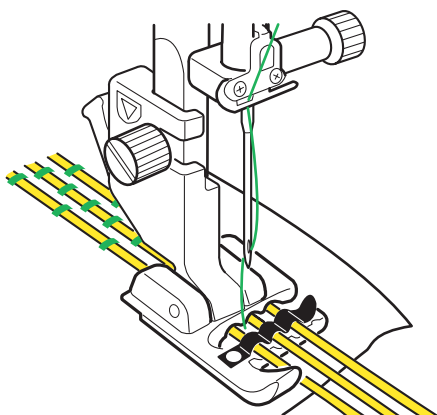
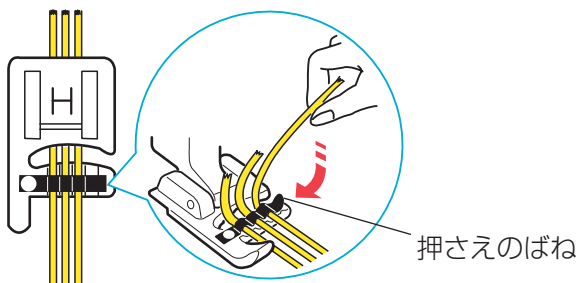
コードや糸をかえることで様々なコーディングをぬうことができます。

① 模様.....  (コードつけ)

② 押さえ.....H：ひも付け押さえ 

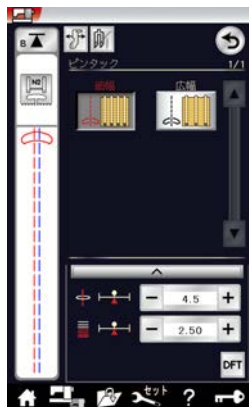
【ぬい方】(模様  の例)

コードを押さえのばねの下にくぐらせ、みぞに通します。
 コードを押さえの下にくぐらせ、押さえのみぞに入れます。
 コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるようにぬいます。



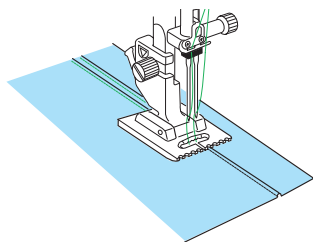
●ピンタック

〔用途選択画面／ピンタック〕

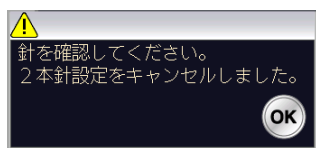


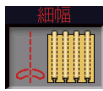
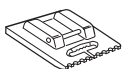
- ① 模様.....  (細幅)
- ② 押さえ..... N2：ピンタック押さえ 
- ③ 針..... 2本針

※ 針の取り付けは、◎操作方法／●針の取りかえ方 24 ページをごらんください。
 ※ 2本針の糸の通し方は、◎2本針ぬい 136 ページをごらんください。

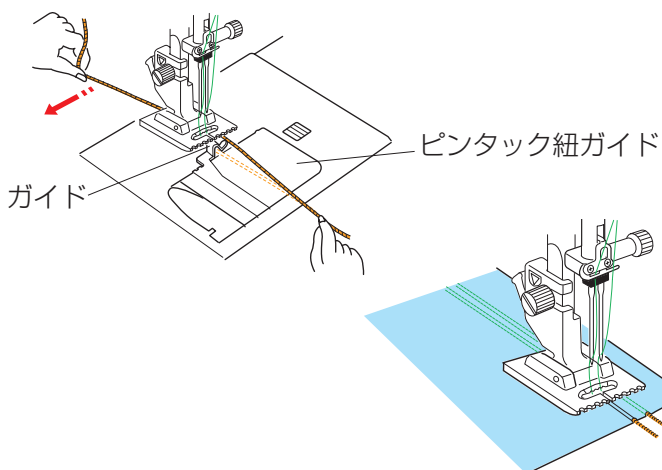


〔針交換確認のメッセージ画面〕



- ① 模様.....  (細幅)
- ② 押さえ..... N2：ピンタック押さえ 
ピンタック紐ガイド (細細用)
- ③ 針..... 2本針 

※ 針の取り付けは、◎操作方法／●針の取りかえ方 24 ページをごらんください。
 ※ 2本針の糸の通し方は、◎2本針ぬい 136 ページをごらんください。



用途選択画面の「ピンタック」キーを押すと、2種類のピンタックの様子が選択できます。

2mm 間かくの 2 本針を使ってピンタックをぬうことができます。押さえの下のみぞがぬい目をガイドするので平行にぬえます。

【ぬい方】ピンタック (模様 の例)

最初のピンタックをぬい、先にぬったピンタックを押さえのみぞに入れて次のピンタックをぬいます。


⚠ 注意

ピンタックぬいから、ホームキーやもどりキーを押して他の模様ぬいに入った場合に、左注意画面が表示されます。針の取りかえを確認してください。針が針板にあたりけがの原因になります。


【ぬい方】コードピンタック (模様 の例)

コードピンタックをぬう場合は、ピンタック押さえとピンタック紐ガイドセットをセットでお使いください。

角板を外し、ピンタック紐ガイドを取り付けます。右から紐をガイドに通し、うしろへ 10cm ほど引き出し、紐をまっすぐ整えます。紐のわきをぬっていきます。

 細幅でコードピンタックをぬう場合、コードの直径は 1.5mm 以下のものが使用できます。

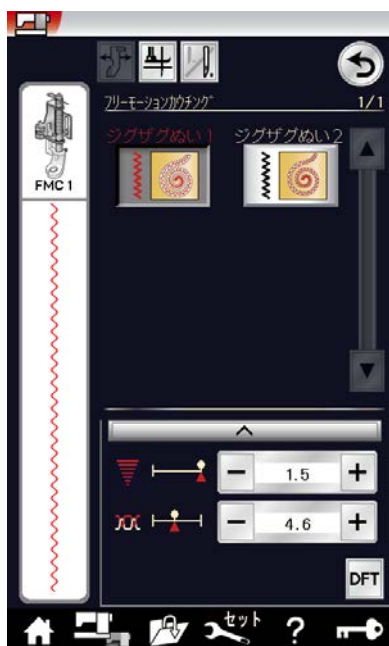
※ 細幅用押さえは、N2：ピンタック押さえを使用します。押さえの裏みぞ間かくは 2mm です。また、コードを案内するピンタック紐ガイド (細細用) とセットでお使いください。

 広幅でコードピンタックをぬう場合、コードの直径は 1.5 ~ 2mm 以下のものが使用できます。

※ 広幅用押さえは、N1：ピンタック押さえを使用します。押さえの裏みぞ間かくは 3mm です。また、コードを案内するピンタック紐ガイド (太細用) とセットでお使いください。

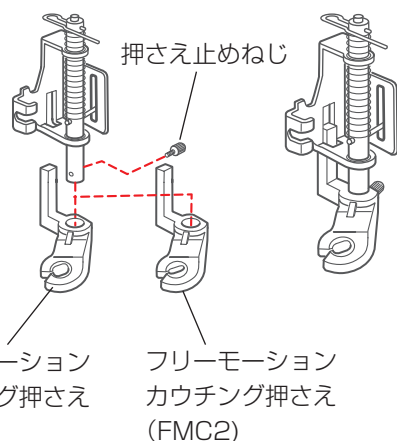
●フリーモーションカウチング

〔用途選択画面／フリーモーションカウチング〕



用途選択画面の「フリーモーションカウチング」キーを押すと、2種類のフリーモーションの様子が選択できます。

フリーモーションカウチング押さえを使用し、毛糸や飾り糸などをデザインに合わせ、ぬいつけていきます。フリーモーションカウチング押さえは2種類あります。



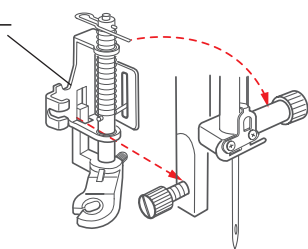
フリーモーションカウチング押さえ (FMC1)

フリーモーションカウチング押さえ (FMC2)

【フリーモーションカウチング押さえの取り付け方】

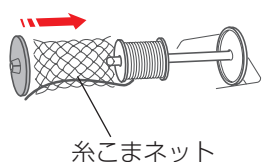
- ① 押さえ止めねじを外します。
- ② 図のようにフリーモーションカウチング押さえをフリーモーションカウチング押さえホルダーに差し込みます。
- ③ 押さえ止めねじをしめます。

フリーモーションカウチング押さえホルダー



【フリーモーションカウチング押さえホルダーの取り付け方】

フリーモーションカウチング押さえホルダーの取り付け方は、「◎操作方法／PD-H：フリーモーション押さえの取り付け方」(22ページ)をごらんください。

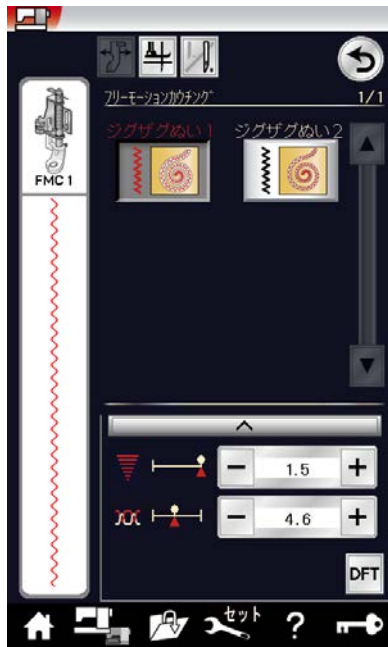


糸こまネット

【糸外れ防止】

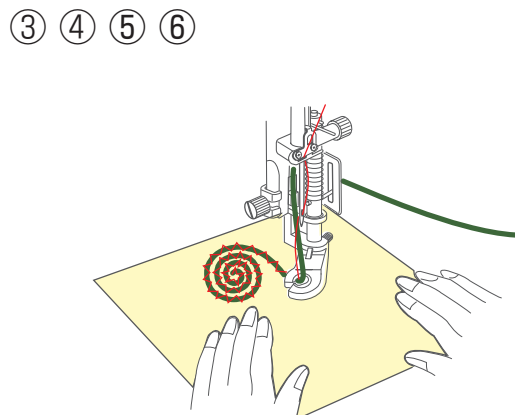
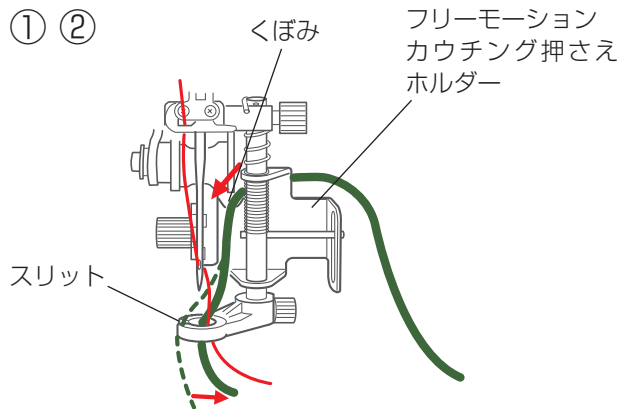
糸外れや糸のよじれ等がある場合には、付属の糸こまネットの使用をおすすめします。

〔用途選択画面／フリーモーションカウチング〕



① 模様.....  (ジグザグぬい1)

② 押さえ..... FMC1：フリーモーションカウチング押さえ 



【ぬい方】(模様  の例)

- ① 毛糸の端をフリーモーションカウチング押さえホルダーのうしろ側からホルダーのくぼみの上を通し、手前に出します。
 - ② 毛糸をフリーモーションカウチング押さえのスリットを通し、押さえの穴に入れます。
 - ③ 毛糸と上糸をうしろ側へ引き出しておきます。
 - ④ 布にデザインしたぬい始め位置に針をさし、押さえをさげ、数針ぬって毛糸を布にぬいつけます。
 - ⑤ ぬい始めの余分な、毛糸と上糸を切ります。
 - ⑥ スピードコントロールつまみを「ゆっくり」にして図案にそってぬっていきます。
- ※ ぬい終わりも、数針止めぬいをし、余分な糸を切ります。

◎ 2本針ぬい

⚠ 注意

針を交換するときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。
けがの原因になります。

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいな飾りぬいができます。

- 2本針ぬいは、実用ぬいグループおよび飾りぬいの模様グループができます。
(模様によってはできない模様があります)
ボタンホールグループ、飾りぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途選択の模様はできません。
- 2本針ぬいは、付属の2本針をご使用ください。
2本針の交換方法は、「◎操作方法／●針の取りかえ方」(24ページ)をごらんください。
- ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切りで切ってください。
(糸切りボタンを使用しないでください)
面板の糸切りの使い方は、「◎ぬう前の準備／●直線(直線状模様)ぬい／★直線ぬい(中針位置)／〔面板の糸切りの使い方〕欄」(44ページ)をごらんください。
- 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。

【上糸のかけ方】

※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。
補助糸立て棒の取り付け方法は、「◎ぬう前の準備／●下糸の準備／★補助糸立て棒の使い方」(27ページ)をごらんください。

※ 糸は、60番および60番より細い糸を使用してください。

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①～⑦の手順で正しくかけてください。

①～④

糸のかけ方は、針が1本のときの通常の上糸かけの手順①～④と同じです。

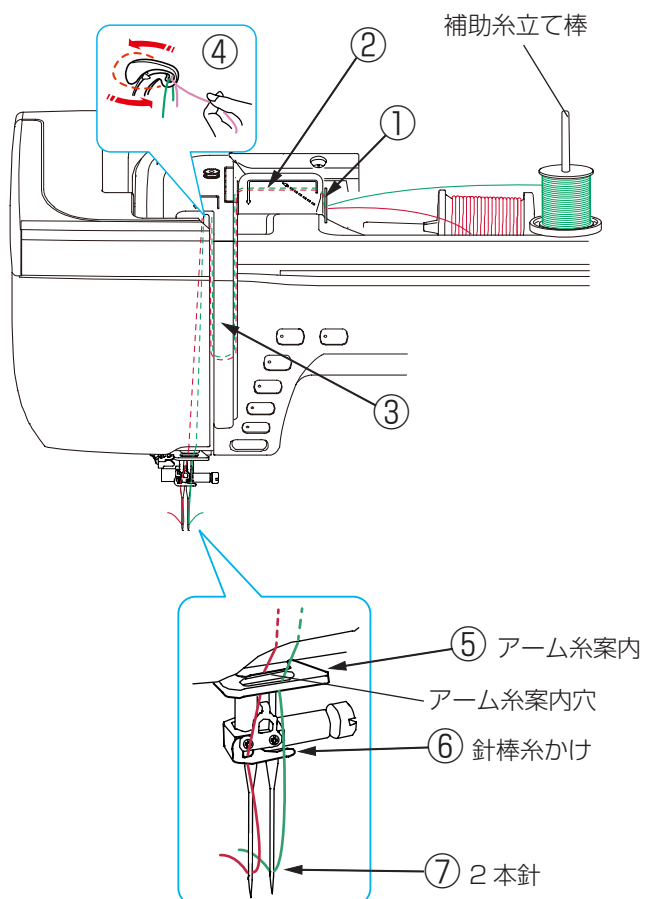
「◎操作方法／●上糸の準備／★上糸かけ」(31ページ)をごらんください。

⑤ 1本の糸はアーム糸案内に右からかけます。
もう1本の糸はアーム糸案内の穴に通します。

⑥ 1本の糸は針棒糸かけに左からかけます。
もう1本の糸は針棒糸かけにはかけません。

⑦ 2本針に左右に分けて糸を通します。

※ 2本針は糸通しが使えません。針穴に糸を通すときは、手で針の手前から向こう側に通してください。



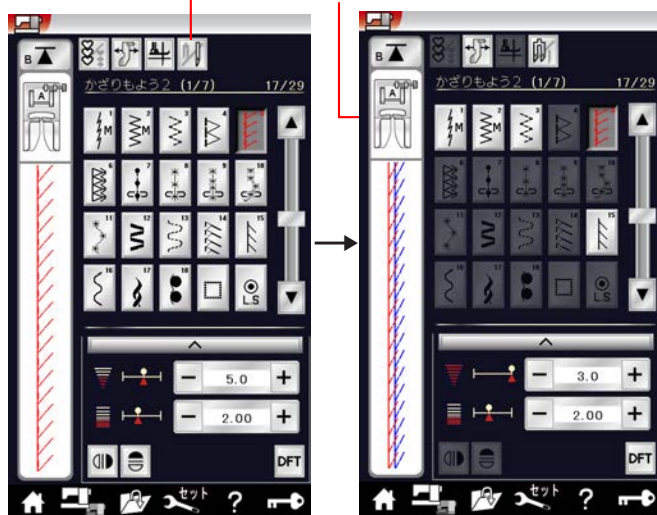
① ②

〔模様選択画面〕
1 本針ぬい設定状態

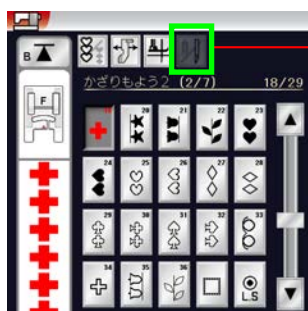
〔模様選択画面〕
2 本針ぬい設定状態

2 本針ぬい切りかえキー

押さえ表示



〔画面【A】〕 2 本針ぬいに適さない模様
が選ばれている場合の画面



2 本針ぬい切りかえ
キー (表示がグレー)

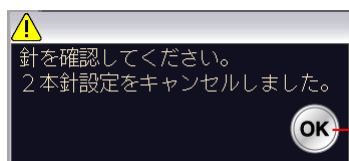
③

《模様  の例》



④

〔針交換確認のメッセージ画面〕



OK キー

【ぬい方】

(飾りぬい模様／飾り模様 2 グループ、模様  の例)

① 模様選択画面の 2 本針ぬい切りかえキーを押して 2 本針ぬい設定にします。



: 1 本針ぬい設定状態



: 2 本針ぬい設定状態

※ ぬい目の幅が最大 3.0mm に制限されます。

直線状模様の場合は、針位置が 3.0 ~ 6.0 の範囲に制限されます。

2 本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず 2 本針ぬい切りかえキーを押して 2 本針ぬい設定状態にしてください。

※ 2 本針ぬい設定状態にすると、2 本針ぬいに適さない模様の模様選択キーの色がグレーにかわり、キーを押しても受け付けられないようになります。

1 本針ぬい設定状態で 2 本針ぬいに適さない模様を選ばれているときは、2 本針ぬい切りかえキーの色がグレーになっていて、押しても受け付けられないようになっています。(左図、画面【A】参照)

2 本針ぬいに設定する場合は、2 本針ぬいに適した模様を選んでキーの色をかえてから 2 本針ぬい設定状態にしてください。

② ぬい模様に適した押さえに交換します。

※ 2 本針ぬいに使用する押さえは、A：基本押さえまたは F：サテン押さえです。

画面の押さえ表示にしたがった押さえを使用してください。

③ 上糸を、A：基本押さえを使用している場合は押さえの下から向こう側に、F：サテン押さえを使用している場合は押さえの下から横に引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

※ ぬい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向をかえてください。

④ 2 本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。

※ 2 本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が押さえや針板にあたる場合があります。

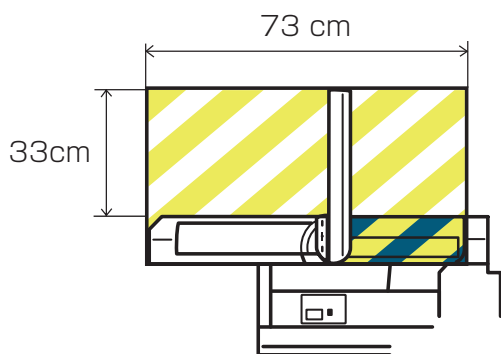
※ 2 本針ぬい設定状態は、もう一度 2 本針ぬい切りかえキーを押すか、電源スイッチを一度切り、再度電源スイッチを入れると解除されます。

2 本針ぬい切りかえキーを押した場合は、針交換確認のメッセージ画面が表示されます。OK キーを押すとメッセージ画面が消えます。

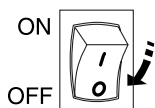
◎刺しゅう

●刺しゅうの準備

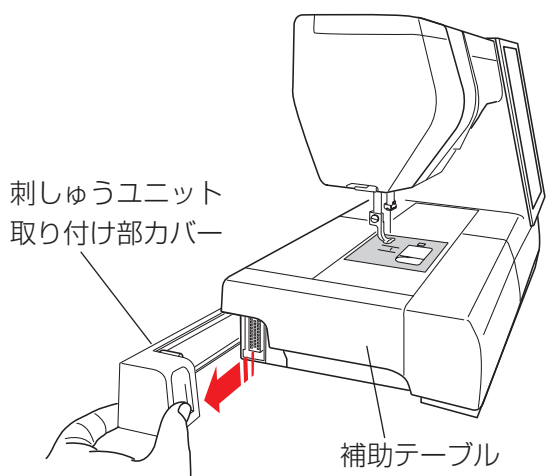
★刺しゅうユニットの取り付け方



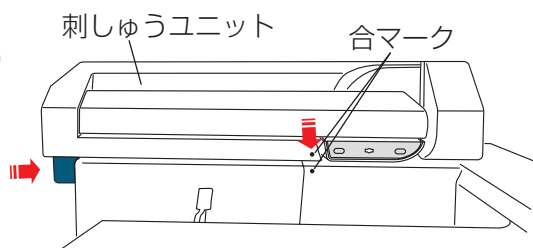
①



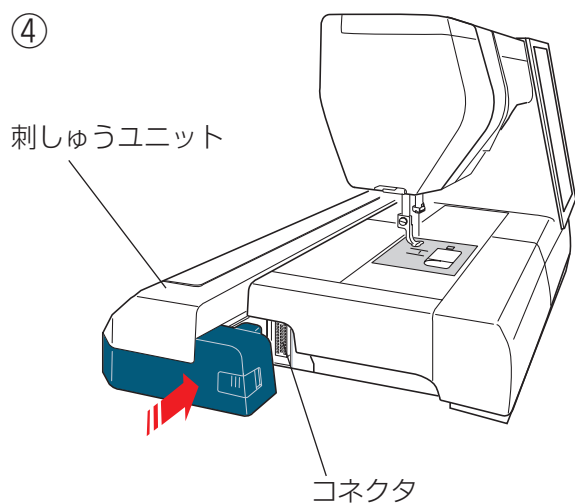
②



③



④



⚠ 注意

刺しゅう枠が自由に動けるくらいの十分なスペースを確保してください。

左図で示されたはんいには物を置かないでください。

故障やけがの原因になります。

① 電源スイッチを切ります。

② 刺しゅうユニット取り付け部カバーを外します。

※ フリーアーム刺しゅう枠を使うとき以外は、補助テーブルをミシンに付けてください。

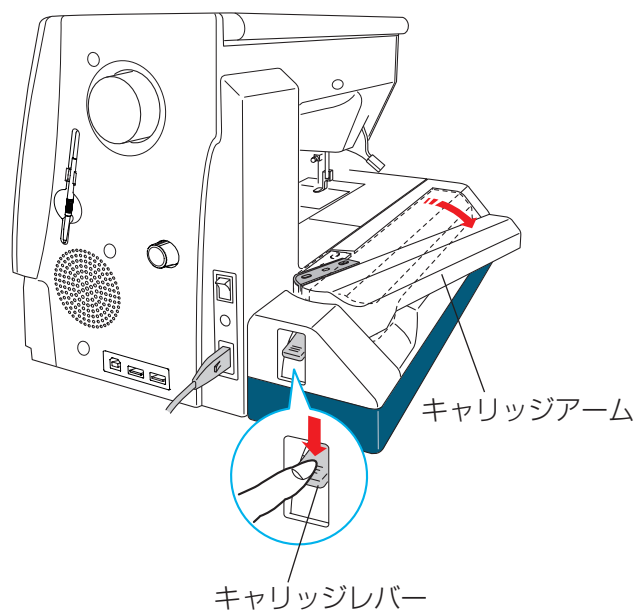
③ 刺しゅうユニットを両手で持ち、ミシン本体の合マークに刺しゅうユニットの合マークを合わせます。

④ 合マークを合わせた状態で、刺しゅうユニットを矢印方向にスライドさせ、ミシン本体に取り付けます。

※ ミシン本体コネクタにしっかり入るまで刺しゅうユニットをスライドさせてください。

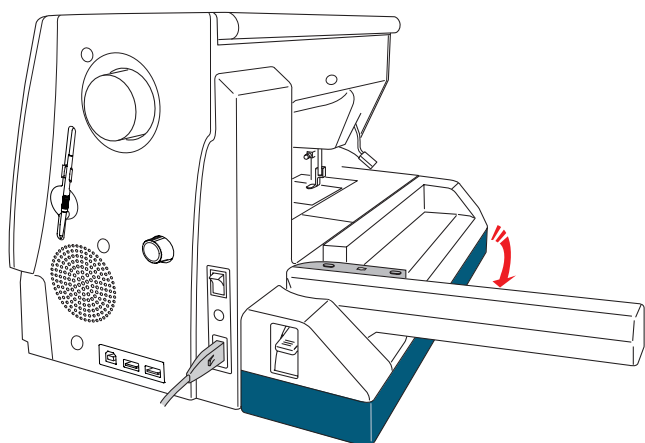
★キャリッジアームの開放

①



- ① キャリッジレバーを押し下げて、キャリッジアームを開きます。

②



- ② 手で軽くキャリッジアームが止まるまで矢印方向にロックする位置（最大開放位置）まで開放します。

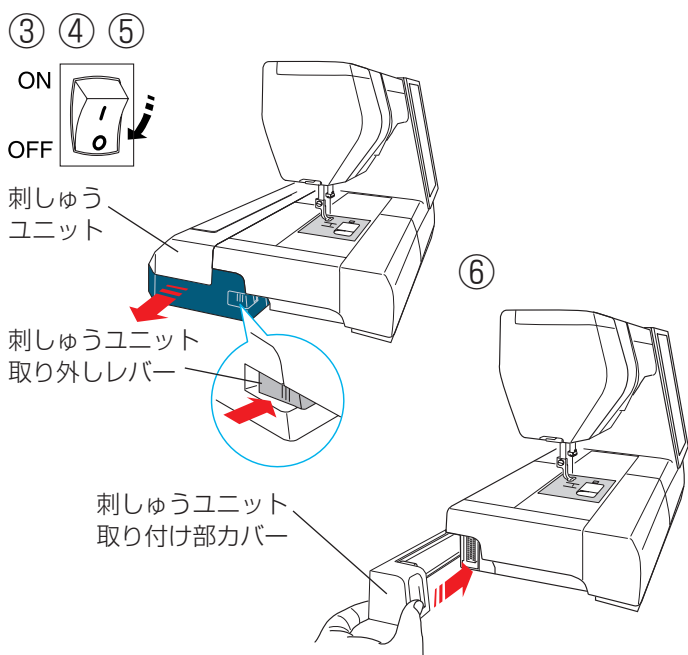
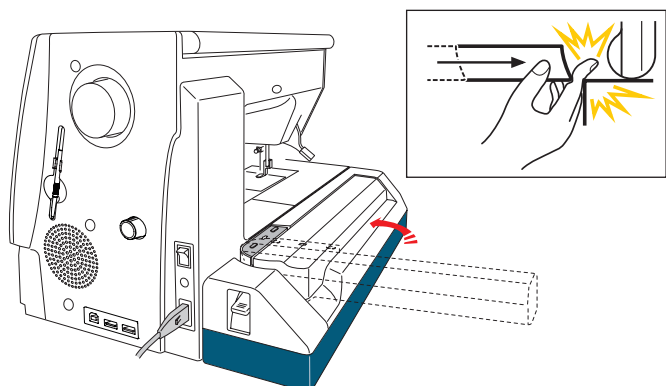
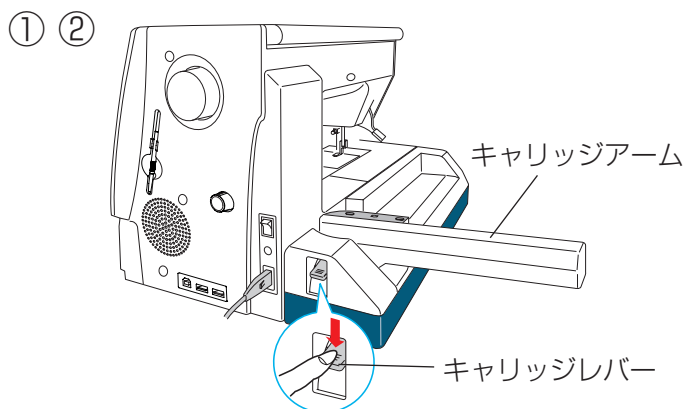
⚠ 注意

キャリッジアームを開いたときは、キャリッジアームを押さないでください。
キャリッジやキャリッジアームを手で無理に動かさないでください。
キャリッジやキャリッジアームが動いているとき、手で止めないでください。
マシンを傷つけたり故障の原因となります。

⚠ 注意

電源スイッチが入っているとき、切っているときにかかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。
故障の原因となります。
キャリッジアームを開放するときは、キャリッジがホームポジションにあることを確認してください。

★刺しゅうユニットの取り外し方



⚠ 注意

ミシンをしまうとき、または持ち運びするときには刺しゅうユニットを必ず取り外してください。故障やけがの原因になります。

- ① 刺しゅう枠を取り外し、通常ぬいモード / 刺しゅうぬいモード切りかえキーを押し通常ぬいモードにします。
- ※ 針がさがっているときは、上下停針ボタンを押して、針をあげてください。
- ② キャリッジレバーを押し上げて、キャリッジアームを刺しゅうユニットに格納します。

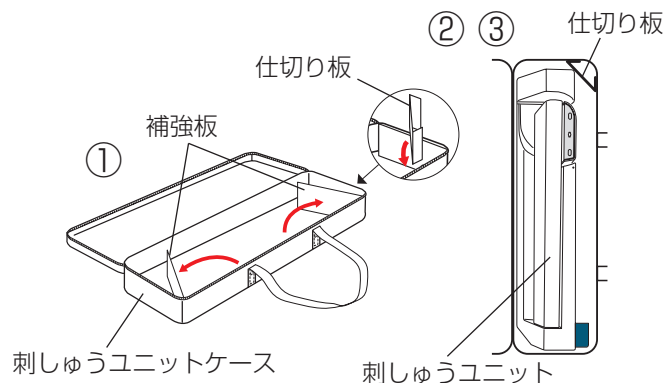
⚠ 注意

キャリッジをホームポジションにもどすときは、刺しゅうユニットと本体の間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になります。

⚠ 注意

電源スイッチが入っているとき、切っているときにかかわらず、キャリッジを手で動かさないでください。故障の原因になります。キャリッジアームを格納したとき、キャリッジがホームポジションにあるか確認してください。キャリッジがホームポジションにないと故障の原因になります。

- ③ 電源スイッチを切ります。
- ④ 刺しゅうユニット取り外しレバーを押しします。
- ⑤ 刺しゅうユニットを左にスライドして取り外します。
- ⑥ 刺しゅうユニット取り付け部カバーを取り付けます。



【刺しゅうユニットケースへの収納】

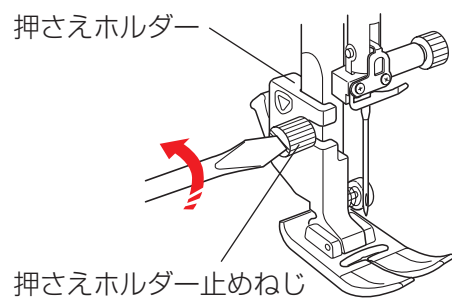
- ① 刺しゅうユニットケースをあげ、補強板を図のように開きます。
- ② 図のように仕切り板を刺しゅうユニットケースの端に固定します。
- ③ 刺しゅうユニットを図のように入れます。

★押さえの交換

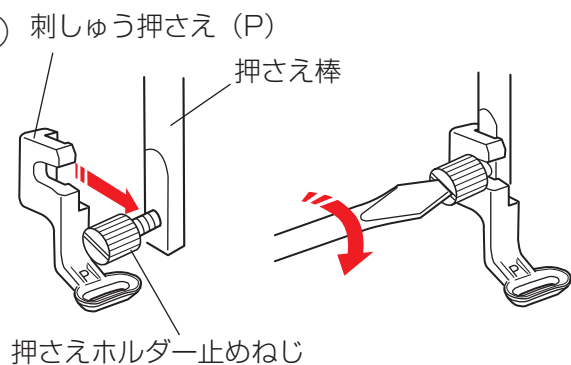
①



②



③



⚠ 注意

押さえを交換するときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてください。けがの原因になります。

① 電源スイッチを入れ、ロックキーを押します。

② 押さえホルダー止めねじをゆるめ、押さえホルダーを外します。「◎操作方法／●押さえホルダーの外しかた、付け方」(20 ページ) をごらんください。

③ 刺しゅう押さえ (P) を押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。

★針の交換

針は、ブルー針に取りかえます。

「◎操作方法／●針の取りかえ方」(24 ページ) をごらんください。

★針板の交換

針板は直線ぬい用針板を使用します。

「◎操作方法／●針板の外し方、付け方」(23 ページ) をごらんください。

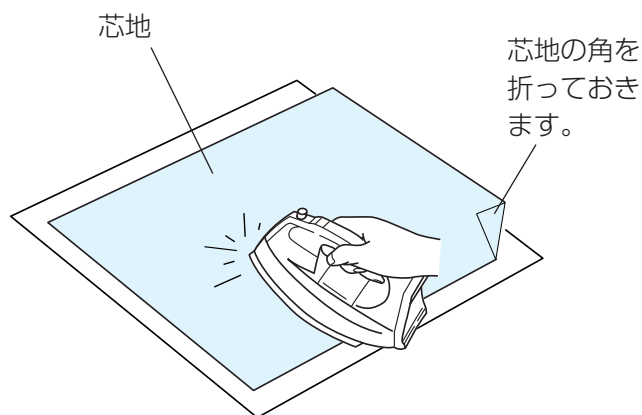
★刺しゅう糸



糸はミシン刺しゅう糸をご使用ください。
また、使用する糸の選択を必ず行ってください。
「◎ミシンの設定／【刺しゅうぬい設定】①糸選択」(211ページ)をごらんください。

- ※ 糸選択を行わないと、使用する糸に合った糸調子が設定されないため、ぬい不良の原因になります。
- ※ 刺しゅうの下糸は、JANOME ポリエステル# 90をご使用ください。

★芯地



刺しゅう部分の布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上がります。

薄い布や化繊布、または、ジャージーのような伸縮性のある布の場合は、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえます。芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするとき使用してください。

- ※ アイロンの温度は、中温にします。

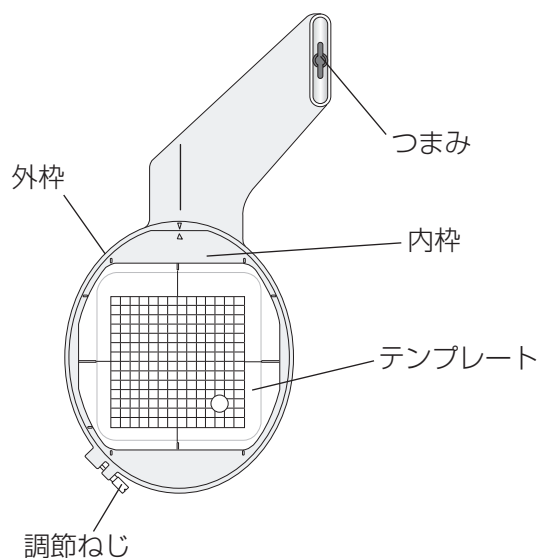
【接着するタイプの芯地】

布の刺しゅうしない裏と、芯地の光沢のある糊付きを向かい合わせにしておき、角を折ってアイロンがけします。

- ※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、芯地をはがしやすくなります。

★刺しゅう枠とテンプレート

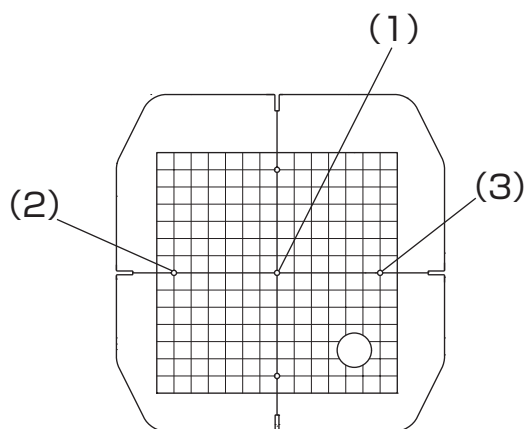
【1】SQ14 枠（標準刺しゅう枠）



刺しゅうはんいは、横 14cmX 縦 14cm です。
標準的な刺しゅうに使用します。

【テンプレート】

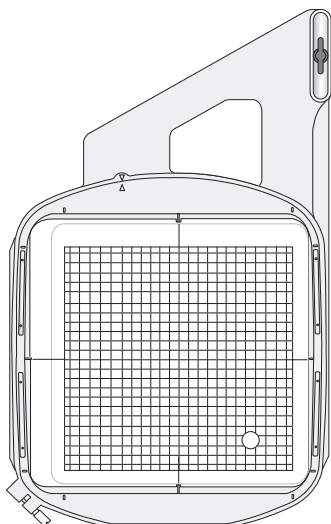
ます目のはんいが刺しゅうできるはんいを示しています。



- (1) 内蔵模様のぬいスタート位置
文字ぬい(横書き)センターボトムのぬいスタート位置
文字ぬい(縦書き)センターミドルのぬいスタート位置
- (2) 文字ぬい(横書き)トップボトムのぬいスタート位置
文字ぬい(縦書き)トップミドルのぬいスタート位置
- (3) 文字ぬい(横書き)エンドボトムのぬいスタート位置
文字ぬい(縦書き)エンドミドルのぬいスタート位置

※ 文字ぬいスタート位置の詳細は、「●ぬい方／★文字の組み合わせ」(168 ページ)をごらんください。

【2】SQ23 枠（マグネットクリップ付き中型刺しゅう枠）とテンプレート



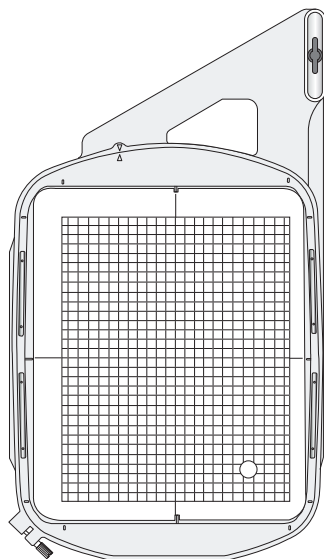
刺しゅうはんいは、横 23cmX 縦 23cm です。
中型模様を使用します。

※ テンプレートの使い方は、SQ14 枠と同じです。

【3】 GR 枠（マグネットクリップ付き大型刺しゅう枠）とテンプレート

刺しゅうはんいは、横 23cmX 縦 30cm です。
大型模様を使用します。

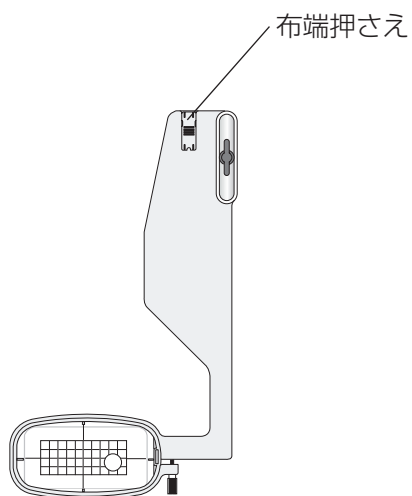
※ テンプレートの使い方は、SQ14 枠と同じです。



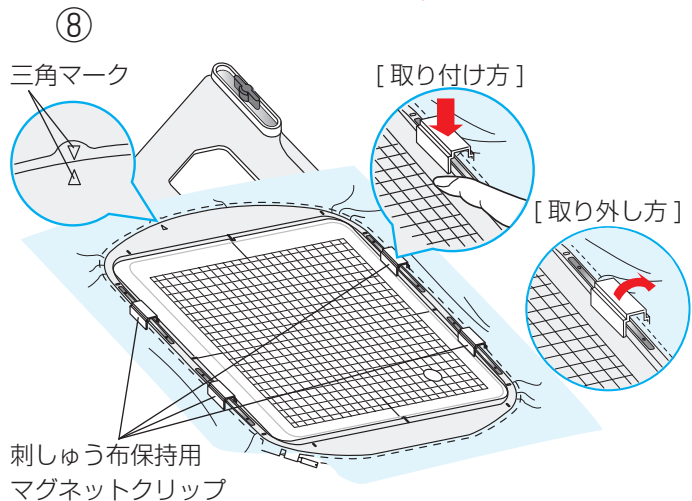
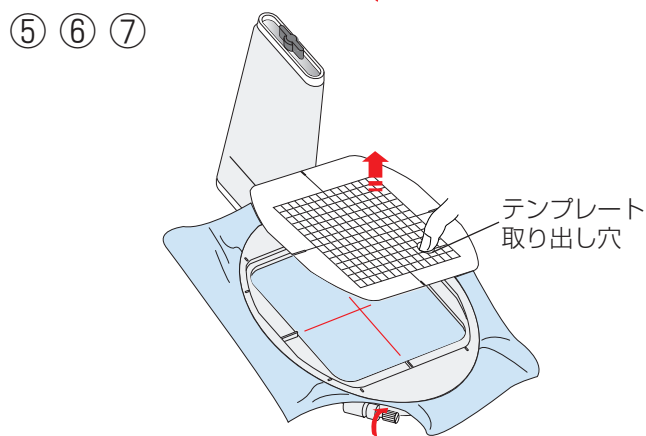
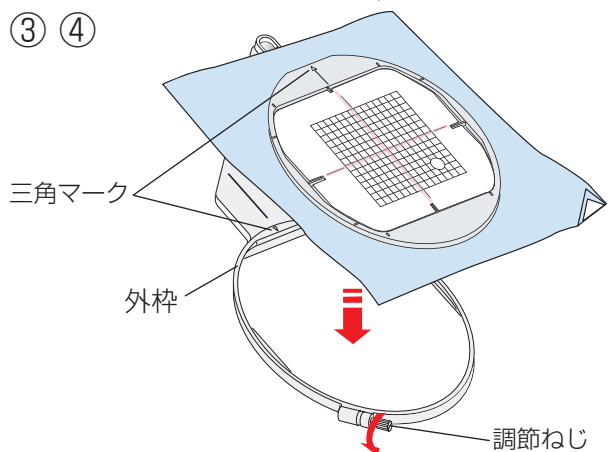
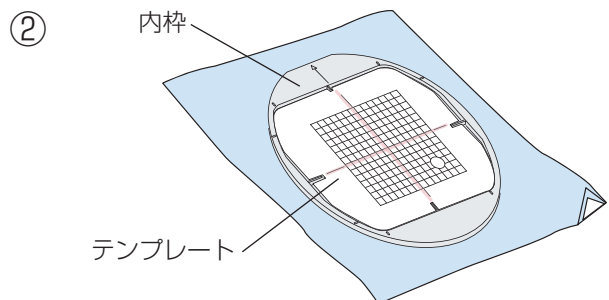
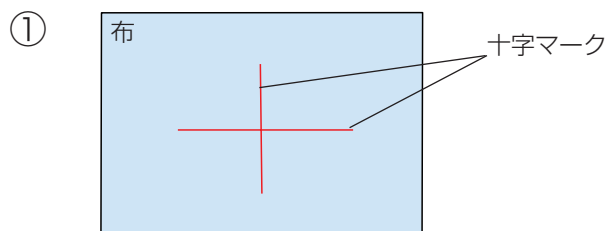
【4】 FA10 枠（小型刺しゅう枠）とテンプレート

刺しゅうはんいは、横 10cmX 縦 4cm です。
小型模様を使用します。

※ テンプレートの使い方は、SQ14 枠と同じです。



★刺しゅう枠に布を張るとき



① 模様のぬい位置を決めるために、布に十字マークを付けます。
布の大きさは、刺しゅう枠より大きいものを用意してください。

② 布の上に内枠を置き、その中にテンプレートを入れて、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせます。

③ 外枠の調節ねじをゆるめます。
④ 布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。

※ 内枠を外枠にセットする場合は、内枠と外枠の三角マークを合わせるようにします。

⑤ 調節ねじをしめて、布を張ります。
⑥ 布をピンと張るために調節ねじをしめた状態で一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせながらセットし直します。
⑦ テンプレート取り出し穴に指を入れ、テンプレートを外します。

⑧ SQ23 枠か GR 枠を使うときは、刺しゅう布保持用クリップを 4 カ所セットします。

※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。

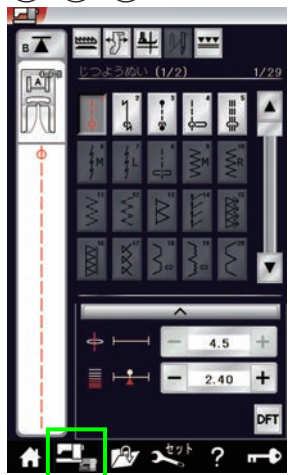
※ ぬい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用マグネットクリップを外し、調節ねじをゆるめて布を外します。

⚠ 注意

布や芯地が厚くなっている所をぬうと、目飛びになったり、糸が切れたり、針が折れる危険があります。
3mm より厚くなっている所はぬわないでください。

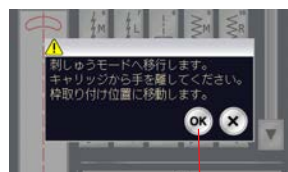
★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け

① ② ③



通常ぬいモード/
刺しゅうモード
切りかえキー

④



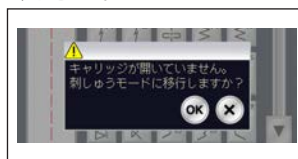
OK キー

※ 刺しゅう枠を取り付けるときは、模様を選び、ぬいスタート位置で刺しゅう枠を取り付けます。

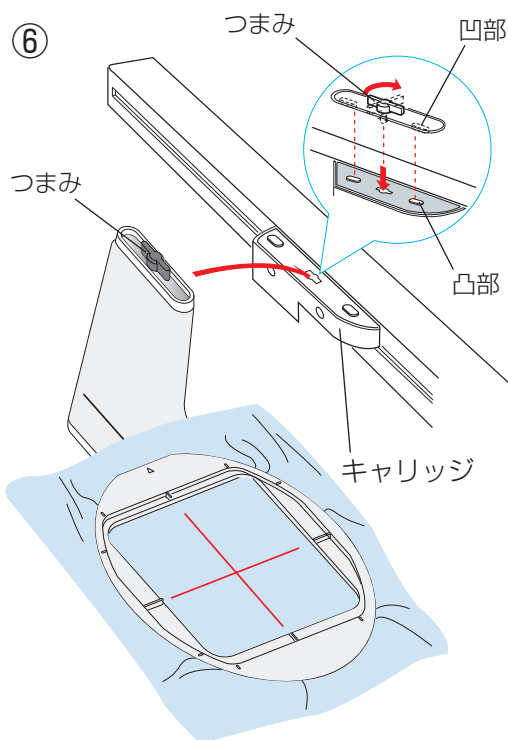
- ① キャリッジアームを開きます。
- ② 電源スイッチを入れます。
- ③ 通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押して、刺しゅうモードにします。
- ④ 注意メッセージが表示されます。内容に従ったのち、OK キーを押します。キャリッジがスタートポジションに移動し、送り歯が自動的にさがります。

※ 閉じるキーを押すと、前の画面にもどります。

※ 下記確認画面が表示された場合は、OK キーや閉じるキーを押さずに、キャリッジアームを開いてください。



⑤ ⑥

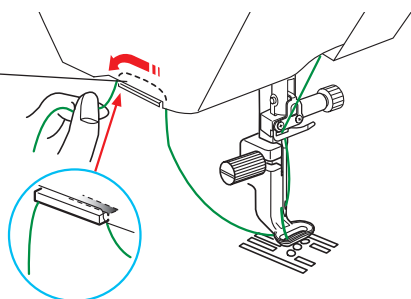


⑤ つまみを縦に向け、刺しゅう枠の凹部をキャリッジの凸部に合わせて差し込みます。

- ⑥ つまみを右方向にまわして、刺しゅう枠を固定します。
- ※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しはセンター位置で行います。

★ぬい始めの糸かけ

糸切り /
糸押さえ



上糸の端をぬいこまないように、上糸を糸切り / 糸押さえにかけてください。

刺しゅう押さえの穴に通し、上糸の端を糸切り / 糸押さえに手前から向こう側へ 2 ~ 3cm 出してかけます。

●ぬい方

★内蔵模様を選択方法（模様）

〔刺しゅうモード初期画面〕




通常ぬいモード / 刺しゅうモード切りかえキーを押し、刺しゅうモードにします。
刺しゅうモード初期画面になります。

〔模様キー〕

模様キーを押すと、ミシンに内蔵されているワールド模様の選択画面になります。




〔カテゴリーキー〕

その他のグループの模様を選ぶときは、カテゴリーキー  を押します。

刺しゅう模様のグループは、22 個のグループがあり、6 つのページ（画面）に分かれています。
ページキーで選択できます。

〔刺しゅう枠選択キー〕

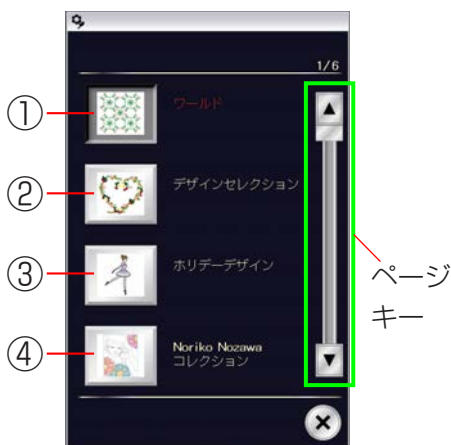
刺しゅう枠選択キー  を押すと、刺しゅう枠サイズに使用できる刺しゅう模様が選択できます。

カテゴリー



刺しゅう枠選択





① ワールドグループ

ワールドキーを押すと、世界から取り寄せた刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

ワールドグループは、5つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1・2ページ目、SQ23 枠使用模様が3・4ページ目、GR 枠使用模様が5ページ目です。

② デザインセレクショングループ

デザインセレクションキーを押すと、一般的な刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

デザインセレクショングループは、5つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目、GR 枠使用模様が3・4ページ目、FA10 枠使用模様が5ページ目です。

③ ホリデーデザイングループ

ホリデーデザインキーを押すと、手書き風の刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

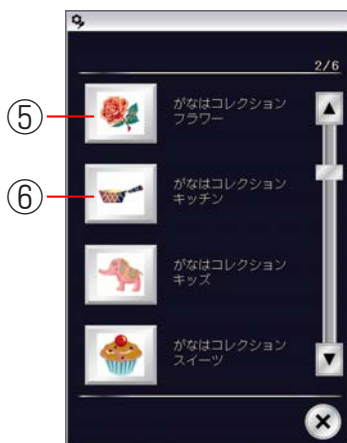
ホリデーデザイングループは、4つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1・2ページ目、SQ23 枠使用模様が3ページ目、FA10 枠使用模様が4ページ目です。

④ Noriko Nozawa コレクショングループ

Noriko Nozawa コレクションキーを押すと、野沢典子さんがデザインした刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

Noriko Nozawa コレクショングループは、GR 枠使用模様が1ページあります。



⑤ がなはコレクション フラワーグループ

がなはコレクション フラワーキーを押すと、がなはようこさんのフラワーデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

がなはコレクション フラワーグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、FA10 枠使用模様が2ページ目です。

⑥ がなはコレクション キッチングループ

がなはコレクション キッチンキーを押すと、がなはようこさんのキッチンデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

がなはコレクション キッチングループは、SQ14 枠使用模様が1ページあります。



⑦ かなはコレクション キッズグループ

かなはコレクション キッズキーを押すと、かなはようこさんのキッズデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

かなはコレクション フラワーグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、FA10 枠使用模様が2ページ目です。

⑧ かなはコレクション スイーツグループ

かなはコレクション スイーツキーを押すと、かなはようこさんのスイーツデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

かなはコレクション スイーツグループは、SQ14 枠使用模様が1ページあります。



⑨ かなはコレクション ソーインググループ

かなはコレクション ソーイングキーを押すと、かなはようこさんのソーイングデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

かなはコレクション ソーインググループは、SQ14 枠使用模様が1ページあります。

⑩ かなはコレクション その他グループ

かなはコレクション その他キーを押すと、かなはようこさんのその他のデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

かなはコレクション その他グループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、FA10 枠使用模様が2ページ目です。

⑪ かなはコレクション レッドワークグループ

かなはコレクション レッドワークキーを押すと、かなはようこさんのレッドワークデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

かなはコレクション レッドワークグループは、3つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、GR 枠使用模様が2ページ目、FA10 枠使用模様が3ページ目です。

⑫ アートデザイングループ

アートデザインキーを押すと、幾何学的な刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

アートデザイングループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目です。



⑬ 刺し子デザイングループ

刺し子デザインキーを押すと、刺し子デザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

刺し子デザイングループは、3つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、GR 枠使用模様が2ページ目、FA10 枠使用模様が3ページ目です。

⑭ キルティンググループ

キルティングキーを押すと、キルトデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

キルティンググループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目です。

⑮ クロスステッチグループ

クロスステッチキーを押すと、クロスステッチデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

クロスステッチグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、FA10 枠使用模様が2ページ目です。

⑯ アプリケデザイングループ

アプリケデザインキーを押すと、アプリケ模様を作る刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

アプリケグループは、SQ14 枠使用模様が1ページ目、FA10 枠使用模様が2ページ目です。



⑰ カーリーアルファベットデザイングループ

カーリーアルファベットデザインキーを押すと、カーリー体のアルファベットの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

カーリーアルファベットグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ23 枠使用模様が1・2ページにあります。

⑱ モチーフアルファベットデザイングループ

モチーフアルファベットデザインキーを押すと、モチーフ模様が入ったアルファベットデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

モチーフアルファベットグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1・2ページにあります。



⑱ フリンジグループ

フリンジキーを押すと、フリンジ飾りを作るデザインの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

フリンジグループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、FA10 枠使用模様が2ページ目です。

⑳ カウチングデザイングループ

カウチングデザインキーを押すと、毛糸を布に飾り付ける刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

カウチングデザイングループは、2つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目です。



㉑ フラッグデザイングループ

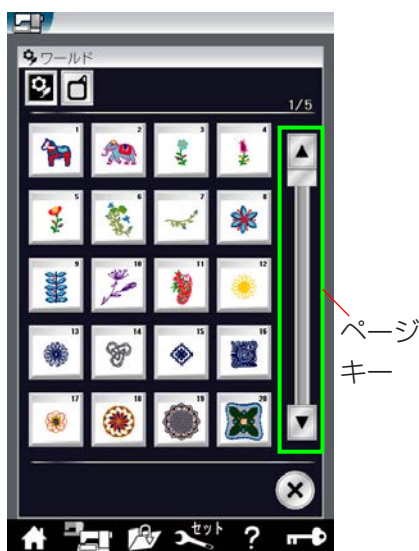
フラッグデザインキーを押すと、フラッグ・ガーランドの刺しゅう模様を選ぶ選択画面になります。

フラッグデザイングループは、3つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

SQ14 枠使用模様が1ページ目、SQ23 枠使用模様が2ページ目、GR 枠使用模様が3ページ目です。

㉒ クロスセッター模様グループ

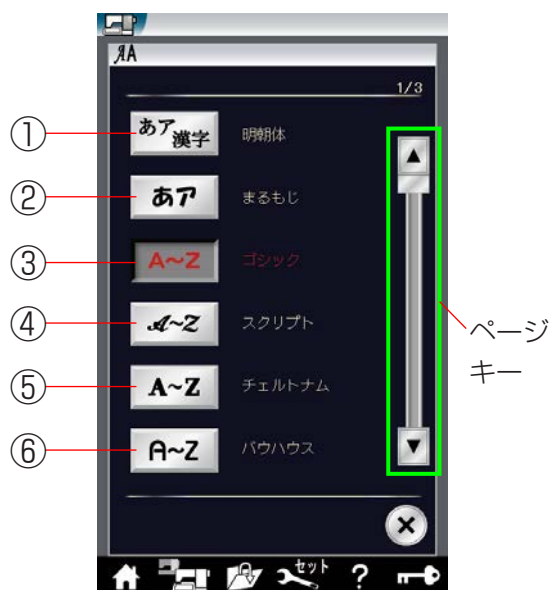
クロスセッター模様キーを押すと、クロスセッターに使用する基準線を作る模様の選択画面になります。



刺しゅう模様のグループを選択すると模様選択画面にかわります。

ページキーで模様のページをかえて、お好みの模様を選択してください。

★内蔵模様の選択方法（文字）



〔文字キー〕

文字キーを押すと、ミシンに内蔵されている刺しゅうゴシック体文字（模様）グループの選択画面になります。ページキーを押すと数字、記号、ヨーロッパ文字に切りかえることができます。

その他の書体を選ぶときは、書体キーを押します。

刺しゅう文字のグループは、17 個のグループがあり、3 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

① 明朝体グループ

明朝体キーを押すと、明朝体（ひらがな / スペース模様 2 個含む、濁点、半濁点、漢字）の模様選択画面になります。

明朝体グループは、7 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

② まるもじグループ

まるもじキーを押すと、丸文字（ひらがな / スペース模様 2 個含む、濁点、半濁点）の模様選択画面になります。丸文字グループは、3 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

③ ゴシック体グループ

ゴシックキーを押すと、ゴシック体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

ゴシック体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

④ スクリプト体グループ

スクリプトキーを押すと、スクリプト体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

スクリプト体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑤ チェルトナム体グループ

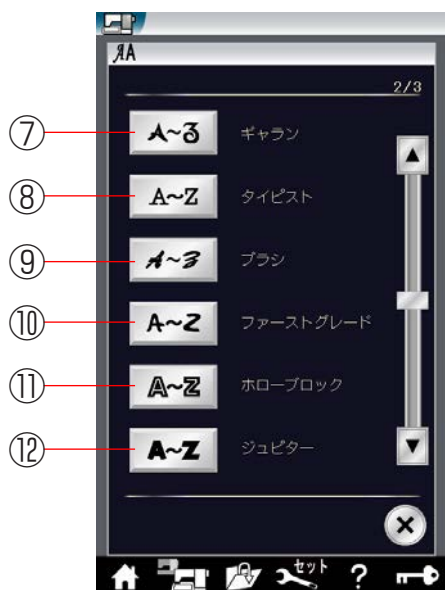
チェルトナムキーを押すと、チェルトナム体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

チェルトナム体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑥ バウハウス体グループ

バウハウスキーを押すと、バウハウス体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

バウハウス体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。



⑦ ギャラン体グループ

ギャランキーを押すと、ギャラン体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

ギャラン体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑧ タイピスト体グループ

タイピストキーを押すと、タイピスト体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

タイピスト体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑨ ブラシ体グループ

ブラシキーを押すと、ブラシ体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

ブラシ体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑩ ファーストグレード体グループ

ファーストグレードキーを押すと、ファーストグレード体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

ファーストグレード体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑪ ホローブロック体グループ

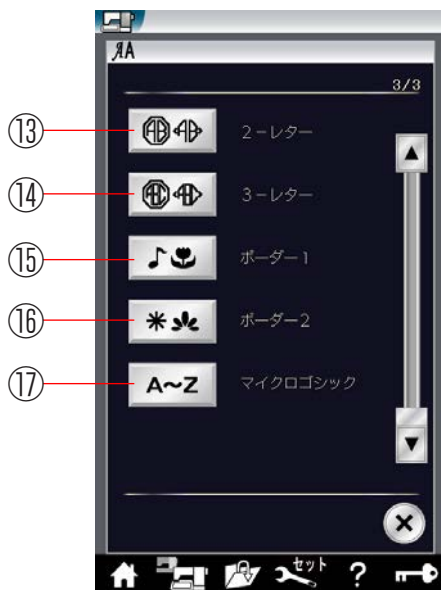
ホローブロックキーを押すと、ホローブロック体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

ホローブロック体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑫ ジュピター体グループ

ジュピターキーを押すと、ジュピター体（英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面になります。

ジュピター体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。



⑬ 2-レターグループ

2-レターキーを押すと、2-レター（英字、枠）の模様選択画面になります。

⑭ 3-レターグループ

3-レターキーを押すと、3-レター（英字、枠）の模様選択画面になります。

⑮ ボーダー1グループ

ボーダー1キーを押すと、ボーダー1（ボーダー模様）の模様選択画面になります。

ボーダー1は、2つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑯ ボーダー2グループ

ボーダー2キーを押すと、ボーダー2（ボーダー模様）の模様選択画面になります。

ボーダー2は、4つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

⑰ マイクロゴシック体グループ

マイクロゴシックキーを押すと、マイクロゴシック体（英字、数字、記号、およびスペース模様2個）の模様選択画面になります。

マイクロゴシック体グループは、3つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

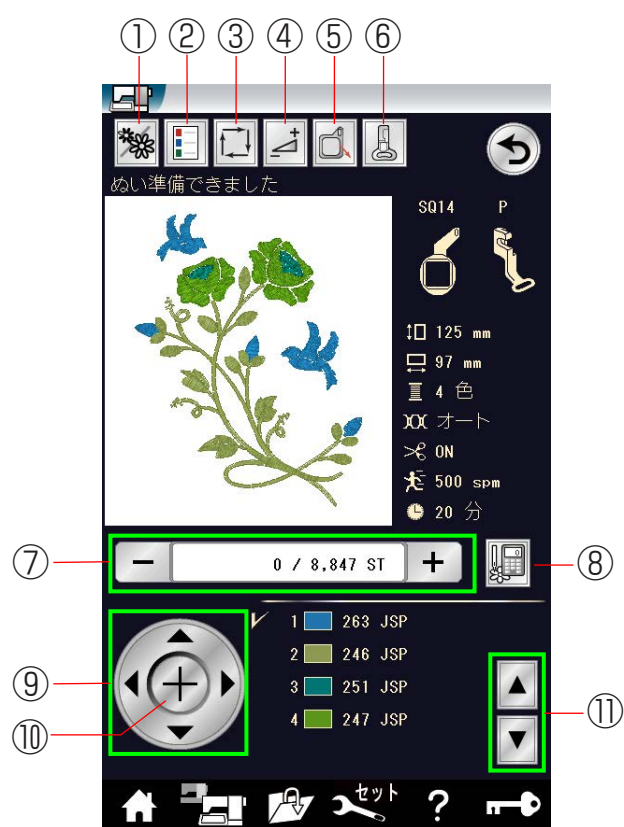
マイクロゴシックの文字の高さは約5mmです。

★刺しゅう実行画面



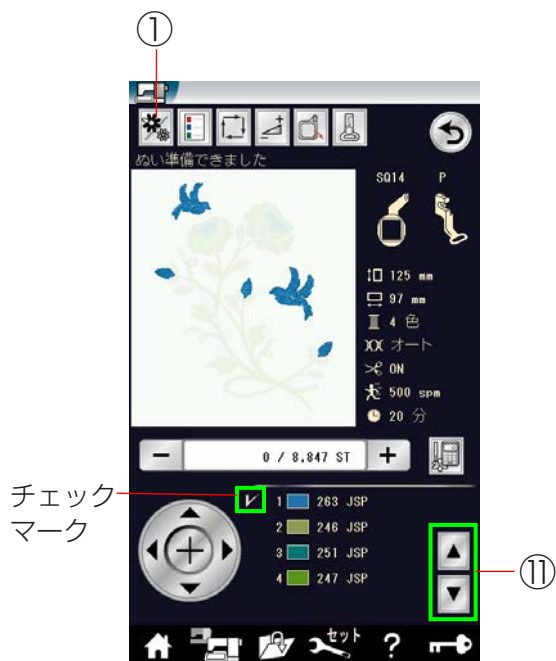
【例】ワールド# 6 (1/5 ページ)

模様# 6 を選ぶと、刺しゅう実行画面が表示されます。



【刺しゅう実行画面の説明】

- ① 模様表示切りかえキー
- ② 糸色確認キー
- ③ 刺しゅうはんい確認キー
- ④ 調節キー
- ⑤ キャリッジ移動キー
- ⑥ 押さえ変更キー
- ⑦ 針数
- ⑧ 針ジャンプキー
- ⑨ ジョグキー
- ⑩ 十字キー
- ⑪ レイヤー移動キー



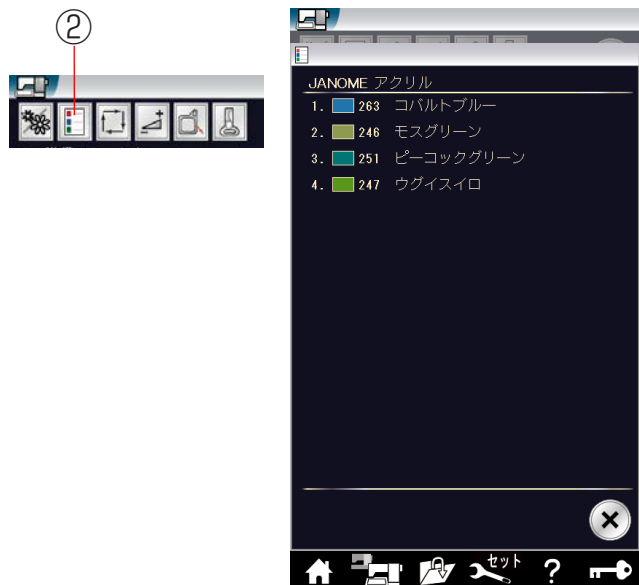
【設定キー】

① 模様表示切りかえキー

模様表示切りかえキーを押すと、色がえごとの模様表示画面になります。

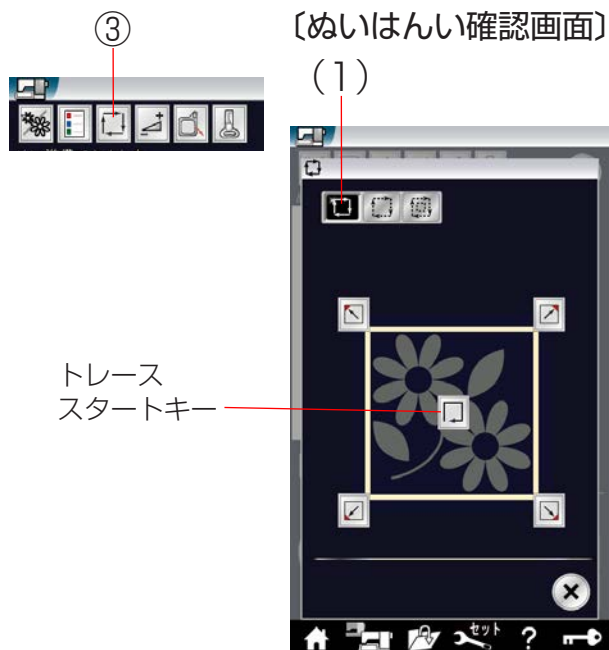
①① レイヤー移動キー

レイヤー移動キーを押して、チェックマークをぬいたい色に移動させることで、その色からぬうことができます。



② 糸色確認キー

糸色確認キーを押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色、糸色名が確認できます。



③ 刺しゅうはんい確認キー

刺しゅうはんい確認キーを押すと、ぬいはんい確認画面が表示されます。

ぬいはんい確認画面から3つの確認ができます。

(1) トレースキー



トレーススタートキーを押して刺しゅうはんいを確認します。

〔ぬいはんい確認画面〕

(2)



(3)



(2) トレース・しつけキー

スタート/ストップボタンを押すと、しつけをしながら刺しゅうはんいを確認します。

※ しつけをする前に、下糸を針板の上に引き出しておきます。

※ しつけは、刺しゅうはんい外側 5mm (ぬいしろ) をしつけぬいします。ただし、刺しゅうはんいが刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

(3) トレース・二重しつけキー

スタート/ストップボタンを押すと、内側と外側のしつけをしながら刺しゅうはんいを確認します。

※ しつけをする前に下糸を針板の上に引き出しておきます。

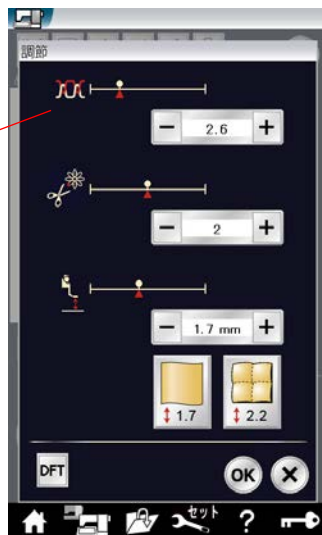
※ 外側のしつけは、刺しゅうはんい外側 5mm (ぬいしろ) をしつけぬいします。ただし、刺しゅうはんいが刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

④

〔調節画面〕



(1)



④ 調節キー

調節キーを押すと、調節画面が表示されます。

糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さ、押さえ高さの調節ができます。

(1) 糸調子の調節

「+」、「-」キーで糸調子を調節します。

糸調子を変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けられず、もとの画面にもどります。

※ オート値 (電源を入れたときに自動的に設定されている値) にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

(2) 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調節

セットキーにより、刺しゅうぬい設定の「トリミングモード」で「ON」または「カスタマイズキー」を選択し、渡り糸の糸切り長さ (渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値) を「OFF」以外の値に設定しているときのみ有効です。

「+」、「-」キーで残糸の長さが調節できます。

調節は「1」「2」「3」で調節します。

残糸の長さを調節変更したあと OK キーを押します。

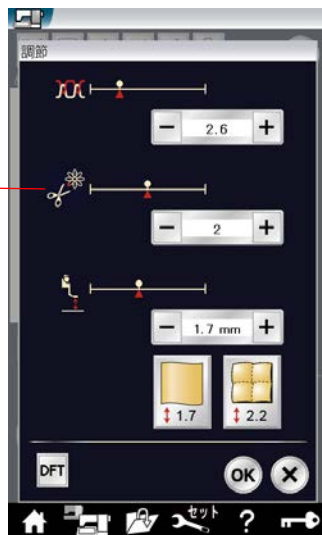
※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けられず、もとの画面にもどります。

※ オート値 (電源を入れたときに自動的に設定されている値) にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

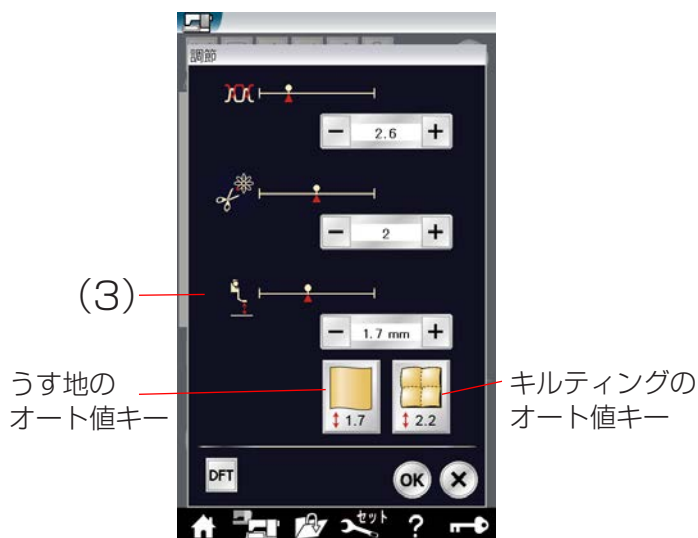
※ 「◎ミシンの設定 / 【刺しゅうぬい設定】 ⑩トリミングモード」(210 ページ) をごらんください。

(2)

〔調節画面〕



〔調節画面〕

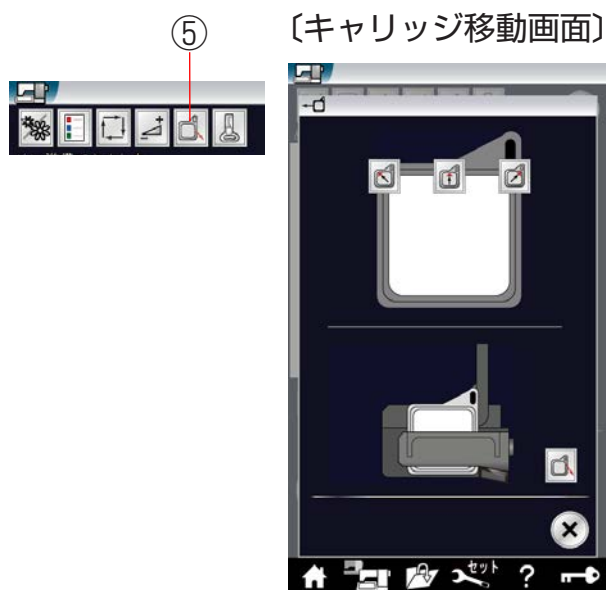


(3) 押さえ高さの調節

「+」、「-」キーで押さえ高さを調節します。
押さえ高さを変更したあと OK キーを押します。
取り消すときは閉じるキーを押します。
うす地のオート値キーとキルティングのオート値キーは、それぞれの一般的な値にするキーです。

- ※ 押さえを PC - 1 または PC - 2 に変更したときは表示されません
- ※ 刺しゅうモードで押さえが下がっているときは、調整した値に応じて押さえの高さが変わります。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は何も受け付けられず、もとの画面にもどります。
- ※ オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどるときは、初期化キー「DFT」を押します。




⑤ 〔キャリッジ移動画面〕





⑤ キャリッジ移動キー

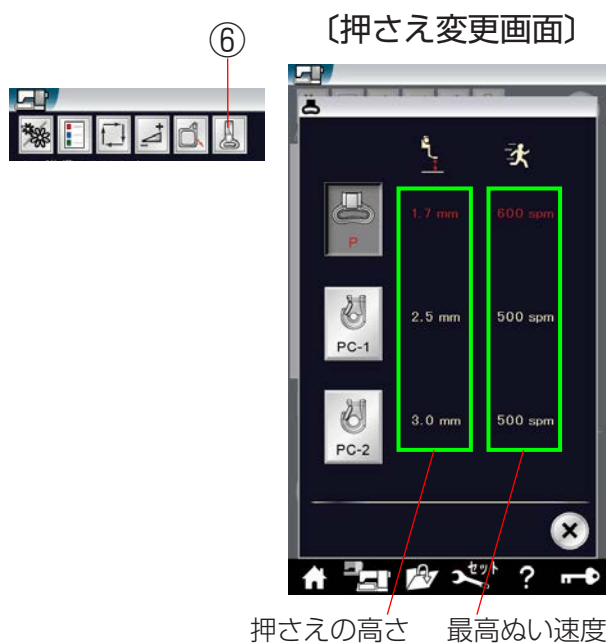
キャリッジ移動キーを押すと、キャリッジ移動画面が表示されます。

針があがっていることを確認します。

   キーを押すと、キャリッジが移動し、針位置が枠の矢印位置に移動します。

 キーを押すと、キャリッジは手前（ホームポジション）に移動します。  キーは枠を外してから使用してください。

⑥ 〔押さえ変更画面〕



⑥ 押さえ変更キー

使用する押さえの種類の選択ができます。

※ PC-1 と PC-2 は毛糸を使ったぬいをするときに使用します。詳しくは「◎刺しゅう／●カウチングデザインのぬい方」（186 ページ）をごらんください。

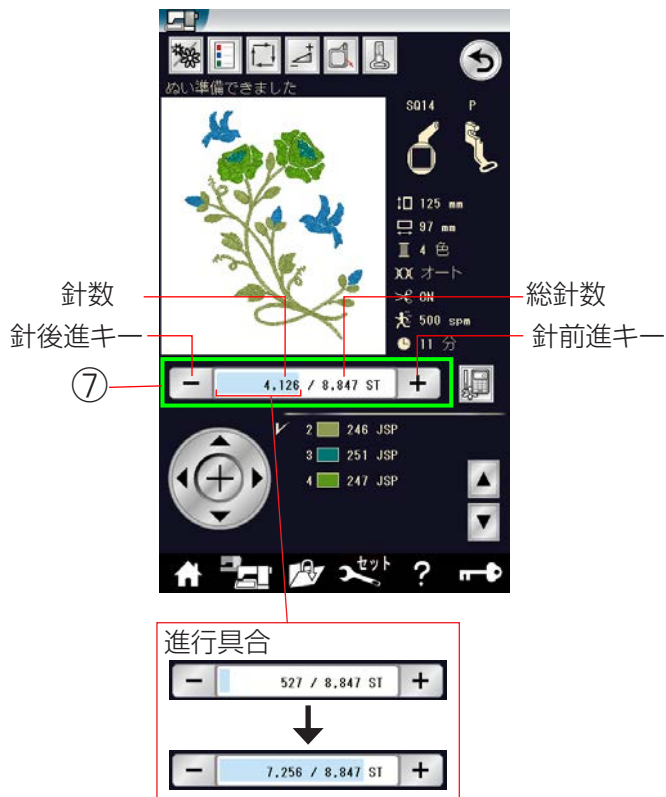
押さえの高さと最高ぬい速度の初期値も確認できます。

※ 刺しゅうをぬっているあいだのぬい速度は、ぬい目によって変化します。

※ 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの位置がいちばん右側の最高速になっている場合です。ぬい速度を遅くする場合は、スピードコントロールつまみで調節できます。

※ ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がります。

※ 押さえの高さと最高ぬい速度の初期値を設定する方法は、「◎ミシンの設定／【刺しゅうぬい設定】⑥最高ぬい速度、⑥刺しゅう押さえ高さ」（208 ページ）をごらんください。



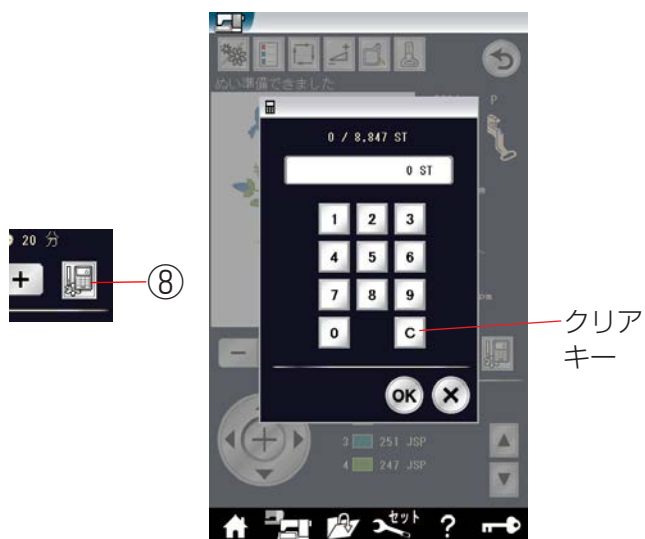
⑦ 針数

ぬい始めると、1 針目からの針数が表示されます。針前進キー「+」と針後進キー「-」で針数を前進させたり、後進させたりすることができます。

- ・ 前進させるときは、「+」キーを押します。
 - ・ 後進させるときは、「-」キーを押します。
- ※ 「+」、「-」キーを長押しすると、1 針から 10 針、100 針、500 針と前進、または後進させます。

青いバーはぬいの進行具合を表示しています。

ぬい始めは短く、ぬいが進むにつれて長くなっていきます。ぬい終わると青いバーは消えて、針数も 0 に戻ります。

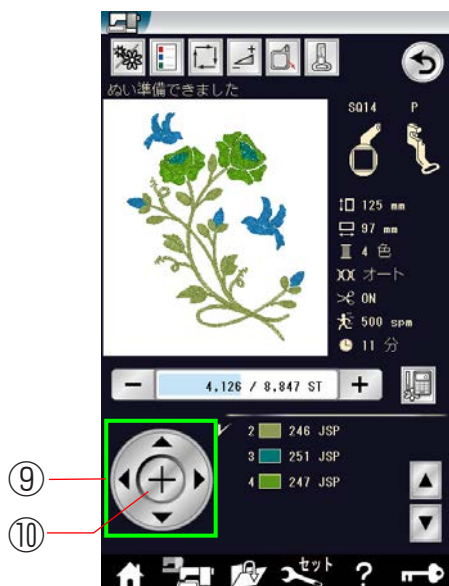


⑧ 針ジャンプキー

針ジャンプキーを押すと、テンキーが表示されます。移動したい針数の数字を入力してください。

数字入力をまちがえたときは、クリアキーを押して数字を消去してください。クリアキーを押すと数字は「0」になります。閉じるキーを押すと針数の入力をやめて、前の画面に戻ります。

OK キーを押すと、入力した針数の位置に枠が移動します。



⑨ ジョグキー

ジョグキーで刺しゅう位置（布の基準線中央に針がくる）の調整ができます。ジョグキーの矢印方向へ枠が移動します。

⑩ 十字キー

十字キーを押すと現在ぬう位置を十字マークで示します。十字マークを消すときには、もう一度十字キーを押してください。

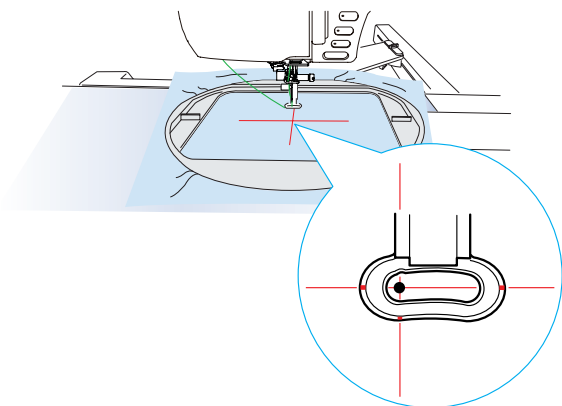
★模様ぬい

①

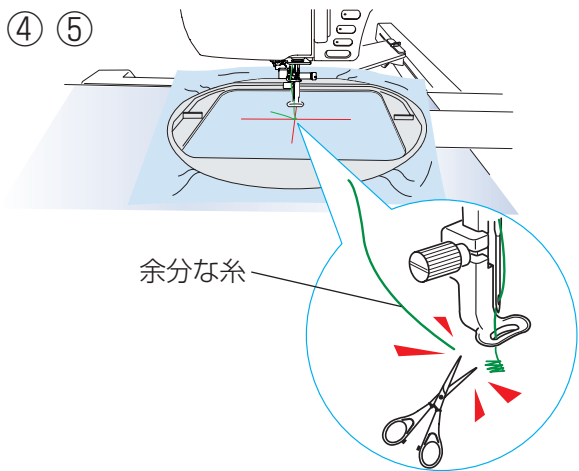


ジョグキー

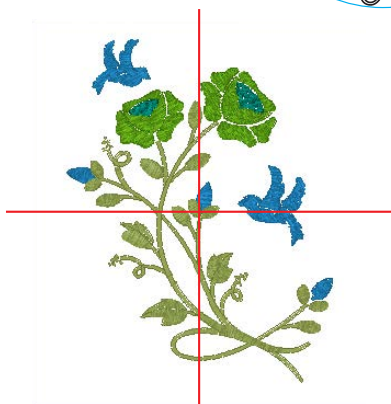
②



③ ④ ⑤



余分な糸



通常ぬいモード /
刺しゅうモード
切りかえキー

【例】ワールド# 6 (1/5 ページ)

① 模様を選びます。

② 布の十字マーク中央と針の位置がずれている場合は、ジョグキーで十字マークの中央に針の位置がくるように調整します。

③ スタート/ストップボタンを押します。
5～6 針ぬったところでスタート/ストップボタンを押して、ミシンを止めます。

④ ぬい始めの余分な糸をぬい目のきわから切ります。

⑤ スタート/ストップボタンを押します。
色がえのためミシンが停止したら、糸をかえて再びスタート/ストップボタンを押します。

【ぬいあがり】

6 の模様は、布の基準線に対して、図のようにぬいあがります。

※ 自動糸切り設定は「◎ミシンの設定 / 【刺しゅうぬい設定】⑩トリミングモード」(210 ページ) をご覧ください。

【ぬい終わりの収納】

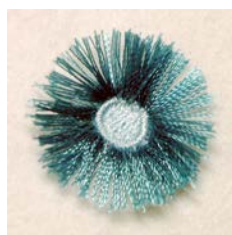
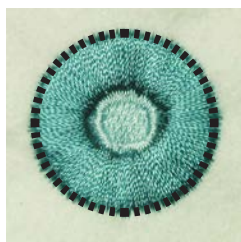
ぬい終わったら、刺しゅう枠を外します。
通常ぬいモード / 刺しゅうぬいモードキーを押し、キャリッジがホームポジションにもどったら、キャリッジアームを閉じます。

★フリンジ模様

①



② ③ ④ ⑤

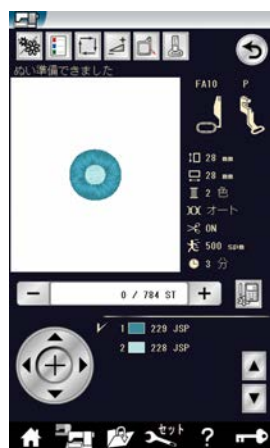


フリンジ模様をぬい、ぬいあがりの模様を切ること
で、フリンジ飾りを作ります。

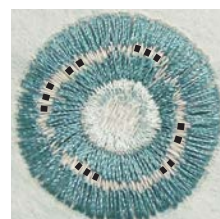
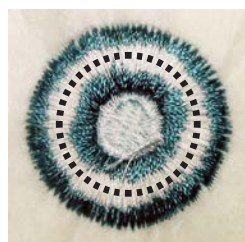
【例】フリンジ# 2 (2/2 ページ)

- ① カテゴリーのフリンジを選択します。
フリンジの 2/2 ページにある模様 # 2 を選びます。
- ② 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外し、刺しゅう枠から布を取り外します。
- ④ 上糸を図の点線にそって切ります。
- ⑤ 上糸を立たせ、フリンジ飾りを作ります。

①



② ③ ④ ⑤



他のやり方

- ① カテゴリーのフリンジを選択します。
フリンジの 2/2 ページにある模様 # 2 を選びます。
- ② 通常の刺しゅうぬいと同じようにぬいます。
- ③ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外し、刺しゅう枠から布を取り外します。
- ④ 下糸を左の図の点線にそって切り、下糸を取り除きます。
※ 下糸の見える幅が細く、切りにくいときは、下の図で示しているような切りやすい点線部分の下糸だけを切り、下糸の切り端を引っ張って取り除きます。
- ⑤ 上糸を布の表に引っ張り出し、フリンジ飾りを作ります。

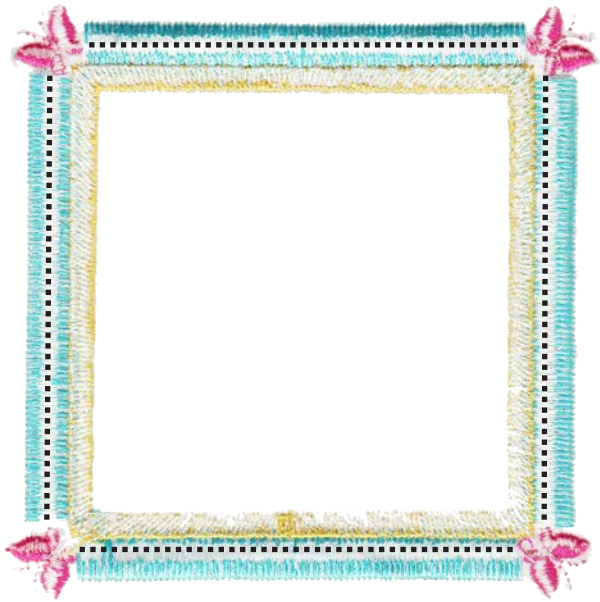
下糸を切る所

布の裏側にある下糸を下図の点線にそって切り、下糸を取り除きます。

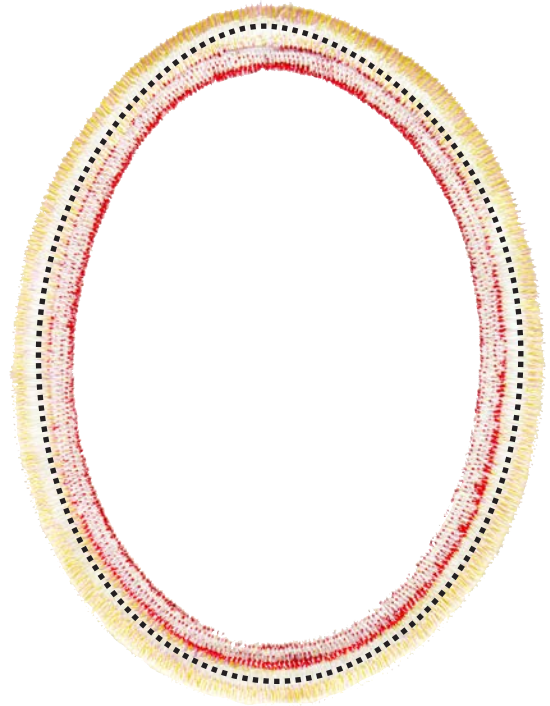
次に上糸を布の表に引っ張り出し、フリンジ飾りを作ります。

※ 下糸の見える幅が細く、切りにくいときは、切りやすい点線部分の下糸だけを切り、下糸の切り端を引っ張って取り除きます。

フリンジ# 1 (1/2 ページ)



フリンジ# 2 (1/2 ページ)



フリンジ# 3 (1/2 ページ)



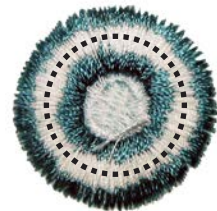
フリンジ# 4 (1/2 ページ)



フリンジ# 1 (2/2 ページ)

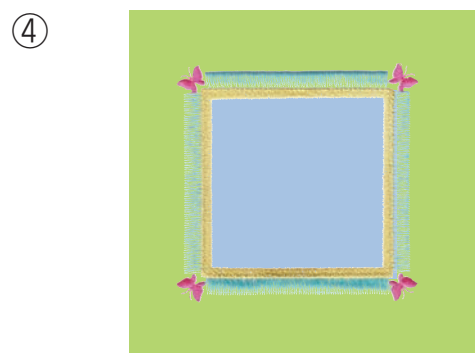
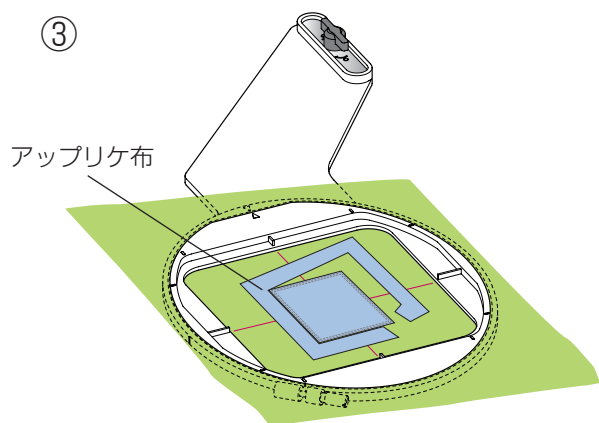
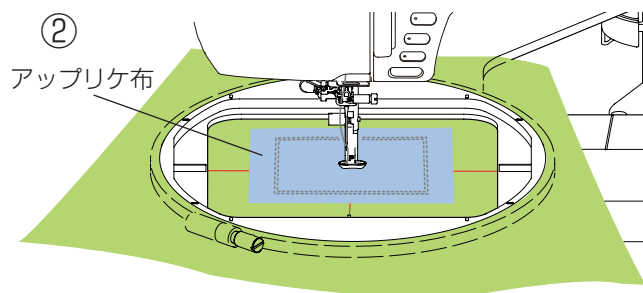
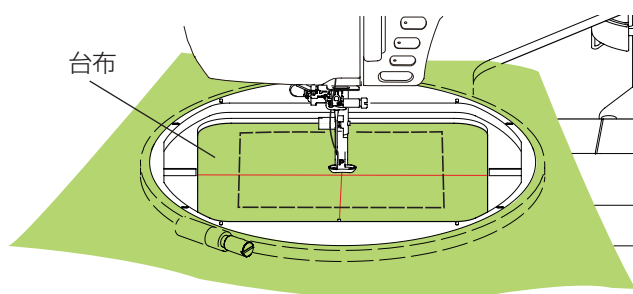
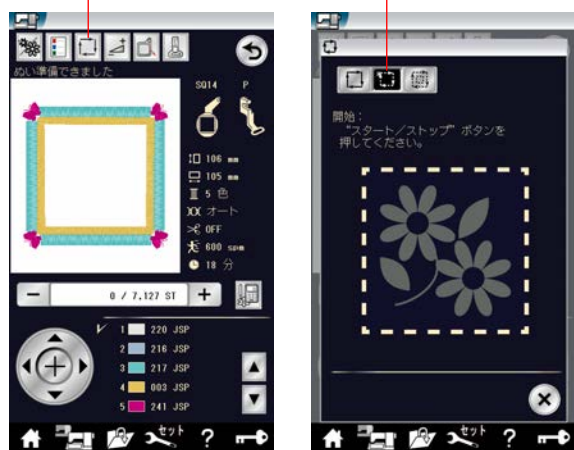


フリンジ# 2 (2/2 ページ)



★フリンジ模様 (アップリケ)

- ① 刺しゅうはんい確認キー [ぬいはんい確認画面]
 トレース・しつけキー



フリンジ模様の# 1と# 2 (1/2 ページ) はアップリケ模様がぬえる特殊な模様です。
 台布にアップリケ用の布をぬい付けると同時に、フリンジ模様をぬうことができます。

【例】 フリンジ# 1 (1/2 ページ)

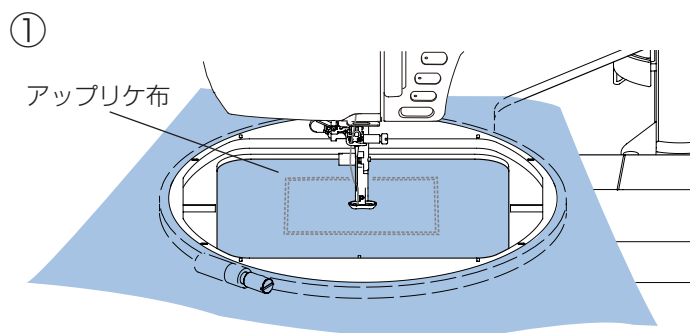
- ① 台布とアップリケ用の布を用意します。
 フリンジ模様の# 1(1/2 ページ)を選択して、刺しゅう枠に台布を張ります。
 刺しゅう枠をミシンにセットして、刺しゅうはんい確認キーを押します。
 ぬいはんい確認画面で、トレース・しつけキーを押します。ミシンが刺しゅうぬい模様をぬうはんいの周りをしつけぬいします。

- ② しつけぬいをした大きさに合わせて、アップリケ用の布を準備します。
 アップリケ用の布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り付けて、1色目をぬいます。

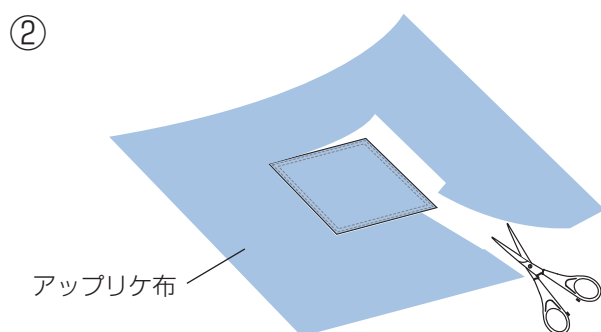
- ③ 1色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから取り外します。(刺しゅう枠から台布を外さないでください。)
 しつけぬいした糸を台布から取ります。
 1色目のぬい目にそって、アップリケ用の布の余分な布を切り取ります。

- ④ 刺しゅう枠を再びミシンにセットして、2色目からぬっていきます。
 ぬい終わったら、フリンジ飾りを作ります。

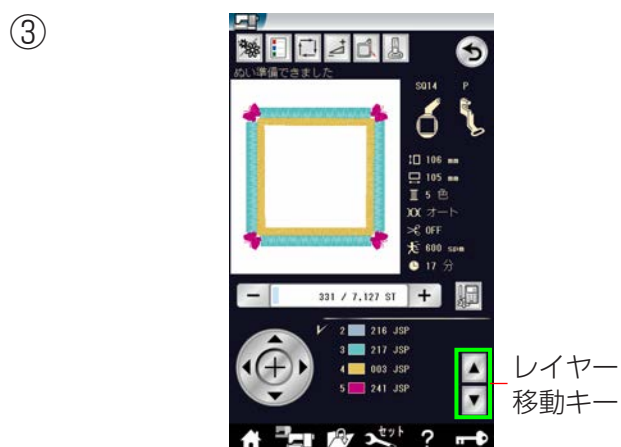
他のやり方



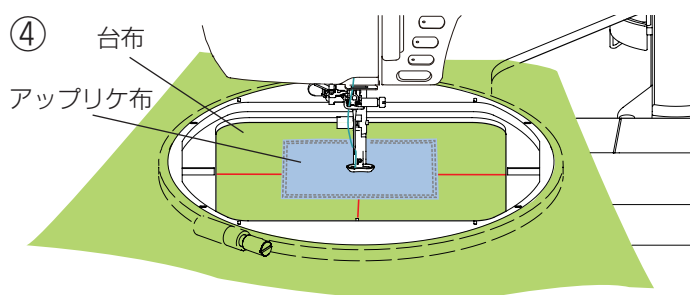
- ① 刺しゅう枠の大きさより大きいアップリケ用の布と台布を用意します。
フリンジ模様の# 1(1/2 ページ)を選択して、刺しゅう枠にアップリケ用の布を張り、1色目をぬいます。



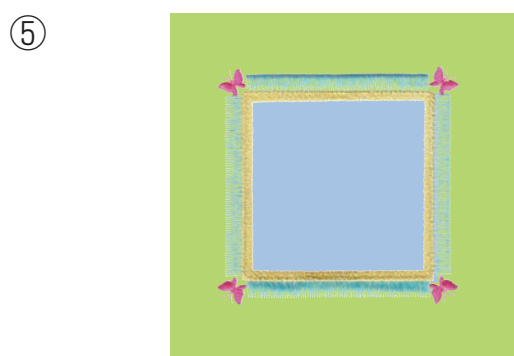
- ② 1色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外します。
刺しゅう枠から、アップリケ用の布を外し、ぬい目にそって切り取ります。



- ③ レイヤー移動キーを押して、1色目に戻します。
台布を刺しゅう枠に張って、ミシンにセットし、台布に1色目をぬいます。



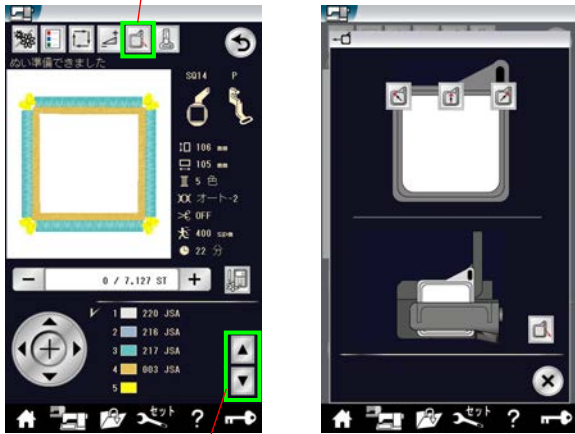
- ④ 1色目がぬい終わった場所に切っておいたアップリケ布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り付けます。



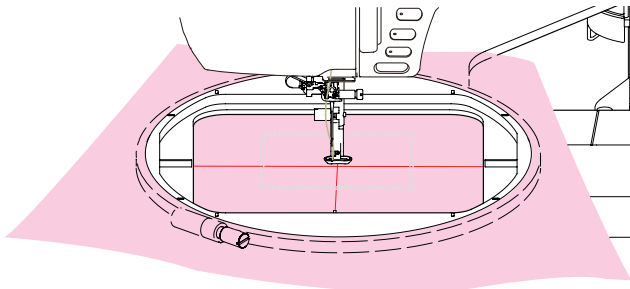
- ⑤ ミシンをスタートして、2色目からぬっていきます。
ぬい終わったら、フリンジ飾りを作ります。

★フリンジ模様（フレーム模様）

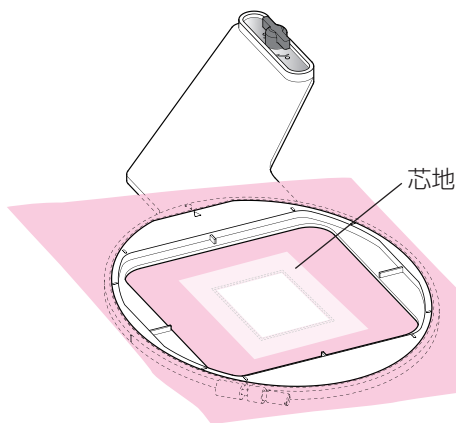
① キャリッジ移動キー [キャリッジ移動画面]



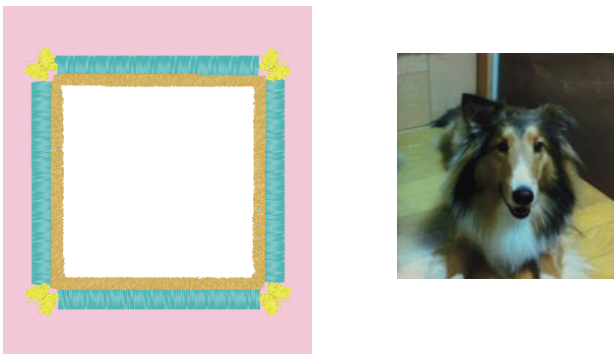
レイヤー移動キー



②



③



④



フリンジ模様の# 1と# 2 (1/2 ページ) はフレーム模様としても使うことができます。

【例】フリンジ# 1 (1/2 ページ)

台布とやぶれる芯地、フレームの中に入れる写真や絵を用意します。

① フリンジ模様の# 1 (1/2 ページ) を選択して、刺しゅう枠に台布を張り、1 色目をぬいます。

② 1 色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから取り外します。(刺しゅう枠から台布を外さないでください。)

1 色目でぬった台布の内側をぬい目にそって切り取ってください。

切り取った布よりも大きい芯地を、台布の上に置きます。

再び刺しゅう枠をミシンにセットして、レイヤー移動キーを押して 1 色目に戻します。

置いた芯地の上に 1 色目をぬい、2 色目を続けてぬいます。

※1 色目がぬい終わったときに、芯地のあまりをぬい目にそって切り取るきれいに仕上がります。

芯地が切り取りにくいときは、キャリッジ移動キーを押して切りやすい位置まで刺しゅう枠を移動してください。キャリッジ移動画面についての説明は「★刺しゅう実行画面 / 【設定キー】 / ⑤キャリッジ移動キー」(158 ページ) をごらんください。

③ ぬい終わったら、台布を刺しゅう枠から取り外します。

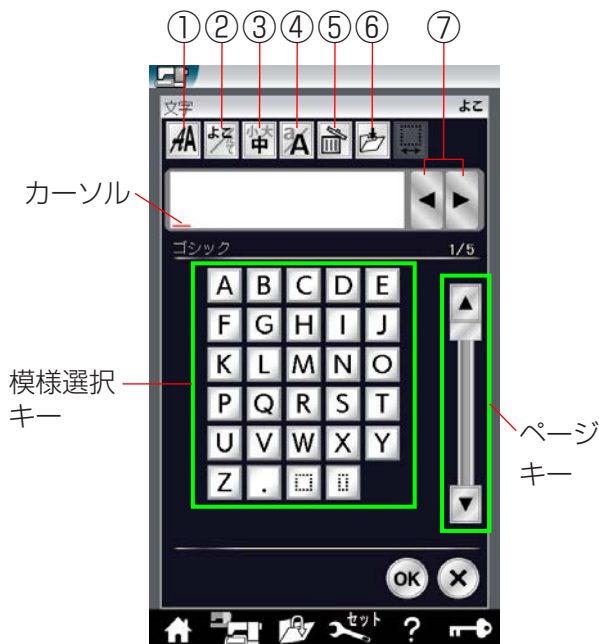
下糸を切ってフリンジ飾りを作り、余分な芯地を取り除いてください。

④ 写真や絵が開けた穴から見えるようにして重ねます。

★文字刺しゅう選択画面

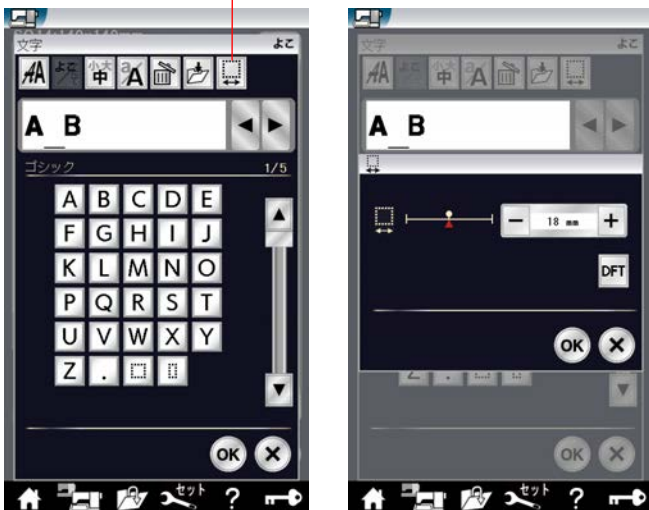


【設定キー】



⑧

〔調節画面〕



文字キーを押すと、ミシンに内蔵されている刺しゅうゴシック体文字（模様）グループの選択画面になります。

【設定キー】

その文字（模様）に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 選ばれている文字や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。

① 書体キー

刺しゅう文字のグループは、17 個のグループがあり、3 つのページ（画面）に分かれています。

ページキーで選択できます。「●ぬい方／★内蔵模様の選択方法（文字）」（152 ページ）をごらんください。

② 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえることができます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

③ 文字サイズ変更キー

文字のサイズを大（30mm）、中（20mm）、小（10mm）に変更できます。

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえることができます。

※ 明朝体、まるもじは「ひらがな・カタカナ」になります。模様選択キーの表示も切りかわります。

⑤ 削除キー

カーソルの付いている文字を削除することができます。文字を組み合わせた状態でカーソルが最後の文字の外側にある場合は、最後の文字を削除することができます。

⑥ 保存キー

組み合わせた文字をミシンに保存したり、USB メモリに保存するときに使います。

使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」（190 ページ）をごらんください。

⑦ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字（模様）の中から変更したい文字（模様）を選ぶことができます。

「●ぬい方／★文字の削除・挿入」（171 ページ）をごらんください。

⑧ スペース調整キー

スペースを選んだとき、またはスペースを入力してカーソルをスペースに合わせたときにスペース調整キーが表示されます。

スペース調整キーを押すと、調節画面になります。

文字間の間かくが均一でない場合、「+」、「-」キーで調節します。

「+」キーを押すと、間かくが広くなります。

「-」キーを押すと、間かくがせまくなります。

間かくを変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすときは、初期化キー「DFT」を押します。

★文字の組み合わせ

① カーソル



【例】明朝体の横書き文字サイズ中で「たま保育園」をぬう

- ① 書体キーで明朝体グループを選び、模様選択画面を表示させ、横書き、文字サイズ中で、文字「た」を選びます。
- ※ カーソルの位置に文字が挿入されます。

②



ページキー

③



- ② ページキーで2/7ページを表示させ、文字「ま」を選びます。
- ③ ページキーで4/7ページを表示させ、文字「保」を選びます。

④



⑤



- ④ 文字「育」を選びます。
- ⑤ 文字「園」を選びます。
- ⑥ 「OK」キーを押します。

⑥



⑦

色がえキー



ぬい原点キー

⑦ ミシンをスタートさせると、「たま保育園」をぬったあと自動的にミシンは停止します。

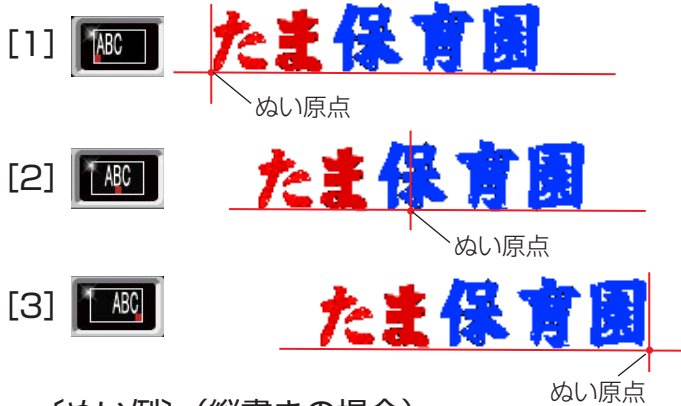
【色がえキー】

色がえキーを押すと、1文字ぬうごとに、ミシンが停止します。

糸を交換してぬいます。

たま保育園

〔ぬい例〕 (横書きの場合)



【ぬい原点キー】

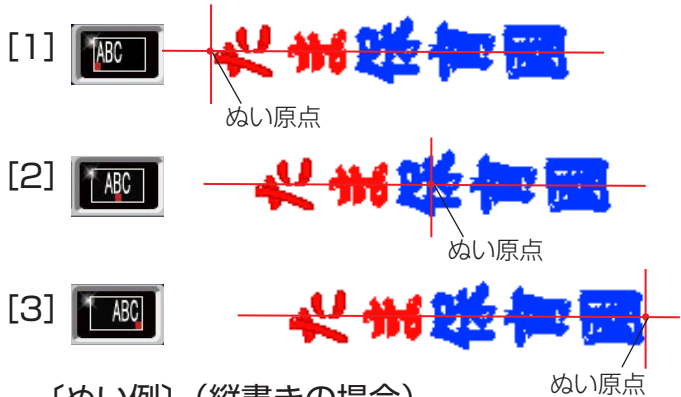
文字のぬい原点は、横書きと縦書きでそれぞれ3種類のぬい原点から選択できます。

[1] トップボトム
先頭のぬい原点で下合わせとなります。

[2] センターボトム
中央のぬい原点で下合わせとなります。

[3] エンドボトム
最終のぬい原点で下合わせとなります。

〔ぬい例〕 (縦書きの場合)

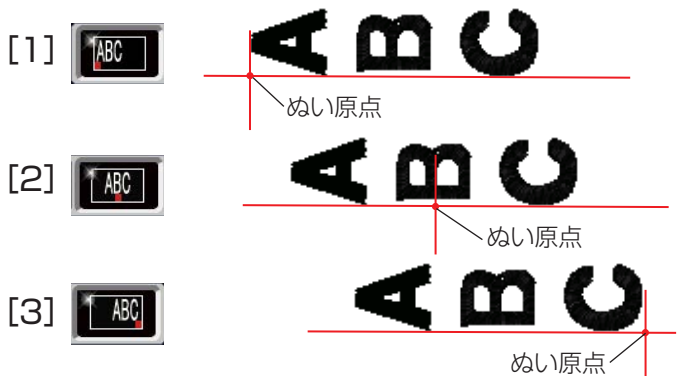


[1] トップミドル
先頭のぬい原点で中合わせとなります。

[2] センターミドル
中央のぬい原点で中合わせとなります。

[3] エンドミドル
最終のぬい原点で中合わせとなります。

〔ぬい例〕 (縦書きの場合)



※ 英語などの縦書きの場合は、左図のようになります。
横書きは明朝体と同じです。

★ 2-レター

①



【例】 2-レター「**AB**」をぬう

① 書体キーで2-レターグループを選び、模様選択画面を表示させ、枠模様「**○**」を選びます。

※ 枠模様は文字を選ぶ前に選びます。

②



③ ④



② 文字「A」を選びます。

③ 文字「B」を選びます。

※ 文字などの入れかえをするときは、削除キーを押して、はじめから枠、または文字を選び直します。

④ OK キーを押します。

⑤

色がえキー



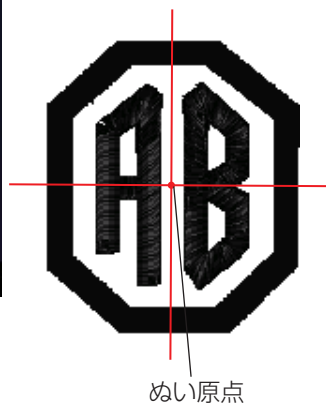
⑤ ミシンをスタートさせます。

※ ぬいの前に色がえキーを押すと、1文字ぬうごとに、ミシンが停止します。

糸を交換してぬいます。

※ 3-レターは、2-レターと同じ要領で行います。

※ 2-レターと3-レターのぬい原点（スタート位置）は、中央になります。




ぬい原点

★ボーダー 1 と文字の組み合わせ

①



【例】「 Duck 」をぬう

- ① 書体キーでボーダー 1 グループを選び、模様選択画面を表示させ、枠模様「」を選びます。

②



③ 大文字・小文字切りかえキー



- ② 書体キーでゴシック体グループを選び、模様選択画面を表示させ、文字「D」（大文字 / サイズ中）を選びます。



- ③ 大文字・小文字切りかえキーを押して、小文字にし、「u」、「c」、「k」を選びます。

④




⑤



⑥



- ④ 書体キーでボーダー 1 グループを選び、模様選択画面を表示させ、枠模様「」を選びます。

- ⑤ 「OK」キーを押します。

- ⑥ ミシンをスタートさせます。

※ ぬいの前に色がえキーを押すと、1文字ぬうごとに、ミシンが停止します。糸を交換してぬいます。

色がえキー



★文字の削除・挿入

①



文字を組み合わせたあとでも、組み合わせた文字の一部を削除したり、文字を追加したりすることができます。

【例】明朝体「りんご」の「ご」を削除し、「か」を挿入して、「かりん」にする

① 「りんご」と入力します。

②

カーソル移動キー



② カーソル移動キーで修正（削除）する文字「ご」を選びます。
(カーソルの付いた文字は赤色にかわります。)

③

削除キー



③ 削除キーを押します。
「ご」が削除されます。

④



④ カーソル移動キーで挿入したい次の文字「り」に移動します。

⑤



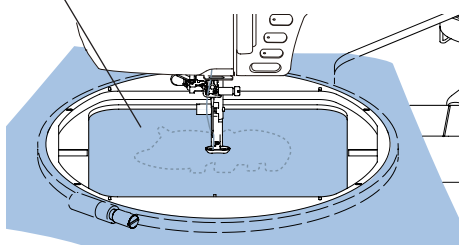
⑤ 「か」を選びます。
「か」が「り」の前に挿入されます。

★アップリケ模様

① ②



アップリケ布

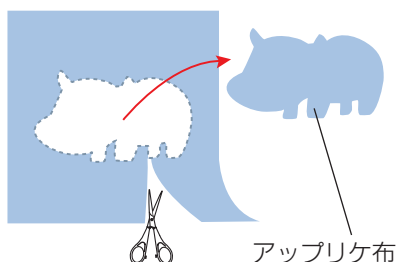


台布とアップリケ用の布を用意します。

【例】アップリケデザイン# 1

- ① アップリケデザインの# 1 を選びます。
- ② アップリケ用の布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシンにセットして、1 色目をぬいます。

③ ④



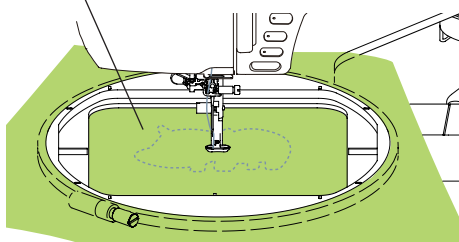
アップリケ布

- ③ 1 色がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外します。
- ④ 刺しゅう枠からアップリケ用布を外し、ぬい目にそって切り取ります。

⑤ ⑥



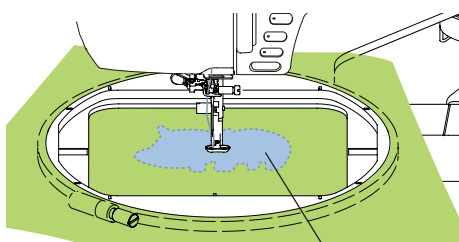
台布



レイヤー移動キー

- ⑤ レイヤー移動キーを押して、1 色目にもどします。
- ⑥ 台布を刺しゅう枠に張って、ミシンにセットし、台布に 1 色目をぬいます。

⑦ ⑧



アップリケ布

- ⑦ 1 色目がぬい終わった場所に切っておいたアップリケ布の裏にのりをうすく付け、台布に貼り付けます。
- ⑧ ミシンをスタートして、2 色目からぬっていきます。

【ぬいあがり】



●編集刺しゅう

①



編集モードキー

〔編集画面〕

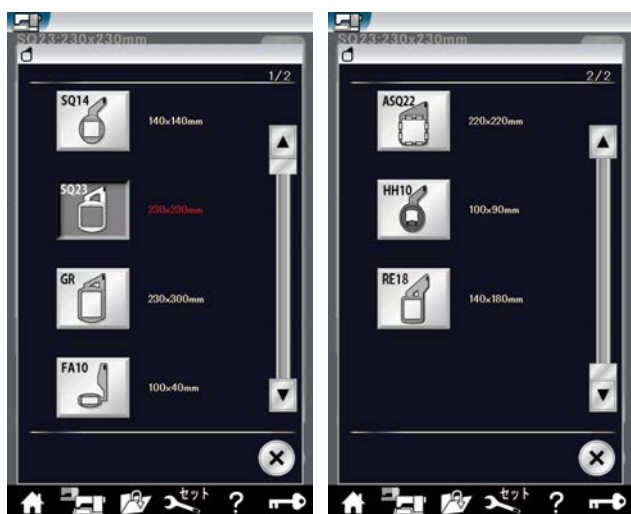


刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい位置を移動したり、大きさや向きをかえたり、自由に編集することができます。

- ① 編集モードキーを押します。
編集画面に切りかわります。

※ 枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の変更ができます。

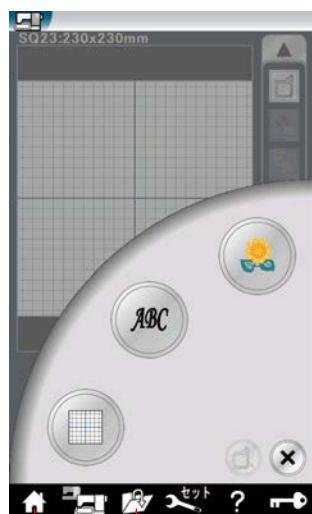
〔刺しゅう枠選択画面〕



初期の状態（購入時の設定状態）は、刺しゅう枠（SQ23）が表示されます。

※ 刺しゅう枠（ASQ22、HH10、RE18）はオプションにて対応予定です。

②



ホームキー ファイル
 オープンキー

- ② 編集画面では内蔵模様、文字、USBメモリに保存した刺しゅう模様を開くことができます。

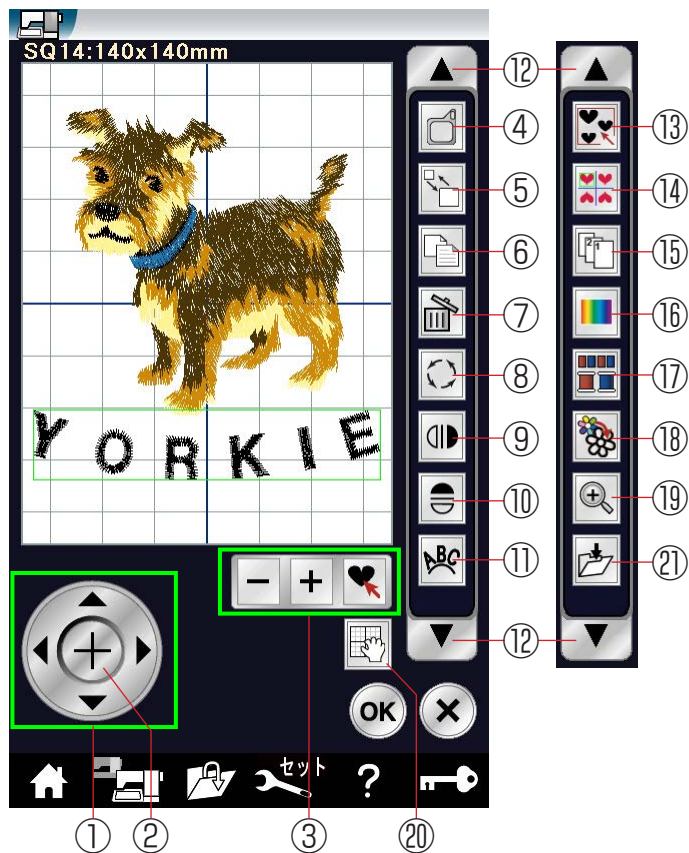
※ 内蔵模様、文字を選ぶ場合はホームキーを押します。

USBメモリから模様を選ぶ場合はファイルオープンキーを押します。「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの呼び出し／★刺しゅう」（195ページ）をごらんください。

【刺しゅう編集画面の説明】

模様（編集）に設定されているぬい条件をお好みの条件に変更します。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。



- ① ジョグキー
- ② 十字キー
- ③ 選択切りかえキー
- ④ 枠選択キー
- ⑤ 拡大・縮小キー
- ⑥ コピーキー
- ⑦ 削除キー
- ⑧ 回転キー
- ⑨ 左右反転キー
- ⑩ 上下反転キー
- ⑪ アークキー
- ⑫ 設定切りかえキー
- ⑬ グループキー
- ⑭ コーナーレイアウトキー
- ⑮ ぬい順序変更キー
- ⑯ 模様色・背景色設定キー
- ⑰ 同色まとめキー
- ⑱ 単色ぬいキー
- ⑲ ズームキー
- ⑳ 画面移動キー
- ㉑ 保存キー



〔編集画面〕

OK キー

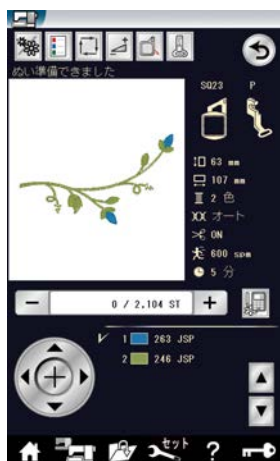
【例】ワールド# 7 (1/5 ページ)

模様 # 7 を選ぶと、編集画面の中央に模様が表示されます。

【編集する模様の選択】

編集画面で編集したい模様を選択します。
選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

〔刺しゅう実行画面〕



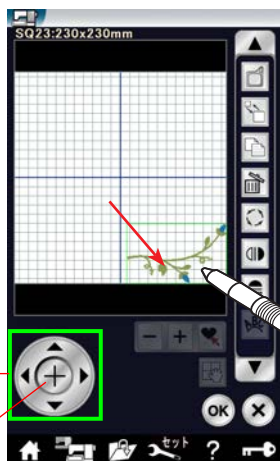
【刺しゅうするには】

OK キーを押します。
刺しゅう実行画面になり、刺しゅうができます。

ホームキーを押し、編集モードキーを押すことで、刺しゅう編集画面に戻ることができます。

※ 刺しゅうぬい中は、刺しゅう編集できません。

① ②



ジョグキー
十字キー

【設定キー】

① ジョグキー

【模様移動 1】

編集画面内の模様を移動させるには、動かしたい模様を選択し、ジョグキーの矢印方向へ模様が移動します。

※ キャリッジは移動しません。

【模様移動 2】

タッチペンか指でも移動できます。

動かしたい模様をタッチペンか指で押し、動かしたい位置までそのまま移動します。

※ 先端のところがったもので画面を押すと故障の原因になります。

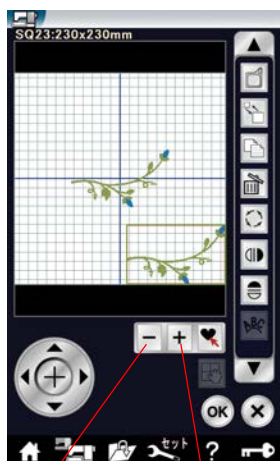
② 十字キー

十字キーを押すと、中心位置に模様に戻ります。

③

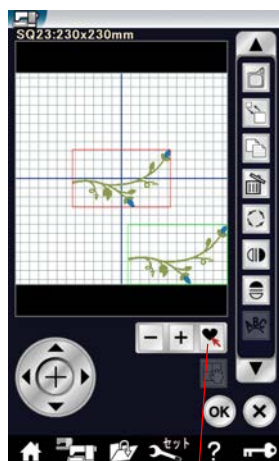


(1)



「-」キー 「+」キー

(2)



選択キー

③ 選択切りかえキー

複数の模様が近くにあるときや、模様が重なっているときは、編集したい模様を選択することが難しくなります。複数の模様があるときは、選択切りかえキーが表示されます。

(1) 「+」キーか「-」キーを押すと、赤色の四角枠が編集画面に表示されます。

(2) 「+」キーか「-」キーを何回か押して、選択したい模様が赤色の四角枠で囲まれたら、選択キーを押して模様を選択します。

④

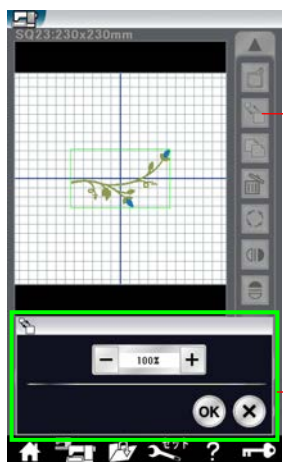


④ 枠選択キー

枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の変更ができます。

初期の状態（購入時の設定状態）は、刺しゅう枠（SQ23）が表示されます。

※ 刺しゅう枠（ASQ22、HH10、RE18）はオプションにて対応予定です。

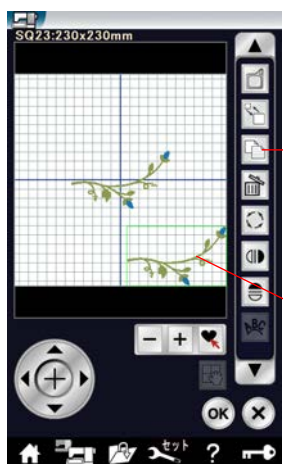


⑤

拡大・縮小画面

⑤ 拡大・縮小キー

拡大、または縮小する模様を押します。
 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。
 拡大・縮小キーを押します。
 拡大・縮小画面になります。
 「+」キーを押して、拡大します。
 「-」キーを押して、縮小します。
 選択した模様のサイズを80%～120%のはんいで1%ずつ変更できます。
 最後にOKキーを押します。
 ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

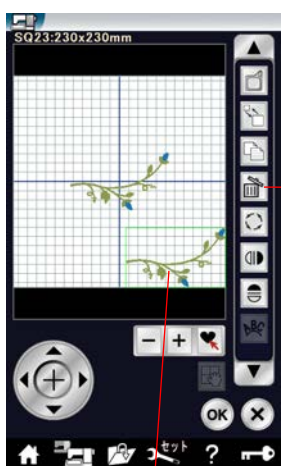


⑥

コピーした模様

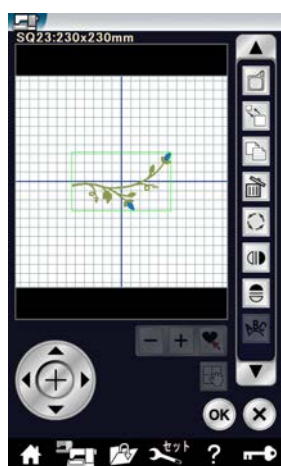
⑥ コピーキー

コピーする模様を押します。
 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。
 コピーキーを押します。
 選択した模様をコピーします。
 ※ コピーされた模様は、同じ模様の上に置かれます。
 指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動してください。



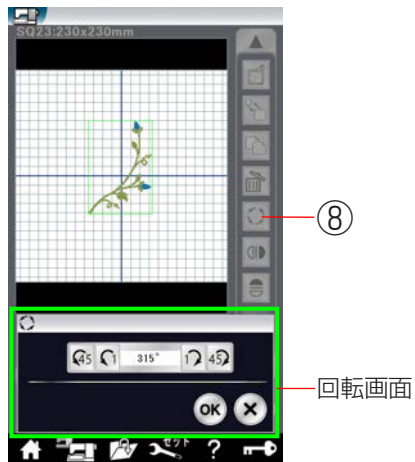
⑦

削除する模様



⑦ 削除キー

削除する模様を押します。
 選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。
 削除キーを押します。
 選択した模様が削除されます。




⑧ 回転キー


回転する模様を押します。


選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

回転キーを押します。

回転画面になります。

「」キーを押すと、45°左回転します。

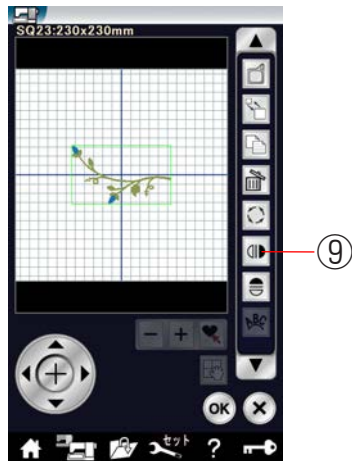
「」キーを押すと、1°左回転します。

「」キーを押すと、1°右回転します。

「」キーを押すと、45°右回転します。

最後に OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。



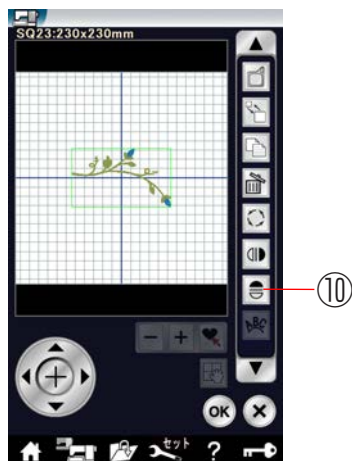
⑨ 左右反転キー

左右反転する模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

左右反転キーを押します。

模様の左右が反転します。



⑩ 上下反転キー

上下反転する模様を選択します。

選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

上下反転キーを押します。

模様の上下が反転します。

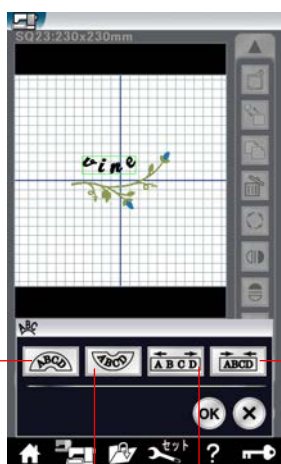


(1) (2)



ホームキー

(3) (4)
[アーク編集画面]



下向きアークキー
文字間かくキー
(広くする)
上向きアークキー
文字間かくキー
(せまくする)

⑪ アークキー

文字を入力したときにアークキーが表示されます。

(1) ホームキーを押して、文字選択画面から文字を入力し、OK キーを押します。

(例 .vine/ スクリプト体/横書き / 文字サイズ中)

(2) 編集画面に文字が表示されます。

(3) アークキーを押します。

アーク編集画面が表示されます。

上向きアークキーを押すと、上向き円弧にします。

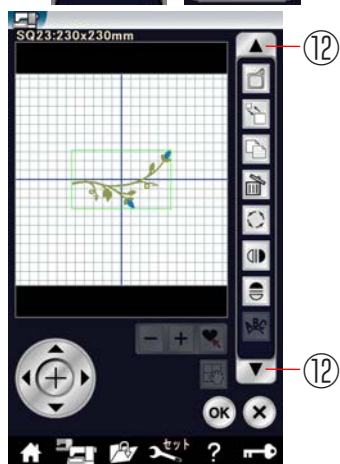
下向きアークキーを押すと、下向き円弧にします。

文字間かくキー (広くする) を押すと、文字間かくが広がります。

文字間かくキー (せまくする) を押すと、文字間かくがせまくなります。

(4) OK キーを押します。

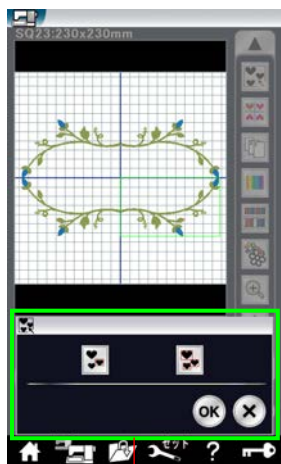
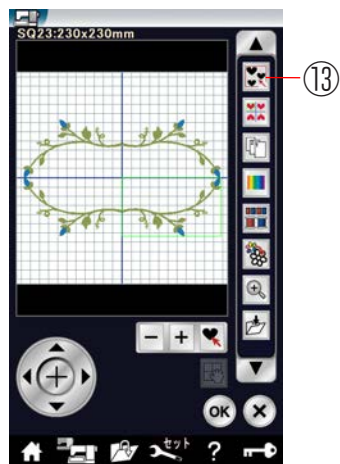
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。



⑫ 設定切りかえキー

設定切りかえキーを押すと、設定画面が切りかわります。

※ 選ばれている模様や設定状態によっては、キーの色がグレーになっていて使用できないキーがあります。



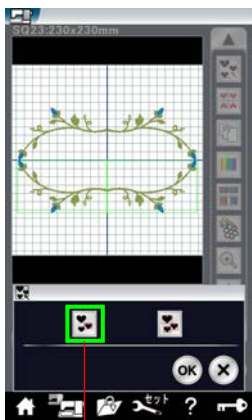
グループ選択画面

⑬ グループキー

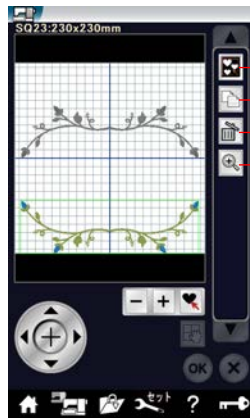
編集画面の模様全体をグループにしてコピー、削除または移動させたい場合と複数の模様だけをグループにしてコピー、削除または移動させたい場合に使用します。

グループキーを押すと、グループ選択画面になります。

※ グループキーは、複数の模様がある場合にのみ表示されます。



グループ個別選択キー



- グループキー
- コピーキー
- 削除キー
- ズームキー

【グループ個別選択キー】

グループ個別選択キーは、複数の模様を 1 つにグループ化することができます。

グループにしたい模様を押します。

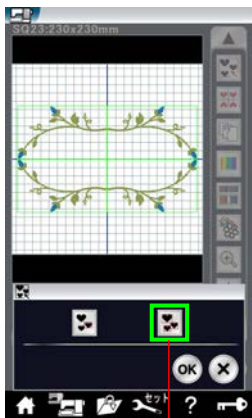
選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

OK キーを押します。

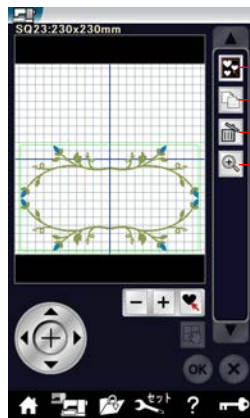
※ グループにしなかった模様は、グレーで表示されます。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

コピーキー、削除キー、ズームキーを使用することができます。また、グループにした模様の移動ができます。編集作業が終わったら、グループキーを押します。



グループ全体選択キー



- グループキー
- コピーキー
- 削除キー
- ズームキー

【グループ全体選択キー】

グループ全体選択キーは、模様全体を 1 つにグループ化することができます。

グループ全体選択キーを押すと、各模様が緑色の四角枠で囲まれます。

OK キーを押します。

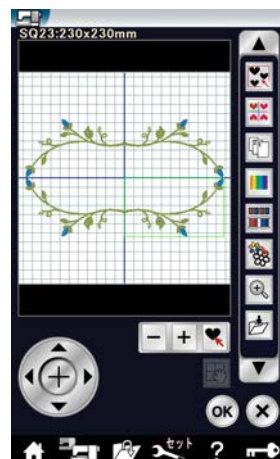
模様全体が緑色の四角枠で囲まれます。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

コピーキー、削除キー、ズームキーを使用することができます。また、グループにした模様の移動ができます。編集作業が終わったら、グループキーを押します。



⑭



⑭ コーナーレイアウトキー

コーナーレイアウトキーを押して、中心の十字の線をもとに反転コピーします。

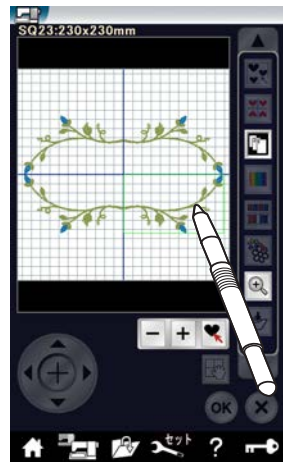
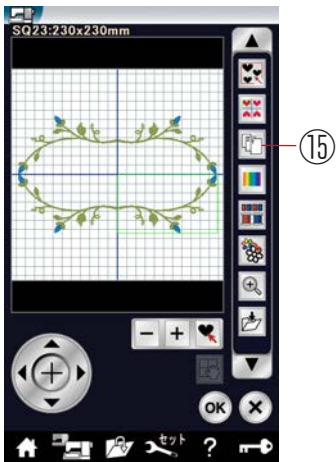
1 つの模様を上下左右に反転してコピーすることで、四角い枠などを作ることができます。

コピーする模様を押します。

選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

コーナーレイアウトキーを押します。

模様が上下左右にコピーされます。



⑮ めい順序変更キー

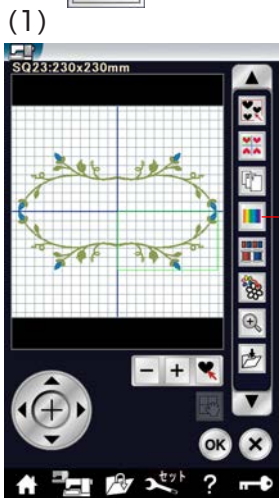
めい順序変更キーを押して、組み合わせた模様のみ順序を変更することができます。

めい順序変更キーを押します。

めいたい模様順番に模様を押していきます。

めい順序変更キーを押します。

前の画面にもどります。



(2) [模様色変更画面]

模様切り
かえキー

⑮



⑯ 模様色・背景色変更キー

模様色・背景色変更キーを押すと、模様色変更画面になります。

模様色（糸色）と編集画面の背景色の変更ができます。

※ 実際にぬう布色と糸色の編集イメージがわかります。

【模様色の変更】

(1) 模様色を変更したい模様を選択し、模様色・背景色変更キーを押します。

(2) 模様切りかえキーで色がえしたい部分を選びます。



スライダー

カラーパレット
「-」キー 「+」キー



ネームキー

(3) カラーパレットから好きな色を選びます。

※ 色の明るさを変更するときは、スライダーをタッチペンか指で右または左へ移動させるか、「+」キー、「-」キーでスライダーを右または左へ移動させます。

(4) ネームキーを押すと、新規名称画面が表示されます。変更した色に名前が付けられます。

(5)



(6)



(5) 新規名称画面で、名称を入力し OK キーを押します。

※ 15 文字まで入力できます。

入力の変更は、削除キーを押します。

(6) OK キーを押します。

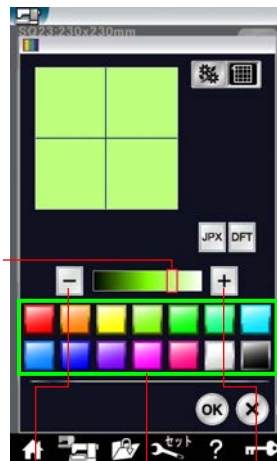
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

(1)



(2)

〔背景色変更画面〕



【背景色の変更】

(1) 背景色変更キーを押します。

(2) カラーパレットから好きな色を選びます。

※ 色の明るさを変更するときは、スライダーをタッチペンか指で右または左へ移動させるか、「+」キー、「-」キーでスライダーを右または左へ移動させます。

カラーパレット

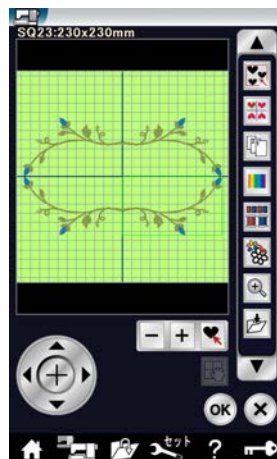
「-」キー

「+」キー

(3)



(4)



(3) OK キーを押します。

※ OK キーを押すと、変えた模様色も変更されます。

※ 初期の状態（白い背景色）にもどす場合は、初期化キーを押します。

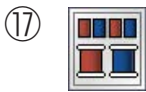
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。このときは、模様色も変更されません。

※ 模様色の変更にもどるときは、模様色変更キーを押してください。

※ JPX フォーマット（背景画像）のファイルを開くときは、JPX キーを押します。

（詳しくは、アキュツールズに含まれる「エンプロイダリーエディター」のヘルプをごらんください。）

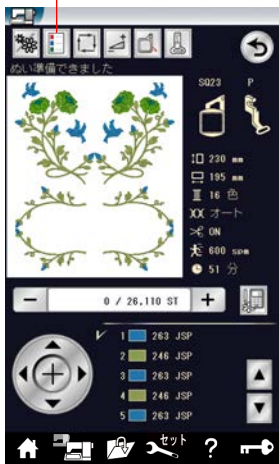
(4) 背景色を変更した状態です。



例：同色まとめをしないとき

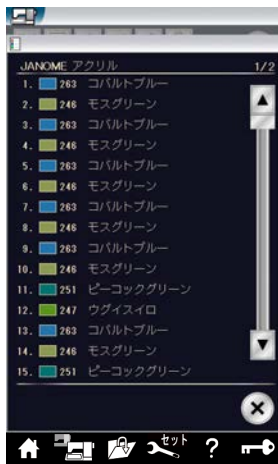
(1)

糸色確認キー



(2)

〔糸色確認画面〕



⑰ 同色まとめキー

同色まとめキーを押すと、組み合わせた同じ模様の同じ糸色を1つにまとめることができ、糸がえの回数が少なくなります。

※ 同じ模様のぬい順序が続くように、ぬい順序を設定してください。同じ模様の中に他の模様をぬう順序になっていると、同じ模様の同じ糸色を1つにまとめることができません。
「⑮ぬい順序変更キー」(180ページ)をごらんください。

例：同色まとめをしないとき

(1) 絵のように模様を作成し、ぬい実行画面にします。

(2) 糸色確認キーで糸色を確認すると、16色の色がえになっています。

例：同色まとめをしたとき

(1)



(2)

〔まとめ確認画面〕



例：同色まとめをしたとき

(1) 同色まとめキーを押します。

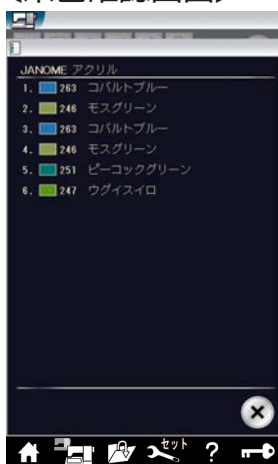
(2) まとめ確認画面が表示されます。
模様切りかえキーを押して、どの模様が1つにまとめられたか確認します。
OKキーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

糸色確認キー



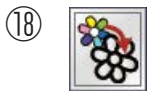
〔糸色確認画面〕



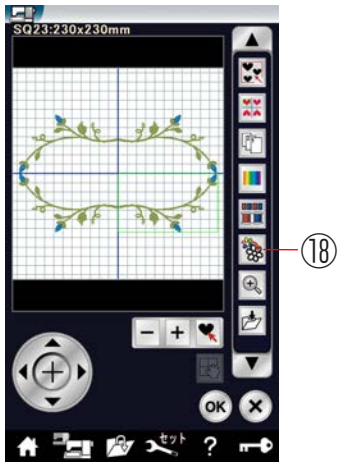
(3) ぬい実行画面になります。

(4) 糸色確認キーで糸色を確認すると、16色の色がえが6色に減りました。

※ 編集画面にもどった場合は、色まとめ設定は解除されます。



(1)



(2)



⑱ 単色ぬいキー

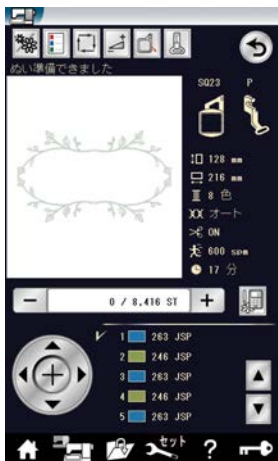
単色ぬいキーを押すと、全ての模様を1色でぬいます。全ての模様をぬい終わるまで、ミシンは止まりません。

(1) 単色ぬいキーを押します。

(2) 確認画面が表示されます。
OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、もとの画面にもどります。

(3)



(3) ぬい実行画面になります。

模様が灰色単色で表示されます。

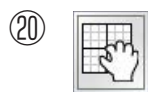
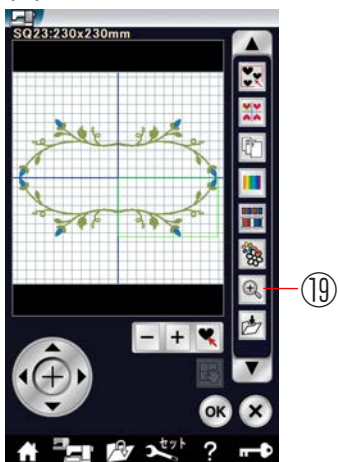
お好きな色でぬいはじめます。

色がえになってもミシンは止まりません。

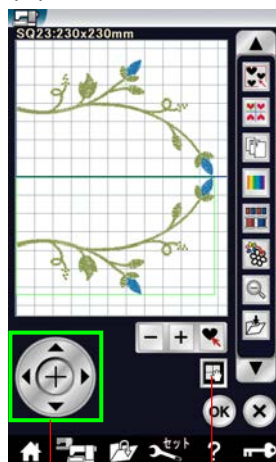
※ 編集画面にもどった場合は、単色ぬい設定は解除されます。



(1)



(2)



ジョグキー

⑳

⑲ ズームキー

編集画面を拡大表示して、編集をすることができます。

(1) ズームキーを押します。

(2) 編集画面が拡大した画面になります。

※ ズームキーをもう一度押すと、もとの画面にもどります。

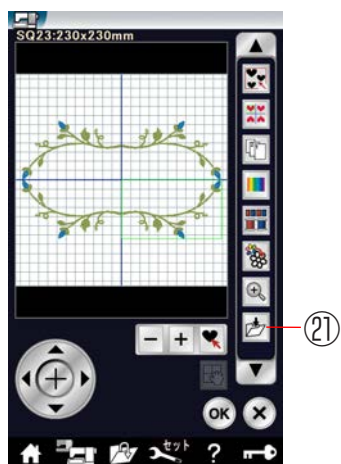
⑳ 編集画面移動キー

ズームキーで拡大表示させたときに、大きな模様や編集画面上の端にレイアウトした模様は、画面上に表示しきれない場合があります。そのようなときは、画面移動キーを押して、画面にタッチペンか指で直接ふれて移動させることができます。

※ 「ジョグキー」で移動させないでください。

「ジョグキー」で移動させると模様のぬい位置が移動します。

②①



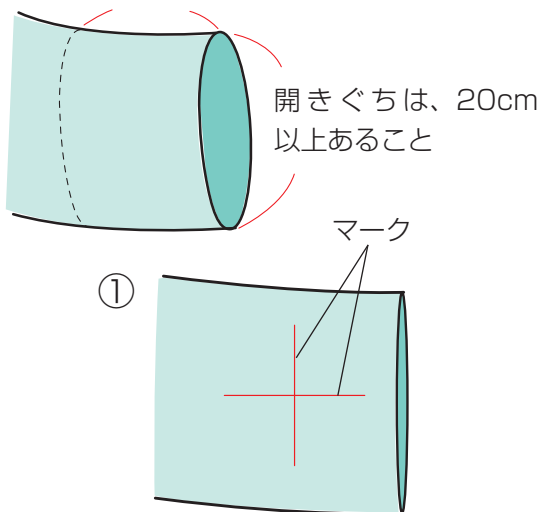
②① 保存キー

編集した模様をミシンに保存したり、USBメモリに保存するときに使います。

使い方は、「◎模様データの保存・呼び出し／●模様データの保存」(190ページ)をごらんください。

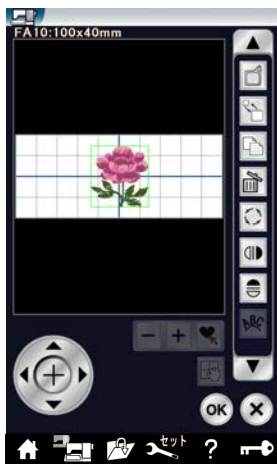
●フリーアーム刺しゅう枠 (FA10) の使い方

刺しゅうはんい 20cm ぐらいまで



①

②



③



筒サイズの大きなすそなどは、フリーアーム刺しゅうができます。

フリーアーム刺しゅうの条件；

開きぐちの長さは 20cm 以上あること、また、刺しゅうはんいは、筒の長手方向先端から 20cm ぐらいまでで刺しゅうをしてください。

① 布の刺しゅう位置にマークを付けます。

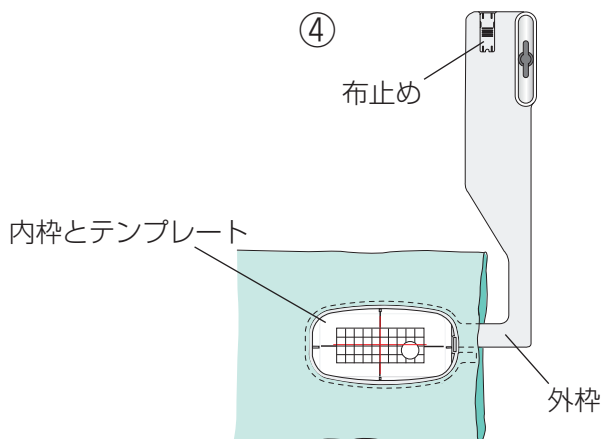
② 編集画面から枠選択キーで刺しゅう枠 (FA10) を選びます。

ホームキーから、模様キーを押し、模様選択画面にて刺しゅう枠選択キーを押し刺しゅう枠 (FA10) を選択します。表示された模様の中から選びます。
(例) FA10 # 6

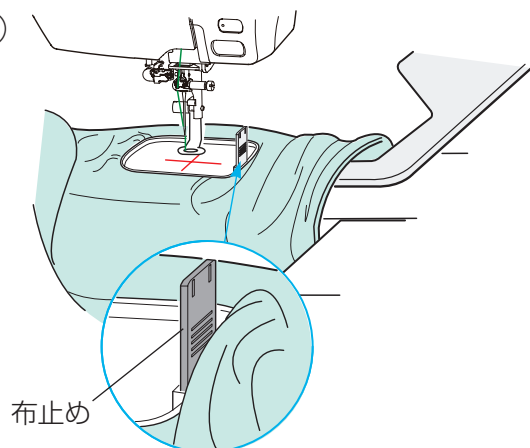
③ 編集画面で編集を行い、OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

④ フリーアーム刺しゅう枠の外枠を筒の中に入れ、内枠にテンプレートを入れ、布のマークとテンプレートの基準線を合わせ布を張ります。



⑤



⑤ 補助テーブルを取り外します。

筒の中にフリーアームを入れて、刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。

※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しかたは「●刺しゅうの準備／★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け」(146 ページ) をごらんください。

そでが刺しゅう枠の動きをじゃましないように、そでの先はまくり上げてください。

※ 布が刺しゅう枠の中に入り込む場合は、外枠の端にある布止めを内枠に立てます。

刺しゅうぬいをしているとき、刺しゅう枠の動きを布が妨げないように注意してください。

●カウチングデザインのぬい方

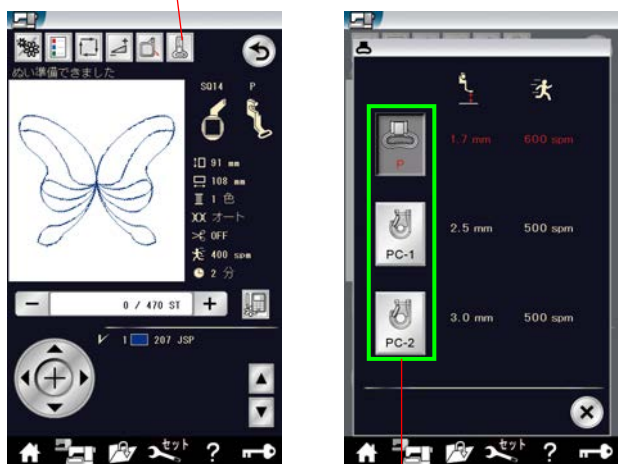
①



模様キー

②

押さえ変更キー



押さえ選択キー

刺しゅうカウチング押さえを取り付けることにより、毛糸を布に飾り付けることができます。

押さえの種類と毛糸の条件；

刺しゅうカウチング押さえ PC-1:

並太 (棒針のサイズ：6～8号)

刺しゅうカウチング押さえ PC-2:

並太～極太 (棒針のサイズ：8～10号)

※ 号数が同じでも、毛糸によって太さが異なりますので、必ず試しぬいをしてください。

① ホームキーから、模様選択画面にて模様キーを押し、カテゴリーの中からカウチングデザインを選択します。お好きなカウチングデザインを選んでください。(例) カウチングデザイン# 7 (1/2 ページ)

※ 刺しゅうカウチングぬいでは、単色ぬいキー (183 ページ) は使用しないでください。毛糸の処理に問題が発生してしまいます。

② ぬい実行画面で、押さえ変更キーを押します。ぬい付けたい毛糸の太さに合わせた押さえを選択します。押さえの種類に対して、最適な押さえ高さが設定されます。毛糸が太いときや、毛糸が何本も重なるときは、押さえ高さを調節してください。「★刺しゅう実行画面 / 【設定キー】 / ④調節キー / (3) 押さえ高さの調節」(158 ページ) をごらんください。

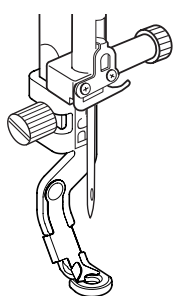
※ 毛糸を安全にぬい付けるため、最高回転数は 500spm となっています。本体のスピードコントロールつまみで 400spm～500spm に変更できます。遅い速度でぬいと、きれいにぬえます。

※ 上糸と下糸を毛糸と同じ色にすると、仕上がりがきれいになります。

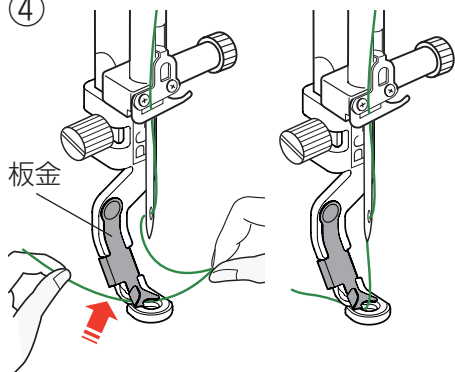
⚠ 注意

押さえの取り外し・取り付け、針止めひも案内の取り付け、毛糸を押さえの穴に通すときは、必ずロックキーによりミシンをロック状態にしてから行ってください。けがの原因になります。

③



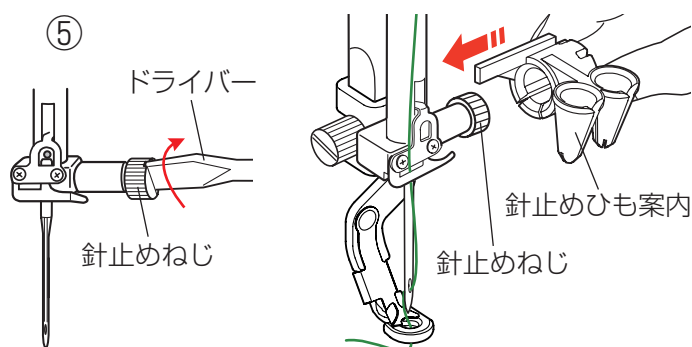
④



③ 設定した刺しゅうカウチング押さえに交換します。押さえの交換のしかたは「◎刺しゅう / ●刺しゅうの準備 / ★押さえの交換」(141 ページ) をごらんください。

刺しゅうカウチング押さえに交換したあと、はずみ車を手で手前側に回し、針が押さえの中心に来ることを確認してください。

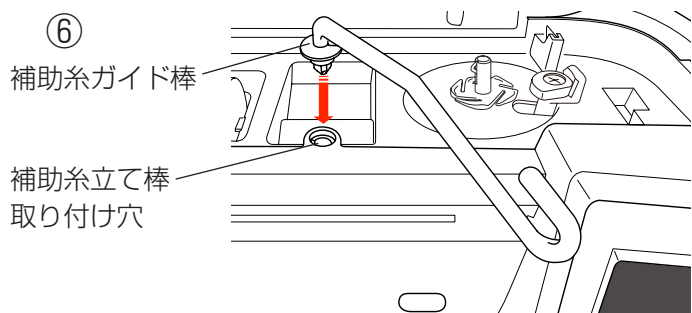
④ 上糸を持ち、押さえの板金の下に滑り込ませるようにして入れて、上糸を押さえの穴に通します。



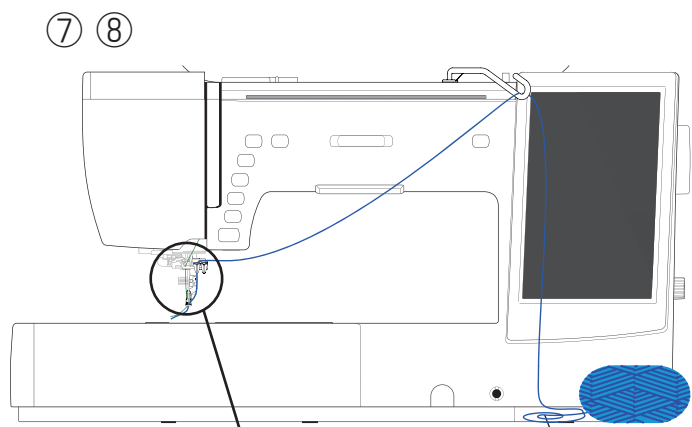
- ⑤ 針止めねじをドライバーでしっかりしめ直した後、針止めねじに、針止めひも案内をつけます。

⚠ 注意

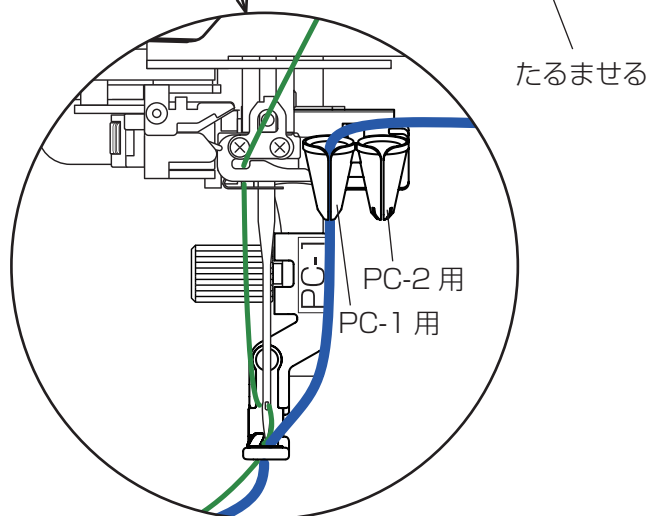
針止めねじを手前側に回さないように、十分注意してください。手前側に回すと針止めねじがゆるみ、ぬい中に針が落ちて、故障やけがの原因になります。



- ⑥ 補助糸立て棒取り付け穴に、補助糸ガイド棒を入れます。
補助糸ガイド棒が動かない位置にくるように、回しながらしっかり入れてください。
※ 画面側の向きに取り付けます。



- ⑦ 毛糸を補助糸ガイド棒にかけます。
⑧ 毛糸を針止めひも案内の前面のすき間から入れます。押さえを PC-1 にしたときは左側の案内に入れます。押さえを PC-2 にしたときは右側の案内に入れます。

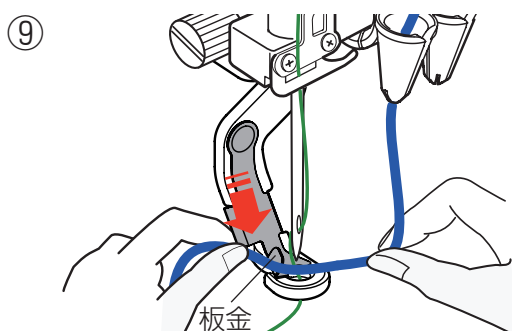


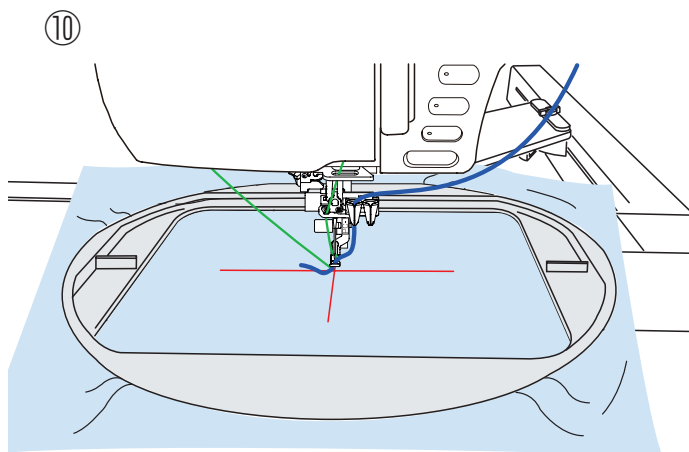
- ⑨ 毛糸を押さえの穴に入れます。
毛糸を両手に持ち、板金のななめの部分に上から押込むように入れて、押さえの穴に通します。

※ 毛糸を常にたるませておくと、きれいにぬうことができます。

⚠ 注意

毛糸によって、途中で結び目があるものがあります。結び目がひも案内に引っかかると、故障の原因になります。
また、針止めひも案内に引っかかることにより、針止めねじがゆるみ、ぬい中に針が落ちて、故障やけがの原因になります。
ぬい途中に結び目がこないことを確認するために、目を離さないようにしてください。

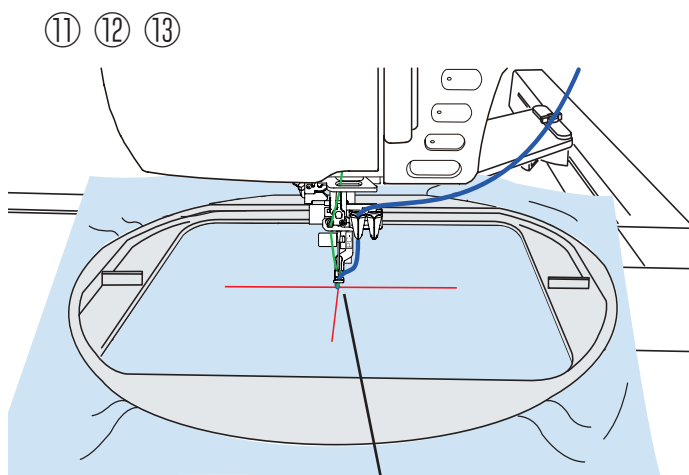




⑩ 布を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をキャリッジに取り付けます。

※ 刺しゅう枠の取り付け、取り外しかたは「●刺しゅうの準備／★刺しゅう枠のキャリッジ取り付け」(146 ページ) をご覧ください。

※ 必ず試しぬいをしてください。



⑪ スタート/ストップボタンを押します。

5～6 針ぬったところでスタート/ストップボタンを押して、ミシンを止めます。

⑫ ぬい始めの余分な糸と毛糸を、ぬい目のきわから切ります。

⑬ スタート/ストップボタンを押し、模様をぬいます。

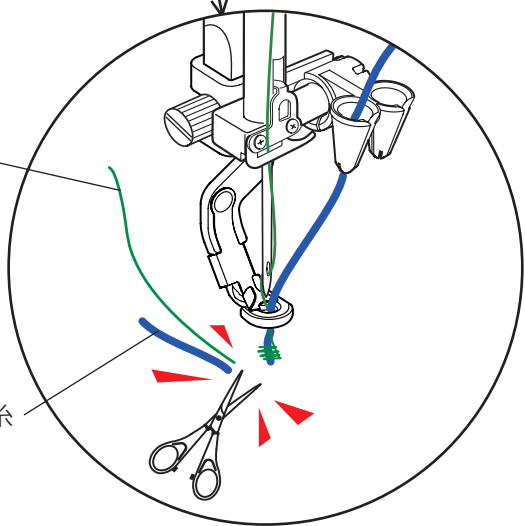
※ カウチングデザインをぬった後は、必ずカウチング押さえを取り外してください。

カウチング押さえを取り付けたまま通常ぬいモードにすると、押さえに針がぶつかる恐れがあります。

※ ぬいがジャンプする力所ではミシンを停止し、一度毛糸をハサミで切り、再びぬい始めてください。切り忘れると、ジャンプした毛糸に押さえが引っかかり危険です。

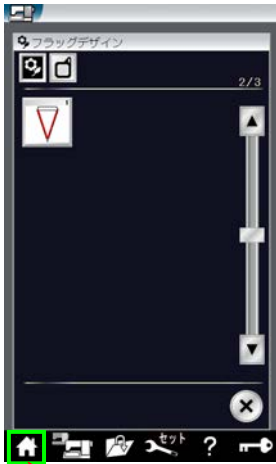
余分な糸

余分な毛糸



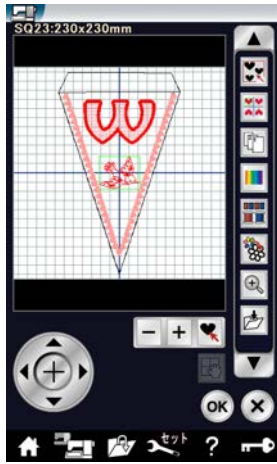
●フラッグデザインのぬい方

①



ホームキー

②



フラッグデザインの内側に刺しゅうを入れて、お好みのフラッグ・ガーランドを作ることができます。

① ホームキーを押し、模様選択画面にて模様キーを押し、カテゴリの中からフラッグデザインを選択します。

(例) フラッグデザイン# 1 (2/3 ページ)

② 編集画面で編集を行います。

(例) モチーフアルファベットの 2/2 ページ# 24

「W」模様と、レッドワークの 3/3 ページ# 8

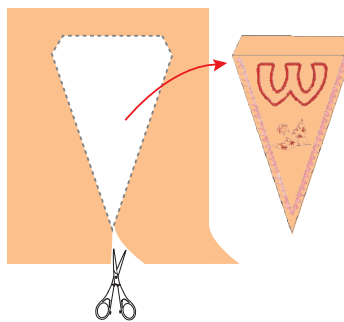
「鳥」模様を選択し、編集画面に配置。

OK キーを押します。

③



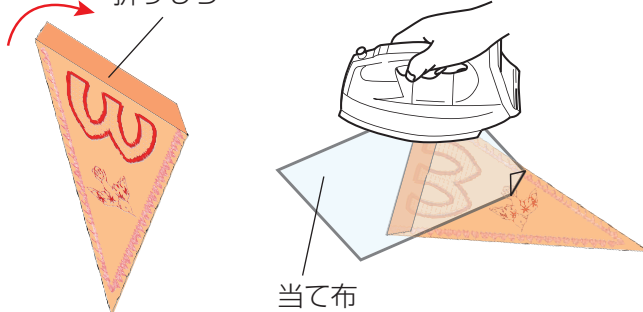
④



③ 刺しゅう枠に布を張り、ミシンに取り付けて、刺しゅうぬいをします。

④ ぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外します。刺しゅう枠から布を外し、外側のぬい目にそって切り取ります。

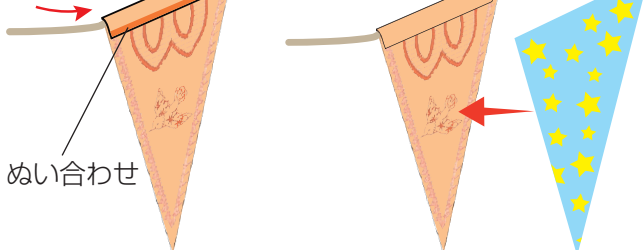
⑤



⑤ 折りしろを裏側に折り、アイロンでしっかり折り目をつけます。

※ アイロンを使用するときには、当て布をしてください。そのままアイロンをかけると、アイロンの熱で刺しゅう糸がつぶれてしまうことがあります。

⑥



⑥ ひもを通すすき間を残して折りしろをぬい合わせます。別の布をフラッグと同じ大きさに切り、裏側にぬい付けるときれいに仕上がります。

⑦



⑦ 何枚か作成し、ひもを通して完成です。

◎模様データの保存・呼び出し

通常ぬいで組み合わせた模様データや刺しゅうの編集機能などで作成した模様データをミシンやUSBメモリに保存し（ファイルセーブ）、いつでも呼び出して（ファイルオープン）ぬうことができます。

●模様データの保存

① 通常ぬい 〔模様選択画面〕



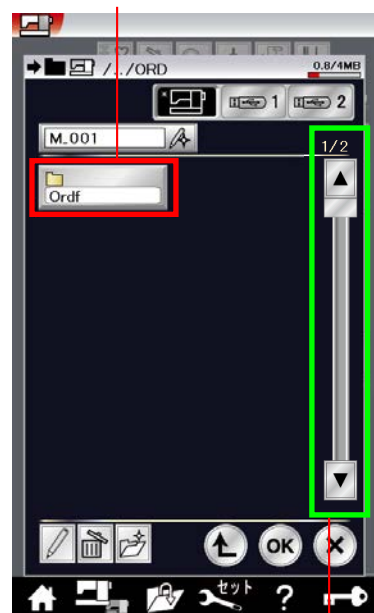
刺しゅう／文字ぬい 保存キー



保存キー

② 〔ファイル保存画面〕 通常ぬい

ミシンの内蔵メモリ選択状態



ページキー


刺しゅう／文字ぬい

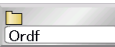


通常ぬいと刺しゅうの模様データの保存方法は同じです。通常ぬいは、飾りぬいの模様組み合わせモードおよび文字ぬいでできます。

刺しゅうは、文字ぬいおよび編集機能使用中にできます。

【ミシンの内蔵メモリに保存する】（通常ぬいの例）

① 模様組み合わせモードの状態、飾り模様2グループの模様  を組み合わせ直後の模様選択画面。
保存キーを押して「ファイルを保存」画面を表示させます。

② ミシンに用意されているフォルダに保存する場合は、「ファイルを保存」画面の  を押します。

※ 新しいフォルダを作成して保存する場合は、【新規フォルダの作成方法】（191ページ）をごらんください。

※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。



… 新規ファイル名称変更キー

ファイルを保存するときに、自動的に付けられた名前を変更するときに使います。（192ページ参照）



… 削除キー

フォルダを削除するときに使います。（193ページ参照）



… 新規フォルダキー

新しいフォルダを作成するときに使います。（191ページ参照）



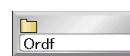
… 内蔵メモリキー

ミシンの内蔵メモリに保存するときに選びます。



… USBメモリキー

USBメモリに保存するときに選びます。（194ページ参照）



… ミシンに用意されているフォルダです。





③ ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合は、「Ordf」画面のOK キーを押すと模様データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。

※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合は、自動的に番号が繰り上げられ、「M_002」が表示されます。


※ お好みのファイル名で保存する場合は、【名称変更キーの使い方】(192 ページ)をごらんください。

※ 「上の階層へ移動」キーを押すと1つ前の「ファイルを保存」画面に、閉じるキーを押すと模様選択画面に、データは保存されずにもどります。



【新規フォルダの作成方法】(通常ぬいの例)


ミシンに用意されているフォルダを使わないでお好みのフォルダを作成してデータを保存する場合は、下記の手順で保存します。

① 前ページ手順②の「ファイルを保存」画面の新規フォルダキー  を押して「新規名称」画面を表示させ、文字キーによりお好みの名前(10文字以内)を付けてOK キーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示させます。(例では、「もよう-1」と入力)

※ 文字の入力中に修正したい場合は、カーソル移動キーで取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで取り消すことができます。

※ 文字の種類は、文字種切りかえキーで変更できます。



② 「ファイルを保存」画面に、新規に作成した「もよう-1」フォルダが表示されるので、 を押して「もよう-1」画面を表示させます。

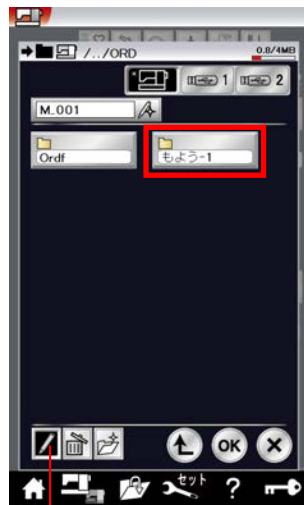
③ 「もよう-1」画面のOK キーを押すと、ファイル名「M_001」の模様データがフォルダ名「もよう-1」に保存され、模様選択画面にもどります。

①
〔ファイルを保存画面〕



名称変更キー（銀色）

②



名称変更キー（黒色）

③ 〔新規名称画面〕



文字キー OK キー

〔ファイル保存画面〕



【名称変更キーの使い方】（通常ぬいの例）

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダの名前を書きかえたり、ミシンに用意されているファイル名「M_001」等を使わずに、お好みのファイル名を付けて保存するときに使います。

作成されているフォルダの名前を変更する場合

① 模様選択画面の保存キーを押して「ファイルを保存」画面を表示させ、名称変更キーを押してキーの表示を黒色にかえます。

※ キーの色が黒色の状態でフォルダの名前をかえることができます。

② 名前をかえたいフォルダ（例えば **もよう-1**）を押して「新規名称画面」を表示させます。

③ 文字キーによりお好みの名前（10文字以内）を付けてOKキーを押します。（例では、「かざりもよう-1」）再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ名が「かざりもよう-1」に書きかえられています。

※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】（191ページ）を参照してください。

① 〔Ordf 画面〕

ファイル名「M_001」



② 〔新規名称画面〕

新規ファイル名称変更キー



OK キー

ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合

① 例えば、【ミシンの内蔵メモリに保存する】手順③（191ページ）の「Ordf」画面のファイル名「M_001」をお好みのファイル名に書きかえる場合は、「Ordf」画面の新規ファイル名称変更キーを押して「新規名称画面」を表示させます。

② 文字キーによりお好みの名前（10文字以内）を付けてOKキーを押します。（例では、「もよう01」）

※ 名前の入力方法は、【新規フォルダの作成方法】（191ページ）を参照してください。

- ③ (Ordf 画面)
ファイル名「もよう 01」



- ③ 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「もよう 01」に書きかえられているので、OK キーを押すとファイル名「もよう 01」でデータを保存することができます。

- ① (ファイルを保存画面)



削除キー（銀色）



削除キー（黒色）

【フォルダの削除方法】（通常ぬいの例）

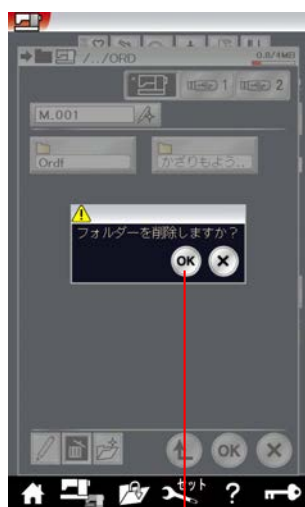
不要になったフォルダは削除キーにより削除することができます。

- ① 「ファイルを保存」画面で、削除キーを押してキーの表示を黒色にかえます。

※ キーの色が黒色の状態でフォルダを削除することができます。

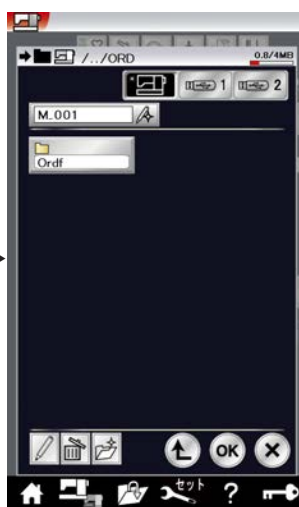
- ② 削除したいフォルダ（例えば ）を押します。

- ③ (メッセージ画面)



OK キー

- (ファイルを保存画面)



- ③ フォルダを削除してよいか確認するためのメッセージ画面が表示されるので、OK キーを押します。再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダ「かざりもようー 1」が削除されています。

USB 差し込み口 2
USB 差し込み口 1
USB メモリ

〔ファイルを保存画面〕
USB メモリ 1 選択状態

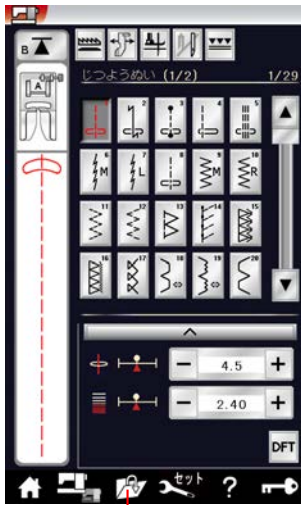
USB メモリに保存する場合
ミシンの内蔵メモリに保存しないで、USB メモリに保存する場合は、ミシン右側の USB 差し込み口 1 に USB メモリを差し込み、「ファイルを保存」画面の **USB 1** を押して、キーの色を黒色にかえます。データの保存方法は、ミシンの内蔵メモリに保存する方法と同じです。USB 差し込み口は 1 と 2 があり、USB メモリを 2 本差すことができます。USB 差し込み口 2 に USB メモリを差し込んだ場合は **USB 2** を押してください。

※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

●模様データの呼び出し

★通常ぬい

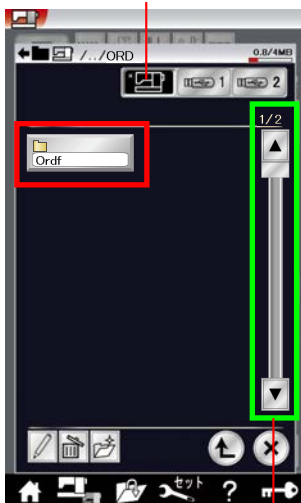
①



ファイル
オープンキー

②

〔ファイルを開く画面〕
ミシンの内蔵メモリ選択状態



ページキー

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

① 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押します。

② 「ファイルを開く」画面のフォルダの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダを押します。（例では、**Ordf**）

※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ページキーで別のページ（画面）を表示できます。



… 名称変更キー

すでに名前の付いているフォルダ名やファイル名を変更するときに使います。（192 ページ参照）



… 削除キー

フォルダやファイルを削除するときに使います。（193 ページ参照）



… 新規フォルダキー

新しいフォルダを作成するときに使います。（191 ページ参照）



… 内蔵メモリキー

ミシンの内蔵メモリから呼び出すときに選びます。



… USB メモリキー

USB メモリから呼び出すときに選びます。（196 ページ参照）

※ 「名称変更キー」「削除キー」「新規フォルダキー」の使い方は、模様データの保存の場合と同じです。

③ [Ordf 画面]



〔模様選択画面〕



③ 「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。

★刺しゅう

①



ファイル
オープンキー

②

〔ファイルを開く画面〕

ミシンの内蔵メモリ選択状態



ページキー

【ミシンの内蔵メモリから呼び出す】

① 刺しゅうの状態でファイルオープンキーを押します。

② 「ファイルを開く」画面のフォルダの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダを押します。（例では、Emb）

※ 手順②や③の画面で、フォルダやファイルが1画面に表示しきれない数だけ保存されている場合は、ページキーで別のページ（画面）を表示できます。



… 名称変更キー

すでに名前の付いているフォルダ名やファイル名を変更するときに使います。（192 ページ参照）



… 削除キー

フォルダやファイルを削除するときに使います。（193 ページ参照）



… 新規フォルダキー

新しいフォルダを作成するときに使います。（191 ページ参照）



… 内蔵メモリキー

ミシンの内蔵メモリから呼び出すときに選びます。



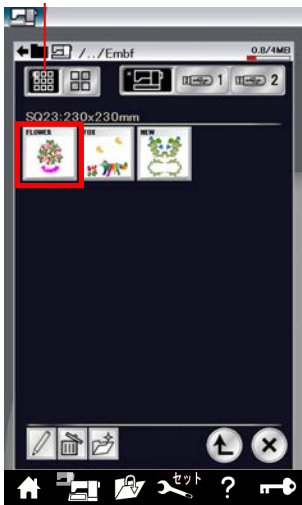
… USB メモリキー

USB メモリから呼び出すときに選びます。（196 ページ参照）

※ 「名称変更キー」「削除キー」「新規フォルダキー」の使い方は、模様データの保存の場合と同じです。

③

一覧表示キー【A】




〔Embroidery 画面〕


ファイル形式

一覧表示キー【B】



③ 「Embroidery」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を押すと、刺しゅう実行画面が表示され、ぬうことができます。

※ 一覧表示キー【A】 が選択されている場合は、ファイル名とぬいイメージを示したファイルが4列で表示され、1ページ20個のファイルを表示することができます。

一覧表示キー【B】 が選択されている場合は、ファイル名、ぬいイメージおよびファイル形式を示したファイルが2列で表示され、1ページ10個のファイルを表示することができます。

〔刺しゅう実行画面〕



ファイル形式

JEF

… 模様データが、編集画面上で1つの模様として扱われるファイル。

JEF+

… 複数の模様を組み合わせで保存されている模様データが、編集画面上で複数の模様として扱われるファイル。

JPX

… 背景画像付きで作成したファイル。
(PCアプリ「デジタイザー MBX」にて作成された模様)

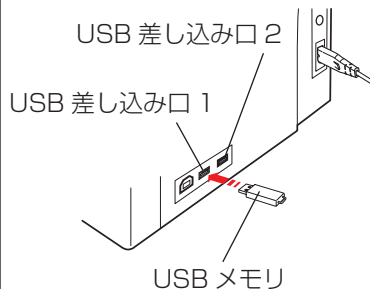


… 連続支援模様。
(PCアプリ「AcuFilTool」にて作成された模様)

DST

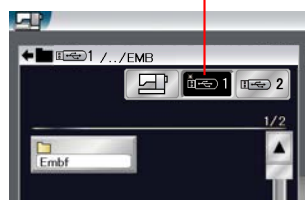
… タジマファイルフォーマット
※ 色情報が含まれていないため、Janomeの78色が自動的に割り当てられます。

※ PCアプリ「デジタイザー MBX」と「AcuFilTool」はオプションです。




〔ファイルを開く画面〕

USBメモリ1 選択状態



USBメモリから呼び出す場合

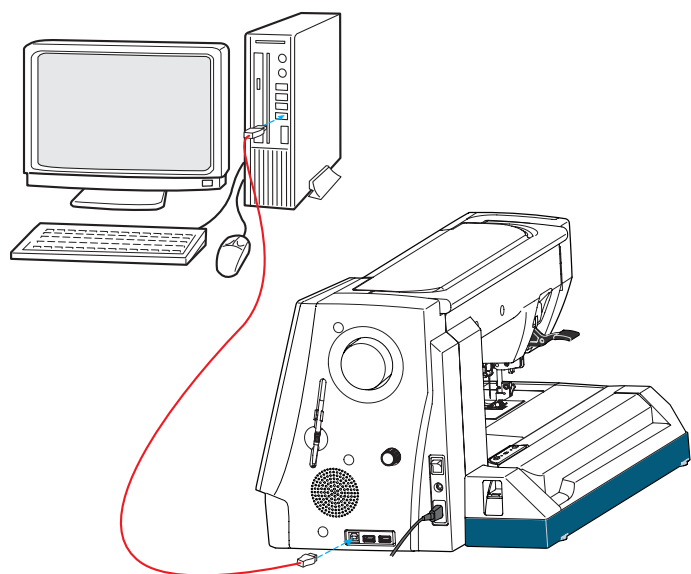
USBメモリに保存されている模様データを呼び出す場合は、ミシン右側のUSB差し込み口にUSBメモリ1を差し込み、通常ぬいの模様データの場合はミシンを通常の状態に、刺しゅうの模様データの場合はミシンを刺しゅうの状態にしてからファイルオープンキーを押して「ファイルを開く」画面にし、 を押して、キーの色を黒色にかえます。

データの呼び出し方法は、ミシンの内蔵メモリから呼び出す方法と同じです。

USB差し込み口は1と2があり、USBメモリを2本差すことができます。USB差し込み口2にUSBメモリを差し込んだ場合は を押してください。

※ ミシンの内蔵メモリやUSBメモリから模様データを呼び出し中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USBメモリを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

● PC リンク



USB ケーブルでミシンとパソコンとを接続し、パソコンの刺しゅうデータを取り込むことができます。

付属のアクュツールの CD-ROM をパソコンに入れ、アクュツールズとアクュツールズに入っているドライバインストーラをお使いのパソコンにインストールする必要があります。

USB ケーブルのタイプ A 端子をパソコンに入れ、タイプ B 端子をミシンに入れてパソコンとミシンを接続します。(USB ケーブルは市販のものも使用できます。)

ステッチコンポーザーや、エンプロイダリーエディターで作成した模様データをパソコンからミシンへ送ることができます。

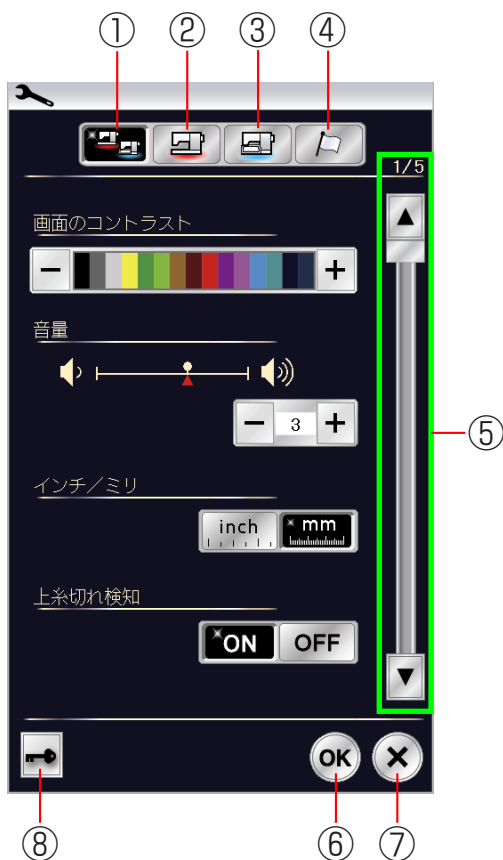
詳しくは、アクュツールズに含まれる「ステッチコンポーザー」や、「エンプロイダリーエディター」のヘルプをごらんください。

注意

データ転送中はミシンやパソコンの電源を切ったり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

◎ミシンの設定

〔設定の初期画面〕（共通設定 1/5 ページ）



【キーのはたらき】

- ① 共通設定キー
通常ぬいと刺しゅうの共通項目の設定画面になります。
- ② 通常ぬい設定キー
通常ぬい専用項目の設定画面になります。
- ③ 刺しゅうぬい設定キー
刺しゅう専用項目の設定画面になります。
- ④ 言語設定キー
画面に表示されている言語の設定画面になります。
- ⑤ ページキー
現在表示されている設定画面の次または前のページ（画面）を表示させるときに使用します。
- ⑥ OK キー
変更した内容を確定し、セットキーを押す前の画面にもどります。
- ⑦ キャンセルキー
変更した内容を確定しないで、セットキーを押す前の画面にもどります。

※ 設定内容を変更しても、OK キーを押さずにキャンセルキーを押した場合は、変更した内容は何も受け付けられず、セットキーを押す前の画面にもどります。

⑧ ロックキー

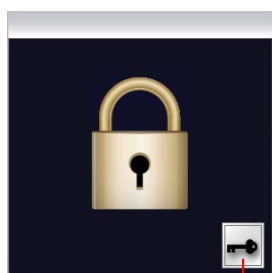
ロックキーを押すとミシンがロック状態になり、押さえ上下移動ボタンと糸通しボタンを除くすべてのボタンやキーなどが受け付けられません。ミシンも動きません。ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

※ 押さえや針の交換、糸のセットなどを行うときに、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさができない場合があります。

※ ロックキーを押すと、押さえがさがった状態になります。

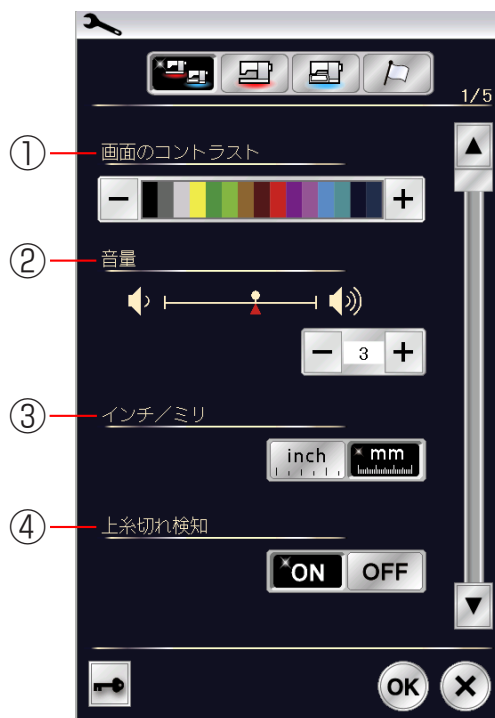
※ ロック状態を解除する場合は、ロック画面のロックキーを押してください。

〔ロック画面〕

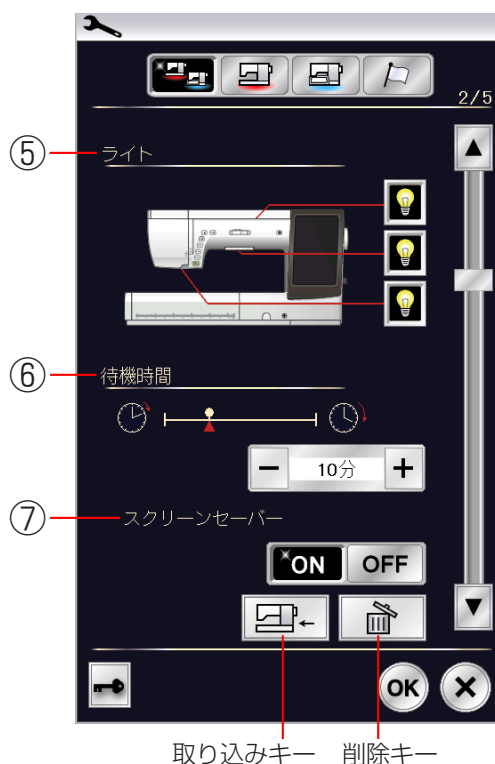


ロックキー

〔共通設定画面〕 1/5 ページ



〔共通設定画面〕 2/5 ページ



取り込みキー 削除キー

【共通設定】

5つのページ（画面）に分かれていて、14項目の通常ぬいとしゅうの共通項目の設定ができます。

① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+/-」キーで調節することができます。

② 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+/-」キーで調節することができます。

〈0（消音）～5の6段階、初期値：3〉

③ インチ/ミリ表示

画面に表示される数値の単位をインチとミリに切りかえることができます。

〈初期：ミリ〉

※ 布ガイド設定時の布ガイドの位置を示す数値や刺しゅうの大きさを示す数値など、画面に単位の「mm」または「inch」が表示されているものが切りかわります。調節画面のぬい目の幅やあらさの数値は変わりません。


④ 上糸切れ検知

ぬい中に上糸が切れたとき、切れたことを知らせてミシンを停止する機能で、その機能のあり「ON」、なし「OFF」を設定することができます。上糸無しでミシンを動かしたいときは「OFF」に設定してください。

〈初期：ON〉

※ 通常は、「ON」に設定した状態のままご使用ください。ぬい中に上糸が切れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

⑤ ライト

3カ所のライトの  キーを押して「ON」と、「OFF」を設定することができます。

〈初期：3カ所ともON〉

⑥ 待機時間（省エネモード）

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンランプが消え、ミシンは省エネモードになります。その時間を設定することができます。


〈1～30分およびOFF（なし）、初期値：10分〉

※ 省エネモード中は、画面や操作ボタンに触れると使用中のもとの画面にもどり、ミシンランプも点灯します。

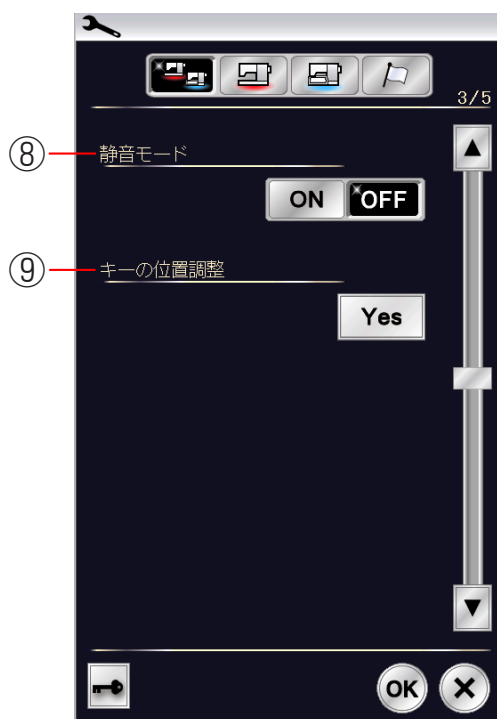
⑦ スクリーンセーバー

省エネモード中にスクリーンセーバーを表示するか設定できます。表示する「ON」、表示しない「OFF」を設定することができます。

取り込みキーを押すと、USBメモリからスクリーンセーバーを取り込むことができます。スクリーンセーバーはアキュツールズのスクリーンセーバーツールで作ることができます。

削除キーを押すと、取り込んだスクリーンセーバーのデータを削除します。また、「フォーマット」（202ページ）を選択したときも取り込んだスクリーンセーバーのデータは削除されます。

〔共通設定画面〕 3/5 ページ

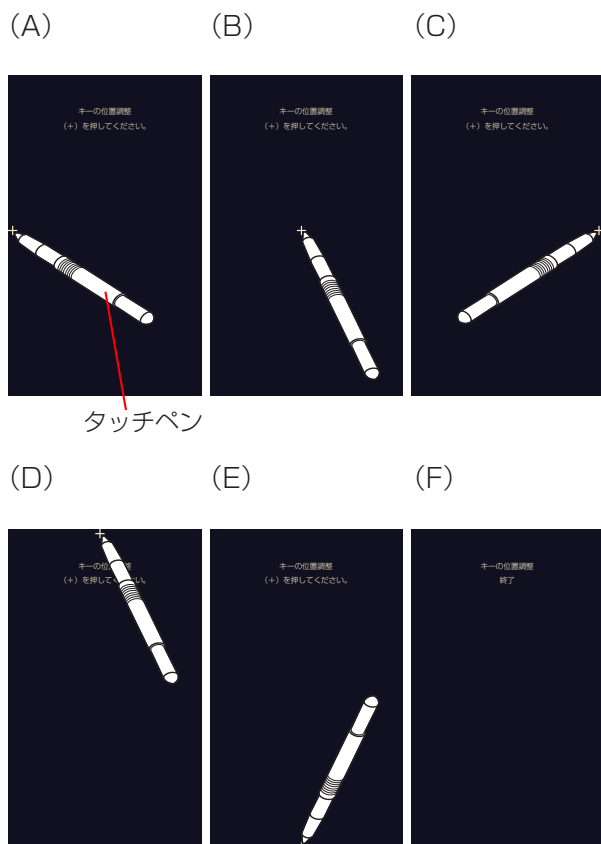


静音モードマーク



静音モードマーク

〔キーの位置調整画面〕



タッチペン

⑧ 静音モード

ミシンの動作音を静かにしたい場合、静音モードでミシンの動作音をおさえることができます。静音モードでは、音量は 1（設定が 0 のときは 0 のまま）、通常ぬいのスロースタート調整と、刺しゅうぬいの最高ぬい速度は最低速度になります。

〈初期：OFF〉

※ 静音モード中は、設定画面の対応項目の左側と、通常ぬい、刺しゅうぬいの画面の右上に静音モードマークが表示されます。

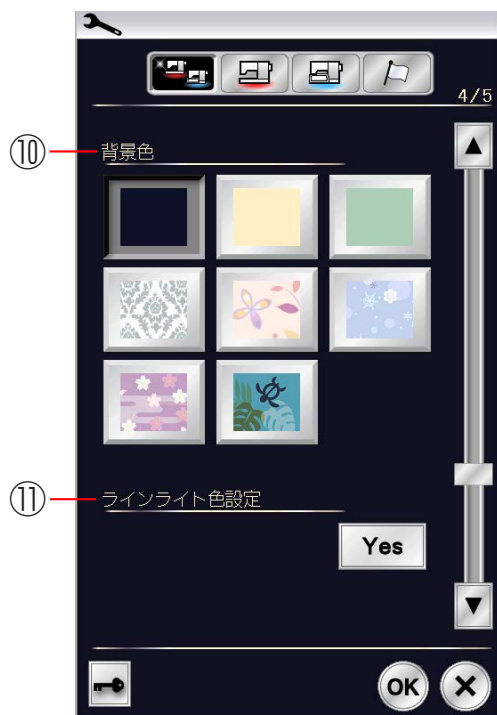
⑨ キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押ししても受け付けられない場合に調整することができます。

調整する場合は、画面の **Yes** キーを押して、キーの位置調整画面を表示させ、付属のタッチペンで「+」の中心を押します。

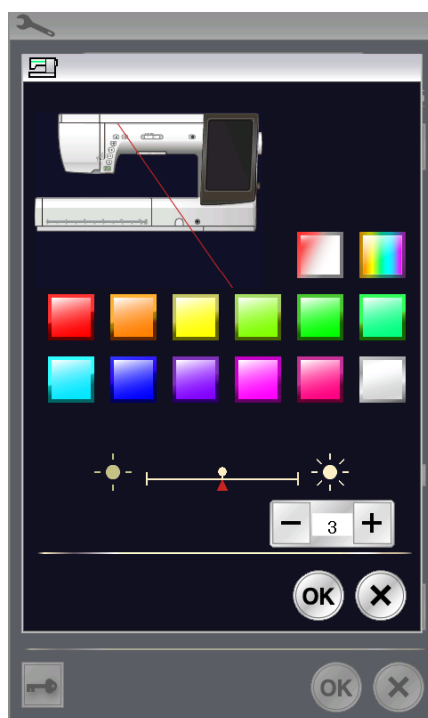
押すと、次の画面に切りかわるので、順番に (A) ~ (E) の画面の「+」の中心を押します。

(E) の画面が終了すると (F) の画面を数秒表示し、共通設定画面にもどります。



⑩ 背景色

画面の背景を8パターンから設定することができます。
〈初期：濃紺〉



⑪ ラインライト色設定

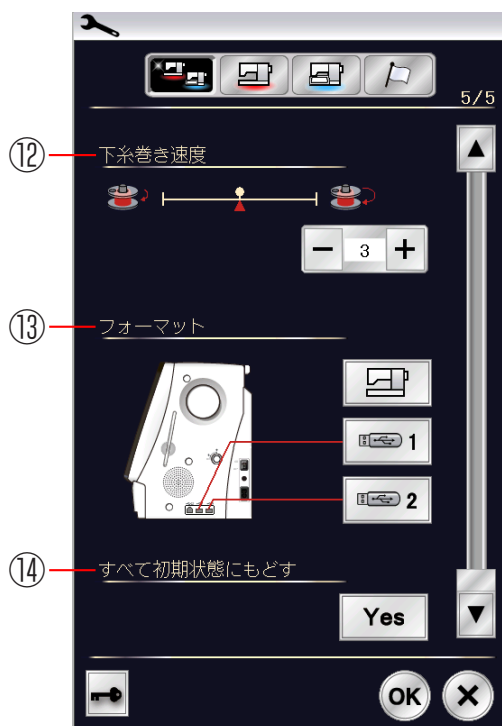
ラインライトの色と明るさを設定することができます。
設定する場合は、画面の **Yes** キーを押して、ラインライト色の設定画面を表示させ、色と明るさを設定し、OK キーを押します。内容が決定され、共通設定画面にもどります。

※ 共通設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。

明るさ <1 ~ 5 の5段階、初期値：3>

※ 「⑤ライト」(199 ページ) の設定で、ライトを「OFF」にしたときは、ラインライトの設定はできません。

〔共通設定画面〕 5/5 ページ



⑫ 下糸巻き速度

下糸巻きの速度を設定することができます。
 〈1～5の5段階、初期値：3〉

⑬ フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。
 フォーマットする場合は、画面の キー（ミシンの場合）または 1 キー（USB メモリ 1 の場合）、 2 キー（USB メモリ 2 の場合）を押してフォーマット画面を表示させ、OK キーを押します。
 ※ フォーマットすると、現在保存されている通常ぬいと、刺しゅうの様相データおよび、取り込んだスクリーンセーバーのデータがすべて消えますのでご注意ください。

⑭ すべて初期状態にもどす

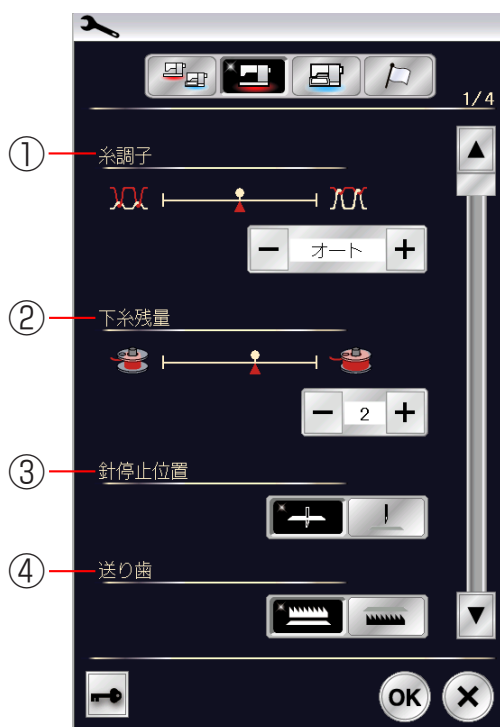
通常ぬいと刺しゅうの共通項目、通常ぬい専用項目、刺しゅう専用項目で設定したすべての内容を初期の状態（購入時の設定状態）にもどすことができます。言語の設定はもどりません。

初期の状態にもどす場合は場合は、画面の **Yes** キーを押し、続けて OK キーを押します。言語の設定を除く変更したすべての内容が初期の状態にもどり、セットキーを押す前の画面にもどります。

〔フォーマット画面〕



〔通常ぬい設定画面〕 1/4 ページ



【通常ぬい設定】

4つのページ（画面）に分かれていて、13項目の通常ぬい専用項目の設定ができます。

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされますが、この自動セットされる値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）することができます。

〈オート-5～オート+5の11段階、初期値：オート〉

② 下糸残量



下糸の残っている量が少なくなってきたときに検出して知らせる機能で、その検出して知らせる時期を早めに、または遅めにすることができます。

数値が大きいほど、早めに（下糸残量が多いときに）検出します。「+/-」キーで設定します。

〈OFF（なし）、0.5、1～4の6段階、初期値：2〉

③ 針停止位置

ミシンを停止したときに、針を上での位置で停止するか下の位置（布にささった位置）で停止するかを設定することができます。

（：下位置停止、：上位置停止）

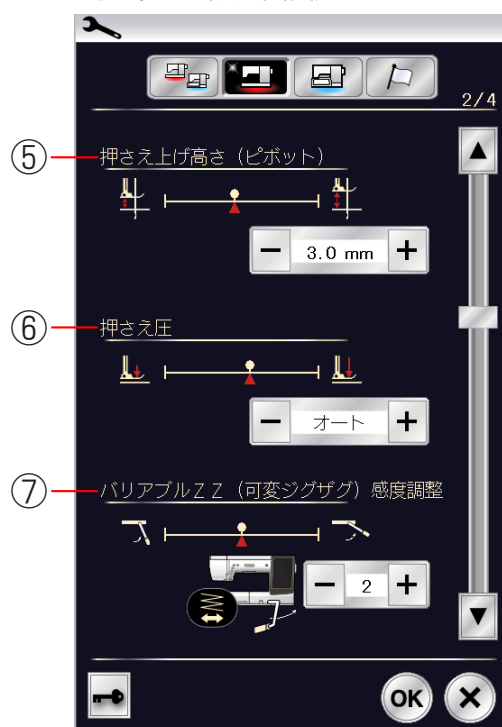
〈初期：下位置停止〉

④ 送り歯

デコレーションステッチや押さえを下げた状態でぬいたいとき、この設定で送り歯を下げることができます。

（：送り歯上げ、：送り歯下げ）

〈初期：送り歯上げ〉



⑤ 押さえ上げ高さ（ピボット）

ぬいを止めたとき押さえが自動で上げる高さを調整することができます。

数値が大きいほど、押さえ上げの高さが高くなります。「+/-」キーで設定します。

〈0.5～6.0mmの12段階、初期値：3.0mm〉

⑥ 押さえ圧

押さえ圧は最適になるように自動で調節（オート）されますが、お好みの圧に設定することができます。

オートに対して強くしたり（+）、弱くしたり（-）することができます。

〈オート-5～オート+4の10段階、初期値：オート〉

⑦ バリアブルZZ（可変ジグザグ）感度調整

バリアブルZZ（可変ジグザグ）をぬうとき、ひざ上げレバーで動く量を調整することができます。

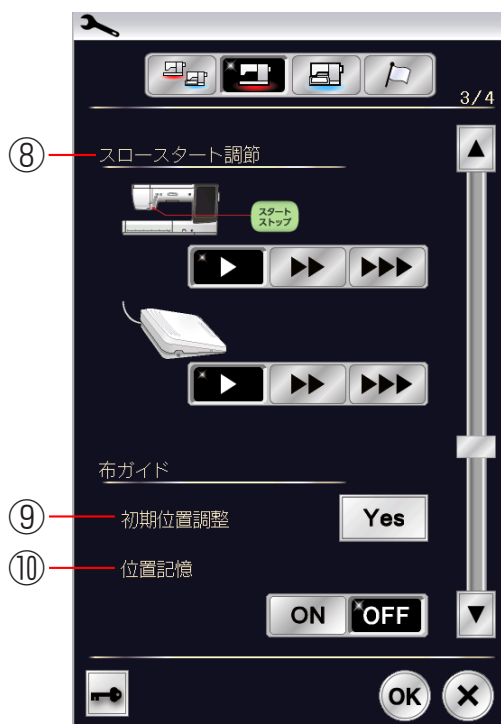
「1」に設定すると、ひざ上げレバーを小さく動かすだけで、針棒は動く設定になります。

「3」に設定すると、ひざ上げレバーを大きく動かすと、針棒が動く設定になります。

「+/-」キーで設定します。

〈1～3の3段階、初期：2〉

〔通常ぬい設定画面〕 3/4 ページ



⑧ スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ゆっくり動きはじめてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。その動きはじめの速度を普通 (▶▶▶)、やや速め (▶▶▶▶)、速め (▶▶▶▶▶) の3段階にすることができます。

上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフットコントローラー使用時の調節ができます。

〈初期：普通〉

⑨ 布ガイドの初期位置調整

布ガイドの位置 (中針位置からの距離) を示す数値に対して、移動する布ガイドの実際の位置を調整する (少しずらす) ことができます。

※ 刺しゅうユニットを取り付けて、キャリッジアームが格納されている状態でのみ操作できます。

調整する場合は、画面の **Yes** キーを押します。キャリッジが初期位置に移動することを示すメッセージ画面 **【A】** が表示されるので、メッセージ画面の OK キーを押して初期位置調整画面を表示させます。

キャリッジが布ガイドのオート位置 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている位置) 15mm に移動するので、この位置より右ににずらしたい場合は ▶ キーを、左ににずらしたい場合は ◀ キーを押します。

OK キーを押すと調整量が決定され、布ガイドのすべての位置でこの調整量が適用されます。(通常ぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。) 画面は、キャリッジが収納位置にもどることを示すメッセージ画面 **【B】** が表示されるので、メッセージ画面の OK キーを押すと、通常ぬい設定画面にもどります。

※ 初期の状態 (購入時の設定状態) にもどす場合は、初期位置調整画面で、初期化キーを押して OK キーを押して、通常ぬい設定画面で OK キーを押してください。

※ 布ガイドは、「◎実用ぬい / ●実用ぬいの調節画面 / ★布ガイド設定キー」(41 ページ) をごらんください。

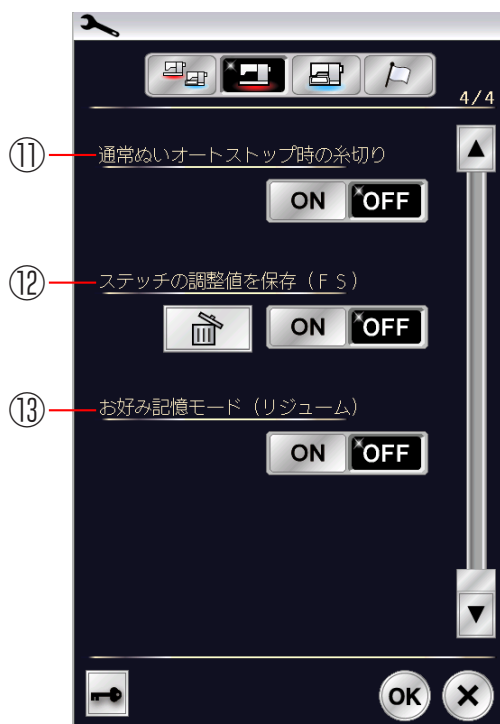
⑩ 布ガイドの位置記憶

布ガイドを設定したとき、通常はキャリッジが布ガイドのオート位置 (電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている位置) 15mm に移動しますが、布ガイドの位置記憶を「ON」にすると、この位置を前回最後に使用した位置にすることができます。

〈初期：OFF〉

※ 布ガイドは、「◎実用ぬい / ●実用ぬいの調節画面 / ★布ガイド設定キー」(41 ページ) をごらんください。





⑪ 通常ぬいオートストップ時の糸切り

通常ぬいオートストップ時の糸切りを「ON」に設定すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくても自動で糸を切ることができます。

〈初期：OFF〉

※「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。


その他の模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

⑫ ステッチの調整値を保存 (FS)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあかさ、糸調子などはオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）にセットされますが、ステッチの調整値を保存を「ON」に設定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して記憶することができます。オート値をお好みの値に変更して記憶しておく、その模様を選ぶだけで、その設定した値でぬうことができます。

〈初期：OFF〉

※ オート値をお好みの値に記憶した場合、通常ぬい設定画面のステッチの調整値を保存を「OFF」に設定すると、変更した全模様のオート値は初期の状態（購入時の設定状態）にもどります。

変更したオート値は記憶されていますので、再度「ON」に設定すると、変更したオート値にもどることができます。全模様の調整値を削除する場合は、 キーを押してください。確認のためのメッセージ画面【C】が表示されるので、メッセージ画面のOKキーを押します。

※ オート値をお好みの値に変更して記憶する方法は、「◎実用ぬい／●実用ぬいの調節画面／★ぬい目の幅（針位置）、ぬい目のあかさ、糸調子のオート値の変更」（39 ページ）をごらんください。

⑬ お好み記憶モード (リジューム)

お好み記憶モードを「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面を表示し、ぬい目の幅やあかさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

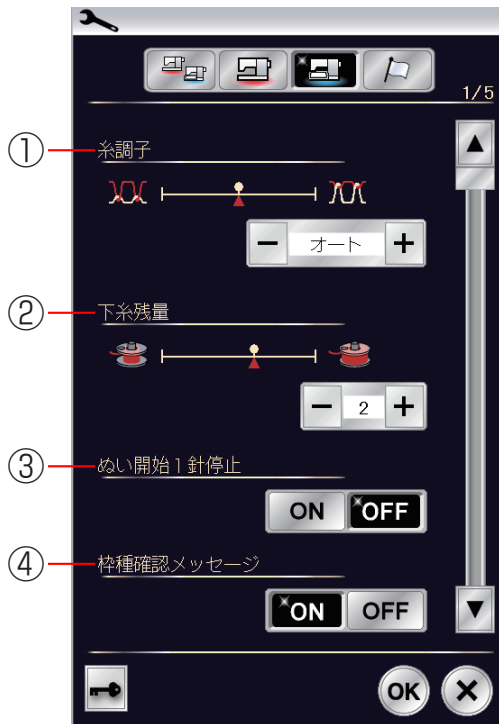
〈初期：OFF〉

※ お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電源スイッチを入れたとき、前回のぬい画面を表示するかを確認するためのメッセージ画面【D】が表示されます。メッセージ画面のOKキーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

【刺しゅうぬい設定】

5つのページ（画面）に分かれていて、13項目の刺しゅう専用項目の設定ができます。

【刺しゅうぬい設定画面】 1/5 ページ



① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子に自動セットされますが、この自動セットされる値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）することができます。
〈オート-5～オート+5の11段階、初期値：オート〉

② 下糸残量

下糸の残っている量が少なくなってきたときに検出して知らせる機能で、その検出して知らせる時期を早めまたは遅めにすることができます。
数値が大きいほど、早めに（下糸残量が多いときに）検出します。「+/-」キーで設定します。
〈OFF（なし）、0.5、1～4の6段階、初期値：2〉

③ ぬい開始1針停止

ぬい開始1針停止を「ON」に設定すると、ぬい始めや色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい始めにミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的に1針ぬって停止し、以下のメッセージ画面が表示されます。
〈初期：OFF〉

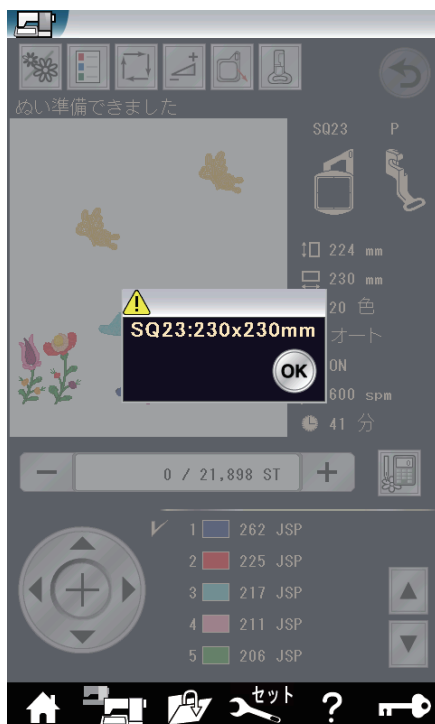


※ ぬい開始1針停止は、1針ぬってミシンを停止後に、上糸を上へ引いて下糸を布の上に引き出すことで、下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための機能です。

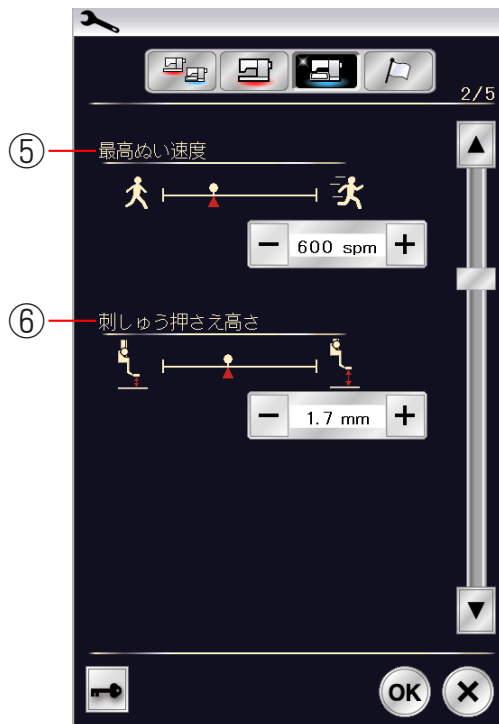
④ 枠種確認メッセージ

枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を選択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される枠種確認のためのメッセージ画面を表示させなくすることができます。
〈初期：ON〉

【枠確認のためのメッセージ画面】



〔刺しゅうぬい設定画面〕 2/5 ページ



⑤ 最高ぬい速度

刺しゅうをぬっているあいだのぬい速度は、ぬい目によって変化しますが、その中の最高速度を設定することができます。「+ / -」キーで設定します。

〈400 ~ 1000spm の 7 段階、初期値 : 600spm〉

※ 最高ぬい速度の値は、スピードコントロールつまみの位置がいちばん右側の最高速になっている場合です。ぬい速度を遅くする場合は、スピードコントロールつまみで調節できます。

※ ぬい速度を遅くした方が、刺しゅうはきれいに仕上がります。

※ 刺しゅう実行画面で表示される押さえ変更画面の初期値になります。

刺しゅうカウチング押さえ (PC-1 と PC-2) の最高速度は 400 ~ 500spm の 2 段階のみです。

500spm 以上の最高速度を設定した場合は、500spm になります。

⑥ 刺しゅう押さえ高さ

刺しゅうをぬっているときの、布からの押さえ高さを設定することができます。

数値が大きいほど、布からの押さえの位置が高くなります。「+ / -」キーで設定します。

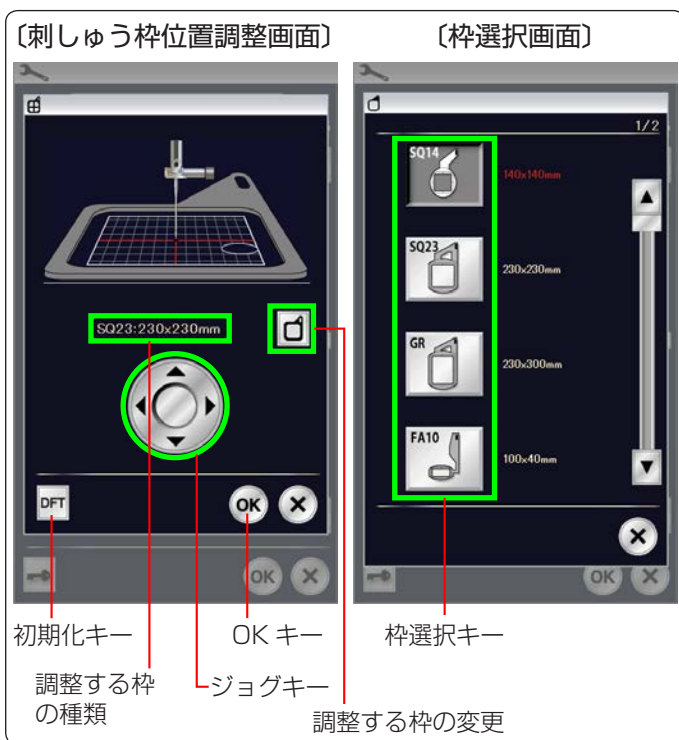
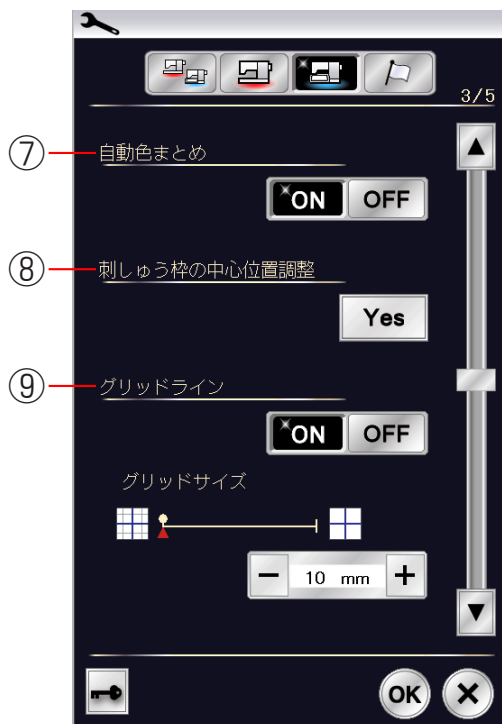
〈0.0 ~ 4.0mm の 41 段階、初期値 : 1.7mm〉

※ 刺しゅうモードで押さえが下がっているときは、調整した値に応じて押さえの高さが変わります。

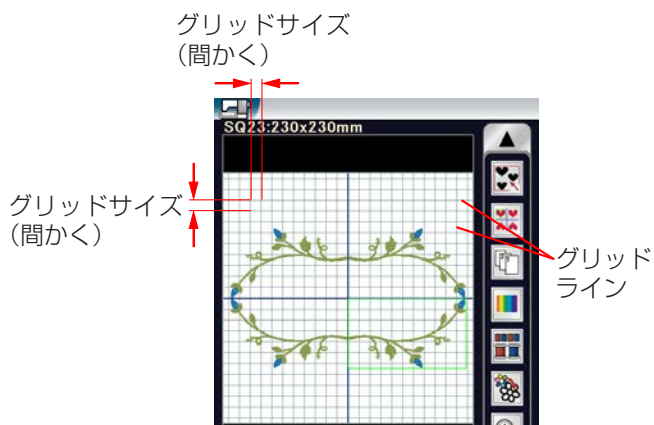
※ 刺しゅう実行画面で表示される調節画面と押さえ変更画面の初期値になります。

刺しゅうカウチング押さえ (PC-1 と PC-2) の押さえ高さはの初期値は変更できません。

〔刺しゅうぬい設定画面〕 3/5 ページ



〔編集画面〕



⑦ 自動色まとめ


自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成された刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色で異なるブロック（レイヤー）が連続しているとき、グループ化しないで色がえのためにミシンを停止することができます。

〈初期：ON〉

※「ON」に設定されている場合はグループ化され、同一グループ（同色）として、ミシンは色がえ停止しません。

⑧ 刺しゅう枠の中心位置調整

刺しゅう枠の中心位置の調整を行っておくと、模様を正確な位置にぬうことができます。（枠の種類ごとに調整が必要です。）

調整する場合は、画面の **Yes** キーを押して刺しゅう枠位置調整画面を表示させ、続けて  キーを押して枠選択画面を表示させ、調整したい枠を選びます。枠選択画面上の枠選択キーを押すと、再度刺しゅう枠位置調整画面にもどります。（画面の中段部には、調整する枠の種類が表示されています。）

画面の中のジョグキーを押して枠を上下左右に移動させ、テンプレートの中心を針に合わせます。

OK キーを押すと調整量が決定され、刺しゅうぬい設定画面にもどります。

（刺しゅうぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。）

※ 初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合は、刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キー押しして OK キーを押し、刺しゅうぬい設定画面で OK キーを押ししてください。

⑨ グリッドライン

グリッドラインを「OFF」に設定すると、編集画面のグリッドラインを消すことができます。

〈初期：ON〉

グリッドラインが「ON」のとき、編集画面のグリッドラインの間かくを変更することができます。

〈10～30mmの3段階、初期値：10mm〉

〔刺しゅうぬい設定画面〕 4/5 ページ




⑩ トリミングモード

色がえおよび、ぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定をすることができます。

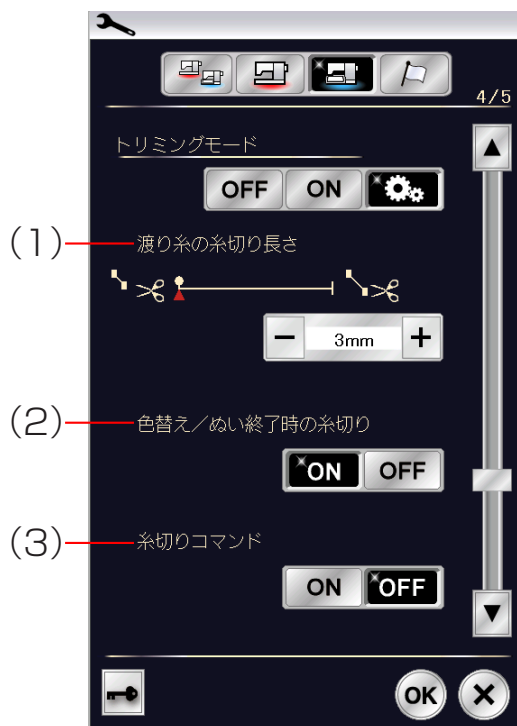
「OFF」にすると、自動糸切りを行わない設定にできます。

〈初期：ON〉

- ・ カスタマイズキーを選択すると、色がえおよびぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定をカスタマイズ（お好み設定）することができます。

設定する場合は、 キーを押して、カスタマイズ画面を表示させ、(1)～(3)の設定を行います。

カスタマイズ画面



(1) 渡り糸の糸切り長さ

渡り糸の糸切り長さ（渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値）を設定することができます。「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。「+ / -」キーで設定します。
〈3～30mm の 8 段階および OFF、初期値：3mm〉

(2) 色がえ / ぬい終了時の糸切り

色がえおよびぬい終了時の自動糸切りを行う（ON）か、行わない（OFF）かを設定することができます。
〈初期：ON〉

(3) 糸切りコマンド

外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する（ON）か、しない（OFF）かを設定することができます。
〈初期：OFF〉

〔刺しゅうぬい設定画面〕 5/5 ページ



⑪ 糸選択

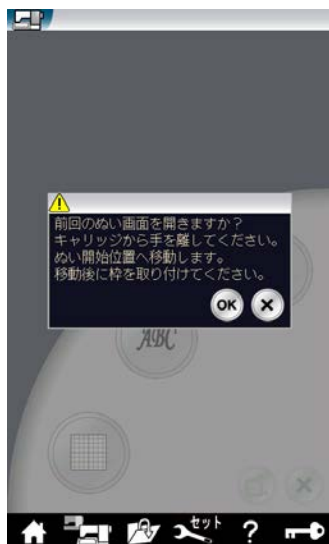
刺しゅう糸の種類を9種類の中から選ぶことができます。使用する刺しゅう糸と同じ種類の刺しゅう糸のキーを選択してください。刺しゅう糸の種類を選択すると刺しゅう実行画面の糸色表示が選んだ糸の種類の表示に対応します。

〈初期：JANOME ポリエステル〉

〔刺しゅう実行画面〕



〔確認のためのメッセージ画面〕



⑫ お好み記憶モード (リジューム)

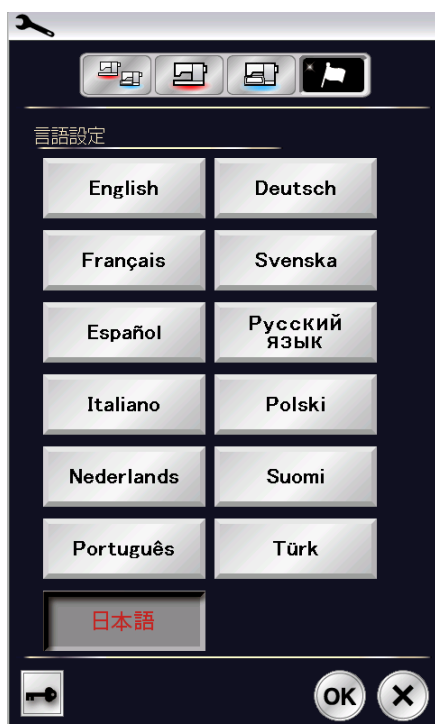
お好み記憶モードを「ON」に設定すると、刺しゅうのぬい実行中(ぬい停止中)に電源スイッチを切っても、次に電源スイッチを入れたとき、前回ぬっていた模様の表示画面になり、前回の続きからぬい始めることができます。

〈初期：ON〉

※ お好み記憶モードが「ON」に設定された状態で電源スイッチを入れたとき、前回のぬい画面を表示するかを確認するメッセージ画面が現れます。

OK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

〔言語設定画面〕



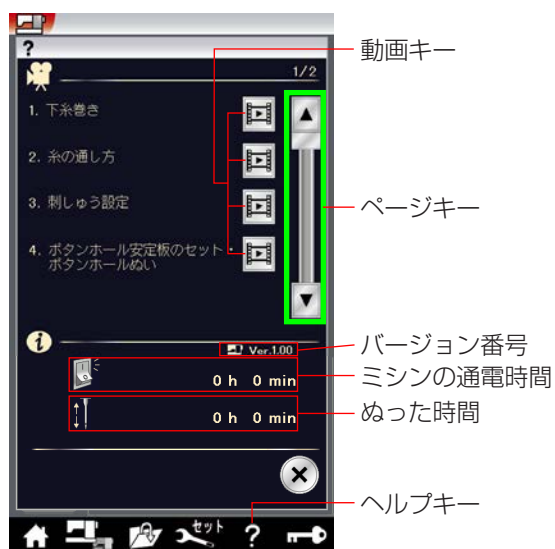
【言語設定】

画面に表示されている言語を 13 カ国の中から設定することができます。

設定する場合は、設定したい言語を選び、OK キーを押します。

〈初期：日本語〉

◎ヘルプ動画



ヘルプキーを押すと、ミシンの基本動作を動画で見ることができます。

ミシンの基本動作の動画 7 個の他に、ミシンのバージョン番号、ミシンの通電時間、ぬった時間を表示します。

ページキーを押すと動画のページが前のページか次のページに切りかわります。

見たいヘルプ動画の動画キーを押すと、再生画面が表示され、動画が再生します。

再生キーを押すと動画が再生されて、一時停止キーを押すと動画は停止します。停止中に早送り / 早戻しキーを長押しすると、早送り再生か早戻り再生できます。

〔動画再生画面〕



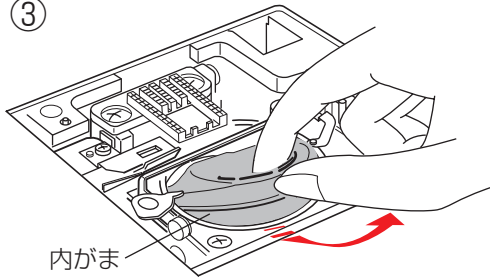
頭出しキーを押すと動画の始めから再生します。

閉じるキーを押すと再生画面は閉じます。

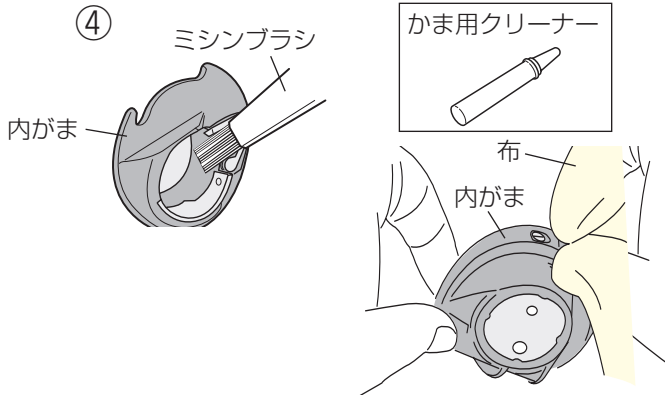
◎ミシンのお手入れ

●かまと送り歯、糸切り部の掃除

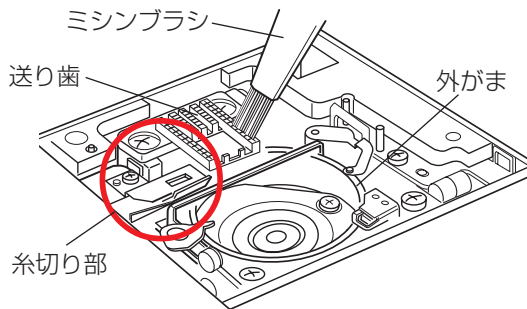
① ② ③



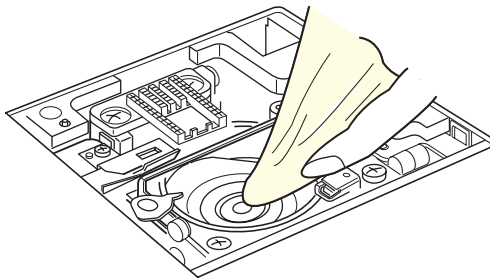
④



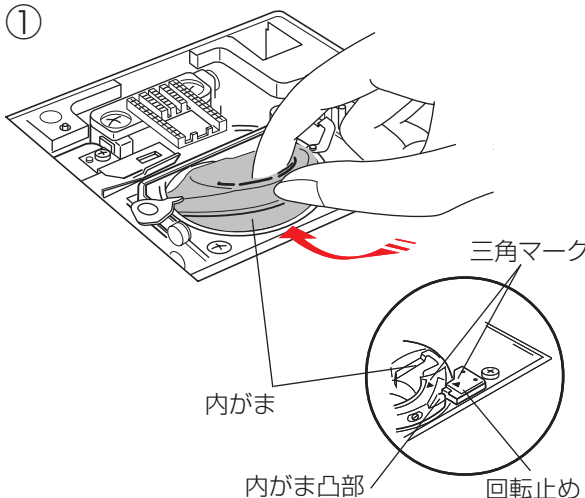
⑤



⑥



①



⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。
感電・火災・けがの原因になります。

【内がまの取り外しと掃除】

- ① 針と押さえを外します。
- ② 針板を外し、ボビンを取り出します。
※ 針板の外し方、付け方は、「◎操作方法／●針板の外し方、付け方」(23 ページ) をご覧ください。
- ③ 内がまの手前を上へ引きながら外します。
- ④ 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布に付属のかま用クリーナーを少量含ませて、全体を軽くふきます。
- ⑤ 送り歯、糸切り部のごみをミシンブラシで手前に落とし、外がまを掃除します。
- ⑥ かま用クリーナーを少量含ませたやわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。
※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸いとってください。

【内がまの組み付け】

- ① 内がまを取り付けます。
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が回転止めの左側にくるように取り付けます。
- ② 針板を取り付けます。
- ③ 押さえ、針を取り付けます。

◎メッセージ画面一覧

メッセージ画面	原因	解決法
	フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用したとき表示されるメッセージ画面です。	フットコントローラーを外してからスタート/ストップボタンを使用してください。
	フットコントローラーが壊れているときに表示される警告画面です。	お客様相談窓口(巻末に記載)もしくは、ミシンを買ったお店にお問い合わせください。
	ボタンホール切りかえレバー (BH レバー) をさげないでミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンは停止し、このメッセージ画面が表示されます。	ボタンホール切りかえレバーを引きさげ、ミシンを再スタートさせてください。
	2本針設定から1本針設定に変更したときに表示されるメッセージ画面です。	2本針を1本針に付けかえてあることを確認してから、OKキーを押してください。
	送り歯が下がっているときに、ぬい始めたときに表示される警告文です。	送り歯を下げてぬおうとしている場合以外のときは、送り歯を上げてください。
	針板が外れているときに表示される警告メッセージです。	針板を取り付けて、このメッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合は、もう一度取り付け直してください。
	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示される警告メッセージです。	15秒程待ち、その後、天秤、外がま、糸切り部などからみついている糸くずを取り除きます。

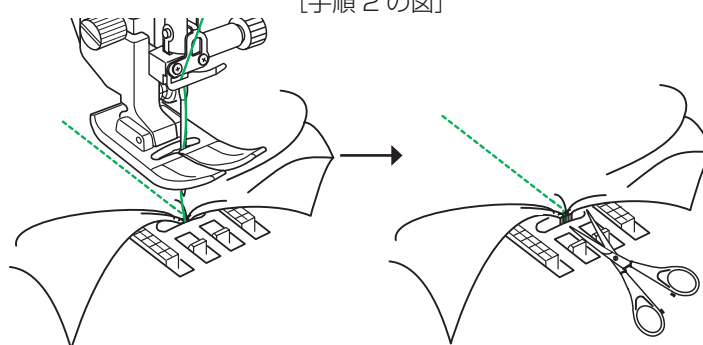


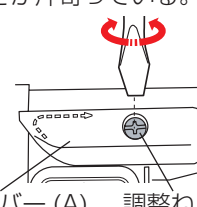
◎ミシンの調子が悪いときの直し方

〔通〕 … 通常ぬいの場合の項目です。

〔刺〕 … 刺しゅうの場合の項目です。

何もなし … 通常ぬいと刺しゅうの共通の項目です。

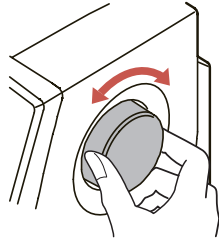
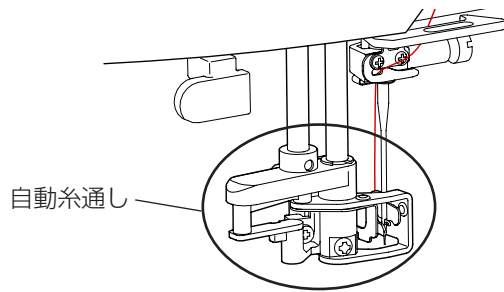
調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針の付け方がまちがっている。 4. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどにかままっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 〔通〕 8. ぬい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。 〔刺〕 9. ぬい始めに上糸を糸押さえにかけていない。 	<p>31 ページ参照</p> <p>38 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>25 ページ参照</p> <p>213 ページ参照</p> <p>糸こま押さえを付ける</p> <p>43 ページ参照</p> <p>146 ページ参照</p>
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にゴミがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 4. 下糸の巻き方がゆるい。 	<p>29 ページ参照</p> <p>213 ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p> <p>巻く速度を速くする</p>
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 布に対して針が細すぎる。 〔通〕 5. ぬい終わったとき布を手前に引いている。 〔通〕 6. 模様合った押さえを使用していない。 	<p>24 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>25 ページ参照</p> <p>布を向こう側に出す</p> <p>指定の押さえに交換する</p>
ぬい目かとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか針先がつぶれているか、品質の悪い針を使用している。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. ぬい目がとぶようなときに、付属のブルー針やパープル針（または市販SP針）を使っていない。 5. 上糸のかけ方がまちがっている。 6. 押さえ圧が弱い。 7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 〔刺〕 8. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 〔刺〕 9. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。 	<p>24 ページ参照</p> <p>24 ページ参照</p> <p>25 ページ参照</p> <p>25 ページ参照</p> <p>31 ページ参照</p> <p>35 ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p> <p>145 ページ参照</p> <p>146 ページ参照</p>
ぬい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してぬい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 6. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	<p>38 ページ参照</p> <p>29、31 ページ参照</p> <p>25 ページ参照</p> <p>ぬい目を細かくする</p> <p>35 ページ参照</p> <p>芯地を貼る</p>
ぬいずれがおこる	〔通〕 1. 押さえ圧が合っていない。	35 ページ参照
布送りがうまくいかない	<ol style="list-style-type: none"> 〔通〕 1. 送り歯に糸くずがたまっている。 〔通〕 2. ぬい目が細かすぎる。 〔通〕 3. 押さえ圧が弱い。 〔通〕 4. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。 〔通〕 5. 送り歯がさがっている。 	<p>213 ページ参照</p> <p>ぬい目をあらくする</p> <p>35 ページ参照</p> <p>43 ページ参照</p> <p>34 ページ参照</p>
ぬい目に輪ができる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。 	<p>38 ページ参照</p> <p>25 ページ参照</p>
ボタンホールがうまくぬえない	<ol style="list-style-type: none"> 〔通〕 1. 布に対してぬい目のあさが合っていない。 〔通〕 2. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 〔通〕 3. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。 	<p>60 ページ参照</p> <p>56 ページ参照</p> <p>57、59 ページ参照</p>
音が高い	<ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に糸くずが巻きこまれている。 2. 電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音ができる。 〔通〕 3. 送り歯にゴミがたまっている。 	<p>213 ページ参照</p> <p>異常ではありません</p> <p>213 ページ参照</p>

調子が悪い場合	その原因	直し方
模様がきれいにぬえない	1. ボビンのセットがまちがっている。 (ボビンの入れる方向・下糸が内がまのばねに入っていない。) 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 (通) 4. 指定の押さえを使用していない。 (通) 5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調節が合っていない。 (刺) 6. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 (刺) 7. 刺しゅう枠のつまみがゆるんでいる。 (刺) 8. キャリッジ移動時に、ミシン周辺に置いてある物にあたっている。 (刺) 9. キャリッジ移動時に、布がミシンに引っかかっている。	29 ページ参照 38 ページ参照 芯地を貼る 指定の押さえを使用する 18 ページ参照 145 ページ参照 146 ページ参照 キャリッジ周辺に物を置かない 布を張り直す
糸切りボタン (自動糸切り) でうまく糸が切れない	1. 使用している糸が太すぎる。 2. 糸がからまっている。	12 ページ参照 213 ページ参照
一部の模様しか選べない	(通) 1. 直線ぬい用針板が取り付けられている。(直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、安全のために、実用ぬいグループと用途選択グループの直線ぬい用針板専用の模様しか選択できないようになっています。)	通常の針板に交換する 23、49 ページ参照
ミシンが動かない	1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする) 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が天秤から外れ、他の部品にからまっている。 (通) 6. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用している。 (刺) 7. フットコントローラーで刺しゅうを行おうとしている。	9 ページ参照 213 ページ参照 上糸かけを確認する 16 ページ参照 電源を切り、からまっている糸を取る フットコントローラーを外す スタート/ストップボタンで行う
布裏で糸がからまる	1. 上糸のかけ方が間違っている。 [手順 2 の図] 	31 ページ参照 [からまっている糸の取り方] 手順 1. 電源スイッチを切る 手順 2. 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布裏の糸を切る 手順 3. 針板を外す (23、213 ページ参照) 手順 4. ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (213 ページ参照) 手順 5. 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (23、213 ページ参照) 手順 6. 上糸をかけ直す (31 ページ参照)
ボビンにうまく下糸が巻けない	1. 糸のかけ方がまちがっている。 2. ボビンの上  または、下  に巻きが片寄っている。 (調整ねじを左に回す) (調整ねじを右に回す)  糸案内カバー (A) 調整ねじ	27 ページ参照 調節ねじをまわす 注意：調整ねじを回すはんいは 1 回転までにしてください。部品が外れます。
画面が見にくい	1. 画面のコントラストが合っていない。	199 ページ参照

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

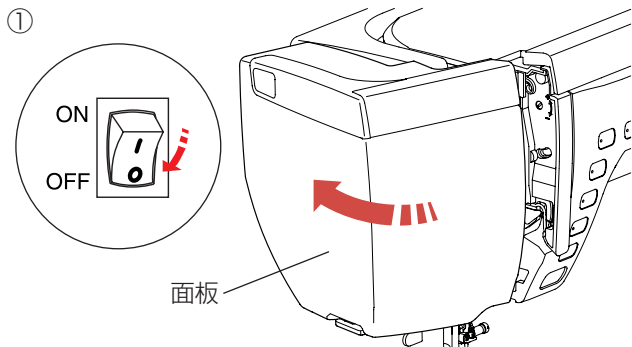
●ミシンの調子が悪いときの直し方（自動糸通し）



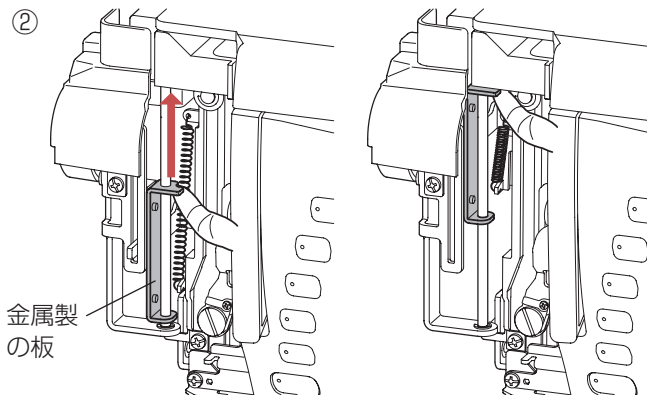
自動糸通しが動かなくなったり、自動的に上にもどらなくなったときは、以下の通りにしてください。

ゆっくりとはずみ車を前後に回して、針を少しだけ上げる。そうすると、自動糸通しは自動的に上にもどります。

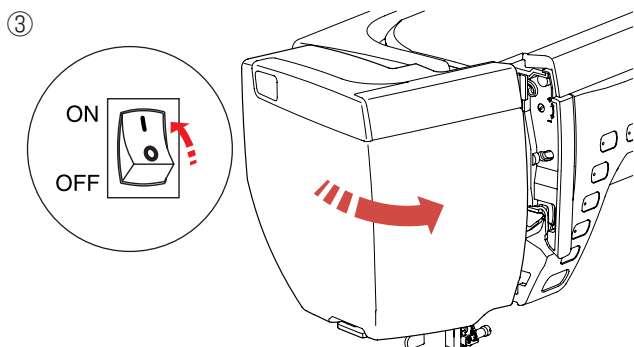
それでも上にもどらなかったときは、以下の手順にしたがってください。



① 電源スイッチを切る。
面板をあける。



② 軸についでる金属製の板を指で押しあげる。

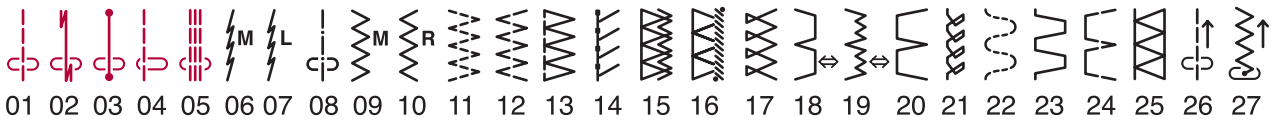


③ 面板をとじる。
電源スイッチを入れる。

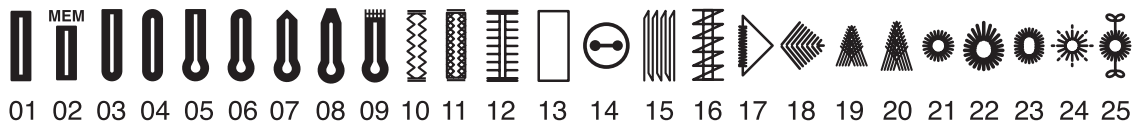
◎模様一覧表

●【通常ぬい】

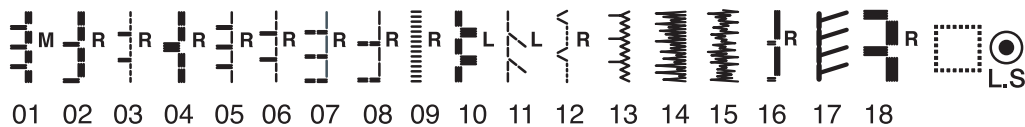
じつようぬい



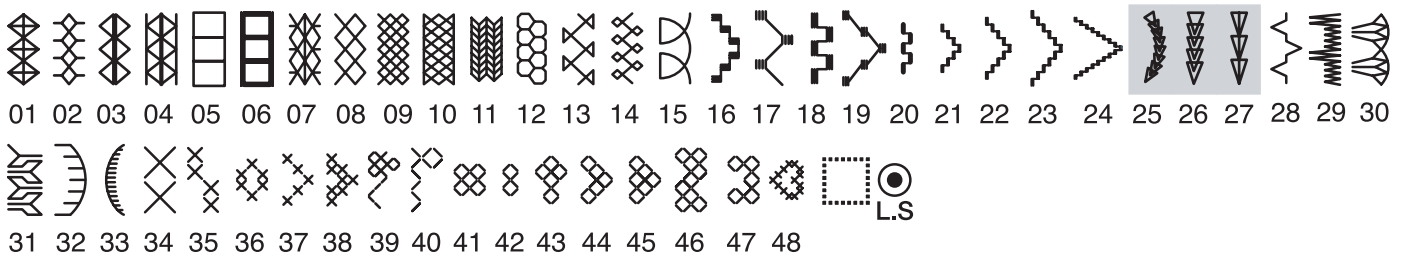
ボタンホール



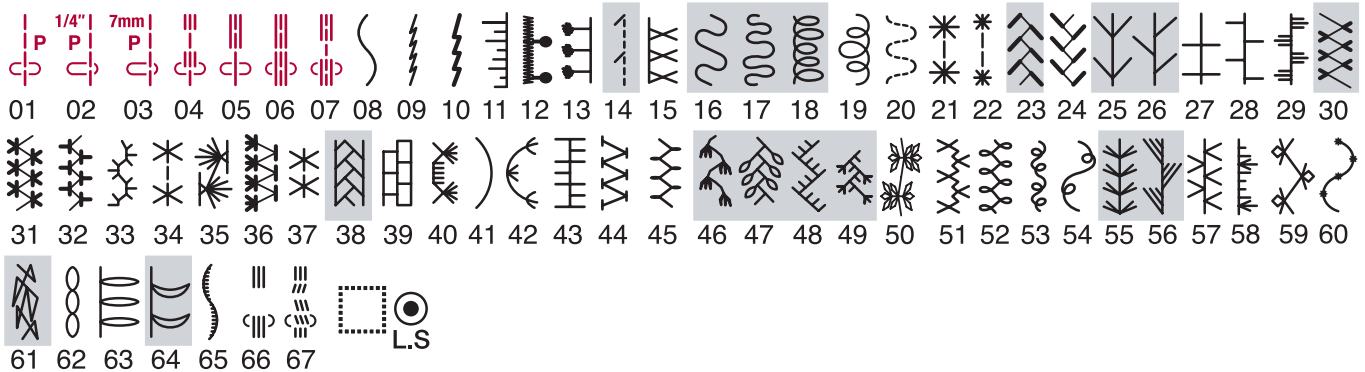
アップリケ



かざりもよう 1



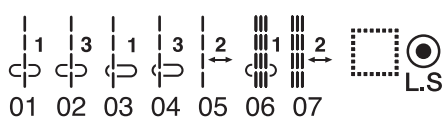
キルト



サテン

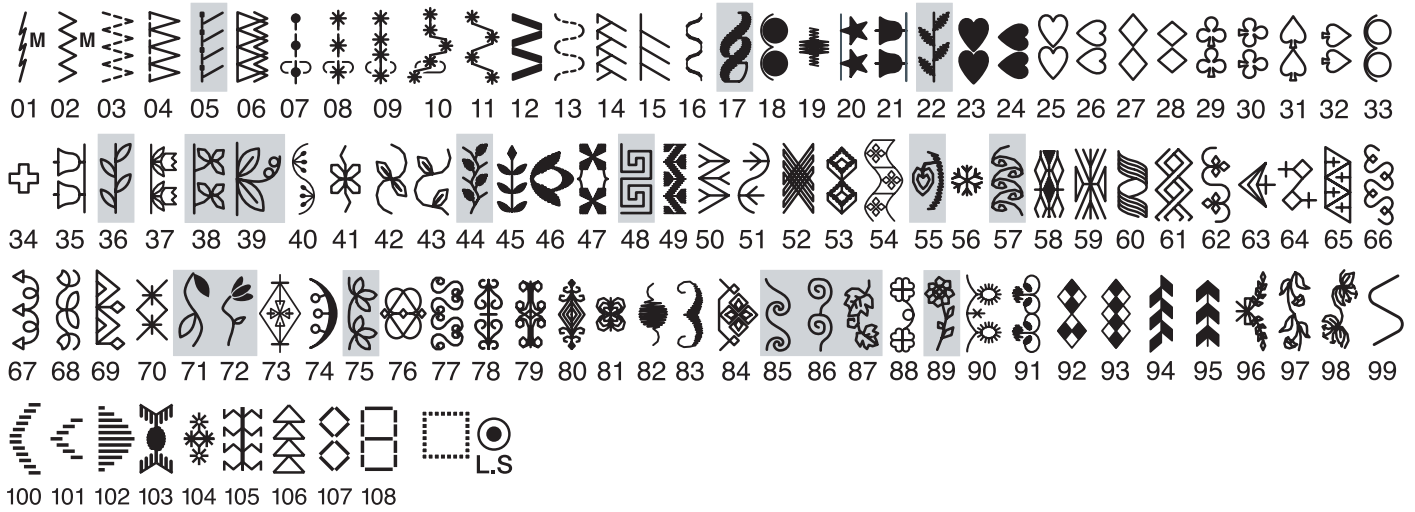


つなぎもよう

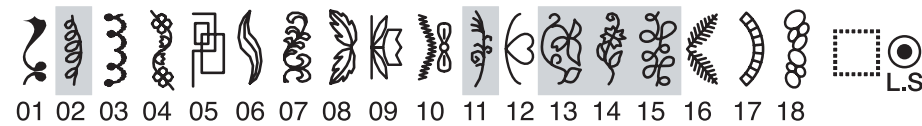


- ・ 赤い表示の模様は、直線針板対応模様です。
- ・ 模様を四角に塗って表示している模様は、上下反転ができる模様です。

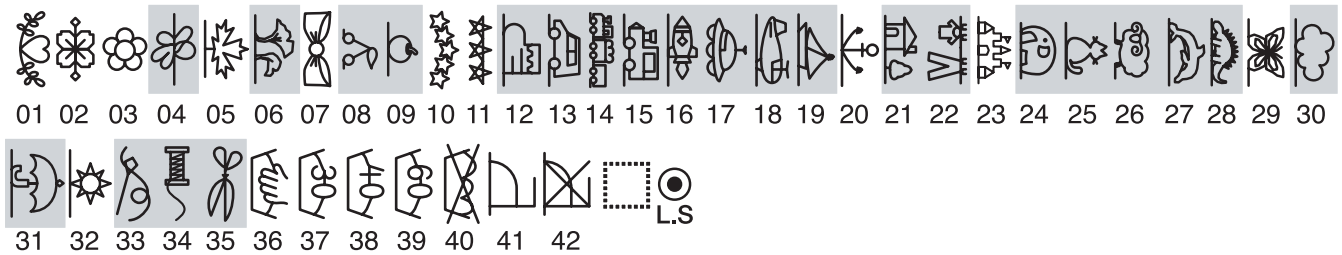
かざりもよう 2



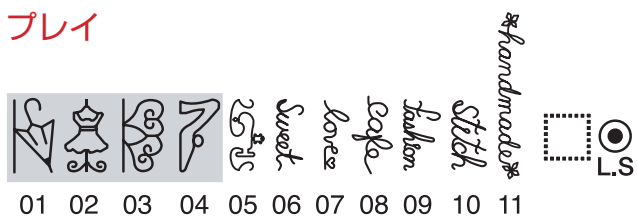
ロングステッチ



ワンポイント



プレイ



・模様を四角に塗って表示している模様は、上下反転ができる模様です。

● 【通常ぬい文字】

明朝体 (9mm)

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を
ん	、	。	あ	い	う	え	お	つ	や	ゆ	よ	一	□	□
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	う				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ
ン	、	。	ア	イ	ウ	エ	オ	ツ	ヤ	ユ	ヨ	一	□	□
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	ウ				

まるもじ (9mm)

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を
ん	、	。	あ	い	う	え	お	つ	や	ゆ	よ	一	□	□
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	う				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ
ン	、	。	ア	イ	ウ	エ	オ	ツ	ヤ	ユ	ヨ	一	□	□
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	ウ				

ゴシック

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
 , ? ! ' ' < > () - + = / // % ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć Ę Ğ Ĩ Ĵ
 Ł Ń Ņ Œ Š Š Ÿ Ž ž ž ž
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć Ę Ğ Ĩ Ĵ
 ł ń ŋ œ š š Ÿ ž ž ž ž

スクリプト

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
 , ? ! ' ' < > () - + = / // % ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć Ę Ğ Ĩ Ĵ
 Ł Ń Ņ Œ Š Š Ÿ Ž ž ž ž
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć Ę Ğ Ĩ Ĵ
 ł ń ŋ œ š š Ÿ ž ž ž ž

ブロードウェイ

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
 , ? ! ' ' < > () - + = / // % ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć Ę Ğ Ĩ Ĵ
 Ł Ń Ņ Œ Š Š Ÿ Ž ž ž ž
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć Ę Ğ Ĩ Ĵ
 ł ń ŋ œ š š Ÿ ž ž ž ž

ブロック (9mm)

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & - \$ @ . .
 , ? ! ' ' < > () - + = / // % ~ :

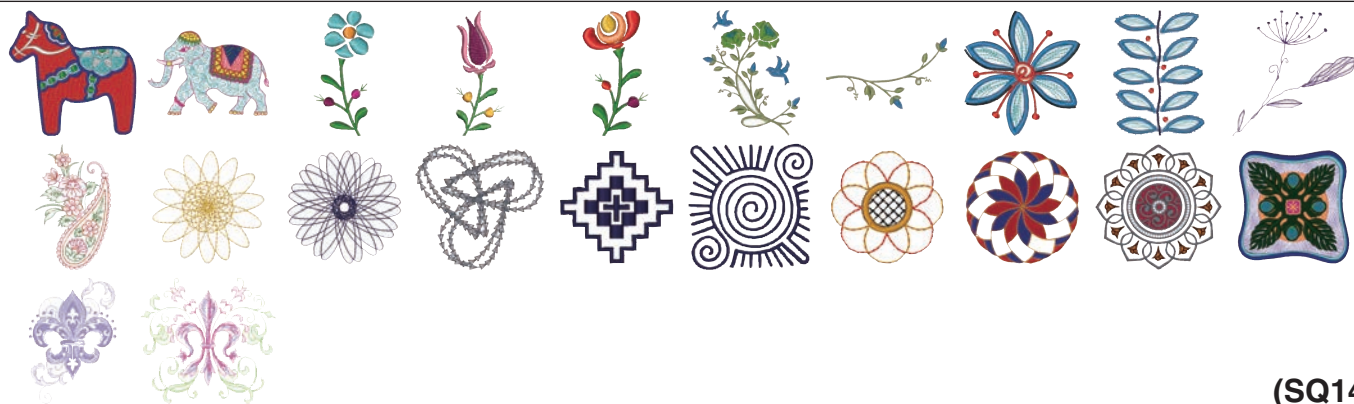
シンボル

✦ ✧ ♡ ♠ ♣ ♠ ✦ ✧ ♡ ♠ ♣ ♠ ✦ ✧
 ☀ # ♭ ♪ ♫ ♬ ✨ ♡ ♣ .

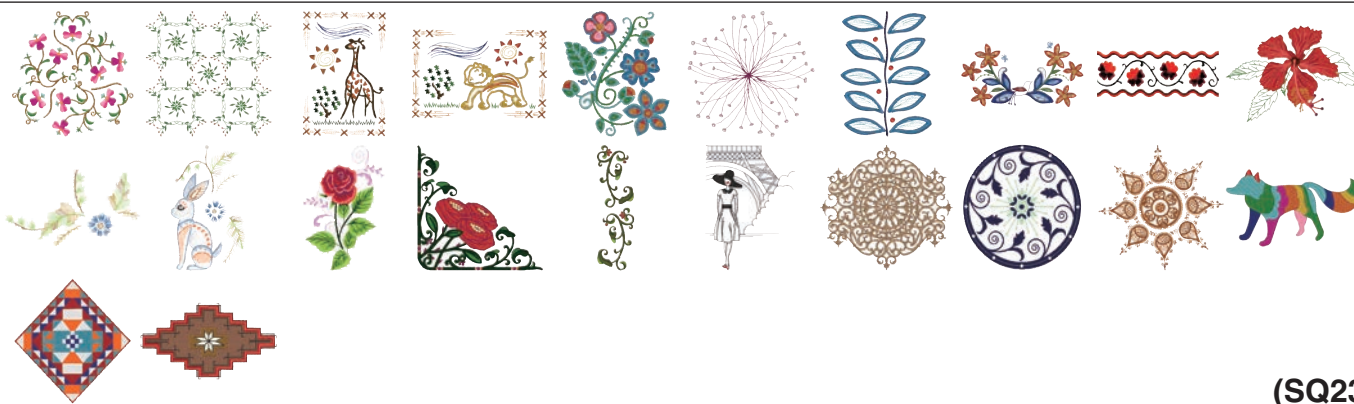
● 【刺しゅうぬい模様】

模様画像の縮尺は異なります。

ワールド



(SQ14)

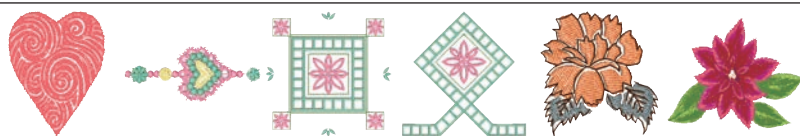


(SQ23)

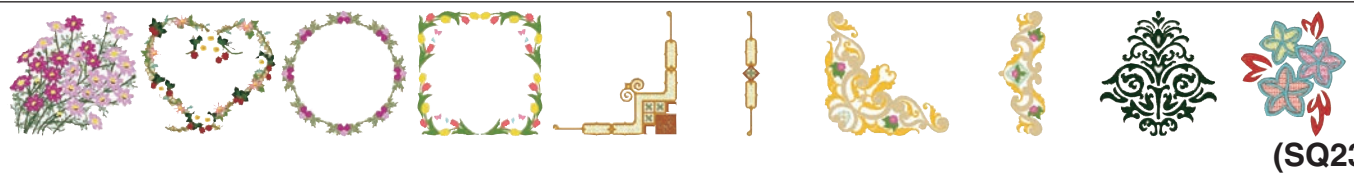


(GR)

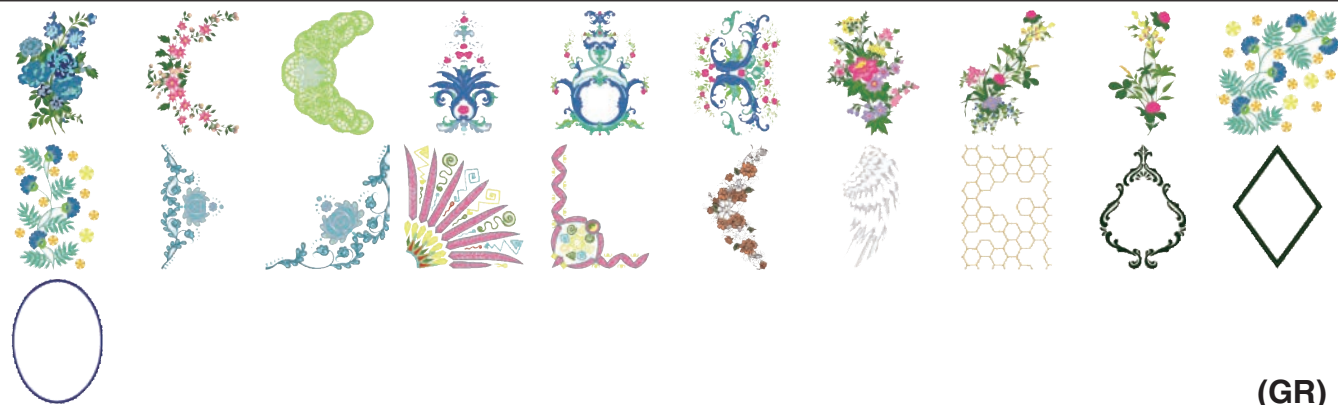
デザインセレクション



(SQ14)



(SQ23)



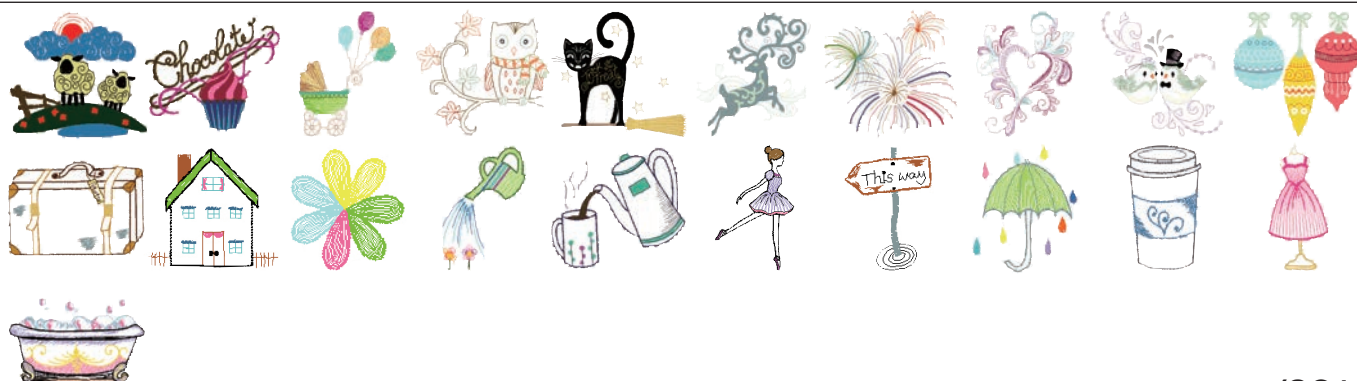
(GR)

デザインセレクション



(FA10)

ホリデーデザイン



(SQ14)



(SQ23)



(FA10)

Noriko Nozawa コレクション



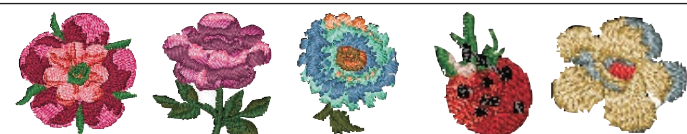
(GR)

※ 外形線や色が付いている所のできる白いすき間は、デザインです。

がなはコレクション フラワー



(SQ14)



(FA10)

模様画像の縮尺は異なります。

がなはコレクション キッチン



がなはコレクション キッズ



がなはコレクション スイーツ



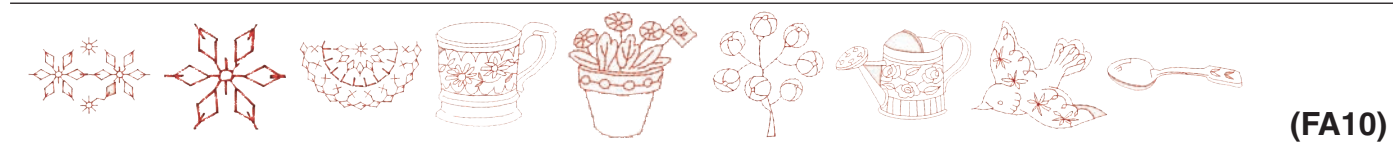
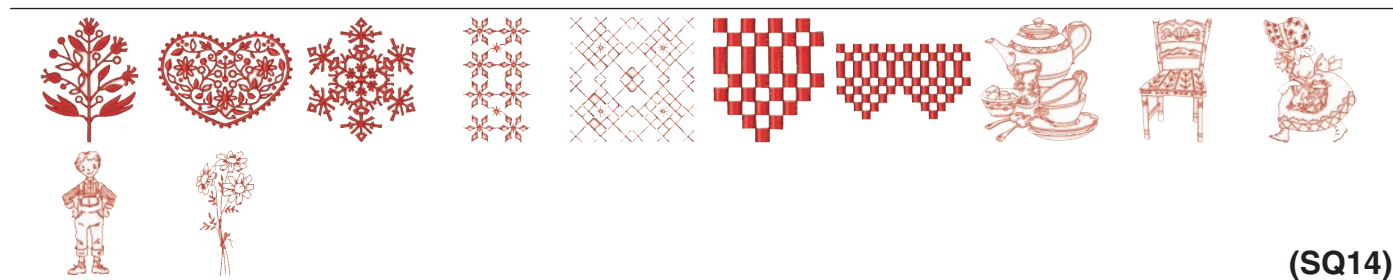
がなはコレクション ソーイング



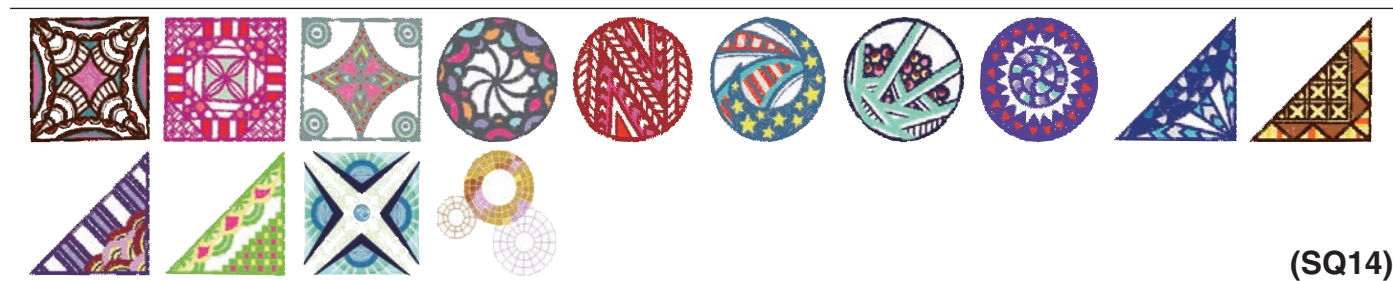
がなはコレクション その他



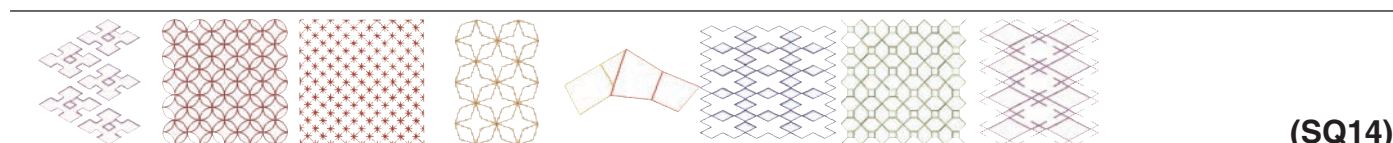
がなはコレクション レッドワーク



アートデザイン



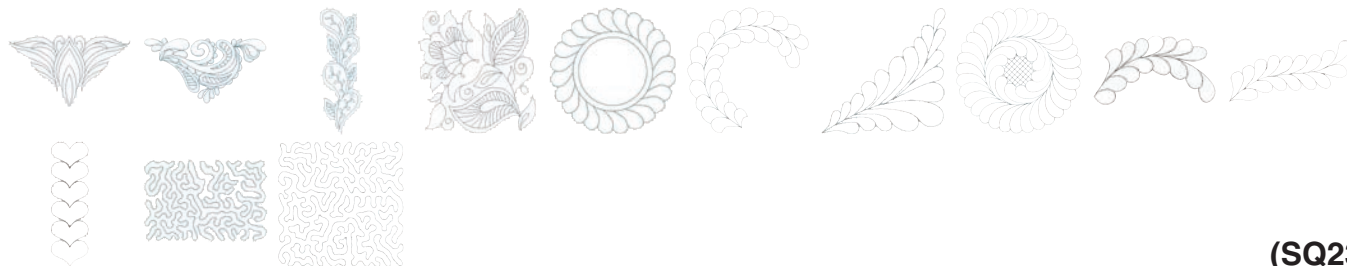
刺し子デザイン



キルティング

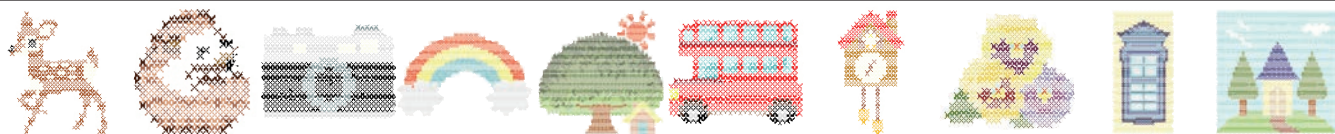


(SQ14)

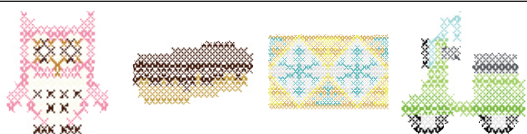


(SQ23)

クロスステッチ



(SQ14)



(FA10)

アップリケデザイン



(SQ14)

カーリーアルファベット デザイン



(SQ23)

モチーフアルファベット デザイン



(SQ14)

フリンジ

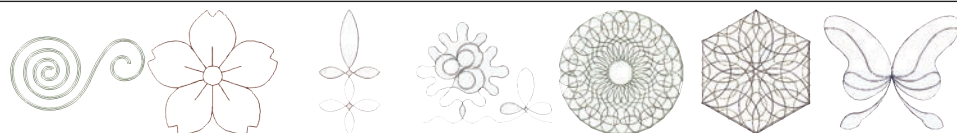


(SQ14)



(FA10)

カウチングデザイン



(SQ14)



(SQ23)

フラッグデザイン



(SQ14)



(SQ23)



(GR)

クロスセッター模様



(SQ14)

●【刺しゅうぬい文字】

明朝体

あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ
 た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ
 ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を
 ん 、 。 あ い う え お つ や ゆ よ ー □ □
 が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど
 ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ う
 ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
 タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
 マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ
 ン 、 。 ア イ ウ エ オ ツ ヤ ユ ヨ ー □ □
 ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ デ ツ デ ド
 バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ
 小 中 学 校 幼 稚 保 育 園 年 組 部 係 班 子
 供 父 母 入 卒 式 会 社 祭 男 女 名 前 住 所
 春 夏 秋 冬 元 氣 晴 雨 曇 雪 結 婚 御 見 舞
 待 引 越 札 知 慶 新 誕 様 交 通 安 全 祝 休
 株 生 才 時 分 曜 日 月 火 水 木 金 土 東 西
 南 北 平 成 第 上 下 左 右 花 山 川 百 千 万
 ○ 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

まるもじ

あ い う え お か き く け こ さ し す せ そ
 た ち つ て と な に ぬ ね の は ひ ふ へ ほ
 ま み む め も や ゆ よ ら り る れ ろ わ を
 ん 、 。 あ い う え お つ や ゆ よ ー □ □
 が ぎ ぐ げ ご ざ じ ず ぜ ぞ だ ぢ づ で ど
 ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ う
 ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ
 タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ
 マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ラ
 ン 、 。 ア イ ウ エ オ ツ ヤ ユ ヨ ー □ □
 ガ ギ グ ゲ ゴ ザ ジ ズ ゼ ゾ ダ デ ツ デ ド
 バ ビ ブ ベ ボ パ ピ プ ペ ポ ヴ

ゴシック

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
 . , ? ! i ' ' < > () - + =
 / // % ~ :

À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
 Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć
 Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Œ Š Ÿ Ž Ž Ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
 ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć
 ę ğ ĩ ĵ ł ł ń Ń Œ š Ÿ ž ž ž

スクリプト

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
 . , ? ! i ' ' < > () - + =
 / // % ~ :

À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
 Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć
 Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Œ Š Ÿ Ž Ž Ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
 ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć
 ę ğ ĩ ĵ ł ł ń Ń Œ š Ÿ ž ž ž

チェルトナム

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
 . , ? ! i ' ' < > () - + =
 / // % ~ :

À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
 Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć
 Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Œ Š Ÿ Ž Ž Ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
 ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć
 ę ğ ĩ ĵ ł ł ń Ń Œ š Ÿ ž ž ž

バウハウス

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
 . , ? ! i ' ' < > () - + =
 / // % ~ :

À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
 Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć
 Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Œ Š Ÿ Ž Ž Ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
 ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć
 ę ğ ĩ ĵ ł ł ń Ń Œ š Ÿ ž ž ž

ギャラン

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
 . , ? ! i ' ' < > () - + =
 / // % ~ :

À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
 Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć
 Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Œ Š Ÿ Ž Ž Ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
 ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć
 ę ğ ĩ ĵ ł ł ń Ń Œ š Ÿ ž ž ž

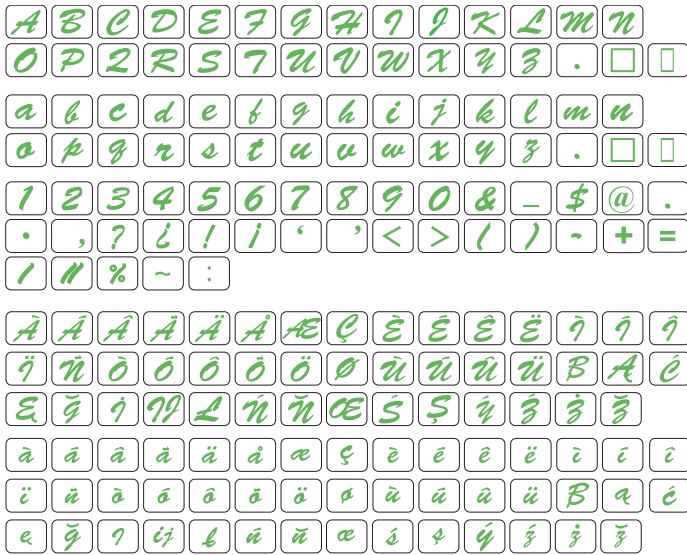
タイプスト

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ .
 . , ? ! i ' ' < > () - + =
 / // % ~ :

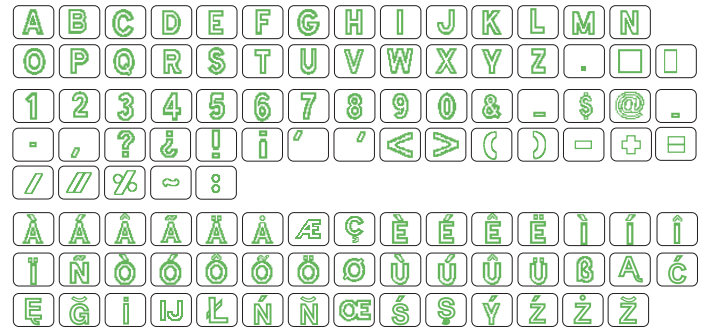
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î
 Ï Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü ß À Á Ć
 Ę Ğ Ĩ Ĵ Ľ Ł Ń Ņ Œ Š Ÿ Ž Ž Ž

à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î
 ï ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ß à á Ć
 ę ğ ĩ ĵ ł ł ń Ń Œ š Ÿ ž ž ž

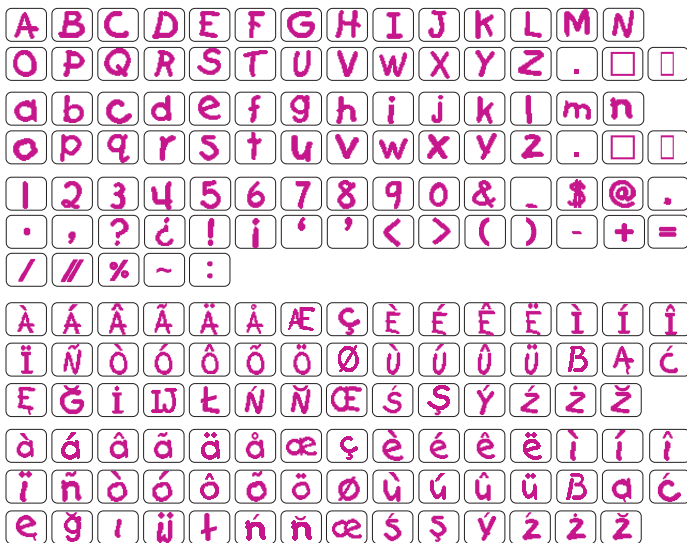
ブラシ



ホローブロック



ファーストグレード



ジュピター



2-レター / 3-レター



ボーダー 1



ボーダー 2



マイクロゴシック

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	
O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	.	□	□
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	
o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	.	□	□
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	&	-	\$	@	.
.	,	?	¿	!	i	'	'	<	>	()	-	+	=
/	//	%	~	:										

♥ MEMO ♥

仕 様	
使用電圧	100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	75 W
外形寸法	幅 62.4 cm× 奥行 26.2 cm× 高さ 32.0 cm
質 量	15.8 kg (本体)
使用針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	毎分 1060 針 (直線模様) フットコントローラー使用時 毎分 1060 針 (直線模様)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

蛇の目ミシン工業株式会社

〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00～12:00 13:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
[問合せフォーム](#)をご利用ください。

JANOME

862862004 ⑤